

Panasonic[®]

プログラマブルコントローラ
MEWNET FP SERIES
MEWNET-Hシステム設定ソフト
操作マニュアル

MEWNET-H システム設定ソフト 操作マニュアル
FAF-135 '93・7^月

松下電工

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

据付、運転、保守、点検の前に、必ずこのマニュアルをお読みいただき、正しくご使用下さい。
機器の知識、安全の情報、その他注意事項のすべてを習熟してからご使用下さい。

このマニュアルでは、安全注意事項のレベルを「警告」と「注意」に区分しています。



警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合

本製品の故障や外部要因による異常が発生しても、システム全体が安全側に働くように本製品の外部で安全対策を行ってください。

可燃性ガスの雰囲気では使用しないでください。

爆発の原因となります。

本製品を火中に投棄しないでください。

電池や電子部品などが破裂する原因となります。



注意

取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保証特性・性能の数値に対し余裕をもたせて使用してください。
分解、改造はしないでください。

異常発熱や発煙の原因となります。

通電中は端子に触れないでください。

感電のおそれがあります。

非常停止、インターロック回路は外部で構成してください。

電線やコネクタは確実に接続してください。

接続不十分な場合は、異常発熱や発煙の原因となります。

製品内部に液体、可燃物、金属などの異物を入れないでください。

異常発熱や発煙の原因となります。

電源を入れた状態では施工(接続、取り外しなど)しないでください。

感電のおそれがあります。

著作権および商標に関する記述

このマニュアルの著作権は、松下電工株式会社が所有しています。

本書からの無断複製は、かたくお断りします。

Windows および WindowsNT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の会社および製品名は、各社の商標または登録商標です。

商品改良のため、仕様、外観およびマニュアルの内容を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

/は/じ/め/に/

このたびは、MEWNET-Hシステム設定ソフトをご購入いただき、誠にありがとうございます。

MEWNET-Hシステム設定ソフトは弊社FPシリーズPC（プログラマブルコントローラ）による高速大容量ネットワークMEWNET-Hを構築するにあたり、各種設定や動作状態のモニタを行なうためのソフトウェアです。MEWNET-Hの機能のうち、PCリンク機能およびシリアル伝送機能のシステム設定とコンピュータリンク機能を使用する場合のモデム設定を行います。

このソフトウェアを使うことにより、複雑なネットワーク構成のときも簡単にシステムを設定することができます。

このマニュアルは、『MEWNET-Hシステム設定ソフト』の操作方法について説明しています。MEWNET-Hの基本概念、リンクユニットの機能、導入などについては、『MEWNET-Hリンクユニット導入マニュアル』をご参照ください。

/制/限/事/項/

MEWNET-Hの機能は、FPシリーズPCの以下の機種で使用できます。

プログラマブルコントローラ	FP10/FP10S	
	FP3	(Ver.4.3以上)
	FP3H BASIC TYPE	(Ver.2.2以上)

目次

はじめに	1
制限事項	1
目次	2
このソフトウェアをご利用いただく前に	8
梱包品一覧	8
ユーザー登録について	9
保証について	10
このマニュアルの構成と読み方	11
このマニュアルの記述上の注意	12
関連マニュアル	13

第1章 システム設定ソフトの概要

1-1 システム設定ソフトの概要	16
1-1-1 システム設定ソフトのおもな機能	16
1-1-2 システム設定ソフトの動作環境	17
1-2 STメニューについて	18

第2章 設定ソフトの構成と基本操作

2-1 設定ソフトの操作方法	20
2-1-1 画面の基本構成	20
2-1-2 操作の方法	21
2-2 システム設定ソフトの構成	22
2-3 システム設定ソフトのインストール	24
2-3-1 フロッピーディスクから MEWNET - H システム設定ソフトを起動する場合	26
2-3-2 ハードディスクから MEWNET - H システム設定ソフトを起動する場合	30
2-3-3 ノートブックパソコンの RAM ドライブから MEWNET - H システム設定ソフトを起動する場合	32
2-3-4 STメニューから MEWNET - H システム設定ソフトを起動する場合	36
2-3-5 日本語入力について	37
2-4 システム設定ソフトの起動と終了	38
2-4-1 MEWNET - H システム設定ソフトの起動方法	38
2-4-2 MEWNET - H システム設定ソフトの終了方法	41

第3章 PCリンク領域の割り付け

3-1	PCリンク領域割り付け概要	44
3-2	基本設定画面の表示	45
3-2-1	新規設定	45
3-2-2	読み出して変更するとき	46
3-3	リンク領域の設定	48
3-3-1	リンク領域の確保	48
3-3-2	PCリンク領域の動作モードの設定	49
3-3-3	各局の送信領域の割り付け	50
3-4	特殊機能の設定	52
3-4-1	PCリンク動作状態フラグの出力先設定	52
3-4-2	リンクエラー情報の出力先設定	53
3-5	基本設定の確定	54
3-5-1	送信ワード数・送信先頭アドレスの両方を割り付けたとき	54
3-5-2	送信ワード数だけを割り付けたとき	55
3-5-3	送信先頭アドレスだけを割り付けたとき	57
3-5-4	エラーがあったとき	59
3-6	設定の初期化と均等配分	60
3-6-1	PCリンク領域割り付けの初期化	60
3-6-2	ワード数の均等配分	60
3-7	設定内容のチェック	62
3-7-1	PCリンク領域の割り付け内容のチェック (オフライン)	62
3-7-2	PCリンク領域の割り付け内容のチェック (オンライン)	63
3-8	ネットワーク名とネットワークコメント	68
3-9	個別設定	70
3-9-1	ユニットNo.指定画面 (初期画面) の表示	70
3-9-2	ユニットNo.の指定	72
3-9-3	個別設定	73
3-9-4	個別設定内容の初期化と個別切り替え	75

第4章 シリアルポートの設定

4-1	シリアルポート設定概要	78
4-2	設定画面の表示	79
4-2-1	新規に設定するとき	79
4-2-2	読み出して変更するとき	80
4-3	単一接続モードの設定	82
4-3-1	単一接続モードの選択	82
4-3-2	シリアル通信条件の設定	84
4-3-3	経路設定	87
4-3-4	設定の確定	96
4-3-5	伝送経路設定例	98
4-4	多重接続モードの設定	106
4-4-1	多重接続モードの選択	106
4-4-2	シリアル通信条件の設定	110
4-4-3	経路設定	114
4-4-4	設定の確定	117
4-4-5	伝送経路設定例	118
4-5	設定チェック	128

第5章 コンピュータリンク機能のモデム設定

5-1	コンピュータリンク設定概要	132
5-2	モデム設定	133
5-2-1	新規に設定するとき	133
5-2-2	読み出して変更するとき	134
5-2-3	モデムの設定	134
5-3	設定内容のチェック	135

第6章 システム設定内容の読み出しと書き込み

6-1	設定内容の読み出しと書き込み概要	140
6-2	ユニットからの設定内容の読み出し	142
6-2-1	PCリンク割付設定モードでのユニット読み出し	142
6-2-2	シリアル伝送機能設定モードでのユニット読み出し	146
6-2-3	コンピュータリンク設定モードでのユニット読み出し	158
6-3	ユニットへの設定内容の書き込み	162
6-3-1	PCリンク割付設定モードでのユニット書き込み	162
6-3-2	シリアル伝送機能設定モードでのユニット書き込み	169
6-3-3	コンピュータリンク設定モードでのユニット書き込み	180
6-4	ユニットとの照合	184
6-4-1	PCリンク割付設定モードでのユニット照合	184
6-4-2	シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合	188
6-4-3	コンピュータリンク設定モードでのユニット照合	199
6-5	ユニットのクリア	202
6-6	ディスクからの設定内容の読み出し	206
6-7	ディスクへの設定内容の書き込み	218
6-8	ディスクとの照合	222

第7章 モニタ機能

7-1	リンク運転状態のモニタ	226
7-1-1	リンク運転状態の確認	231
7-1-2	ネットワークの指定	232
7-1-3	PCリンク伝送処理時間のモニタ	238
7-1-4	リンクユニット状態の確認	240
7-1-5	伝送経路状態の確認	246
7-1-6	シリアル伝送機能状態モニタ	250
7-1-7	PCリンクエラー履歴のモニタ	252

第8章 プリントアウト

8-1	プリントアウトの概要	256
8-2	プリントアウト	258
8-3	スタイルの指定	262
8-3-1	PCリンク割付設定モードのとき	262
8-3-2	シリアル伝送機能設定モードのとき	263
8-4	プリンタ機種指定	264

第9章 オプション機能

9-1 ツール環境の設定	266
9-2 機能選択	267

付録

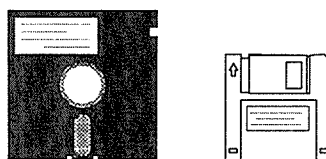
付録-1 エラーメッセージ	270
付録-2 メニュー一覧	284
改定履歴	

このソフトウェアをご利用いただく前に

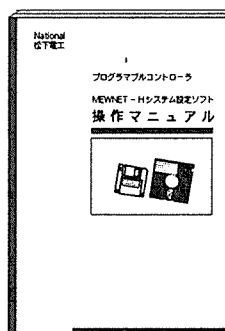
MEWNET - H システム設定ソフトの梱包箱の内容を以下に示します。
ご使用前に、必ずお確かめください。

/ 梱 / 包 / 品 / 一 / 覧 /

- MEWNET - H システム設定ソフトシステムディスク



- MEWNET - H システム設定ソフト操作マニュアル



/ ユ / - / ザ / - / 登 / 録 / に / つ / い / て /

梱包されているユーザーカードは、このソフトウェアのユーザーとして登録していただくためのものです。すべてのサービスおよびご連絡は、このユーザーカードをもとに実施されます。よくお読みになり必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

ユーザーカード

ユーザーカード

本製品の「ソフトウェア使用約款」に同意するとともに、ここにユーザーカードを送付いたします。

(フリガナ) 貴社住所	お客様によりご記入ください。 TEL.()
(フリガナ) 貴社名	お客様によりご記入ください。
(フリガナ) 氏名	印
所属部署	お客様によりご記入ください。 (役職)
購入日	お客様によりご記入ください。

ソフトウェアの名称	お客様によりご記入ください。
品番	A F P 弊社にて記入済
ロット No.	弊社にて記入済

このはがきに必要事項をご記入のうえ、ご返送いただいたお客様に対し、弊社では「ソフトウェア使用約款」によりアフターサービスを行いますので、必ずご投函くださいますようお願いいたします。

/保/証/に/つ/い/て/

保証期間：この製品についての保証期間は、納入後1カ年と致します。

保証範囲：保証期間中に納入者側の責任により故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換、または修理を納入者側により無償で行います。ただし、次に該当する場合は、この保証の内容の対象範囲から除外させていただきます。

- (1) マニュアルと異なった取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が納入品位外の事由による場合。
- (3) 納入者以外の改造、または修理による場合。
- (4) その他、天災・災害など、納入者側の責任ではない場合。

このマニュアルの構成と読み方

/各章の内容/

- 第1章 システム設定ソフトの概要
システム設定ソフトを起動できる動作環境について記述しています。
- 第2章 システム設定ソフトの構成と基本操作
インストールの方法・起動方法・終了方法が記述されています。
- 第3章 PCリンク領域の割り付け
システム設定ソフトのメニューバー《P. PCリンク割付》について説明しています。
PCリンク機能のシステム設定をする場合にお読みください。
- 第4章 シリアルポートの設定
システム設定ソフトのメニューバー《S. シリアルポート設定》について説明しています。
シリアル伝送機能のシステム設定をする場合にお読みください。
- 第5章 コンピュータリンク機能のモデム設定
システム設定ソフトのメニューバー《C. コンピュータリンク設定》について説明しています。
コンピュータリンク機能のモデム設定をする場合にお読みください。
- 第6章 システム設定内容の読み出しと書き込み
システム設定ソフトのメニューバー《R. 読出/書込》について説明しています。
ディスクに設定内容を保存したり、リンクユニットに書き込んだりする場合にお読みください。
- 第7章 モニタ機能
システム設定ソフトのメニューバー《M. モニタ》について説明しています。
システム設定ソフトを使って、リンクユニットのリンク運転状態などの各種モニタができます。
- 第8章 プリントアウト
システム設定ソフトのメニューバー《L. プリントアウト》について説明しています。
PCリンク機能のシステム設定内容とシリアル伝送機能のシステム設定内容をプリントアウトすることができます。
- 第9章 オプション機能
システム設定ソフトのメニューバー《O. オプション》について説明しています。
PCリンク割付設定モード・シリアル伝送機能設定モード・コンピュータリンク設定モードの切り替え方法や、PCとオンラインでシステム設定ソフトを操作する場合に設定するツール環境について説明しています。
- 付 録 エラーメッセージ・メニュー一覧
必要に応じて、お読みください。

/このマニュアルの記述上の注意/

「MEWNET-Hシステム設定ソフト操作マニュアル」で使用している省略語と記号については、以下をご参照ください。

●このマニュアルで使用している省略語

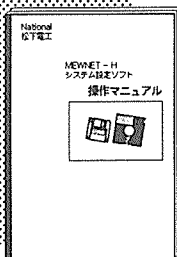
本文中の記述（省略語）	正式名称
PC	プログラマブルコントローラ
リンクユニット	MEWNET-Hリンクユニット
システム設定ソフト	MEWNET-Hシステム設定ソフト
MEWNET-Hシステムディスク	MEWNET-Hシステム設定ソフト・システムディスク
導入マニュアル	MEWNET-Hリンクユニット導入マニュアル

●このマニュアルで使用している記号

名称	記号	使用例
メニューバー	《 》	《P. PCリンク割付》
プルダウンメニュー	< 〉	<1. 新規設定>
サブメニュー	()	(1. わらい)
ウィンドウタイトル	[]	[モタ実行]
ウィンドウメニュー	【 】	【YES】
ファンクションメニュー	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> f・1 [確定]
キーボード（キー）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ESC <input type="checkbox"/>

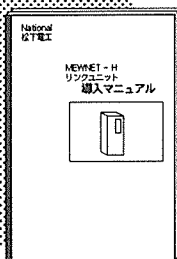
/ 関 / 連 / マ / ニ / ュ / ア / ル /

MEWNET - H システム設定ソフト 操作マニュアル



このマニュアルです。MEWNET - Hのシステム設定ソフトの取り扱い方法について説明しています。このマニュアルでは、『システム設定ソフトマニュアル』と記述しています。

MEWNET - H リンクユニット 導入マニュアル



MEWNET - Hシステム概要、リンクユニットの機能説明、仕様、設置・配線、運転、および保守について説明しています。このマニュアルの中では、『導入マニュアル』と記述しています。

第 1 章

システム設定ソフトの 概要

こ の 章 の 内 容

1-1 システム設定ソフトの概要	16
1-1-1 システム設定ソフトのおもな機能	16
1-1-2 システム設定ソフトの動作環境	17
1-2 STメニューについて	18

システム設定ソフトの概要

1-1-1 システム設定ソフトのおもな機能

■ PCリンク領域の割り付け機能

リンク領域の設定、特殊機能の設定等の基本設定や個別設定を画面で確認しながら、簡単に設定できます。各局に配分するリンク領域の設定(先頭アドレスとサイズ)は、均等配分・アドレス優先・サイズ優先を選択すれば、システム設定ソフトが自動計算します。

■ シリアルポートの設定機能

シリアルポートの単一接続モードの設定や多重接続モードの設定も、画面で確認しながら設定できます。また、多階層にわたる経路も対話形式で設定でき、経路の状態(どの局を中継しているか等)が画面上にグラフィック表示されます。

■ コンピュータリンク機能のモデム設定機能

モデムを使用してコンピュータリンク機能を使用する場合でも、画面に表示されている項目を選択するだけで、設定が終了します。

■ モニタ機能

リンク運転状態、PCリンク伝送処理時間、リンクユニットの状態、伝送経路の状態、シリアル伝送機能の状態、PCリンクエラーの履歴等がリアルタイムにモニタできますので、デバッグ作業に役立ちます。

■ プリントアウト機能

設定内容をプリンタで印刷して保存することができますので、仕様変更やデバッグの際に役立ちます。

1-1-2 システム設定ソフトの動作環境

■使用できるMS-DOSの種類

日本電気(株)製 日本語MS-DOS Ver.3.1以降

注意 Ver.5.0のタスクスワップ機能の動作は保証できません。

■メモリ容量

400キロバイト以上の空きメモリが必要です。

■使用できるプログラマブルコントローラの種類

プログラマブルコントローラ FP10/FP10Sシリーズ

プログラマブルコントローラ FP3 (Ver.4.3以上)

プログラマブルコントローラ FP3H BASICタイプ (Ver.2.2以上)

■その他 (MS-DOSシステムに常駐する他のソフトの制限)

NPST-GRに付属のSTメニュー以外のメニューソフト上では、システム設定ソフトを起動させないでください。特に内部タイマを使用しているソフト上でシステム設定ソフトを起動させると、MEWNET-Hシステムとの通信時にシステムが暴走します。

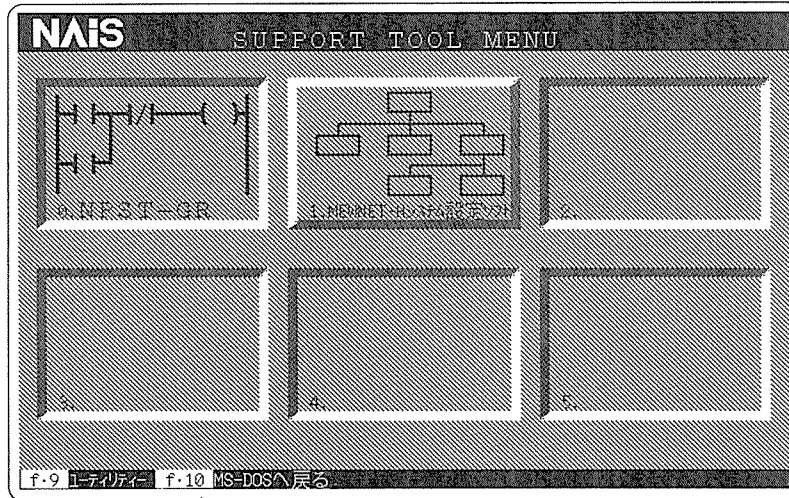
注意 PRINT.EXEも内部タイマを使用しているため、PRINT.EXEを常駐している状態でシステム設定ソフトを起動しないでください。

1 - 2

STメニューについて

NPST - GR Ver.2.3以上 (PC - 9801版) に付属のST (サポートツール) メニューをお使いの方は、システム設定ソフトをSTメニューに自動登録することができます。

STメニューに登録すると、STメニューの画面上のアイコンを選択するだけでシステム設定ソフトが起動できます。



MEWNET - Hシステム設定ソフトを終了すると、STメニュー画面に戻ります。

第 2 章

設定ソフトの構成と 基本操作

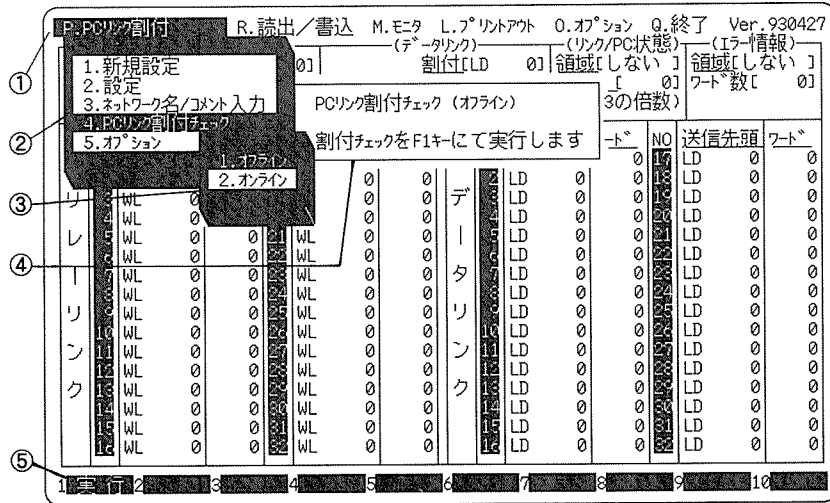
この章の内容

2-1 設定ソフトの操作方法	20
2-1-1 画面の基本構成	20
2-1-2 操作の方法	21
2-2 システム設定ソフトの構成	22
2-3 システム設定ソフトのインストール	24
2-3-1 フロッピーディスクから MEWNET-H システム設定ソフトを起動する場合	26
2-3-2 ハードディスクから MEWNET-H システム設定ソフトを起動する場合	30
2-3-3 ノートブックパソコンの RAM ドライブから MEWNET-H システム設定ソフトを起動する場合	32
2-3-4 ST メニューから MEWNET-H システム設定ソフトを起動する場合	36
2-3-5 日本語入力について	37
2-4 システム設定ソフトの起動と終了	38
2-4-1 MEWNET - H システム設定ソフトの起動方法	38
2-4-2 MEWNET - H システム設定ソフトの終了方法	41

2 - 1

設定ソフトの操作方法

2-1-1 画面の基本構成








(PCリンク領域の割り付け 基本設定画面の場合)

①	メニューバー	大きく分類した機能が、画面最上行に表示されています。表示されているメニューバーの機能項目を選択すると、次のプルダウンメニューが表示されます。
②	プルダウンメニュー	さらに細かい機能が表示されます。この機能を選択すると、それぞれの機能の画面やウィンドウが表示されます。さらに選択肢のウィンドウ (サブメニュー) が表示されることもあります。
③	サブメニュー	プルダウンメニューからさらに細かい選択をします。
④	ウィンドウ	各種機能の詳細設定やメッセージが表示される小画面です。
⑤	ファンクションメニュー	項目の選択や設定をするためのメニューです。キーボードのファンクションキー (f・1 ~ f・10) に対応しています。

2-1-2 操作の方法

■カーソルについて

画面上の「」の表示をカーソルといいます。



    キーを押すと移動します。




項目を選択しているときは、**1. 送信先頭の自動設定** のように項目の文字全体が反転表示され、文字が点滅します。画面モードが【カラー】の場合、カーソルは水色で表示されます。選択した項目を確定すると、その項目が反転して表示されるものもありますが、点滅はしません。

注意 画面モードを【白黒】でお使いの場合は、文字の点滅によってカーソルの位置を確認してください。画面モードについては「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。

■メニューバーの項目の選択



項目を選択しプルダウンメニューを表示させるには、次の2つの方法があります。

・  キーを押しながら、メニューバーの項目の先頭に表示されているアルファベットのキー（終了ならば  ）を押すと、各項目のプルダウンメニューが表示されます。



・  キーを押してカーソルを画面からメインメニューバーに戻し、  キーを使って選択したい項目にカーソルを移動させます。

■プルダウンメニュー・サブメニューの項目の選択






項目を選択するには次の2つの方法があります。

- ・カーソルを選択したい項目に移動させ、 キーを押します。
- ・選択したい項目の番号を入力し、 キーを押します。





■ファンクションメニューの項目の選択

画面最下行に、キーボードのファンクションキー  ~  に対応した機能の一覧が表示されます。選択したい機能のファンクションキーを押します。


■ウィンドウの項目の選択

    キーで、選択したい項目にカーソルを移動させ、 キーを押します。

■設定画面項目の移動

    キーで、選択したい項目にカーソルを移動させます。

■メニュー・項目の選択の中断

 キーを押すと操作を中断し、ひとつ前の動作に戻ります。

■コメントの入力について

コメントに漢字かな混じりの文章を入力するときは、別に日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）が必要です。

2 - 3

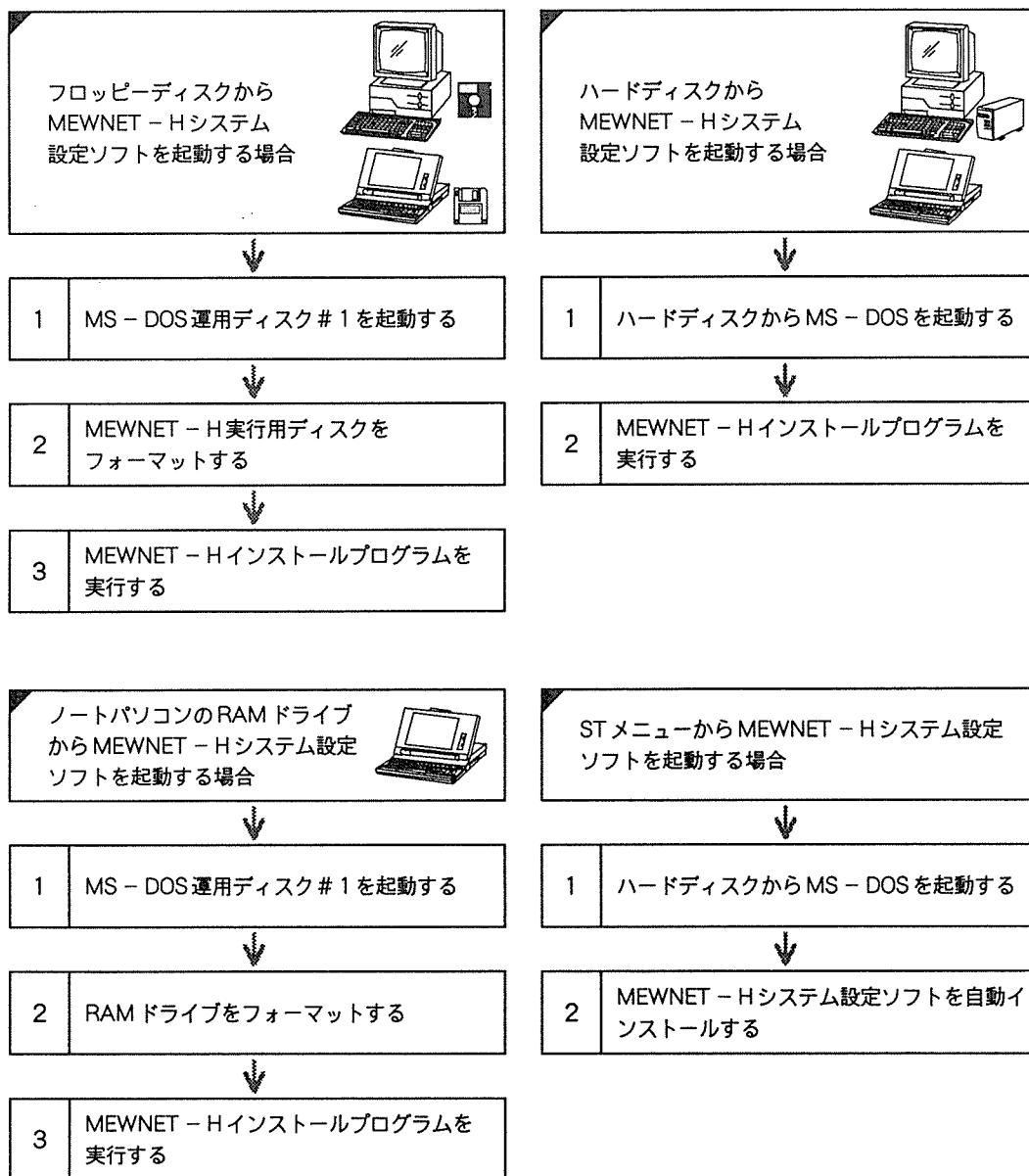
システム設定ソフトのインストール

パソコンでMEWNET-Hシステム設定ソフトを動作させるには日本電気(株)製の日本語MS-DOS (Ver.3.1以降) が必要です。

MEWNET-Hシステム設定ソフトを動作させるには、MS-DOSのシステムとMEWNET-Hのシステムの入ったMEWNET-H実行用ディスクを作成するか、または、ハードディスクへインストールする必要があります。ノートパソコンの場合は、内蔵のRAMドライブ (RAMディスク) へインストールすることもできます。

NPST-GR (Ver.2.3以上) をお持ちの方は、ST (サポートツール) メニューへインストールすることができます。MEWNET-Hシステム設定ソフトは、STメニューへ自動登録できます。

■インストールの手順



MEWNET-Hのシステムディスク内には、8つのファイルが登録されています。システム設定ソフトの実行に必要なファイルは「MEWNETH.EXE」だけです。

「INSTALL.BAT」はMEWNET-Hシステム設定ソフトを自動インストールするためのインストールプログラムで、他のファイルはすべてSTメニューに登録するためのファイルです。

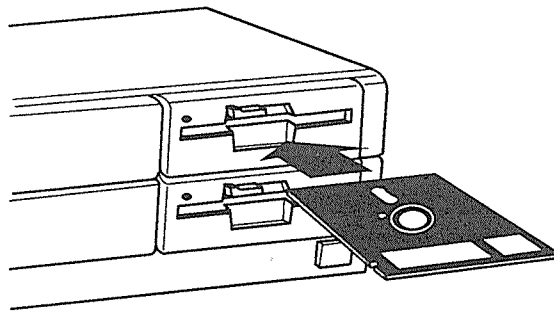
自動インストールすると、インストールプログラムは、ルートディレクトリの下に「MEWH」というディレクトリを作成し、その中に「MEWNETH.EXE」ファイルをコピーします。

インストールプログラムを使わないでインストールする場合は、COPYコマンドを使用し、「MEWNETH.EXE」をコピーしてください。

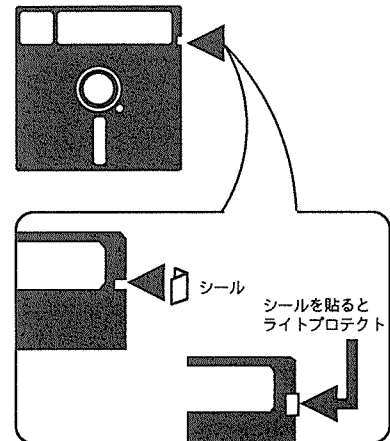
メモ フロッピーディスクの扱いかた

● 5インチフロッピーディスクの扱いかた

フロッピーディスクの入れかた

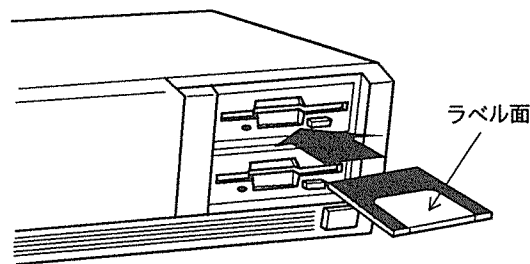


書き込み禁止（ライトプロテクト）のしかた

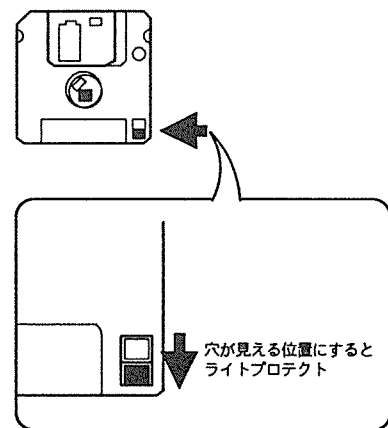


● 3.5インチフロッピーディスクの扱いかた

フロッピーディスクの入れかた



書き込み禁止（ライトプロテクト）のしかた



注意 フロッピーディスクを使うときは、次のことに注意してください。

- ・フロッピーディスクは磁気・熱・ほこりなどに弱いので注意してください。
- ・ディスクの中のシート部分にはさわらないでください。
- ・ほこりや湿気の多いところで使ったり、保存しないでください。
- ・日のあたる場所など、高温になる場所で保存しないでください。
- ・ラベルは内容を記入してからディスクに貼ってください。

2 フロッピーディスクをフォーマットします。

① A>の後に、

F O R M A T **B :**
 S と入力し、 キーを押します。

A>FORMAT B:/S

② 右記のメッセージが画面に表示されますので、MEWNET-H実行用ディスク（新しいディスク）を第2ドライブ（Bドライブ）に挿入し、 キーを押します。

新しいディスクをドライブ B: に挿入し
 どれかキーを押してください

（第1ドライブのMS-DOSの運用ディスク#1はそのままにしておいてください。）

③ 右記のようにディスクタイプを聞いてきますので、 **2** (2HD) を数字キーで入力し、 キーを押します。

ディスクのタイプは 1:2DD(640KB) 2:2HD(1MB) =

④ フォーマットが終了すると、さらに別のディスクをフォーマットするか聞いてきます。
 フォーマットを終了しますので、 **N** を入力し、 キーを押します。

別のディスクをフォーマットしますか(Y/N)

⑤ MS-DOSのコマンド入力画面に戻ります。

A>

3 インストールプログラムを実行します。

① 第1ドライブに入っているMS-DOS運用ディスク#1を取り出し、MEWNET-Hシステムディスクを挿入します。

（第2ドライブのMEWNET-H実行用ディスクはそのままにしておいてください。）

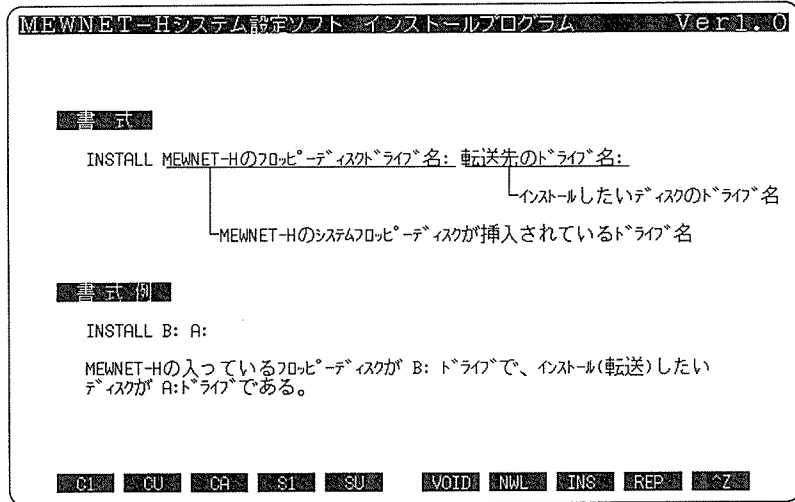
② A>の後に、**I N S T A L L**
 A : **B :** と入力し、 キーを押します。

A>INSTALL A: B:

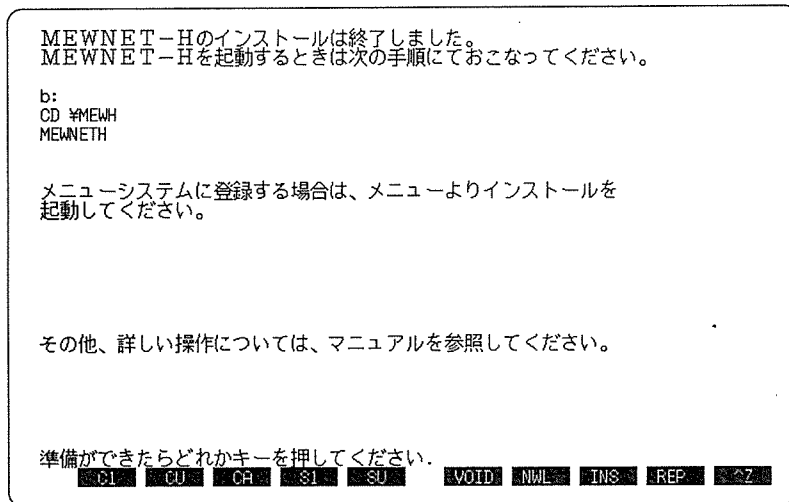
自動インストールが始まります。

メモ A>の後に、**I N S T A**
L L と入力し、**↵** キーを押
 すと、自動インストールのための
 ヘルプ画面が表示されます。

A>INSTALL



③ インストールが終了すると、終了メッセージが表示されます。



④ 第1・第2ドライブからフロッピーを取り出します。

以上で、MEWNET-Hシステム実行用ディスクが作成されました。
 次回から、このディスクを使って、MEWNET-Hシステム設定ソフトを起動してください。
 MEWNET-Hシステムディスクは大切に保管しておいてください。

注意 MEWNET-Hシステム設定ソフトを起動するとき

インストールプログラムは、自動インストールの際に、ルートディレクトリ「¥」の下にサブディレクトリ「MEWH」を作成し、その中に「MEWNETH.EXE」ファイルをコピーしています。MEWNET-H実行ディスクからMS-DOSを起動した後、ルートディレクトリからMEWNET-Hシステム設定ソフトを起動するためには、まず **C** **D** **M** **E** **W**
H **↵** とキー入力し、サブディレクトリ「MEWH」に移動してから **M** **E** **W** **N** **E**
T **H** **↵** とキー入力してください。

メモ どのディレクトリからでも **M** **E** **W** **N** **E** **T** **H** **↵** とキー入力することで、「MEWH」ディレクトリ内の「MEWNET.EXE」を起動させたい場合は、MS-DOSの環境変数「PATH」を設定してください。「PATH」についての説明は、MS-DOS付属のマニュアルをご参照ください。

2-3-2 ハードディスクから MEWNET-Hシステム設定ソフトを起動する場合

用意するもの： MEWNET-Hシステムディスク（今回お買い上げ頂いたMEWNET-Hシステム設定ソフト）
 プロテクトされているか確認してください。

1 ハードディスクから起動する

① パソコンの電源を入れます。

② MS-DOSのコマンド画面が表示されます。

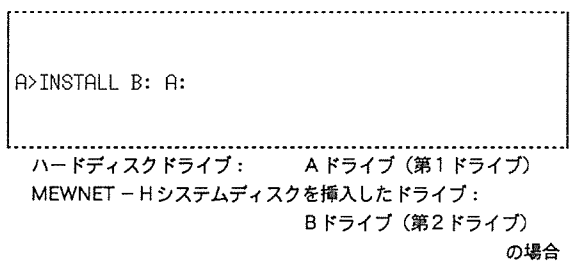


メモ ハードディスクから、メニューユーティリティやソフトウェアが自動的に起動するようになっているときは、MS-DOSのコマンド画面（「>」の状態）に戻ってください。

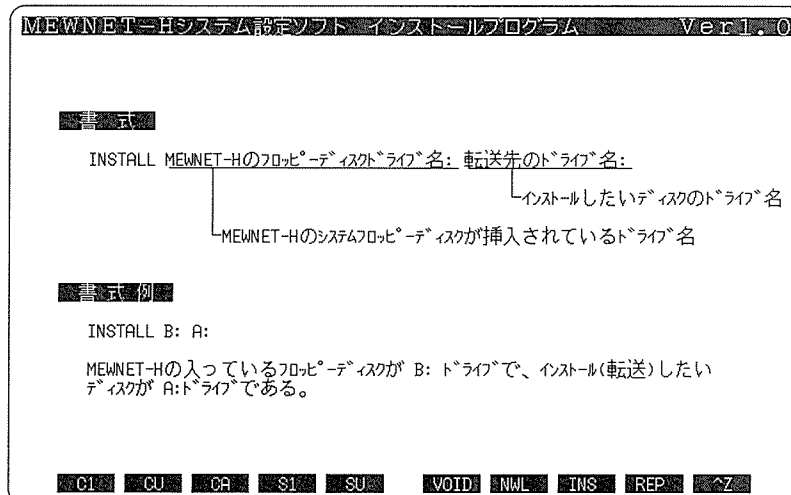
2 インストールプログラムの実行

① MEWNET-Hシステムディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。

② プロンプトの後に、**I N S T A**
L L (MEWNET-Hシステムディスクをいれたドライブ名) **:** (ハードディスクドライブ名) **:** を入力し、**↵** キーを押します。
 自動インストールが始まります。



メモ A>の後に、**I N S T A**
L L と入力し、**↵** キーを押すと、自動インストールのためのヘルプ画面が表示されます。



2-3-3

ノートブックパソコンのRAMドライブからMEWNET-Hシステム設定ソフトを起動する場合

注意 ・RAMドライブにファイルがあるときは、フロッピーなどにファイルをバックアップしてください。

・ノートブックパソコン付属のマニュアルを参照し、以下環境の設定を行ってください。

- *モード設定 FD優先
- *RAMドライブ 使用する
- *レジューム 使用しない

用意するもの：・MEWNET-Hシステムディスク（今回お買い上げ頂いたMEWNET-Hシステム設定ソフト）

プロテクトされているか確認してください。

・MS-DOS運用ディスク#1

プロテクトされているか確認してください。

1 MS-DOSを起動します。

① MS-DOSの運用ディスク#1をフロッピーディスクドライブに挿入します。

② 周辺機器、パソコン（本体）の順に電源を入れます。

メモ ・MS-DOSのバージョンによっては、メニュー画面が起動するものがあります。そのときは、**f・9** か **STOP** キーを押して、メニューを終了させ、MS-DOSのコマンド画面に戻ってください。

・日付、時刻の入力を聞いてきたとき
変更する必要がない場合は、**↵** キーを押します。

変更するときは、

(日付) 1993年6月3日 なら **9****3****-****6****-****3** と入力します。

* **-** はハイフンです。


(時刻) 13:20:00 なら **1****3****:****2****0****:****0****0** と入力します。

2 RAMドライブをフォーマットします。

① A>の後に、

F O R M A T B :
 / S と入力し、 キーを押します。

A>FORMAT B:/S

 **メモ** RAMディスクはBドライブです。

② 右記のメッセージが画面に表示されますので、そのまま キーを押します。

新しいディスクをドライブ B: に挿入し
 どれかキーを押してください

③ 下記のようにディスクタイプを聞いてきますので、 (2HD) を数字キーで入力し、 キーを押します。

ディスクのタイプは 1:2DD(640KB) 2:2HD(1MB) =

④ フォーマットが終了すると、さらに別のディスクをフォーマットするか聞いてきます。
 フォーマットを終了しますので、 を入力し、 キーを押します。

別のディスクをフォーマットしますか(Y/N)

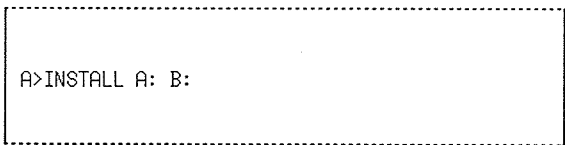
⑤ MS-DOSのコマンド入力画面に戻ります。

A>

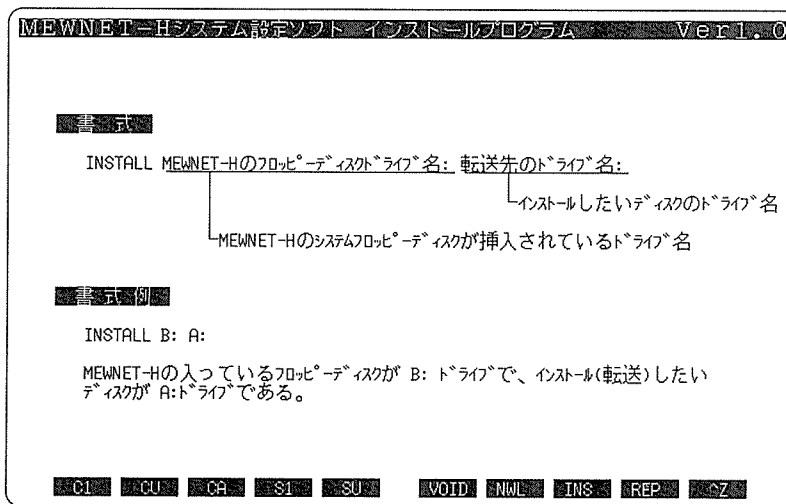
3 インストールプログラムを実行します。

① フロッピーディスクドライブに入っているMS-DOS運用ディスク#1を取り出し、MEWNET-Hシステムディスクを挿入します。

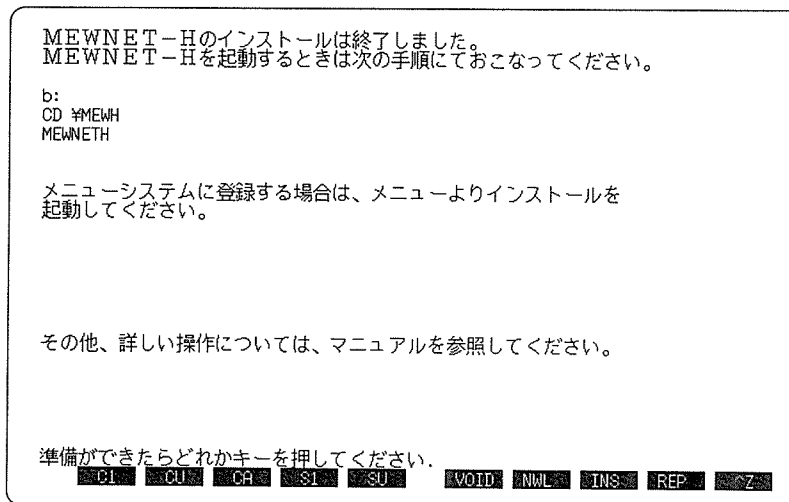
② A>の後に、**I N S T A L L**
A : B : と入力し、**↵**
 キーを押します。
 自動インストールが始まります。



メモ A>の後に、**I N S T A**
L L と入力し、**↵** キーを押
 すと、自動インストールのための
 ヘルプ画面が表示されます。



③ インストールが終了すると、終了メッセージが表示されます。



④ フロッピーディスクドライブからフロッピーを取り出します。

以上で、RAMドライブへMEWNET-Hシステム設定ソフトがインストールされました。
MEWNET-Hシステムディスクは大切に保管しておいてください。

注意 MEWNET-Hシステム設定ソフトを起動するとき

インストールプログラムは、自動インストールの際に、ルートディレクトリ「 \backslash 」の下にサブディレクトリ「MEWH」を作成し、その中に「MEWNETH.EXE」ファイルをコピーしています。ハードディスクからMS-DOSを起動した後、ルートディレクトリからMEWNET-Hシステム設定ソフトを起動するためには、まず `C D \ M E W H` とキー入力し、サブディレクトリ「MEWH」に移動してから `M E W N E T H` とキー入力してください。

メモ どのディレクトリからでも `M E W N E T H` とキー入力することで、「MEWH」ディレクトリ内の「MEWNET.EXE」を起動させたい場合は、MS-DOSの環境変数「PATH」を設定してください。「PATH」についての説明は、MS-DOS付属のマニュアルをご参照ください。

2-3-4

STメニューからMEWNET－Hシステム設定ソフトを起動する場合

参照 STメニューへのインストールの詳細は、「STメニュー 操作マニュアル」をご参照ください。

用意するもの：MEWNET－Hシステムディスク（今回お買い上げ頂いたMEWNET－Hシステム設定ソフト）

プロテクトされているか確認してください。

1 STメニューを起動する

詳細は、「STメニュー 操作マニュアル」の「2-2-1 サポートツールメニューの起動」をご参照ください。

2 MEWNET－Hシステム設定ソフトを自動インストールする

詳細は、「STメニュー 操作マニュアル」の「3-1 ソフトウェアの登録」をご参照ください。

メモ ・インストールする条件の設定のときには、以下の点に注意してください。

- *インストール元： MEWNET－Hシステムディスクのことです。
- *インストール先： STメニューのことです。
- *日本語辞書のインストール：MEWNET－Hシステム設定ソフトはコメント入力のと
きに、日本語入力できますので、「する」を選択します。

2-3-5 日本語入力について

コメント入力などで、漢字かな混じりの文章を入力するためには、日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）が必要です。日本語FEPのファイルをご用意頂き、CONFIG.SYSなどの環境設定を行ってください。

例 ATOK7を使うとき

・必要なファイル

ATOK7.DIC ATOK7A.SYS ATOK7B.SYS

（ラージ辞書、スモール辞書、ATOK7AS.SYS、ATOK7BS.SYS も使用できます）

・CONFIG.SYS設定例

FILES=15

BUFFERS=30

DEVICE=ATOK7A.SYS

DEVICE=ATOK7B.SYS

外字・辞書のディレクトリ、表示モードなどの設定値を変更して使用するときは、ATOK7A.SYSにパラメータを設定する必要があります。

詳しくは、「ATOK7」のマニュアルをお読みください。

2 - 4

システム設定ソフトの起動と終了

2-4-1

MEWNET - Hシステム設定ソフトの起動方法

① パソコンの電源を入れます。

- ・フロッピーディスクから起動するとき
システム設定ソフトの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れます。
- ・RAMドライブから起動するとき
パソコンの環境設定で、RAMドライブから起動できるように設定しておいてください。
- ・ハードディスクから起動するとき
MS - DOSのコマンド画面を表示してください。

② 「>」の後に

C **D** **:** **A** **:** **¥** **M** **E** **W** **H**

と入力し、**↵** キーを押します。

MEWHのディレクトリへ移ります。

```
A>CD A:¥MEWH
```

② 「>」の後に、

M **E** **W** **N** **E** **T** **H** と入力し、

↵ キーを押します。

```
A>MEWNETH
```

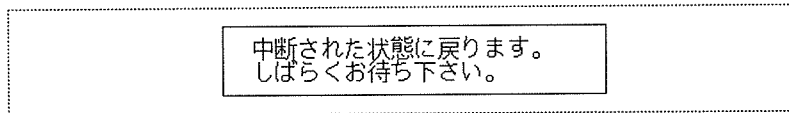
- メモ** どのディレクトリからでも **M** **E** **W** **N** **E** **T** **H** **↵** とキー入力することで、「MEWH」ディレクトリ内の「MEWNETH.EXE」を起動させたい場合は、MS - DOSの環境変数「PATH」を設定してください。「PATH」についての説明は、MS - DOS付属のマニュアルをご参照ください。

③ MEWNET - H システム設定ソフトが起動します。

領		域		領		域		領		域		領		域	
NO	送信先頭	ワート	NO	送信先頭	ワート	NO	送信先頭	ワート	NO	送信先頭	ワート	NO	送信先頭	ワート	NO
1	WL	0	17	WL	0	17	LD	0	17	LD	0	17	LD	0	17
2	WL	0	18	WL	0	18	LD	0	18	LD	0	18	LD	0	18
3	WL	0	19	WL	0	19	LD	0	19	LD	0	19	LD	0	19
4	WL	0	20	WL	0	20	LD	0	20	LD	0	20	LD	0	20
5	WL	0	21	WL	0	21	LD	0	21	LD	0	21	LD	0	21
6	WL	0	22	WL	0	22	LD	0	22	LD	0	22	LD	0	22
7	WL	0	23	WL	0	23	LD	0	23	LD	0	23	LD	0	23
8	WL	0	24	WL	0	24	LD	0	24	LD	0	24	LD	0	24
9	WL	0	25	WL	0	25	LD	0	25	LD	0	25	LD	0	25
10	WL	0	26	WL	0	26	LD	0	26	LD	0	26	LD	0	26
11	WL	0	27	WL	0	27	LD	0	27	LD	0	27	LD	0	27
12	WL	0	28	WL	0	28	LD	0	28	LD	0	28	LD	0	28
13	WL	0	29	WL	0	29	LD	0	29	LD	0	29	LD	0	29
14	WL	0	30	WL	0	30	LD	0	30	LD	0	30	LD	0	30
15	WL	0	31	WL	0	31	LD	0	31	LD	0	31	LD	0	31
16	WL	0	32	WL	0	32	LD	0	32	LD	0	32	LD	0	32

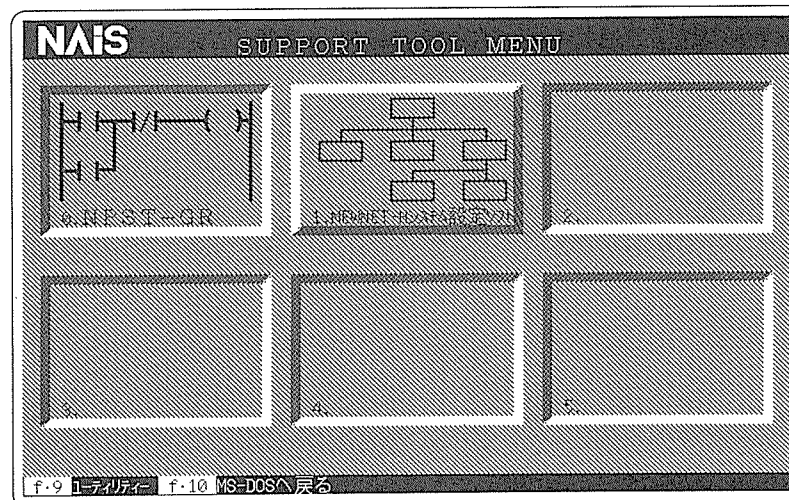
(システム設定ソフト 初期画面)

メニューバー《Q. 終了》から《2. 中断》を選択しシステム設定ソフトを中断した場合は、再起動すると以下のウィンドウが表示され、中断した時点で設定されていたモードの設定画面が読み出されます。



■ ST (サポートツール) メニューに登録しているときの起動方法

- ① STメニューを起動します。
- ② カーソルをシステム設定ソフトのアイコンに合わせて、**[F10]** キーを押すと、システム設定ソフトが起動します。



ST (サポートツール) メニューの画面例

MEWNET - H システム設定ソフトが起動できなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

● PRINT.EXE が常駐されていた場合

現在の環境ではこのソフトは動作しません。
MS-DOSのPRINTコマンドの常駐部を解放して下さい。
尚、プリントアウト中の場合は全てのプリントアウト終了後
解放操作を行って下さい。
解放操作はMS-DOSのバージョンによって異なります。
MS-DOSのマニュアルを参照して下さい。

PRINT.EXEは内部タイマを使っており、常駐したままシステム設定ソフトを動作させるとPCとの通信時にシステムが暴走します。

MS-DOSのマニュアルを参照し、PRINT.EXEの常駐を解放してください。

注意 PRINT.EXE以外にも内部タイマを使用しているソフト(メニューソフト)上でシステム設定ソフトを動作させるとPCとの通信時にシステムが暴走します。内部タイマを使用しているソフトは常駐部を解放しておいてください。

● メモリ容量が不足している場合

Abnormal program termination.

Graphics error: Not enough to load driver.

メモリを400キロバイト以上確保してから、再度起動してください。

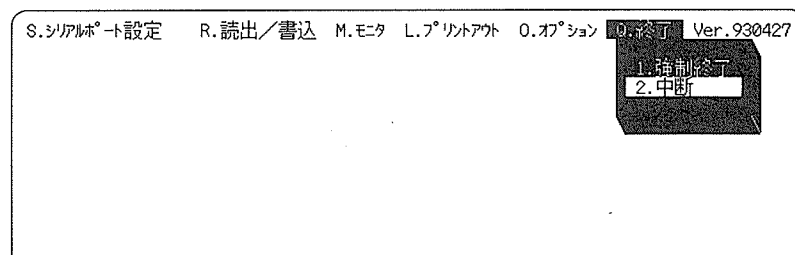
2-4-2

MEWNET - Hシステム設定ソフトの終了方法

メニューバーの《Q.終了》を選択すると、システム設定ソフトが終了します。
終了方法は強制終了と中断から選択できます。

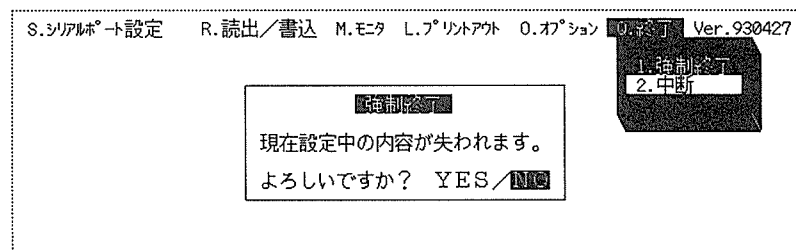
強制終了	設定した内容を保存しないで終了します。設定した内容を保存する必要があるときは、強制終了する前に必ずディスクに保存するか、ユニットに読み込ませるか、どちらかの作業を行なってください。 ディスクへの保存、ユニットへの書き込みについては、第6章「システム設定内容の読み出しと書き込み」をご参照ください。
中断	設定した内容を、その時点で一時的に保存します。次に起動したときは、中断した時点でのデータが画面に読み出され、中断した時のモードでの設定画面から操作できます。

- ① メインメニューから《Q.終了》を選択します。



- ② 〈1.強制終了〉または〈2.中断〉にカーソルを合わせて、 キーを押します。

注意 PCリンク領域の割り付け/シリアル伝送機能設定/コンピュータリンク設定を行った後、設定した内容を保存せずに強制終了しようとすると、以下の画面が表示されます。



設定内容を保存せずに終了する場合は、【YES】を選択します。

設定内容を保存する場合には、【NO】を選択し、保存作業を行ってください。

設定を行わずに終了する場合は、[強制終了] ウィンドウは表示されません。
例えば、モニタ機能だけを使用した場合は表示されません。

中断処理中にエラーが発生した場合は、中断処理を中止し、以下のメッセージを表示します。

状態保存ファイルが作成できませんでした。
中断できません。

再度、中断操作を行ってください。それでも中断できない場合は、ディスクに設定内容を書き込んでから、強制終了してください。

- ③ MS-DOSのコマンド画面に戻ります。

A>

- 注意** STメニューからMEWNET-Hシステム設定ソフトを起動していた場合は、STメニューのメインメニュー画面に戻ります。

- ④ フロッピーディスクで操作しているときは、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。
- ⑤ パソコンの電源を切ります。

第 3 章

3

PC リンク領域の割り付け

この章の内容

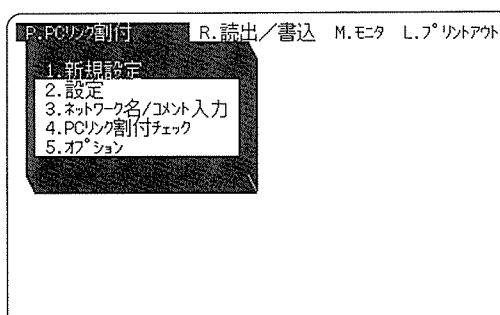
3-1 PC リンク領域割り付け概要	44
3-2 基本設定画面の表示	45
3-2-1 新規設定	45
3-2-2 読み出して変更するとき	46
3-3 リンク領域の設定	48
3-3-1 リンク領域の確保	48
3-3-2 PCリンク領域の動作モードの設定	49
3-3-3 各局の送信領域の割り付け	50
3-4 特殊機能の設定	52
3-4-1 PCリンク動作状態フラグの出力先設定	52
3-4-2 リンクエラー情報の出力先設定	53
3-5 基本設定の確定	54
3-5-1 送信ワード数・送信先頭アドレスの両方を割り付けたとき	54
3-5-2 送信ワード数だけを割り付けたとき	55
3-5-3 送信先頭アドレスだけを割り付けたとき	57
3-5-4 エラーがあったとき	59
3-6 設定の初期化と均等配分	60
3-6-1 PCリンク領域割り付けの初期化	60
3-6-2 ワード数の均等配分	60
3-7 設定内容のチェック	62
3-7-1 PCリンク領域の割り付け内容のチェック (オフライン)	62
3-7-2 PCリンク領域の割り付け内容のチェック (オンライン)	63
3-8 ネットワーク名とネットワークコメント	68
3-9 個別設定	70
3-9-1 ユニット No.指定画面 (初期画面) の表示	70
3-9-2 ユニット No.の指定	72
3-9-3 個別設定	73
3-9-4 個別設定内容の初期化と個別切り替え	75

PC リンク領域割り付け概要

PC リンク機能のシステム設定のうち、PC リンク領域の割り付け（基本設定・個別設定）や、その設定内容のチェックなどを行います。

■プルダウンメニューの内容

メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択すると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



〈1. 新規設定〉

PC リンク領域の割り付けを新規に行う場合に選択します。

初期化された基本設定画面が表示されます。

基本設定の概念については、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」をご参照ください。

〈2. 設定〉

ディスクやリンクユニットからPC リンク領域の割り付け内容を読み出した場合に選択します。

設定内容を読み出された基本設定画面が表示されます。

設定中に別のプルダウンメニューやメニューバーへ移動した場合はこの項目を選択してください。設定していた基本設定画面が表示されます。

〈3. ネットワーク名/コメント入力〉

PC リンク領域の割り付け内容にネットワーク名を付けます。

PC リンク領域の割り付け内容をリンクユニットに書き込む場合は、ネットワーク名を必ず入力してください。。

〈4. PCリンク割付チェック〉

オフライン・オンラインでのPC リンク領域の割り付け内容をチェックします。

パソコン上で設定した内容をチェックする場合は、オフラインでチェックします。リンクユニットにPC リンク領域の割り付け内容を書き込む前には、オフラインチェックする必要があります。

リンクユニットに書き込まれたPC リンク領域の割り付け内容をチェックする場合は、オンラインでチェックします。

〈5. オフショーン〉

縮退リンクの設定・基本設定内容の一部変更などの個別設定する場合に選択します。

個別設定を行う場合は、〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉であらかじめ基本設定を行う必要があります。

個別設定の概念については、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」をご参照ください。

3 - 2

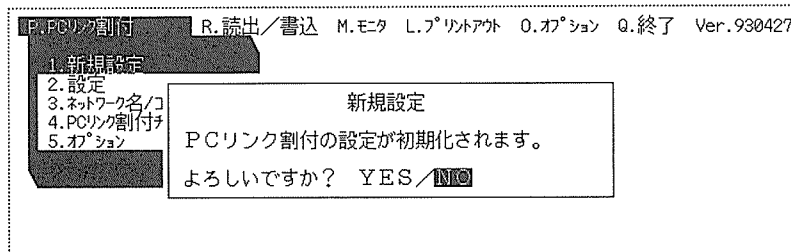
基本設定画面の表示

基本設定には、新規に設定をする方法と、リンクユニットやディスクから設定内容を読み出して変更する方法があります。

3-2-1

新規設定

- ① メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
- ② プルダウンメニューの〈1. 新規設定〉にカーソルを合わせ、キーを押します。
画面上のPCリンク領域の割り付け内容の初期化を確認するウィンドウが表示されます。



- ③ 初期化する場合は、【YES】にカーソルを合わせ、キーを押します。
初期化された基本設定画面が表示されます。

注意 ・ PCリンク領域の割り付け設定中に初期化を行うと、設定中のデータはすべて失われてしまいます（個別設定がされているときは、個別設定も初期化されてしまいます）。中止する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、キーを押します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・ システム設定ソフトを強制終了し次回に起動する場合は、あらかじめ初期化が自動的に行われますので、〈2. 設定〉を選択しても新規設定画面が表示されます。

3-2-2 読み出して変更するとき

- ① リンクユニットまたはディスクから設定内容を読み出します。読み出す方法については、「6-2-1 PC リンク割付設定モードでのユニット読み出し」をご参照ください。
- ② メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
- ③ プルダウンメニューの《2. 設定》にカーソルを合わせ、 キーを押します。
読み出した基本設定画面が表示されます。

注意 リンクユニットから読み出した内容に異常があった場合は編集禁止モードになり、読み出した内容の確認はできますが、変更はできません。
変更しようとする、以下のようにエラーメッセージが表示されます。

編集禁止モードではできません。

異常が発生したデータをディスクにセーブすることはできません。
ディスクへのデータの書き込みについては、「6-7 ディスクへの設定内容の書き込み」をご参照ください。

基本設定画面の構成

The screenshot shows the 'P. PC Link Allocation' screen with the following fields and callouts:

- (*1)** Points to the 'リレーリンク領域' (Relay Link Area) section, including '割付[LD] 0', '全ワード数[] 0', and 'PCリンク停止時クリア[]'.
- (*2)** Points to the 'データリンク領域' (Data Link Area) section, including '割付[LD] 0', '全ワード数[] 0', and 'PCリンク停止時クリア[]'.
- (*3)** Points to the '送信先頭' (Transmit Start) column in the table.
- (*4)** Points to the 'ワード数' (Word Count) column in the table.
- (*5)** Points to the '動作モード' (Operation Mode) column in the table.
- (*6)** Points to the 'エラー情報' (Error Information) section, including '領域[]' and 'ワード数[]'.
- (*7)** Points to the 'エラー情報' (Error Information) section, including '領域[]' and 'ワード数[]'.

The table below is a simplified representation of the data shown in the screenshot:

NO	送信先頭	ワード数	動作モード
1	WL	0	0
2	WL	0	0
3	WL	0	0
4	WL	0	0
5	WL	0	0
6	WL	0	0
7	WL	0	0
8	WL	0	0
9	WL	0	0
10	WL	0	0
11	WL	0	0
12	WL	0	0
13	WL	0	0
14	WL	0	0
15	WL	0	0
16	WL	0	0

- (*1) リレーリンク領域を確保する部分です。
- (*2) データリンク領域を確保する部分です。
- (*3) 各局で使用する先頭アドレスを割り付ける部分です。
- (*4) 各局で使用するワード数を割り付ける部分です。
- (*5) リンク機能の動作モードを選択する部分です。
- (*6) PCリンク動作状態報知機能の格納エリアを設定する部分です。
- (*7) リンクエラー情報報知機能の格納エリアを設定する部分です。

それぞれの概念については、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」をご参照ください。

●操作上の注意

- ・入力した数値を訂正する場合は、「0」を何度か入力し、数値を「0」にしてから再度入力するか、いったん別の項目にカーソルを移動させ、訂正する項目へ戻ってください。上書きはできません。
- ・表示されるファンクションメニューの内容は、カーソルの位置で異なりますが、**f・1** [割付確] は常に表示されています。
このファンクションキーは、基本設定（リンク領域の設定・特殊機能の設定）がすべて終わった時点で使用します。詳細は、「3-5 基本設定の確定」をご参照下さい。
- ・基本設定画面での設定を中断し、別のメニューへ移る場合は、**ESC** キーを押してください。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。中断しても設定内容は保持されていますので、《P. PCリンク割付》から〈2. 設定〉を選択すると、設定していた画面が表示されます。

3 - 3

リンク領域の設定

PCリンク機能を使用する場合には、リンク領域の設定が必要です。

リンク領域は、リレーリンク・データリンク領域の2種類があり、ともに同じ操作で基本設定画面で設定します。

3-3-1

リンク領域の確保

P. PCリンク割付 (リレーリンク)	R. 読出/書込	M. モータ (データリンク)	L. プリントアウト	O. オプション (リンク/PC状態)	Q. 終了 (エラー情報)	Ver. 930427
割付[WL 01]	割付[LD 01]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	
全ワード数[01]	全ワード数[01]	ワード数[01]	ワード数[01]	ワード数[01]	ワード数[01]	
PCリンク停止時クリア[しない]	PCリンク停止時クリア[しない]	(3の倍数)				

- ・[割付] には、それぞれのリンク領域として使用するメモリの種類とその先頭アドレスを入力します。
- ・[全ワード数] には、そのリンク領域として使用するメモリの大きさを入力します。

■ リンク領域として使用するメモリとその先頭アドレスの設定

① カーソルを [割付] の項目に合わせます。

② **f・3** ~ **f・8** キーを使ってリンク領域に使用するメモリの種類を設定します。

f・3 [しない] を押すと、リンク領域は確保されません。カーソルを別項目へ移動すると、各ユニットの領域設定の項目の [送信先頭] に「----」が、[ワード] に「0」が自動的に設定されます。

f・4 ~ **f・8** キーを押すと、対応するメモリの種類が設定されます。各ファンクションキーに対応するメモリの種類は以下の通りです。

f・4 ... WL

f・5 ... WR

f・6 ... LD

f・7 ... DT

f・8 ... FL

③ **f・4** ~ **f・8** を使ってメモリの種類を設定した場合は、リンク領域として使用する先頭アドレスを数字キーで入力します。

初期設定では、「0」になっています。

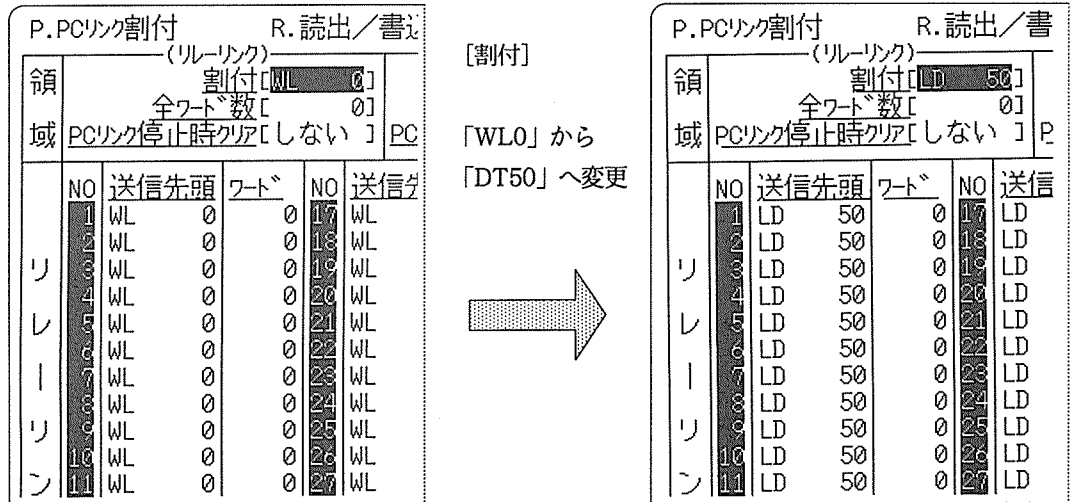
新規に設定している場合

決定後自動的に各ユニットの領域設定の項目の [送信先頭] に設定した先頭アドレスが設定されます。

読み出して変更する場合

決定した送信先頭アドレスにしたがって、自動的に各ユニットの「送信先頭」が再割り付けされます。

例



■メモリサイズの設定

- ① カーソルを [全ワード数] の項目に合わせます。
 - ② リンク領域として使用するメモリの大きさをワード単位で入力します。
初期設定では、「0」になっています。「0」に設定すると、リンク領域は確保されません。
- 注意** 新規設定で [割付] を「しない」に設定した状態で、[全ワード数] を「0」以外に設定すると [割付] が初期設定の「WL 0」か「LD 0」に設定されます。

3-3-2 PCリンク領域の動作モードの設定

領域	(リレーリンク) 割付 [WL 0]	(データリンク) 割付 [LD 0]	(リンク/PC状態) 領域 [しない]	(エラー情報) 領域 [しない]
域	全ワード数 [0]	全ワード数 [0]	ワード数 [0]	ワード数 [0]
	PCリンク停止時クリア [しない]	PCリンク停止時クリア [しない]	(3の倍数)	

- ・ [PCリンク停止時クリア] には、PCリンク停止時にリンクデータをクリアする/しないを設定します。
- ① カーソルを [PCリンク停止時クリア] に合わせます。
 - ② **f.3** [しない] または **f.4** [する] を選択します。
- f.3** [しない] を押すと、PCリンク停止時にリンクデータをクリアしないように設定されます。
f.4 [する] を押すと、PCリンク停止時にリンクデータをクリアするように設定されます。
 初期設定は、[しない] に設定されています。

3-3-3 各局の送信領域の割り付け

各局ごとの送信領域を「送信先頭」と「送信ワード数」を使って割り付けます。
 リレーリンク領域・データリンク領域それぞれについて設定します。

リレーリンク領域・データリンク領域ともに、同じ操作で領域の割り付けを行います。

	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード
リ レ ー リ ン ク	未使用	0	10	未使用	0	10	未使用	0	10	未使用	0	10
	未使用	10	10	未使用	10	10	未使用	10	10	未使用	10	10
	未使用	20	10	未使用	20	10	未使用	20	10	未使用	20	10
	未使用	30	10	未使用	30	10	未使用	30	10	未使用	30	10
	未使用	40	10	未使用	40	10	未使用	40	10	未使用	40	10
	未使用	50	10	未使用	50	10	未使用	50	10	未使用	50	10
	未使用	60	10	未使用	60	10	未使用	60	10	未使用	60	10
	未使用	70	10	未使用	70	10	未使用	70	10	未使用	70	10
	未使用	80	10	未使用	80	10	未使用	80	10	未使用	80	10
	未使用	90	10	未使用	90	10	未使用	90	10	未使用	90	10
デ ー タ リ ン ク	未使用	0	10	未使用	0	10	未使用	0	10	未使用	0	10
	未使用	10	10	未使用	10	10	未使用	10	10	未使用	10	10
	未使用	20	10	未使用	20	10	未使用	20	10	未使用	20	10
	未使用	30	10	未使用	30	10	未使用	30	10	未使用	30	10
	未使用	40	10	未使用	40	10	未使用	40	10	未使用	40	10
	未使用	50	10	未使用	50	10	未使用	50	10	未使用	50	10
	未使用	60	10	未使用	60	10	未使用	60	10	未使用	60	10
	未使用	70	10	未使用	70	10	未使用	70	10	未使用	70	10
	未使用	80	10	未使用	80	10	未使用	80	10	未使用	80	10
	未使用	90	10	未使用	90	10	未使用	90	10	未使用	90	10

- ・ [送信先頭] には、各局で使用する送信領域の先頭アドレスを入力します。
- ・ [ワード] には、その領域の大きさをワード単位で入力します。

●ファンクションキーの内容

[送信先頭] または [ワード] にカーソルがある状態では、以下のファンクションキーが使用できます。

- f・4** [未使用]
PCリンクを行うユニットとして使用しません。未使用を選択した局のデータは受信されません。接続されていないユニットNo.は必ず未使用に設定してください。
- f・5** [次画面]
ユニットNo.33～ユニットNo.64の送信先頭とワード数に画面表示が変わります。
ROLL UP も同じ機能をもっています。
- f・6** [前画面]
ユニットNo.1～ユニットNo.32の送信先頭とワード数に画面表示が変わります。
ROLL DOWN も同じ機能をもっています。
- f・9** [メニュー]
PCリンク領域の割り付け内容の初期化や、送信ワード数の均等配分ができます。

■各局の送信領域を割り付ける

各ユニットの送信先頭とワード数を設定する方法には、次の3つの方法があります。

1. 送信ワード数・送信先頭アドレスの両方を設定する
送信ワード数と送信領域の先頭アドレスをPCリンク機能を使用する局に対してキーボードから入力し、設定します。
割り付けを確定するとき **【3. 現在の設定を確定】** を選択してください。

2. 送信ワード数だけを設定する

送信ワード数だけをキーボードから入力します。

割り付けを確定するとき【1. 送信先頭の自動設定】を選択することにより、設定したワード数に応じて送信先頭アドレスを局番の小さい順から自動的に設定し、割り付けを確定します。

ワード数の設定には、均等配分機能を使用し、ワード数を均等に割り付けることもできます。詳細は「3-6-2 ワード数の均等配分」をご参照ください。

3. 送信先頭アドレスだけを設定する

送信先頭アドレスだけをキーボードから入力します。

割り付けを確定するとき【2. ワード数の自動設定】を選択することにより、設定した送信先頭アドレスに応じてワード数を自動的に設定し、割り付けを確定します。

●設定上の注意

- ・送信ワード数を「0」に設定すると、その局のステータスだけを送信します。
- ・「送信先頭」では、割り付け領域の種類は変更できません。
- ・各局の送信先頭アドレスの設定を同じ値にするとエラーになります。
ただし、送信ワード数が「0」に設定されている場合は、エラーにはなりません。
- ・送信先頭アドレスだけを入力し、ワード数の自動設定を行う場合は、各局の送信先頭を昇順で入力してください。
- ・送信先頭アドレスだけを入力し、ワード数の自動設定を行う場合は、[全ワード数]を超えないように設定を行ってください。
- ・接続されていないユニットNo.は必ず[未使用]に設定してください。
初期設定ではユニットNo.33～ユニットNo.64は初期設定が[未使用]になっています。
- ・**f.3** キーで未使用を選択すると、その局のリンクリレー・リンクデータの両方の設定が未使用に設定されます。
- ・[未使用]をキャンセルする場合は、[ワード] または [送信先頭] の項目に何か数値を入力してください。
- ・PCリンク領域の割り付けの確定は、基本設定画面の設定がすべて終わった後で行ってください。
確定方法については、「3-5 基本設定の確定」をご参照ください。

3 - 4

特殊機能の設定

PCリンクの特殊機能（PCリンク動作状態報知機能とリンクエラー情報報知機能）を使用する際のPCリンク動作状態フラグの出力先と、リンクエラー情報の出力先を設定します。

初期設定では、どちらも「出力しない」に設定されていますので、特殊機能を使用しない場合は、設定の必要はありません。

参照 PCリンク動作状態報知機能とリンクエラー情報報知機能についての説明は、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」をご参照ください。

3-4-1 PCリンク動作状態フラグの出力先設定

PCリンク動作状態の出力先を指定します。初期設定は「しない」になっており、PCリンク状態フラグを出力しません。

	(リールリンク)	(データリンク)	(リンク/PC状態)	(I/F情報)
領域	割付[EWL] 01 全ワード数[] 01	割付[LD] 01 全ワード数[] 01	領域[しない] 01 ワード数[] 01 (3の倍数)	領域[しない] 01 ワード数[] 01

- ・[領域] では、PCリンク動作状態フラグを出力するメモリの種類とその先頭アドレスを指定します。
- ・[ワード数] では、そのメモリの大きさをワード単位で指定します。

① カーソルを [領域] の項目に合わせます。

② **f.3** ~ **f.8** を使ってメモリの種類を設定します。

f.3 [しない] を押すと、メモリの割り付けは行われず、[ワード数] は「0」に設定されます。

f.4 ~ **f.8** キーを押すと、対応するメモリの種類が設定されます。各ファンクションキーに対応するメモリの種類は以下の通りです。

f.4	… WL
f.5	… WR
f.6	… LD
f.7	… DT
f.8	… FL

③ **f.4** ~ **f.8** を使ってメモリを設定した場合は、先頭アドレスを入力します。
数字キーを使って入力してください。初期設定では、「0」になっています。

④ カーソルを [ワード数] に合わせます。

⑤ ワード数を3の倍数（3・6・9・12）で入力します。

どのワード数を選ぶかは、PCリンクに使用するユニットNo.により決定してください。

詳細は、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」の「PCリンク動作状態フラグ一覧表」をご参照ください。

[領域] で出力先のメモリを指定した場合には、最大可能設定ワード数の「12」が初期設定として設定されています。

3-4-2 リンクエラー情報の出力先設定

リンクユニットのエラー情報の出力先を指定します。初期設定は「しない」になっており、リンクエラー情報を格納しません。

—(リールリンク)—		—(データリンク)—		(リンク/PC状態)	(エラー情報)
領	割付[WL 0]	割付[LD 0]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]
域	全ワード数[0]	全ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]
	PCリンク停止時アドレス[しない]	PCリンク停止時アドレス[しない]	(3の倍数)		

- ・[領域] には、リンクユニットエラー情報を出力するメモリの種類とその先頭アドレスを指定します。
- ・[ワード数] は、領域を指定すると自動的に10ワードに設定されます。

① カーソルを [領域] の項目に合わせます。

② **f・3** ~ **f・8** を使って割り付け領域を設定します。

f・3 [しない] を押すと、メモリの割り付けは行われず、[ワード数] は「0」に設定されます。

f・4 ~ **f・8** キーを押すと、対応するメモリの種類が設定されます。各ファンクションキーに対応するメモリの種類は以下の通りです。

f・4 ... WL

f・5 ... WR

f・6 ... LD

f・7 ... DT

f・8 ... FL

③ **f・4** ~ **f・8** を使ってメモリを設定した場合は、先頭アドレスを数字キーを使って入力します。初期設定では、「0」になっています。

[領域] を設定すると自動的にワード数が10ワードに設定されます。

3 - 5

基本設定の確定

基本設定（リンク領域の設定・特殊機能の設定）が終われば、その設定内容を確定します。

f・1 【割付確】 を押すと、【PCリンク割付の確定】 ウィンドウが表示されます。

「3-3-3 各局の送信領域の割り付け」で行った各ユニットの送信先頭と送信ワード数の設定方法の違いにより、どの項目を選択するかが異なります。

3-5-1

送信ワード数・送信先頭アドレスの両方を割り付けたとき

送信ワード数と送信先頭アドレスの両方を手動で割り付けたときは、その設定を確定する必要があります。

① 基本設定画面で、必要な設定を完了しておきます。

未使用のユニットは「未使用」が設定されているか、確認してください。

P. PCリンク割付 (リレーリンク)		R. 読出/書込		M. モニタ		L. プリントアウト		O. オプション		Q. 終了		
Ver. 930427		(イーサ情報)		(データリンク)		(リンク/PC状態)		(イーサ情報)				
領域	割付[ワード数]	0]	割付[LD]	0]	領域[しない]	領域[しない]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[
領域	PCリンク停止時[しない]	PCリンク停止時[しない]	(3の倍数)									
	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード
リ レ ー リ ン ク	WL	0	10	未使用	0	LD	0	10	未使用	0	未使用	0
	WL	10	10	未使用	0	LD	10	10	未使用	0	未使用	0
	WL	20	10	未使用	0	LD	20	10	未使用	0	未使用	0
	WL	30	10	未使用	0	LD	30	10	未使用	0	未使用	0
	WL	40	10	未使用	0	LD	40	10	未使用	0	未使用	0
	WL	50	10	未使用	0	LD	50	10	未使用	0	未使用	0
	WL	60	10	未使用	0	LD	60	10	未使用	0	未使用	0
	WL	70	10	未使用	0	LD	70	10	未使用	0	未使用	0
	WL	80	10	未使用	0	LD	80	10	未使用	0	未使用	0
	WL	90	10	未使用	0	LD	90	10	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0

② **f・1** 【割付確】 を選択します。

【PCリンク割付の確定】 ウィンドウが表示されます。

③ 【3. 現在の設定を確定】 にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

第3章 PC リンク領域の割り付け

P. PCリンク割付 (ループリンク)		R. 読出/書込 (データリンク)		M. モニタ		L. プリントアウト		O. オフショ		Q. 終了 (リンク/PC状態)		Ver. 930427 (エラー情報)	
割付[WL] 0		割付[LD] 0		領域[しない]		領域[しない]		領域[しない]		領域[しない]		領域[しない]	
全ワード数[100]		全ワード数[100]		ワード数[0]		ワード数[0]		ワード数[0]		ワード数[0]		ワード数[0]	
PCリンク停止時クア[しない]		PCリンク停止時クア[しない]		(3の倍数)									
リ レ ー リ ン ク	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	
	1	WL	0	10	未使用	0	1	LD	0	10	未使用	0	0
	2	WL	0	10	未使用	0	2	LD	0	10	未使用	0	0
	3	WL	0	10	未使用	0	3	LD	0	10	未使用	0	0
	4	WL	0	10	未使用	0	4	LD	0	10	未使用	0	0
	5	WL	0	10	未使用	0	5	LD	0	10	未使用	0	0
	6	WL	0	10	未使用	0	6	LD	0	10	未使用	0	0
	7	WL	0	10	未使用	0	7	LD	0	10	未使用	0	0
	8	WL	0	10	未使用	0	8	LD	0	10	未使用	0	0
	9	WL	0	10	未使用	0	9	LD	0	10	未使用	0	0
10	未使用	0	0	0	未使用	0	10	未使用	0	0	0	0	
11	未使用	0	0	0	未使用	0	11	未使用	0	0	0	0	
12	未使用	0	0	0	未使用	0	12	未使用	0	0	0	0	
13	未使用	0	0	0	未使用	0	13	未使用	0	0	0	0	
14	未使用	0	0	0	未使用	0	14	未使用	0	0	0	0	
15	未使用	0	0	0	未使用	0	15	未使用	0	0	0	0	
16	未使用	0	0	0	未使用	0	16	未使用	0	0	0	0	

② **f・1** [割付確] を押します。

[PCリンク割付の確定] ウィンドウが表示されます。

③ **【1. 送信先頭の自動設定】**にカーソルを合わせ、**[↵]** キーを押します。

システム設定ソフトは、送信先頭アドレスを自動設定できるようにワード数が設定されているかを確認し、さらに設定内容全体に領域の重複などのエラーがないかを確認します。エラーがなければ、設定した各局のリレーリンク、データリンクのワード数から、「送信先頭」を局番の小さい順に設定し、チェック終了メッセージを画面下に表示します。

リ レ ー リ ン ク	WL	50	10	未使用	0	デ ー タ リ ン ク	LD	50	10	未使用	0
	WL	60	10	未使用	0		LD	60	10	未使用	0
	WL	70	10	未使用	0		LD	70	10	未使用	0
	WL	80	10	未使用	0		LD	80	10	未使用	0
	WL	90	10	未使用	0		LD	90	10	未使用	0
	未使用	0	0	未使用	0		未使用	0	0	未使用	0
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0		
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0		
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0		
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0		
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0		

PCリンク割付のチェックが終了しました 何かキーを押して下さい。

・設定しているワード数の合計が、[全ワード数] を超えてしまう場合は、送信先頭を割り付けることができませんので、以下のエラーメッセージが表示されます。

リ レ ー リ ン ク	WL	0	10	未使用	0	デ ー タ リ ン ク	LD	0	10	未使用	0
	WL	0	10	未使用	0		LD	0	10	未使用	0
	WL	0	10	未使用	0		LD	0	10	未使用	0
	WL	0	10	未使用	0		LD	0	10	未使用	0
<p>各局のループリンク総ワード数が、ループリンク領域の全ワード数を超えています。 各局のデータリンク総ワード数が、データリンク領域の全ワード数を超えています。 何かキーを押して下さい。</p>											
未使用	0	0	未使用	0	未使用	0	0	未使用	0	未使用	0

何かキーを押し、設定しなおしてください。

・全体チェックでエラーが見つかった場合は、エラー表示ウィンドウが画面に表示されます。送信先頭は設定されません。

エラーの詳細については、「3-5-4 エラーがあったとき」を参照してエラーを修正してください。

第3章 PCリンク領域の割り付け

P. PCリンク割付		R. 読出/書込		M. モニタ		L. プリントアウト		O. オプション		Q. 終了		Ver. 930427	
(ルーリンク)		(データリンク)		(リンク/PC状態)		(エラー情報)							
割付[WL 0]	割付[LD 0]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]	領域[しない]
全ワード数[100]	全ワード数[100]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]
PCリンク停止時クア[しない]	PCリンク停止時クア[しない]	(3の倍数)											

NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード
WL 0	0	10	未使用	0	0	LD 0	0	10	未使用	0	0
WL 10	10	10	未使用	0	0	LD 10	10	10	未使用	0	0
WL 20	20	10	未使用	0	0	LD 20	20	10	未使用	0	0
WL 30	30	10	未使用	0	0	LD 30	30	10	未使用	0	0
WL 40	40	10	未使用	0	0	LD 40	40	10	未使用	0	0
WL 50	50	10	未使用	0	0	LD 50	50	10	未使用	0	0
WL 60	60	10	未使用	0	0	LD 60	60	10	未使用	0	0
WL 70	70	10	未使用	0	0	LD 70	70	10	未使用	0	0
WL 80	80	10	未使用	0	0	LD 80	80	10	未使用	0	0
WL 90	90	10	未使用	0	0	LD 90	90	10	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0
未使用	未使用	0	未使用	0	0	未使用	未使用	0	未使用	0	0

PCリンク割付のチェックが終了しました 何かキーを押して下さい。

- 送信先頭アドレスが昇順に並んでいない場合はワード数を割り付けることができません。以下のエラーメッセージが表示されます。

WL 80	0	未使用	0	LD 80	0	未使用	0
WL 70	0	未使用	0	LD 70	0	未使用	0

ルーリンクの送信先頭を昇順に入力して下さい。
データリンクの送信先頭を昇順に入力して下さい。
何かキーを押して下さい。

未使用	0	未使用	0	未使用	0	未使用	0
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

1: 送信先頭 2: ワード数 3: 未使用 4: 未使用 5: 数画面 6: 前画面 7: 未使用 8: 未使用 9: エラー 10: 未使用

何かキーを押し、設定しなおしてください。

- 送信先頭アドレスがリンク領域を超えている場合はワード数を割り付けることができません。以下のエラーメッセージが表示されます。

WL 100	0	未使用	0	LD 100	0	未使用	0
WL 120	0	未使用	0	LD 120	0	未使用	0

ルーリンクの送信先頭にルーリンク領域を超えている局があります。
データリンクの送信先頭にデータリンク領域を超えている局があります。
何かキーを押して下さい。

未使用	0	未使用	0	未使用	0	未使用	0
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

1: 送信先頭 2: ワード数 3: 未使用 4: 未使用 5: 数画面 6: 前画面 7: 未使用 8: 未使用 9: エラー 10: 未使用

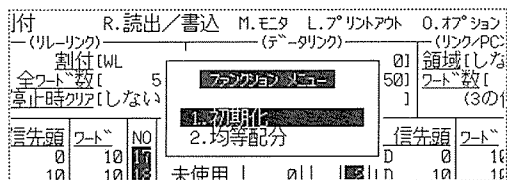
何かキーを押し、設定しなおしてください。

- 全体チェックでエラーが見つかった場合は、エラー表示ウィンドウが画面に表示されます。送信先頭アドレスは設定されません。
エラーの詳細については、「3-5-4 エラーがあったとき」を参照してエラーを修正してください。

3 - 6

設定の初期化と均等配分

基本設定画面で、**f・9** [メニュー] を押すと、[ファンクションメニュー] が表示されます。



[ファンクションメニュー] では、PCリンク領域の割り付け内容の初期化と各ユニットのリンク領域が均等配分でできます。

【1. 初期化】

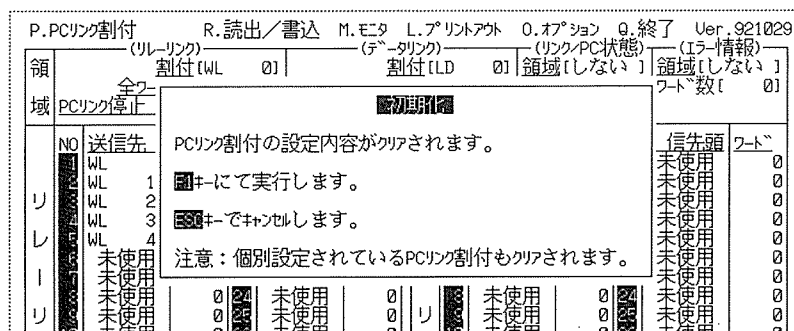
PCリンク領域の割り付け内容を初期化します。個別設定している場合は、個別設定した内容も初期化されます。

【2. 均等配分】

基本設定画面でリレーリンク領域とデータリンク領域の送信ワード数を均等配分します。

3-6-1 PCリンク領域割り付けの初期化

- ① [ファンクションメニュー] で【1. 初期化】にカーソルを合わせ **↵** キーを押します。初期化のメッセージが表示されます。



- ② **f・1** [実行] を押します。現在設定中のPCリンク領域の割り付け内容がクリアされます。個別設定がされている場合は、個別設定した内容もクリアされます。

3-6-2 ワード数の均等配分

基本設定画面の [領域] で設定したリレーリンク領域・データリンク領域のそれぞれの [全ワード数] の範囲内で、各ユニットに設定ワード数ずつ均等に割り付けます。

均等配分をする場合は、あらかじめ均等配分する領域の [全ワード数] を設定し、使用しない局は未使用に設定しておいてください。

- ① 「ファンクションメニュー」 から【2. 均等配分】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。[均等配分] の画面が表示されます。

3 - 7

設定内容のチェック

PCリンク領域の割り付け内容のチェックには、オフラインチェックとオンラインチェックがあります。

・オフラインチェック

パソコン上で設定したPCリンク領域の割り付け内容（基本設定および個別設定）をチェックします。リンクユニットに割り付け内容を書き込むときは、あらかじめオフラインチェックをしておく必要があります。

・オンラインでチェック

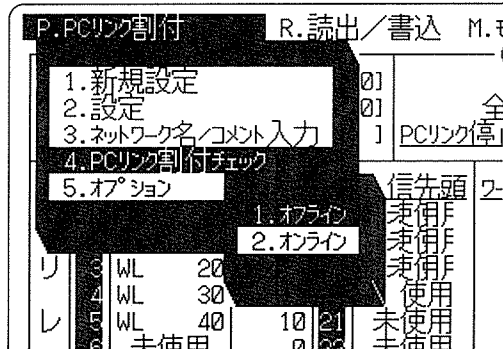
リンクユニットに書き込まれているPCリンク領域の割り付け内容をチェックします。パソコン上で設定している設定内容をオンラインでチェックする場合は、その内容をユニットへ書き込んでからチェックしてください。

オンラインでチェックする場合は、あらかじめシステムソフトを起動しているパソコンとPCもしくはリンクユニットと接続しておいてください。

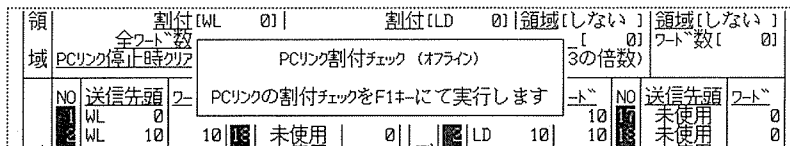
3-7-1

PCリンク領域の割り付け内容のチェック（オフライン）

- ① メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 《4. PCリンク割付チェック》にカーソルを合わせ、キーを押します。
モードを選択するサブメニューが表示されます。

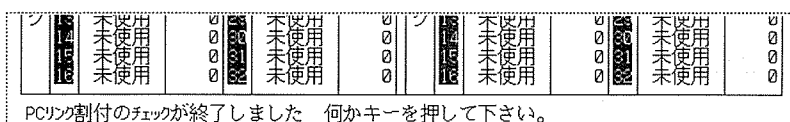


- ③ (1. オフライン) にカーソルを合わせ、キーを押します。
オフラインの割付チェックの確認画面が表示されます。



- ④ を押します。オフラインチェックが行われます。

エラーがなければ、画面下にチェック終了のメッセージが表示されます。



エラーがあったときは、エラーメッセージとエラー内容が表示されます。エラー内容に従って、設定内容を修正します。

P. PCリンク割付		R. 読出/書込	M. モニタ	L. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了	Ver. 921029
PCリンク割付		エラーメッセージ		エラー数 (3)			
基 本 基 本	各局リレーリンクの総ワード数がリレーリンク領域を超えています 1局のリレーリンク送信エリアが重複しています 6局のリレーリンク送信エリアが重複しています						
PCリンク割付のエラーがあります。何かキーを押して下さい。							

●エラーが見つかったときは、以下の手順で修正してください。

- ① 何かキーを押します。
メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
- ② 《P. PCリンク割付》のプルダウンメニューから、表示されたエラー内容により、〈2. 設定〉か〈5. オプション〉 + 〈1. 個別設定〉を選択し、設定画面に戻ります。
- ③ エラーを訂正します。

注意 ・オフラインチェックでエラーが発生したときは、リンクユニットに対してPCリンクのシステム設定内容を書き込むことができません。エラー内容を修正してから書き込んでください。

・PCの機種等により割り付け先の容量 (WLなら0~127) が違うため、領域を越えてのチェックはしません。

3-7-2 PCリンク領域割り付け内容のチェック (オンライン)

操作を行う前にあらかじめ下記の項目について確認しておいてください。

読み出し操作を行う前に、あらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNET - Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW1, SW2, SW3をONにし、MEWNET - Hシステムを起動します。

現在指定しているネットワーク以外のネットワーク上にあるユニットのPCリンク領域の割り付け内容をチェックする場合は、**f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークの指定を行ってください。ネットワーク指定についての詳細は「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ④ チェックしたいユニットNo.にカーソルを移動させ、**↵** キーを押します。
指定されたユニットNo.は反転表示されます。

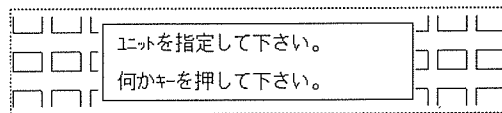
f・4 [全 指定] と **f・5** [全 解除] を使用し、全てのユニットを指定することができます。

f・4 [全 指定] … 表示されているユニットを全て指定します。

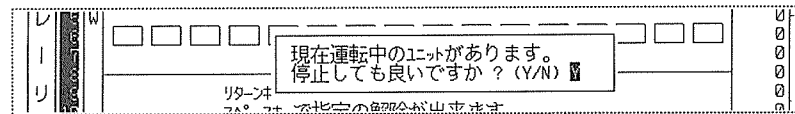
f・5 [全 解除] … 現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

- ⑤ ユニットの指定がすべて終われば、**f・1** [実行] を押します。
設定のチェックが始まります。

注意 ユニットの指定せずに **f・1** [実行] を押した場合は、ユニットを指定するようにエラーメッセージが表示されますので、ユニット指定をしてください。

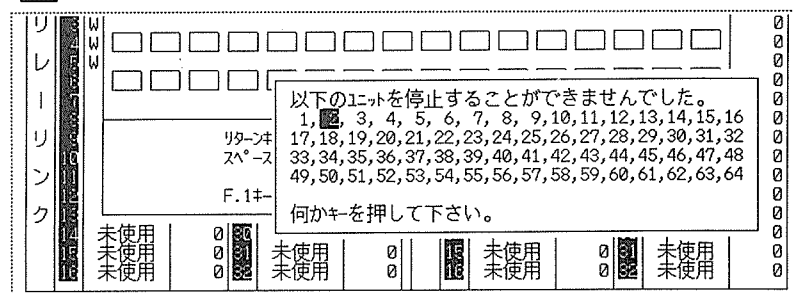


選択したユニットで、運転中のユニットがあれば以下のウィンドウが表示されます。



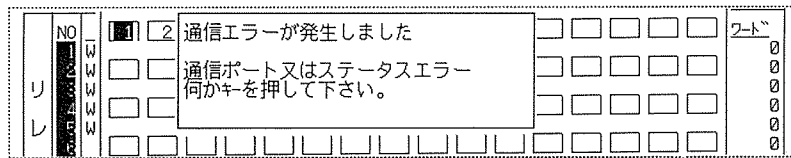
停止しても良い場合は、**Y** キーを押します。運転を停止し、オンラインチェックを行います。
停止しない場合は、**N** キーを押します。オンラインチェックを中止し、《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

Y キーを押しても運転を停止できなかった場合には、以下のウィンドウが表示されます。



何かキーを押します。停止できたリンクユニットについてオンラインチェックを行います。

通信上のエラーが発生した場合は、通信エラーメッセージが表示されます。

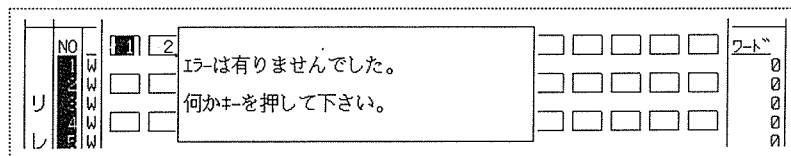


(ステータスエラーの例)

何かキーを押します。画面は、《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度チェックの操作を行ってください。

複数のユニットをチェックするとき、チェックできないリンクユニットがある場合は、チェック可能なユニットのみチェックします。

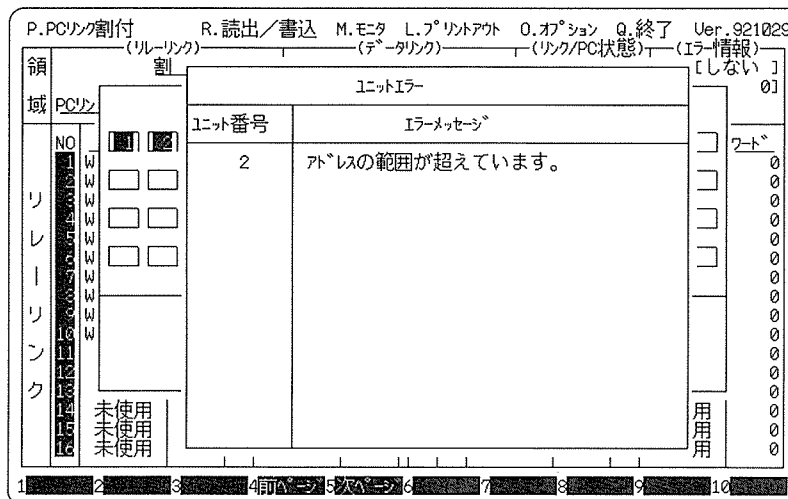
- ⑦ オンラインチェックが終わると、終了メッセージウィンドウが表示されます。



何かキーを押すと、《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 停止できなかったリンクユニットに対しては、オンラインチェックは行っていません。

エラーが見つければ、エラー内容が画面に表示されます。



ESC キーを押すと、《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。エラー内容については、「付録-1 エラーメッセージ」をご参照ください。

3 - 8

ネットワーク名とネットワークコメント

PCリンク領域の割り付け内容が、どのネットワークの設定内容かを判別するために、ネットワーク名を設定する必要があります。ネットワーク名にはコメントを付けることができます。

ネットワーク名が入力されていないとPCリンク領域の割り付け設定内容はリンクユニットへ書き込みません。ネットワーク名は必ずユニットへの書き込みをする前に入力してください。

- ① メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 〈3. ネットワーク名/コメント入力〉にカーソルを合わせ、**[F4]** キーを押します。
ネットワーク名とネットワークコメントの入力ウィンドウが表示されます。

ク	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用	未使用
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ③ ネットワーク名とネットワークコメントを入力します。
項目の切り替えは、**[f・2]** [ネット名] と **[f・3]** [コメント] で行います。
入力方法については、次ページの「●ネットワーク名・ネットワークコメントの入力」をご参照ください。
ネットワークコメントが不要の場合は、入力する必要はありません。
- ④ 入力が終われば、**[f・1]** [終了] を押します。

●ネットワーク名・ネットワークコメントの入力

- ・ネットワーク名に入力できる文字

半角英数字、8文字以内です。大文字でも小文字でもかまいません。

ただし、\$, &, #, %, ', ', _, @, ^, (,) , {, } , ~, !, ¥
は、入力できません。

- ・ネットワークコメントに入力できる文字

1行全角37文字、40行（全角で1480文字）の文字が入力できます。

注意 ネットワークコメントに漢字かな混じり文を入力をする場合は、日本語FEP（フロント・エンド・プロセッサ）が必要です。

キー操作

<input type="checkbox"/> f・1 [終了]	ネットワーク名、コメント入力を終了し、メニューバー《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。
<input type="checkbox"/> f・2 [ネット名]	カーソルをネットワーク名に移動します。
<input type="checkbox"/> f・3 [コメント]	カーソルをネットワークコメントに移動します。
<input type="checkbox"/> f・4 [前ページ]	ネットワークコメント入力画面を10行単位でページアップします。
<input type="checkbox"/> f・5 [次ページ]	ネットワークコメント入力画面を10行単位でページダウンします。
<input type="checkbox"/> INS	挿入／上書モードを切替えます。（カラーモニタでは挿入が緑色に、上書が水色に表示されます）
<input type="checkbox"/> DEL	カーソル位置の文字を削除します。
<input type="checkbox"/> SHIFT + <input type="checkbox"/> INS	空白を1行挿入します。 すでに40行コメント入力されている場合は、エラーメッセージが表示されます。
<input type="checkbox"/> SHIFT + <input type="checkbox"/> DEL	1行削除します。
<input type="checkbox"/> BS	カーソルの前の1文字を削除します。

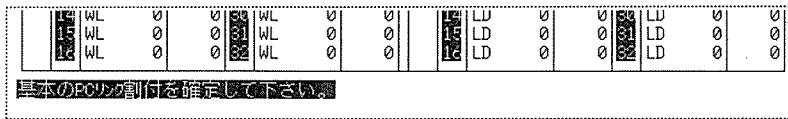
- ・コメント入力で次行へ移る場合は、↓ キーを押してください。

3 - 9

個別設定

縮退リンクを使用する場合や、あるユニットに対して基本設定を変更する場合には、個別設定を行います。

個別設定は、まず基本設定を行ってから行ってください。
基本設定を行わずに設定しようとすると警告メッセージが表示されます。



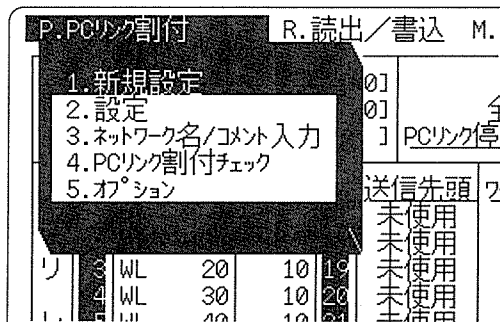
「個別設定」の概念については、導入マニュアルの「4-1-3 システム設定について」をご参照ください。

個別設定を行うための画面は、ユニットNo.指定画面と個別設定画面の2種類の画面から構成されています。個別設定のための初期画面はユニットNo.指定画面で、この画面上で **f.3** [エントリ] を押すと個別設定を行うユニットを指定でき、**f.4** [個別割] を押すと個別設定画面が表示されます。

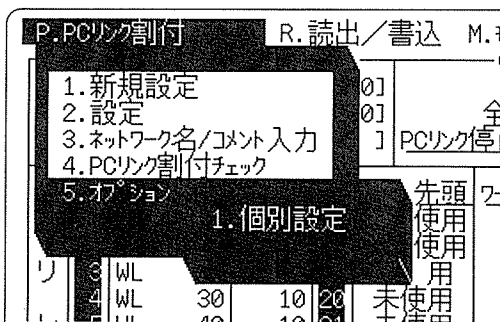
ユニットNo.指定画面では、個別設定を行うユニットNo.を選択します。4種類の個別設定が可能です。個別設定画面では、個別No.に対応するPCリンク領域の割り付けを設定します。

3-9-1 ユニット No.指定画面（初期画面）の表示

- ① メニューバーから《P. PCリンク割付》を選択します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニューが表示されます。



- ② <5. オプション> にカーソルを合わせ、**f.4** キーを押します。



- ③ (1. 個別設定) が表示されますので、**[F4]** キーを押します。
 対応ユニットNo.指定画面 (初期画面) が表示されます。

P. PCリンク割付		R. 読出/書込	M. モニタ	L. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了	Ver. 921029
個別No.	対応ユニット						
1	[1, 2, 3, 4, 5, , , , , , , , , , , ,]	個別に設定した PCリンク割付を 書き込むユニット を選択します。 対応ユニットに 表示されていない NO. は、選択で きません。					
2	[1, 2, 3, 4, 5, , , , , , , , , , ,]						
3	[1, 2, 3, 4, 5, , , , , , , , , ,]						
4	[1, 2, 3, 4, 5, , , , , , , , , ,]						

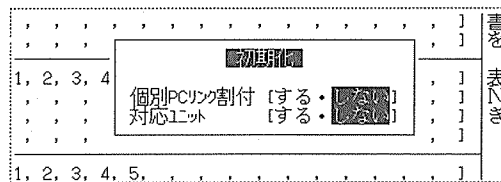
個別設定は、基本設定に対し4種類まで設定できます。それぞれの設定の番号が個別No.です。個別設定は、個別設定内容を書き込むユニットを対応ユニットNo.指定画面で選択し、その個別No.に対応する個別設定画面で個別設定を行います。

●初期画面でのファンクションキーの内容

- [f.2]** [初期化]
個別設定と対応ユニットの設定を初期化します。
- [f.3]** [エント指]
カーソルを「対応ユニット」に移動します。
- [f.4]** [個別割]
個別No.に対応したPCリンク領域を割り付けます。

●初期画面での初期化 (個別設定画面・対応ユニットNo.指定画面の初期化)

- ① ユニットNo.指定画面で **[f.2]** [初期化] を押します。
 初期化のウィンドウメニューが表示されます。



- ・ [個別PCリンク割付] の項目では、個別設定画面で設定されている設定内容をクリアし、基本設定で割り付けた設定内容にする/しないを選択します。
- ・ [対応ユニット] の項目では、ユニットNo.指定画面で設定されている対応ユニットの選択をクリアする/しないを選択します。

- ③ [個別PCリンク割付]・[対応ユニット] の初期化をする/しないを選択します。
- ⑤ 設定が終われば、**[f.1]** [実行] を押します。

3-9-2 ユニット No.の指定

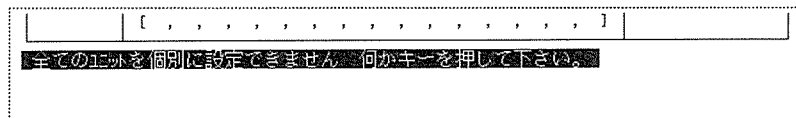
- ① 初期画面で **f・3** [エト指] を押します。個別No.1の [対応エト] の項目にカーソルが移動し、ファンクションメニューが変わります。[対応エト] には、基本設定で割り付けたユニットNo.が表示されています。
- ② 個別に設定したい [個別No.] に対応する [対応エト] の項目にカーソルを移動させます。個別No.1~4には優先順位はありません。
- ③ 個別に設定したいユニットNo.にカーソルを移動させ、**⇐** キーを押します。選択されたユニットNo.は、反転表示されます。

選択されたユニットNo.にカーソルを合わせ、**(スペース)** を押すと選択がキャンセルされます。

複数の個別設定を行う場合、すでに選択されているユニットを別の個別No.で選択すると、新たに選択された方が有効になります。先に選択されていた方の反転表示はキャンセルされます。

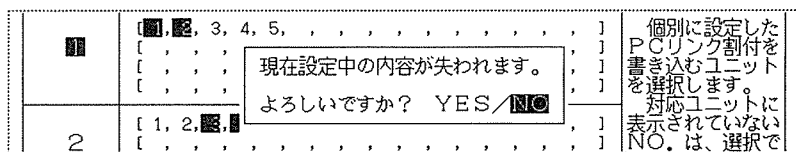
- ④ すべての設定が終われば、**f・1** [設定] を押します。カーソルが [個別No.] の項目に、ファンクションメニューが初期画面のメニューに戻ります。

注意 ・対応ユニットのすべてを個別のNo.に割り付けることはできません。割り付けようとすると画面にエラーメッセージが表示されます。



ひとつのネットワークにおいて、1つ以上のリンクユニットに基本設定内容を持つように設定してください。

- ・設定中に **ESC** キーを押すと、設定内容をキャンセルし、設定を中断しようとします。画面下に、中断してよいかを確認するウィンドウが表示されます。



中断する場合はカーソルを【YES】に合わせ、**⇐** キーを押します。

中断しない場合はカーソルを【NO】に合わせ、**⇐** キーを押します。**ESC** キーを押す前の状態に戻ります。

3-9-3 個別設定

個別設定の初期画面で **f・4** [個別割] を押します。

個別設定画面が表示されます。

P. PCリンク割付 (リレーリンク)		R. 読出/書込 (データリンク)		M. モニタ		L. プリントアウト		O. オプション		Q. 終了 (リンク/PC状態)		Ver. 930427 (エラー情報)	
領	割付[0]	全ワード数[100]	割付[LD 0]	全ワード数[100]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]	ワード数[0]
域	PCリンク停止時ケア[しない]	PCリンク停止時ケア[しない]	(3の倍数)										
	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	
リ レ ー リ ン ク	1	0	10	17	未使用	0	デ ー タ リ ン ク	11	未使用	0	27	未使用	0
	2	10	10	18	未使用	0		12	未使用	0	28	未使用	0
	3	20	10	19	未使用	0		13	未使用	0	29	未使用	0
	4	30	10	20	未使用	0		14	未使用	0	30	未使用	0
	5	40	10	21	未使用	0		15	未使用	0	31	未使用	0
	6	50	10	22	未使用	0		16	未使用	0	32	未使用	0
	7	60	10	23	未使用	0							
	8	70	10	24	未使用	0							
	9	80	10	25	未使用	0							
	10	90	10	26	未使用	0							

ユニットNo.指定画面で [対応ユニット] を指定した個別No.の個別設定を行います。

画面には基本設定で設定した内容が表示されており、ユニットNo.指定画面で **f・4** [個別割] を押す前にカーソルがあった個別No.に対応する個別設定画面が、初期画面として表示されています。このため、**f・9** [メニュー] のウィンドウメニューから【2. 個別切替】を選択し、ユニットNo.を指定した個別No.を選択し、その指定されたユニットに対する個別設定を行ってください。

ユニットNo.を設定していなくても個別設定を行いその内容を確認できますが、《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー〈4. PCリンク割付チェック〉からオフラインチェックを実行すると、警告が表示されますが、エラーではありません。

ESC キーを押すと、対応ユニットNo.指定画面に戻ることができます。

注意 個別設定の方法は、基本設定での割り付けと基本的には同じですが、以下の点が異なります。

- ・リレーリンクとデータリンクの全ワード数は、基本設定で設定された全ワード数より大きいワード数の設定はできません。
- ・カーソルを [ワード] の項目に移動してもワード数の変更できません。
各ユニットの割り付けを [無効] にした場合には、「0」になります。

■ **【領域】の設定**

設定方法は、基本設定での設定方法と同じです。ただし、リレーリンクとデータリンクの全ワード数は、基本設定で設定された全ワード数より大きいワード数の設定はできませんので注意してください。

■ **リレーリンク、データリンクの【送信先頭】の設定**

[送信先頭] にカーソルを合わせます。
設定方法は、PCリンク領域の基本設定画面での設定と同じです。

●縮退リンクの設定

その局のデータを受信するか、しないかを設定します。「基本設定」で未使用に設定したユニットに対しては設定できません。

f・7 [有効] … データを受信します。

f・8 [無効] … データを受信しません。ワードの表示が「0」になります。

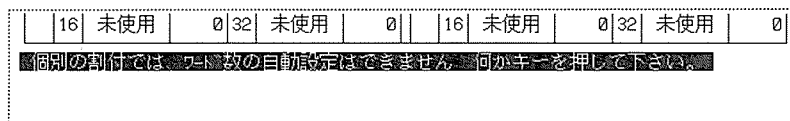
縮退により小さくなった [全ワード数] を再割り付けします。

■設定内容の確定

個別設定画面での設定がすべて終われば、個別設定の確定を行います。

設定内容の確定は個別No.ごとに行ってください。

確定方法は、基本設定の確定方法と同じですが、個別設定ではワード数の設定ができませんので、【2. ワード数の自動設定】は選択できません。選択すると、エラーメッセージが画面下に表示されます。



① **f・1** [割付確] を押します。

《PCリンク割付の確定》ウィンドウが表示されます。

確定の方法を【1. 送信先頭の自動設定】か【3. 現在の設定を確定】から選択し、**f・1** キーを押します。

システム設定ソフトは、自動的に割り付けチェックを行い、エラーがなければ、チェック終了のメッセージが画面下に表示されます。

エラーが見つければ、エラーメッセージとエラー内容が画面に表示されますので、エラー内容に従って設定内容を修正してください。修正の方法は、「3-5-4 エラーがあったとき」をご参照ください。

●縮退リンクを設定したとき

f・8 を使用してデータの受信を無効にし、縮退リンクの設定を行った場合は、[送信先頭] を空きがないように再割り付けします。手動で再割り付けを行った場合は【3. 現在の設定を確定】を選択し、確定して下さい。【1. 送信先頭の自動設定】を行って [送信先頭] 自動再割り付けすることもできます。

3-9-4 個別設定内容の初期化と個別切り替え

個別設定画面で、**f・9** [メニュー] を選択すると個別設定画面の初期化と個別No.の切り替えができます。

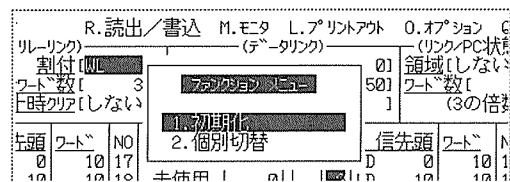
■個別設定画面での初期化

現在画面で設定中の個別設定内容をクリアし、基本設定で割り付けた設定内容に戻ります。

初期化するときは、あらかじめ【2. 個別切替】を使って、初期化したい個別No.の個別設定画面を表示しておいてください。

- ① **f・9** [メニュー] にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

〈ファンクションメニュー〉のウィンドウが表示されます。

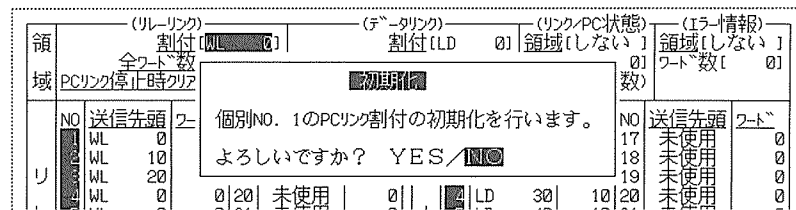


- ② 【1. 初期化】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

- ③ 初期化する場合は、【YES】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

個別PCリンク領域の割り付け設定内容が基本設定と同じ値に初期化されます。



注意 初期化する個別No.を間違わないように注意してください。

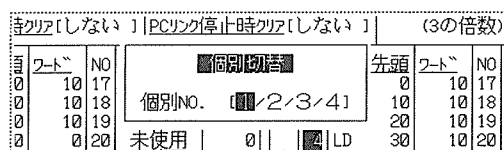
■個別切り替え

2種類以上の個別No.について対応ユニットを設定した場合には、**f・9** [メニュー] を押して、割り付けを行うNo.を選択した後に、割り付けを行います。

- ① 個別PCリンク割付画面で、**f・9** [メニュー] を押します。[ファンクションメニュー] が表示されます。

- ② 【2. 個別切替】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

〈個別切替〉ウィンドウが表示されます。



- ③ 割り付けたい個別No.にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

画面が選択した個別設定画面に切り替わります。

第 4 章

4

シリアルポートの設定

この章の内容

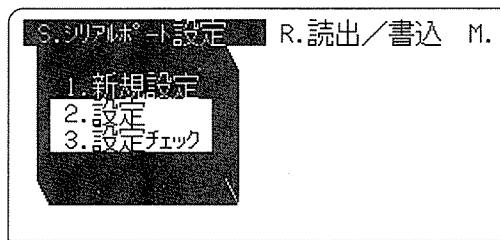
4-1 シリアルポート設定概要	78
4-2 設定画面の表示	79
4-2-1 新規に設定するとき	79
4-2-2 読み出して変更するとき	80
4-3 単一接続モードの設定	82
4-3-1 単一接続モードの選択	82
4-3-2 シリアル通信条件の設定	84
4-3-3 経路設定	87
4-3-4 設定の確定	96
4-3-5 伝送経路設定例	98
4-4 多重接続モードの設定	106
4-4-1 多重接続モードの選択	106
4-4-2 シリアル通信条件の設定	110
4-4-3 経路設定	114
4-4-4 設定の確定	117
4-4-5 伝送経路設定例	118
4-5 設定チェック	128

シリアルポート設定概要

シリアル伝送機能システム設定のうち、接続モード設定（シリアル通信条件の設定・局間の伝送経路設定）や、その設定内容のチェックなどを行います。

■プルダウンメニューの内容

メニューバーから、《S. シリアルポート設定》を選択すると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



〈1. 新規設定〉

接続モードの設定を新規に行う場合に選択します。

サブメニューで単一接続モードと多重接続モードのどちらの設定をするかを選択します。

選択した接続モードの設定画面が初期化され、画面に表示されます。

〈2. 設定〉

ディスクやリンクユニットから接続モード設定の内容を読み出した場合に選択します。

単一接続モードの設定内容を読み出した場合は、サブメニューで(単一モード)を選択します。

多重接続モードの設定内容を読み出した場合は、サブメニューで(多重モード)を選択します。

設定中に別のプルダウンメニューやメニューバーへ移動しても、設定中のデータは保持されています。再度設定していた接続モードを選択すると、引き続き設定を行うことができます。設定していた接続モードと違う接続モードを選択すると、設定していた内容を破棄し、選択された接続モードの設定画面を表示します。確認メッセージが表示されますので、確認後実行できます。

〈3. 設定チェック〉

リンクユニットに書き込まれている接続モード設定の内容をチェックします。

メモ ・パソコン上での接続モード設定内容のチェックは、設定した内容を確定する時に自動的にシステム設定ソフトが行います。

・単一接続モードと多重接続モードの設定を同時に行うことはできません。

4 - 2

設定画面の表示

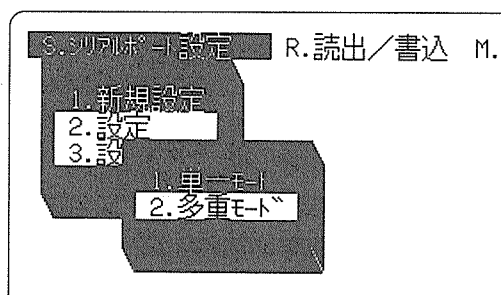
中断機能を使用し、システム設定ソフトを終了した場合を除き、システム設定ソフトを起動した直後は、PCリンク割付モードになっています。メニューバーの《0. オプション》のプルダウンメニューから《2. 機能選択》を選択し、モードをシリアル伝送機能設定モードにします。モード切り替えの詳細については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

シリアル伝送機能には、単一接続モードと多重接続モードがあります。どちらの設定を行うかは《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー《1. 新規設定》または《2. 設定》を選択したときにそのサブメニューで選択します。

各設定の方法は、新規に設定をする方法と、リンクユニットやディスクから設定内容を読み出して設定する方法があります。

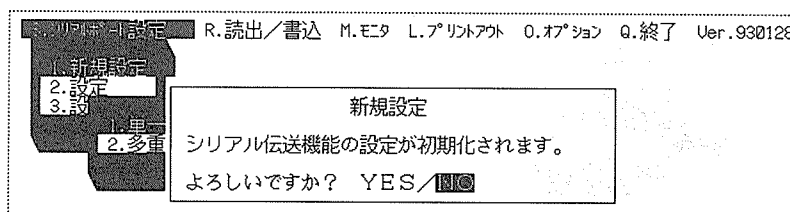
4-2-1 新規に設定するとき

- ① メニューバー《S. シリアルポート設定》を選択します。
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 《1. 新規設定》にカーソルを合わせ、キーを押します。
《1. 新規設定》のサブメニューが表示されます。



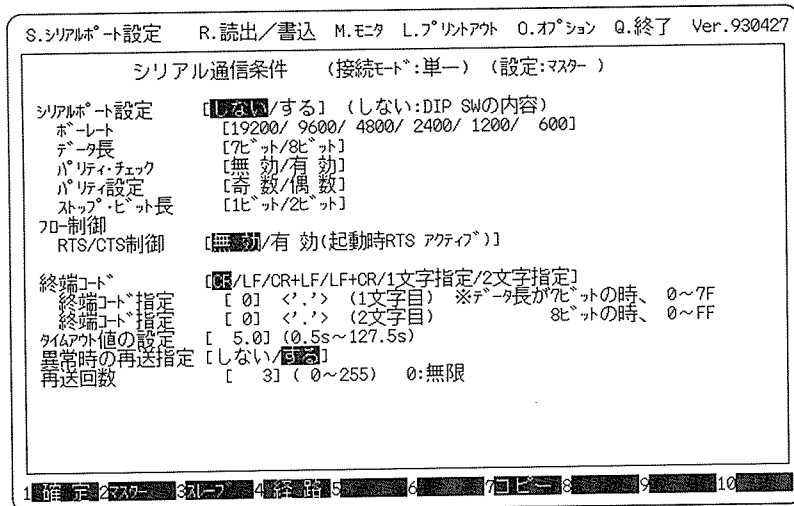
単一接続モードの設定を行うか、多重接続モードの設定を行うかを選択します。単一接続モードの場合は、(単一モード)にカーソルを合わせ、キーを押します。多重接続モードの場合は、(多重モード)にカーソルを合わせ、キーを押します。

- ③ 接続モード設定内容の初期化を確認するメッセージが表示されます。



初期化をする場合は、【YES】にカーソルを合わせ、キーを押します。【NO】を選択すると、初期化は行わずにプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ④ 選択されたモードのマスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。



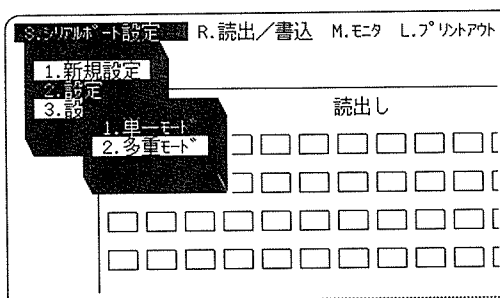
(単一モード) 選択した場合

注意 ・設定中に初期化を行う場合、設定中のデータは失われてしまいます。

- ・《0. オプション》の《2. 機能選択》でシリアル伝送機能設定モードにした直後に、設定内容の読み込みを行わずに新規設定する場合は、あらかじめ初期化が自動的に行われますので、《2. 設定》を選択しても新規設定画面が表示されます。

4-2-2 読み出して変更するとき

- ① ユニットまたはディスクから設定内容を読み出します。読み出す方法については、「6-2-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット読み出し」をご参照ください。
- ② メニューバーから《S. シリアルポート設定》を選択します。
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ③ 《2. 設定》にカーソルを合わせ、キーを押します。
《2. 設定》のサブメニューが表示されます。



- ・読み出した設定内容の接続モードにカーソルがありますので、そのまま キーを押します。
- ・設定中に別のメニューバーやプルダウンメニューへ移っていた場合も、設定していた接続モードにカーソルがありますので、そのまま キーを押すと、先ほど設定していた内容を表示することができます。

④ 選択された接続モードのマスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。

S. シリアルポート設定 R. 読出し/書込 M. メータ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930427

シリアル通信条件 (接続モード: 多重) (設定: マスター)

シリアルポート設定 [しない/有効] (しない: DIP SWの内容)
 ボーレート [19200/ 9600/ 4800/ 2400/ 1200/ 600]
 データ長 [7ビット/8ビット]
 パリティチェック [無効/有効]
 パリティ設定 [奇数/偶数]
 ストップ・ビット長 [1.5ビット/2ビット]
 フロー制御 [無効/有効(起動時RTS アクティブ)]
 RTS/CTS制御 [無効/有効]
 ハッチコート指定 [無効/有効]
 ハッチコート [25] <'%'> ※ハッチコート指定しない場合、25H(%)固定

端末コード [0B/LF/CR+LF/LF+CR/1文字指定/2文字指定]
 端末コード指定 [0] <'.'> (1文字目) ※データ長が7ビットの時、0~7F
 端末コード指定 [0] <'.'> (2文字目) 8ビットの時、0~FF
 タイムアウト値の設定 [5.0] (0.5s~127.5s)
 異常時の再送指定 [しない/有効]
 再送回数 [3] (0~255) 0:無限

1 確定 2 マスター 3 読出し/書込 4 設定 5 戻る 6 ヘルプ 7 呼び出し 8 終了 9 ヘルプ 10 ヘルプ

(多重モード) を選択した場合

注意 読み出した設定内容の接続モードではない接続モードを選択すると、確認メッセージが表示されます。

S. シリアルポート設定 R. 読出し/書込 M. メータ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930128

1. 新規設定
2. 設定
3. 読出し/書込
4. 設定
5. 戻る
6. ヘルプ
7. 呼び出し
8. 終了
9. ヘルプ
10. ヘルプ

1. 単一

シリアル伝送機能
単一モードの設定が失われます。

よろしいですか? YES/NO

'92-12-14 TANAKA
'92-12-14 TANAKA

S. シリアルポート設定 R. 読出し/書込 M. メータ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930128

1. 新規設定
2. 設定
3. 読出し/書込
4. 設定
5. 戻る
6. ヘルプ
7. 呼び出し
8. 終了
9. ヘルプ
10. ヘルプ

2. 多重

シリアル通信条件 (接続モード: 多重) (設定: マスター)

シリアル伝送機能
多重モードの設定が失われます。

よろしいですか? YES/NO

内容)
00/ 1200/ 600]

4 - 3

単一接続モードの設定

メニューバー《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューから〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉を選択し、さらに〈単一モード〉を選択すると単一接続モードの設定に入ります。

単一接続モードの設定画面には、マスター局のシリアル通信条件設定画面・スレーブ局のシリアル通信条件設定画面・伝送経路設定画面があります。

単一接続モードでは、本来、マスター・スレーブという主従関係はありませんが、設定をしやすいように便宜上、マスター・スレーブという呼び方をしています。

単一接続モードでは、データのやりとりが2局間（1:1通信）だけのため、スレーブ局のシリアル通信条件設定画面は1画面です。

シリアル通信条件設定画面の各項目は、それぞれ初期設定されています。変更が必要な項目についてのみ設定を行ってください。

伝送経路設定画面では、マスター局からスレーブ局への伝送経路を設定します。必ず設定してください。

画面の切り替えは、ファンクションキーの操作により行います。

初期画面として、マスター局のシリアル通信条件設定画面が、単一接続モードに入ったとき画面に表示されます。

設定を中断し、他のメニューへ移る場合は、**ESC** キーを押してください。《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

中断しても設定内容は保持されていますので、《S. シリアルポート設定》から〈2. 設定〉を選択し、さらに〈単一モード〉を選択すると設定していた内容を表示できます。

4-3-1

単一接続モードの選択

- ① メニューバーから《S. シリアルポート設定》を選択します。
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉を選択します。
サブメニューが表示されます。

③ (単一モード) を選択します。

マスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.メモ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

シリアル通信条件 (接続モード:単一) (設定:マスター)

シリアルポート設定 使用する (しない:DIP SWの内容)

ボーレート [19200/ 9600/ 4800/ 2400/ 1200/ 600]

データ長 [7ビット/8ビット]

パリティチェック [無効/有効]

パリティ設定 [奇数/偶数]

ストップ・ビット長 [1ビット/2ビット]

フロー制御

RTS/CTS制御 有効(起動時RTS アクティブ)

端末コード LF/CR+LF/LF+CR/1文字指定/2文字指定

端末コード指定 [0] <.> (1文字目) ※データ長が7ビットの時、 0~7F

端末コード指定 [0] <.> (2文字目) 8ビットの時、 0~FF

タイムアウト値の設定 [5.0] (0.5s~127.5s)

異常時の再送指定 [しない/有効]

再送回数 [3] (0~255) 0:無限

1 確定 2 マスター 3 シーフ 4 経路 5 6 7 回ビニ 8 9 10

注意 多重モードのシリアルポートを設定中に〈2.設定〉から(単一モード)を選択すると、以下の確認メッセージが表示されます。

1.新規設定 2.設定 3.設定

1.単一 2.多重

パリティ パリティ ストップ・ビット フロー制御

シリアル通信条件 (接続モード:多重) (設定:マスター)

シリアル伝送機能

内容 00/ 6001

多重モードの設定が失われます。

よろしいですか? YES/NO

- ・多重モードで設定した内容を破棄し、単一接続モードの設定を新たに行う場合は、【YES】にカーソルを合わせ、キーを押します。
- ・【NO】を選択すると、《S.シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

④ 画面に「(接続モード:単一)」と表示されていることを確認してください。

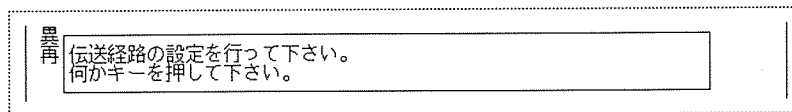
S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.メモ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

シリアル通信条件 (接続モード:単一) (設定:マスター)

●ファンクションキーの内容

f・1 [確定]

シリアル通信条件と伝送経路のすべての設定が終了した後、設定した項目を確定します。伝送経路を設定せずに、確定しようとするエラーメッセージが表示されます。



f・2 [マスター]

マスター局のシリアル通信条件設定画面を表示します。

f・3 [スレーブ]

スレーブ局のシリアル通信条件設定画面を表示します。

f・4 [経路]

伝送経路設定画面を表示します。この画面で、マスター局とスレーブ局を結ぶ伝送経路を設定します。シリアル伝送機能をご使用の場合は必ず設定してください。

f・7 [コピー]

シリアル通信条件設定画面が表示されているときに表示され、その操作が有効になります。

- ・マスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されている場合は、スレーブ局の通信条件設定画面で設定されている内容をマスター局の通信条件設定画面にコピーします。
- ・スレーブ局のシリアル通信条件設定画面が表示されている場合は、マスター局の通信条件設定画面で設定されている内容をスレーブ局の通信条件設定画面にコピーします。
- ・詳細は、86ページの「●シリアル通信条件設定内容のコピー」をご参照ください。

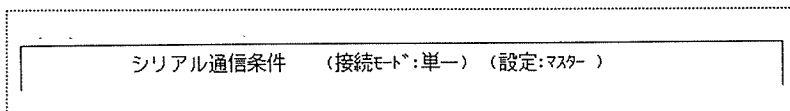
4-3-2 シリアル通信条件の設定

シリアル通信条件の設定は、マスター局とスレーブ局のそれぞれについて行います。

f・2 [マスター] を押すと、マスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。

f・3 [スレーブ] を押すと、スレーブ局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。

画面上段の「(設定:****)」の項目でどちらの局を設定をしているか確認することができます。



(マスター局を設定している場合)

設定の方法は、マスター局・スレーブ局ともに同じです。

初期設定から、変更が必要な項目のみ設定してください。

どちらか一方の局について設定を行うと、もう一方の局へその設定内容をコピーすることができます。詳細は86ページの「●シリアル通信条件設定内容のコピー」をご参照ください。

各項目の設定内容については、以下の各項目をご参照下さい。

[シリアルポート設定]

シリアルポートの設定をする／しないを選択します。

「しない」を選択した場合は、リンクユニットのディップスイッチで設定した内容で動作します。
[ボーレート] などのサブ項目にはカーソルは移動しません。

「する」を選択した場合は、[ボーレート] などのサブ項目の設定を行ってください。

キーでサブ項目へ移動します。

設定するサブ項目は以下のとおりです。

サブ項目	設定
ボーレート	19200 9600 4800 2400 1200 600
データ長	7ビット 8ビット
パリティチェック	無効 有効
パリティ設定	奇数 偶数
ストップ・ビット長	1ビット 2ビット

- ・ ・ キーを使って、設定項目へ移動します。
- ・ ・ キーを使って、各項目の設定をします。
- ・ パリティチェックを「無効」に設定した場合、パリティ設定の設定は無視されます。
- ・ 初期値は、19200/8ビット/有効/奇数/1ビットになっています。

[フロー制御]

RTS/CTS制御を有効にするか無効にするかを選択します。

[終端コード]

終端コードを「CR・LF・CR+LF・LF+CR」から選択します。

「1文字指定」または「2文字指定」を選択すると終端コードを任意に指定することができます。

- 「1文字指定」または「2文字指定」を選択した場合は、[終端コード指定] をアスキーコードまたはJISコードを使って設定します。

「1文字指定」を選択した場合は、(1文字目) の項目だけに設定します。

「2文字指定」を選択した場合は、(1文字目) と (2文字目) の項目にそれぞれ設定します。

[タイムアウト値の設定]

タイムアウト値を数値で設定します。

設定可能範囲は0.5秒から127.5秒で、0.5秒単位で設定ができます。

[異常時の再送指定]

異常が発生したとき、データの再送をする／しないを選択します。

「する」を選択した場合は、[再送回数] の設定を行ってください。

[再送回数]

[異常時の再送指定] で「する」を選択した場合に、設定が有効になります。

異常が発生したとき、データの再送を何回するかを数値で入力してください。

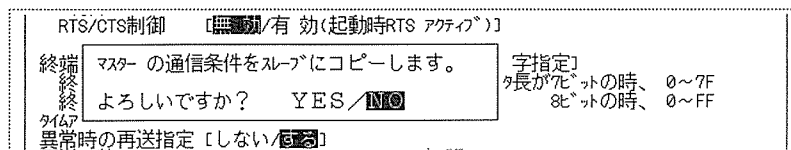
[0] を設定すると、異常時に無限に再送を繰り返します。

●シリアル通信条件設定内容のコピー

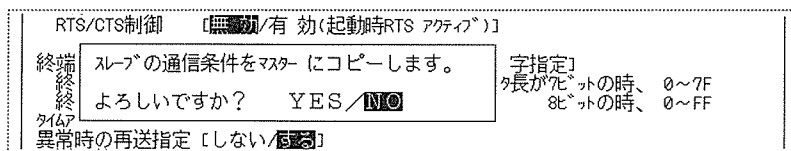
現在画面に表示されている局へ、もう一方の局の設定内容をコピーします。

シリアル通信条件設定画面で **f.7** [コピー] を押すと下記のウィンドウが表示されます。

・マスター局シリアル通信条件設定画面が表示されている場合



・スレーブ局シリアル通信条件設定画面が表示されている場合



コピーする場合は、【YES】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

コピーした設定内容が画面に表示されます。

4-3-3 経路設定

単一接続モードのシリアル通信条件設定画面で **f・4** [経路] を押すと、単一モードの伝送経路設定画面が表示されます。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

<伝送経路図>

現在の伝送経路は、右図の様に設定されています。

変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

CPU	**	**	**	**	**	**	**
CPU	**	**	**	**	**	**	**
CPU	**	**	**	**	**	**	**
CPU	**	**	**	**	**	**	**
CPU	**	**	**	**	**	**	**

[|:1階層, |:2階層,
|:3階層, |:4階層]

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

↵ キーを押すと、設定できる状態になります。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

<伝送経路図>

マスター 機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか?

YES/NO

設定されています。

変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

[|:1階層, |:2階層,
|:3階層, |:4階層]

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

●伝送経路設定中に表示されるファンクションキーの内容

f・2 [中止]

伝送経路の設定を中止し、**↵** キーを押す前の状態に戻ります。

■ 伝送経路の設定

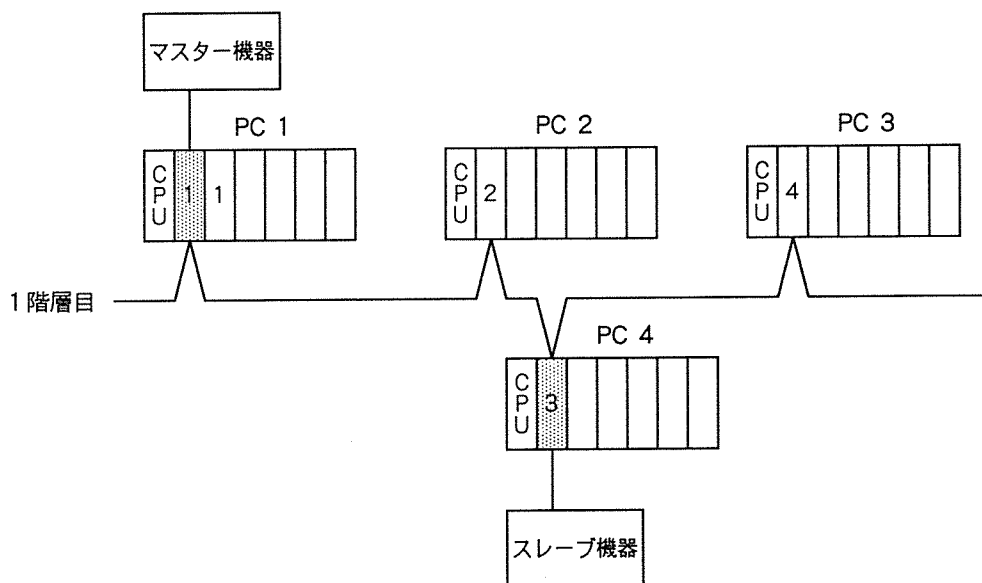
マスター局からスレーブ局への経路を指定します。

- マスター局・スレーブ局が同じネットワーク上にある場合は、マスター局とスレーブ局の指定をします。

リンクユニットには、ユニットNo.が設定されています（ネットワーク敷設または設計の際に、リンクユニットのユニットNo.設定スイッチで設定します）。1ネットワーク内では、最大64台の各リンクユニットにそれぞれ異なるユニットNo.が設定されますが、1台のPCを複数のネットワークに接続するために、リンクユニットを複数台数装着している場合は、1台のPCに同じユニットNo.のリンクユニットが存在する可能性があります。

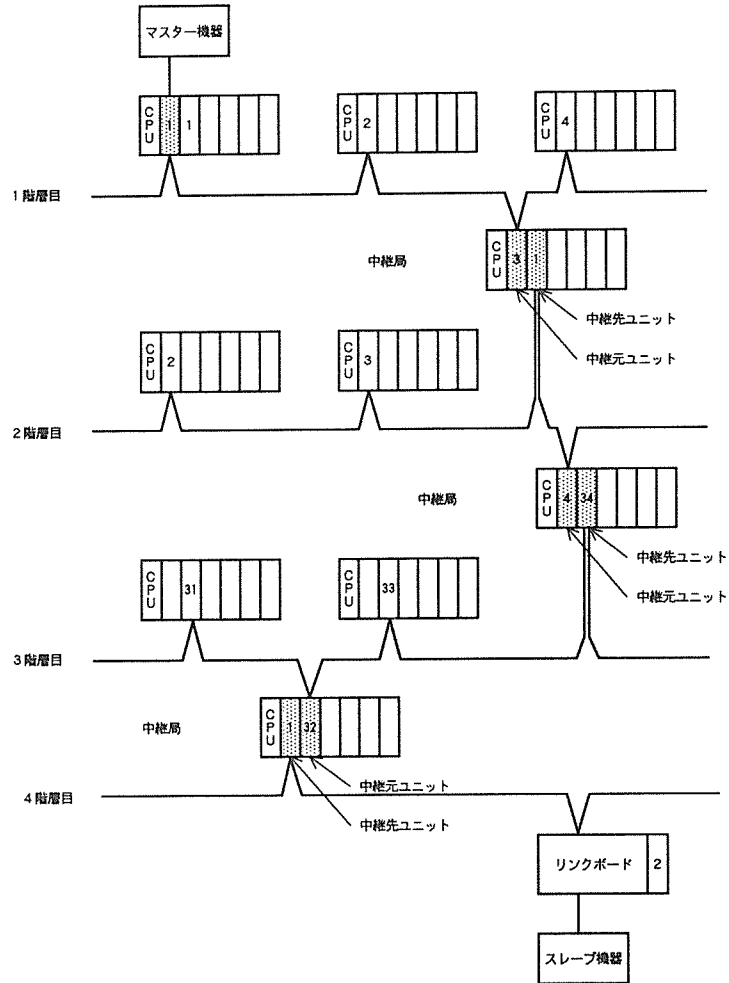
このため、リンクユニットの識別には、ユニットNo.とルートNo.の2つを使用します。ルートNo.はネットワーク（リンク）を指定するためのNo.で、CPUユニットに近い順にリンク1、リンク2・・・リンク6と設定されます。

下図では、マスター機器をリンク1のユニットNo.のユニットに接続しています。



外部機器をMEWNET-Hシステムに接続する方法は、上図のようにリンクユニットのシリアルポート（RS-232Cポート）に接続する他、リンクボードを直接外部機器のパソコン内に実装する方法があります。リンクボードには、ルートNo.という概念はありませんが、リンクボードを使用する方法として、リンクボードのシリアルポートと外部機器のシリアルポートを接続する方法と、リンクボードとパソコンをバス結合させる方法とがありますので、リンクボードの場合は、外部機器とどのように接続しているかを指定します。

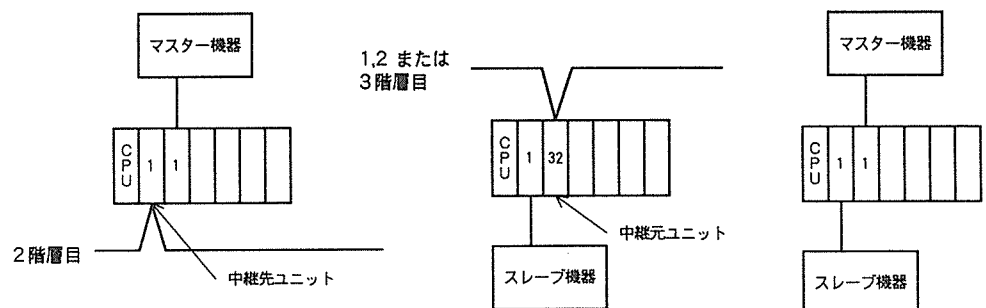
●MEWNET-Hシステムでは、多階層リンク機能を使用し、マスター局が加入しているネットワークを1階層目として4階層目までのネットワークを指定することもできます。



スレーブ機器が別の階層に属すネットワークに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局の指定に加えて、上の階層と下の階層を結ぶ中継局を指定します。4階層目までのネットワークを指定できるため、中継局は3局まで設定できるようになります。

同一パソコン内の複数のリンクボード間で階層を形成することはできませんのでリンクボードは中継局にはなりません。

中継局の指定には、中継元ユニットと中継先ユニットをそれぞれ指定する必要がありますが、下図のように外部機器が接続されている場合は、外部機器を接続するユニットが中継元/中継先ユニットとなるため、これらの指定が不要になります。



システム設定ソフトでは、伝送経路の設定を対話形式で行います。画面に表示されるウィンドウのメッセージに従って伝送経路を設定してしてください。

〈伝送経路図〉には、設定された伝送経路が順次表示されますので、経路を確認しながら、設定できます。

経路図のアイコンとして、リンクユニットの場合は

CPU							
-----	--	--	--	--	--	--	--

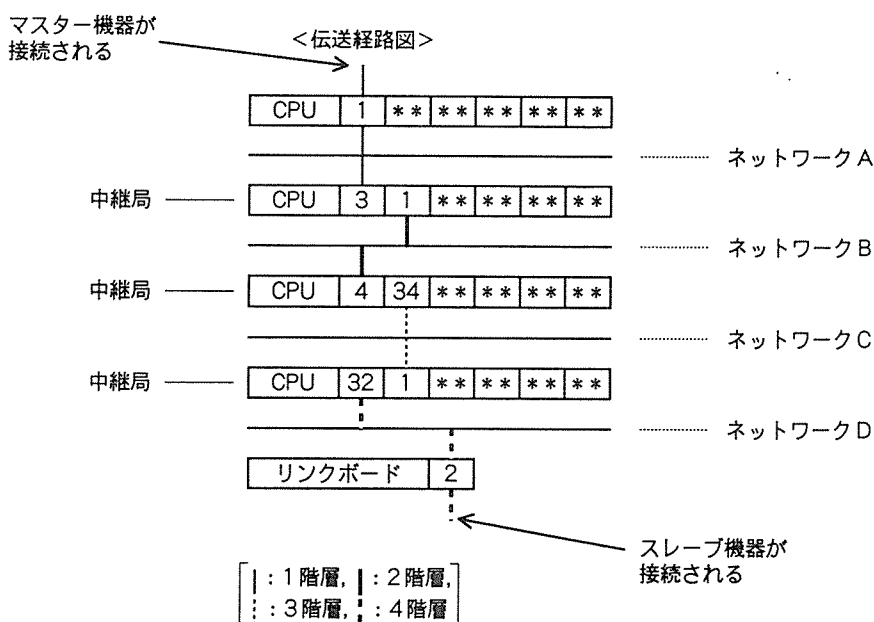
 リンクボードのシリアルポートの場合は、

リンクボード	
--------	--

 バスの場合は、

バス結合	
------	--

 と表示されます。



● 設定上の注意

- | |
|-----|
| ESC |
|-----|

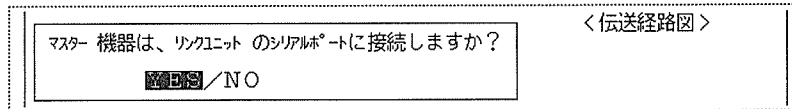
 キーを押すと、ひとつ前の設定に戻ることができます。
- ユニットNo.の入力を間違えた場合は、2桁の数字で再度入力してください。
- メッセージウィンドウには、それぞれの入力可能範囲が示されていますので、参照しながら入力してください。
 ユニットNo.: 1 - 64
 ルートNo. : 1 - 6
 中継局数 : 0 - 3
- 入力範囲内であっても、論理的に選択できない数値を入力した場合(例えば、同一ネットワーク内で、ユニットNo.を重複して入力した場合は、

↵

 キーを押しても次のステップには進みません。

●メッセージウィンドウの種類

(a)



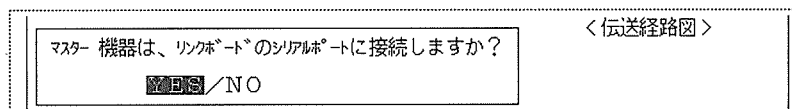
キーを押した後に、一番最初に表示されるメッセージウィンドウです。

- ・マスター機器がリンクユニットに接続されている場合は、【YES】にカーソルを合わせて、 キーを押します。(c) のメッセージウィンドウが表示されます。

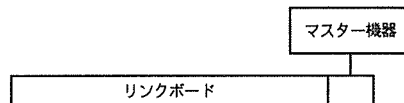


- ・マスター機器がリンクボードに接続されている場合は、【NO】にカーソルを合わせて、 キーを押します。(b) のメッセージウィンドウが表示されます。

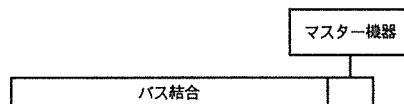
(b)



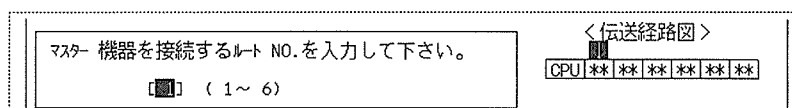
- ・マスター機器を接続するリンクボードの接続ポートがシリアルポートの場合は【YES】にカーソルを合わせて、 キーを押します。(d) のメッセージウィンドウが表示されます。



- ・マスター機器とリンクボードがバス結合される場合は、【NO】にカーソルを合わせて、 キーを押します。(d) のメッセージウィンドウが表示されます。



(c)



マスター機器を接続するリンクユニットのルートNo.を入力し、 キーを押します。

カーソルを ・ キーで該当するルートNo.の位置に移動させてルートNo.を指定することもできます。

キーを押すと、(d) のメッセージウィンドウが表示されます。

(d)

そのユニット No. を入力して下さい。 [] (1~64)	< 伝送経路図 > CPU 1 * * * * * *
-------------------------------------	--

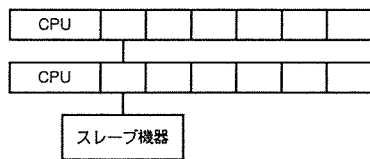
リンクボードまたはリンクユニットのユニット No. を入力し、 キーを押します。

- ・マスター機器を接続するユニットを指定している場合は、(e) のメッセージウィンドウが表示されます。
- ・中継元ユニットのユニット No. を指定している場合は、(f) のメッセージウィンドウが表示されます。
- ・中継先ユニットのユニット No. を指定している場合は、(e) のメッセージウィンドウが表示されます。
- ・4 階層目の中継先リンクユニットのユニット No. を指定している場合は、(j) のメッセージウィンドウが表示されます。
- ・スレーブ機器を接続するリンクユニット (リンクボード) のユニット No. を入力すると、伝送経路の設定が終了します。

(e)

スレーブ* エントは、同一ネットワークにありますか？ [YES] / [NO]	< 伝送経路図 > CPU 1 * * * * * *
--	--

- ・スレーブ機器を接続するリンクユニット (リンクボード) が前メッセージ画面で入力したリンクユニット (リンクボード) と同じネットワーク上にある場合は、【YES】にカーソルを合わせて、 キーを押します。(j) のメッセージウィンドウが表示され、スレーブ局の設定になります。



- ・別のネットワーク上にある場合は、【NO】にカーソルを合わせて、 キーを押します。
【NO】を選択した場合は、階層が1つ深くなり、中継元ユニットの指定に進み、(h) のメッセージウィンドウが表示されます。

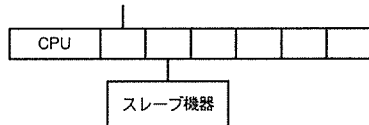
マスター機器がリンクユニットに接続されており、そのリンクユニットと同一マザーボード上の指定を行っている場合は、(f) のメッセージウィンドウが表示されます。

それ以外の場合でマスター機器がリンクユニットに接続されている場合は、(h) のメッセージウィンドウが表示されます。

(f)

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> YES / <input type="checkbox"/> NO	<伝送経路図> CPU 1 ** ** ** ** **
---	---

- スレーブ機器がリンクユニットに接続される場合で、スレーブユニットがこのメッセージウィンドウが表示される前に指定したリンクユニットと同一マザーボード上にある場合は【YES】を選択し、キーを押します。(f) のメッセージウィンドウに表示されます。

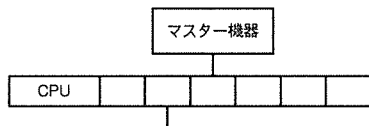


- 【NO】を選択した場合で、同一マザーボード上の2階層目のネットワークを指定しているときは、(g) のメッセージウィンドウが表示されます。3階層目以上のネットワークを指定しているときは、(i) のメッセージウィンドウが表示され、中継局の指定に進みます。

(g)

中継先のユニットは、同一マザーボード上にありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> YES / <input type="checkbox"/> NO	<伝送経路図> CPU 1 ** ** ** ** **
---	---

- 中継元ユニットがマスター機器を接続しているユニットになっており、中継先ユニットがマスター機器を接続しているユニットと同じマザーボード上にある場合は、【YES】を選択し、キーを押します。(g) のメッセージウィンドウが表示されます。



- 【NO】を選択した場合は、(h) のメッセージウィンドウが表示されます。

(h)

中継局の中継元# No. を入力して下さい。 [1] (1 ~ 6) 設定されています。	<伝送経路図> CPU 1 ** ** ** ** ** CPU ** ** ** ** ** **
--	--

- 中継元となっているリンクユニットのルートNo.を入力し、キーを押します。カーソルを ・ キーで該当するルートNo.の位置に移動させてルートNo.を指定することもできます。

キーを押すと、(d) のメッセージウィンドウが表示されます。

(i)

中継局の中継先ルートのNo.を入力して下さい。 <input type="text" value="1"/> (1~6)	<伝送経路図> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>CPU</td> <td>1</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	CPU	1	**	**	**	**	**							
CPU	1	**	**	**	**	**									

中継先となっているリンクユニットのルートNo.を入力し、 キーを押します。

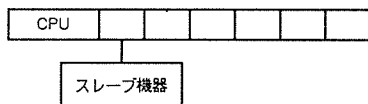
カーソルを ・ キーで該当するルートNo.の位置に移動させてルートNo.を指定することもできます。

キーを押すと、(d) のメッセージウィンドウが表示されます。

(j)

スレーブ機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか? <input checked="" type="button" value="YES"/> / <input type="button" value="NO"/>	<伝送経路図> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>CPU</td> <td>1</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	CPU	1	**	**	**	**	**							
CPU	1	**	**	**	**	**									

スレーブ機器がリンクユニットに接続されている場合は、 にカーソルを合わせて、 キーを押します。(l) のメッセージウィンドウが表示されます。

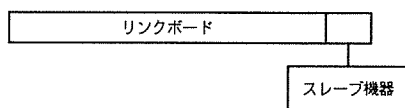


スレーブ機器がリンクボードに接続されている場合は、 にカーソルを合わせて、 キーを押します。(k) のメッセージウィンドウが表示されます。

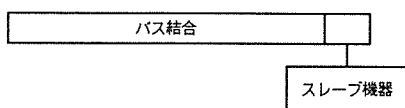
(k)

スレーブ機器は、リンクボードのシリアルポートに接続しますか? <input checked="" type="button" value="YES"/> / <input type="button" value="NO"/>	<伝送経路図> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>CPU</td> <td>1</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> <td>**</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	CPU	1	**	**	**	**	**							
CPU	1	**	**	**	**	**									

(j) のメッセージウィンドウで を選択した場合に、表示されるメッセージウィンドウです。スレーブ機器がリンクボードのシリアルポートに接続されている場合は、 にカーソルを合わせて、 キーを押します。(d) のメッセージウィンドウが表示されます。



スレーブ機器とリンクボードがバス結合されている場合は、 にカーソルを合わせて、 キーを押します。(d) のメッセージウィンドウが表示されます。



(1)

スレーブ機器を接続するルート No. を入力して下さい。 [] (1 ~ 6) 設定されています。	<伝送経路図> CPU 1 ** ** ** ** ** CPU ** ** ** ** **
--	---

スレーブ機器を接続するリンクユニットのルート No. を入力し、 キーを押します。

カーソルを ・ キーで該当するルート No. の位置に移動させてルート No. を指定することもできます。

キーを押すと、(d) のメッセージウィンドウが表示されます。

●経路設定条件

ユニット No. : 1 - 64

ルート No. : 1 - 6

中継局数 : 0 - 3

・メッセージウィンドウには、それぞれの入力可能範囲が示されていますので、参照しながら入力できます。

そのユニット No. を入力して下さい。 [] (1 ~ 64)	<伝送経路図> CPU [] ** ** ** ** **
--	---

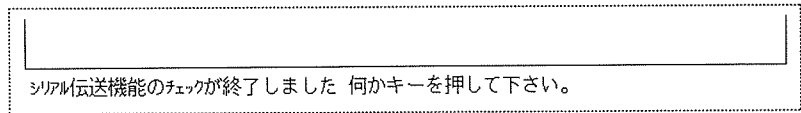
また、入力範囲内であっても、論理的に選択できない数値を入力した場合(例えば、同一ネットワーク内で、ユニット No. を重複して入力した場合は)、 キーを押しても次のステップには進みません。

4-3-4 設定の確定

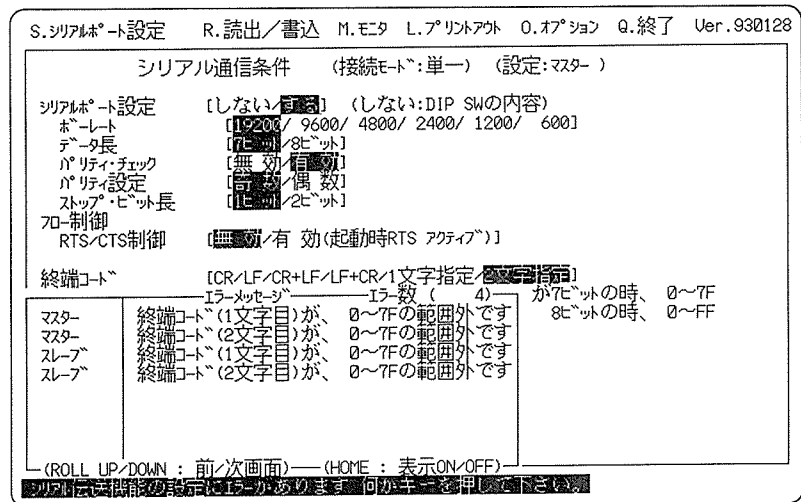
シリアル通信条件設定および伝送経路の設定がすべて終了すれば、単一接続モードの設定の確定を行います。

f.1 (確定) を押します。

システム設定ソフトは、シリアルポート設定にエラーがないか自動的にチェックします。エラーがなければ、設定内容が確定されチェック終了のメッセージが画面下に表示されます。

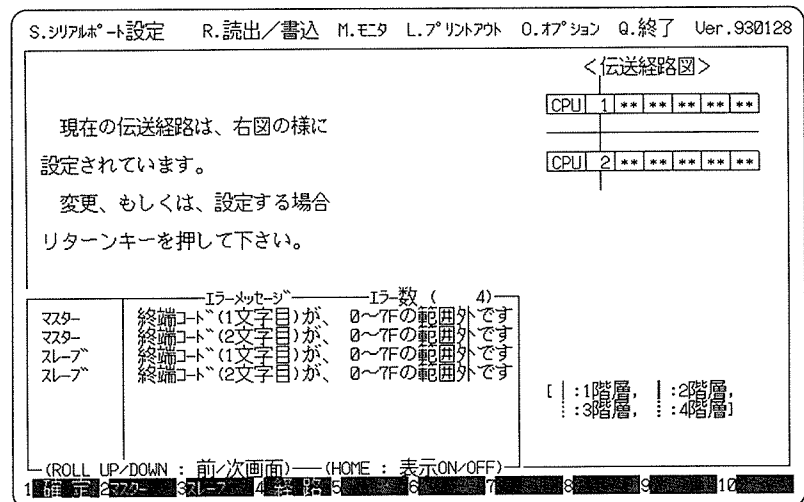


エラーがあれば、設定内容の確定は行われず、以下のようにエラー内容が画面に表示されます。



何かキーを押してください。設定内容の確定作業を終了します。表示されているエラー内容を参考にして設定しなおしてください。

HOME CLEAR キーを押すと、エラーの内容をウィンドウに表示しながら修正できます。



再度 **HOME CLEAR** キーを押すと、ウィンドウがクリアされます。

●エラー内容の全てを表示しきれないとき

エラーの数はエラーメッセージの [エラー数] の項目に表示されますので、エラーの内容が1画面の表示を超える場合は、以下の操作で残りのエラー内容を表示してください。

- **ROLL UP** …… 次のエラー内容が表示されます。
- **ROLL DOWN** …… 前のエラー内容が表示されます。

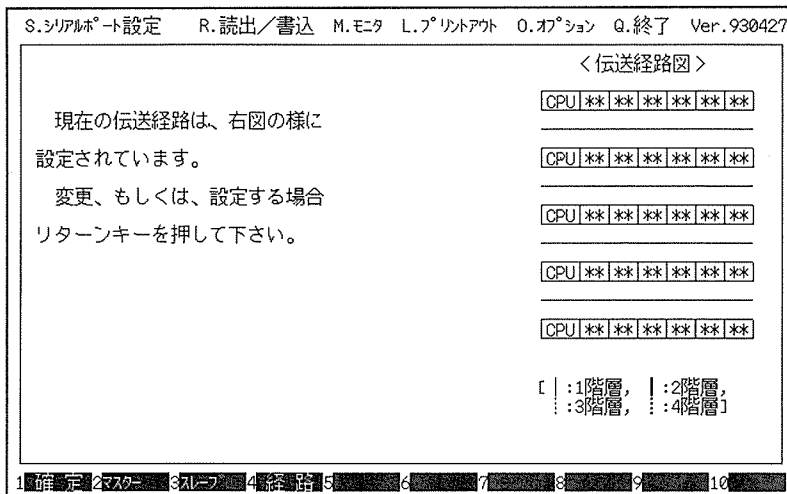
4-3-5 伝送経路設定例

実際に伝送経路を指定する場合は、まずネットワークをどのように構築する（している）か、多階層リンク機能を使用する場合は、どのように多階層リンクを構築する（している）かを把握した上で、どのような経路を指定するかを決定してください。

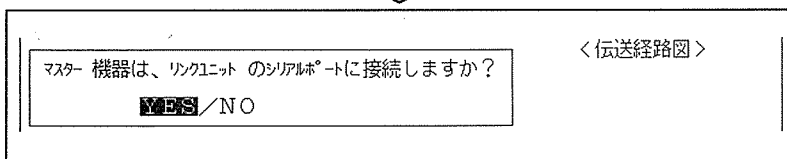
■設定例1

88 ページで説明した伝送経路を設定します。

マスター機器が接続されているのは、ルートNo.1・ユニットNo.1のリンクユニットです。
スレーブ機器が接続されているのは、ルートNo.1・ユニットNo.3のリンクユニットで、マスター機器と同一ネットワーク上にあります。



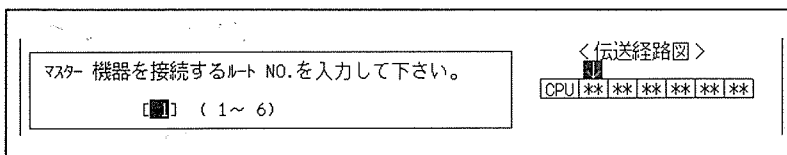
← キーを押します。



「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

マスター機器を接続するユニットの指定



「1」を入力します。

← キーを押します。

マスター機器
を接続するユ
ニットの指定

そのユニット NO.を入力して下さい。
[] (1~64)

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **

「1」を入力します。

←] キーを押します。

スレーブ ユニットは、同一ネットワークにありますか？
YES / NO

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **

「YES」にカーソルを
合わせます。

←] キーを押します。

スレーブ 機器は、リンクユニット のシリアルポートに接続しますか？
YES / NO

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **

「YES」にカーソルを
合わせます。

←] キーを押します。

スレーブ機器
を接続するユ
ニットの指定

スレーブ 機器を接続するポート NO.を入力して下さい。
[] (1~6)

設定されています。

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **
CPU 3 | ** | ** | ** | ** | **

「1」を入力します。

←] キーを押します。

そのユニット NO.を入力して下さい。
[] (1~64)

設定されています。

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **
CPU 3 | ** | ** | ** | ** | **

「3」を入力します。

←] キーを押します。

S. シリアルポート設定 R. 読出/書込 M. モニタ L. フォントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930427

現在の伝送経路は、右図の様に
設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>
CPU 1 | ** | ** | ** | ** | **
CPU 3 | ** | ** | ** | ** | **

[| :1階層, | :2階層,
| :3階層, | :4階層]

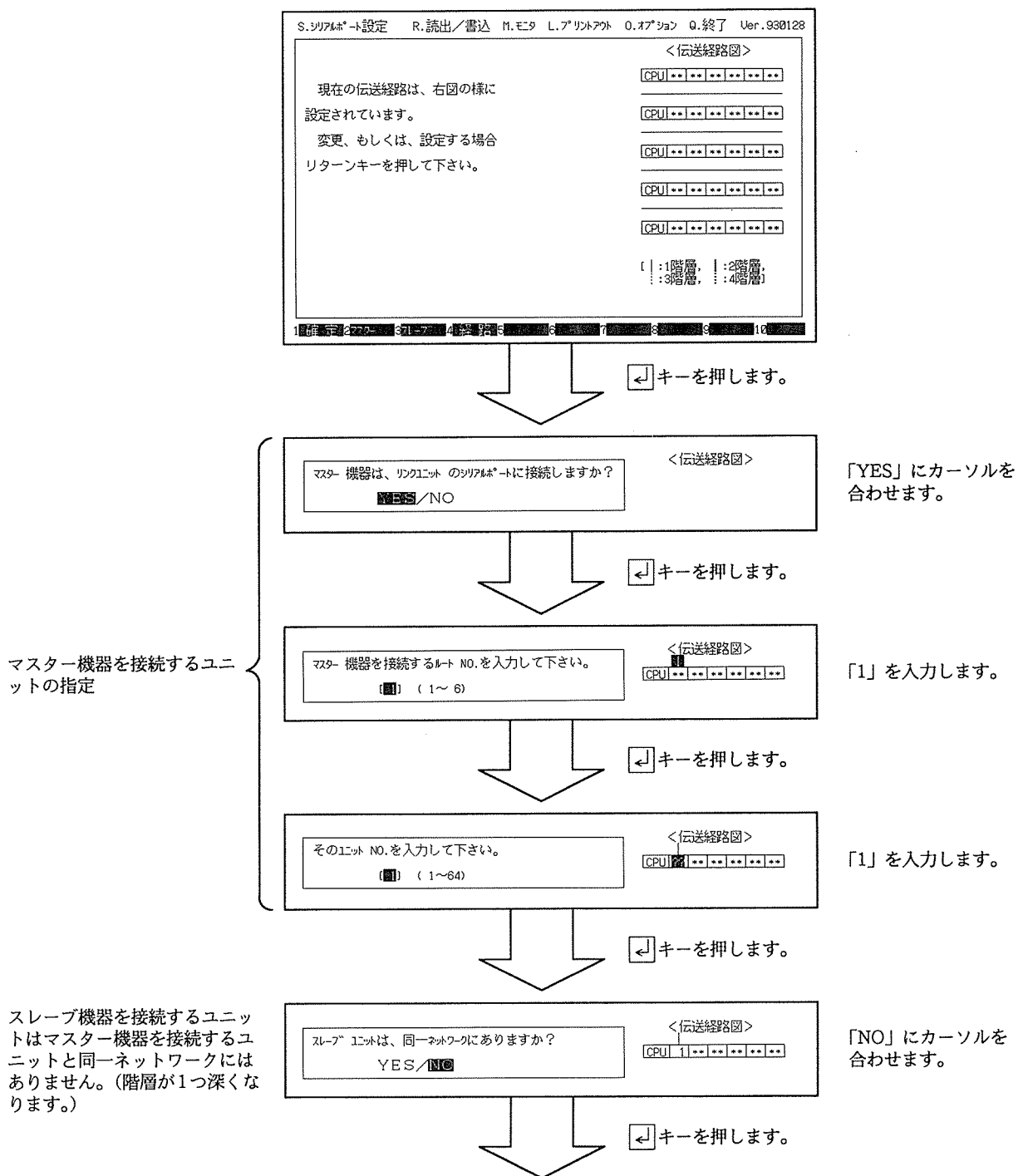
1 確定 2 マスター 3 スレーブ 4 伝送経路 5 6 7 8 9 10

以上で伝送経路の設定
が終了しました。

■設定例2

89ページで説明した伝送経路を設定します。

マスター機器が接続されているのは、ルートNo.1・ユニットNo.1のリンクユニットです。
スレーブ機器が接続されているのは、リンクボード（ユニットNo.2）で、89ページの図で示されている中継局を介して、マスター機器とつながっています。



スレーブ機器を接続するユニットはマスター機器を接続しているユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？
YES / NO

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「NO」にカーソルを合わせます。

キーを押します。

中継局となっているのは、マスター機器が接続されているユニットが加入しているネットワーク上のユニットが中継先ユニットになっています。

中継先のユニットは、同一マザーボード上にありますか？
YES / NO

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「NO」にカーソルを合わせます。

キーを押します。

1-2階層目を結ぶ中継元ユニットの指定

中継局の中継元ユニット NO. を入力して下さい。
[] (1 ~ 6)
設定されています。

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「1」を入力します。

キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。
[] (1 ~ 64)
設定されています。

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「3」を入力します。

キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットは、中継元ユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？
YES / NO

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「NO」にカーソルを合わせます。

キーを押します。

1-2階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

中継局の中継先ユニット NO. を入力して下さい。
[] (1 ~ 6)
設定されています。
変更、もしくは、設定する場合

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「2」を入力します。

キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。
[] (1 ~ 64)
設定されています。
変更、もしくは、設定する場合

<伝送経路図>
CPU1 1
CPU2
CPU3
CPU4
CPU5
CPU6
CPU7
CPU8
CPU9
CPU10

「1」を入力します。

キーを押します。

スレーブ機器を接続しているユニットは、中継先ユニットと同一ネットワーク上にはありません。(階層が1つ深くなります。)

スレーブユニットは、同一ネットワークにありますか？
YES/NO

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 1... ..
    
```

「NO」にカーソルを合わせます。

←] キーを押します。

2-3階層目を結ぶ中継元ユニットの指定

中継局の中継元ポート NO. を入力して下さい。
[01] (1~6)

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 1... ..
    
```

「1」を入力します。

←] キーを押します。

そのポート NO. を入力して下さい。
[04] (1~64)

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 4... ..
    
```

「4」を入力します。

←] キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットは、中継元ユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？
YES/NO

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 4... ..
    
```

「NO」にカーソルを合わせます。

←] キーを押します。

2-3階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

中継局の中継先ポート NO. を入力して下さい。
[02] (1~6)

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 4... ..
    
```

「2」を入力します。

←] キーを押します。

そのポート NO. を入力して下さい。
[34] (1~64)

設定されています。
変更、もしくは、設定する場合
リターンキーを押して下さい。

<伝送経路図>

```

    CPU1 1... ..
    |
    CPU3 1... ..
    |
    CPU4 4... ..
    
```

「34」を入力します。

←] キーを押します。

3-4階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

<伝送経路図>

```

CPU1 1 | .. | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU3 3 | 1 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU4 4 | 34 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU1 1 | 32 | .. | .. | .. | .. |
  |
  ..
  
```

そのユニット NO. を入力して下さい。
 (1~64)
 設定されています。
 変更、もしくは、設定する場合
 リターンキーを押して下さい。

「1」を入力します。

← キーを押します。

ネットワークの指定は4階層目までです。4階層目の中継先ユニット指定が終了するとスレーブ機器を接続するユニットの選択に入ります。

<伝送経路図>

```

CPU1 1 | .. | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU3 3 | 1 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU4 4 | 34 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU1 1 | 32 | .. | .. | .. | .. |
  |
  ..
  
```

スレーブ機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか?
 YES / NO
 設定されています。
 変更、もしくは、設定する場合
 リターンキーを押して下さい。

「NO」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットの指定

<伝送経路図>

```

CPU1 1 | .. | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU3 3 | 1 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU4 4 | 34 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU1 1 | 32 | .. | .. | .. | .. |
  |
  ..
  
```

スレーブ機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか?
 YES / NO
 設定されています。
 変更、もしくは、設定する場合
 リターンキーを押して下さい。

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

<伝送経路図>

```

CPU1 1 | .. | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU3 3 | 1 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU4 4 | 34 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU1 1 | 32 | .. | .. | .. | .. |
  |
  ..
  
```

そのユニット NO. を入力して下さい。
 (1~64)
 設定されています。
 変更、もしくは、設定する場合
 リターンキーを押して下さい。

「2」を入力します。

← キーを押します。

S. シリアルポート設定 R. 読出し/書込 M. メモリ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930128

<伝送経路図>

```

CPU1 1 | .. | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU3 3 | 1 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU4 4 | 34 | .. | .. | .. | .. |
  |
CPU1 1 | 32 | .. | .. | .. | .. |
  |
  ..
  
```

現在の伝送経路は、右図の様に設定されています。
 変更、もしくは、設定する場合
 リターンキーを押して下さい。

リンクユニット

(: 1階層, : 2階層, : 3階層, : 4階層)

以上で伝送経路の設定が終了しました。

4 - 4

多重接続モードの設定

メニューバー《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューから〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉を選択し、さらに〈多重モード〉を選択すると多重接続モードの設定に入ります。

多重接続モードの設定画面には、マスター局のシリアル通信条件設定画面・スレーブ局のシリアル通信条件設定画面・伝送経路設定画面があります。

多重接続モードでは、データのやりとりが多局間（1:n通信）で、1マスター局に対して接続できる最大スレーブ局数が16局のため、スレーブ局のシリアル通信条件設定画面が16画面あります。シリアル通信条件設定画面の各項目は、それぞれ初期設定されています。変更が必要な項目についてのみ設定を行ってください。

伝送経路設定画面では、マスター局から各スレーブ局への伝送経路を設定します。必ず設定してください。

シリアル通信条件設定画面で設定するスレーブ局番と伝送経路指定画面で設定する伝送経路の局番は対になっています。

画面の切り替えは、ファンクションキーの操作により行います。

初期画面として、マスター局のシリアル通信条件設定画面が多重モードに入ったとき画面に表示されます。

設定を中断し、他のメニューへ移る場合は、**ESC** キーを押してください。《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

中断しても設定内容は保持されていますので、《S. シリアルポート設定》から〈2. 設定〉を選択し、さらに〈多重モード〉を選択すると設定していた内容を表示できます。

4-4-1 多重接続モードの選択

- ① メニューバーから《S. シリアルポート設定》を選択します。
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉を選択します。
サブメニューが表示されます。

③ (多重モード) を選択します。

マスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

シリアル通信条件 (接続モード:多重) (設定:マスター)

シリアルポート設定 有効/する (しない:DIP SWの内容)
 ボーレート [19200/ 9600/ 4800/ 2400/ 1200/ 600]
 データ長 [7ビット/8ビット]
 パリティチェック [無効/有効]
 パリティ設定 [奇数/偶数]
 ストップビット長 [1ビット/2ビット]
 フロー制御 [無効/有効(起動時RTSアクティブ)]
 RTS/CTS制御 有効/する
 ハグガード指定 [25] <'%'> ※ハグガード指定しない場合、25H(%)固定
 ハグガード 有効/する
 端末コード [0B/LF/CR+LF/LF+CR/1文字指定/2文字指定]
 端末コード指定 [0] <'.'> (1文字目) ※データ長が7ビットの時、0~7F
 端末コード指定 [0] <'.'> (2文字目) 8ビットの時、0~FF
 タイムアウト値の設定 [5.0] (0.5s~127.5s)
 異常時の再送指定 [しない/有効]
 再送回数 [3] (0~255) 0:無限

1 確定 2 戻る 3 設定 4 確認 5 終了 6 戻る 7 呼び出し 8 戻る 9 ヘルプ 10

注意 単一モードのシリアルポートを設定中に〈2.設定〉から(多重モード)を選択すると、以下の確認メッセージが表示されます。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930128

1.新規設定
2.設定
3.設定
1.単一モード

シリアル伝送機能
単一モードの設定が失われます。
よろしいですか? YES/ NO

- ・単一モードで設定した内容を破棄し、多重接続モードの設定を新たに行う場合は、【YES】にカーソルを合わせ、 キーを押します。
- ・【NO】を選択すると、《S.シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

④ 画面に「(接続モード:多重)」と表示されていることを確認してください。

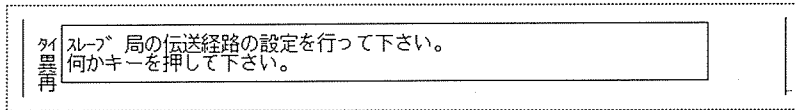
S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

シリアル通信条件 (接続モード:多重) (設定:マスター)

●ファンクションキーの内容

f・1 [確定]

シリアル通信条件と伝送経路のすべての設定が終了した後、設定した項目を確定します。伝送経路を設定せずに、確定しようとするエラーメッセージが表示されます。



f・2 [マスター 設]

マスター局のシリアル通信条件設定画面を表示します。

f・3 [スレーブ設]

シリアル通信条件を設定するスレーブ局の選択をします。
詳細は、「●スレーブ局の選択」(110ページ)をご参照下さい。

f・4 [経路]

伝送経路設定画面を表示します。この画面で、マスター局と各スレーブ局を結ぶ伝送経路を設定します。シリアル伝送機能をご使用の場合は必ず設定してください。

f・7 [コピー]

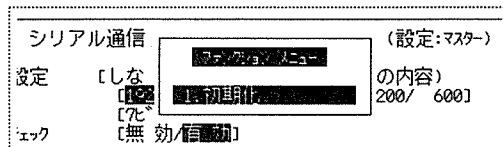
シリアル通信条件設定画面が表示されているときに有効になります。
現在画面に表示されている局のシリアル通信条件設定画面に、他局で設定されている設定内容をコピーします。
詳細は、「●シリアル通信条件設定内容のコピー」(113ページ)をご参照下さい。

f・9 [メニュー]

それぞれの局について、シリアル通信条件設定・伝送経路の設定内容を初期化することができます。

●設定内容の初期化

- ① シリアル通信条件設定画面で f・9 [メニュー] を選択します。
[ファンクションメニュー] ウィンドウが表示されます。
- ② 初期化しますので、そのまま [↵] キーを押します。



③ 以下の画面が表示されますので、初期化する項目を選択します。

S. シリアルポート設定 R. 読出/書込 M. モニタ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 921029

NO	階層	リンクNO. とユニット	シリアル通信条件	伝送経路	位置の伝送経路図	
1	1	(1, 4)-(マスター	[する/しない]	[する/しない]	4** ** ** ** **
	2	(**,xx)-(スレーブ 1	[する/しない]	[する/しない]	
	3	(**,xx)-(スレーブ 2	[する/しない]	[する/しない]	
	4	(**,xx)-(スレーブ 3	[する/しない]	[する/しない]	1** ** ** ** **
2	1	(1, 4)-(スレーブ 4	[する/しない]	[する/しない]	
	2	(2, 2)-(スレーブ 5	[する/しない]	[する/しない]	
	3	(**,xx)-(スレーブ 6	[する/しない]	[する/しない]	
	4	(**,xx)-(スレーブ 7	[する/しない]	[する/しない]	
3	1	(1, 4)-(スレーブ 8	[する/しない]	[する/しない]	
	2	(1, 1)-(スレーブ 9	[する/しない]	[する/しない]	
	3	(**,xx)-(スレーブ 10	[する/しない]	[する/しない]	
	4	(**,xx)-(スレーブ 11	[する/しない]	[する/しない]	
4	1	(**,xx)-(スレーブ 12	[する/しない]	[する/しない]	
	2	(**,xx)-(スレーブ 13	[する/しない]	[する/しない]	
	3	(**,xx)-(スレーブ 14	[する/しない]	[する/しない]	
	4	(**,xx)-(スレーブ 15	[する/しない]	[する/しない]	
			スレーブ 16	[する/しない]	[する/しない]	

(SHIFT+→(←) : シリアル通信条件(←)伝送経路)

位置の伝送経路図

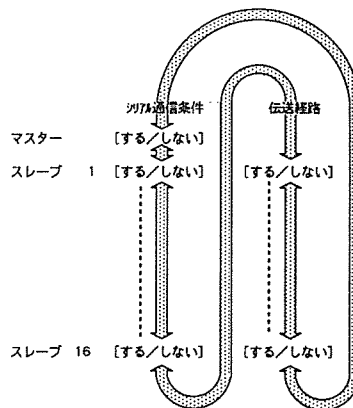
層, | : 2階層
層, | : 4階層

リンク NO. , ユニット NO.)

1 実行 2 全指定 3 全解除 4

初期画面は、すべての項目が【しない】になっていますので、初期化する項目を選択し、【する】にカーソルを合わせます。

- ・【する】・【しない】の選択は、・ キーでします。
- ・[シリアル通信条件] と [伝送経路] の項目の切り替えは **SHIFT** キーを押しながら ・ キーを押します。
- ・ キーを使って切り替える場合は、以下のようなカーソルの動きになります。



- ・ **f・2** [全指定] を押すと、全ての項目について「する」が設定されます。
- ・ **f・3** [全解除] を押すと、全ての項目について「しない」が設定されます。

④ すべての選択が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。

4-4-2 シリアル通信条件の設定

シリアル通信条件の設定は、マスター局とスレーブ局のそれぞれについて行います。

スレーブ局は1マスター局に対して16局まで接続できますので、接続するスレーブ局分を全て設定します。

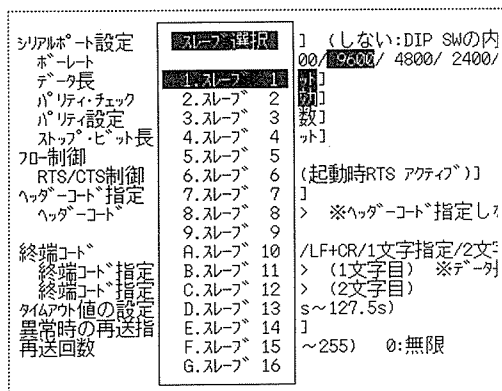
マスター局のシリアル通信条件設定画面は、**f.2** [マスタ 設] を押すと表示されます。

スレーブ局のシリアル通信条件設定画面は16画面あるので、何局目のスレーブ局の設定を行うかを選択します。

●スレーブ局の選択

① **f.3** [スレーブ 設] を押します。

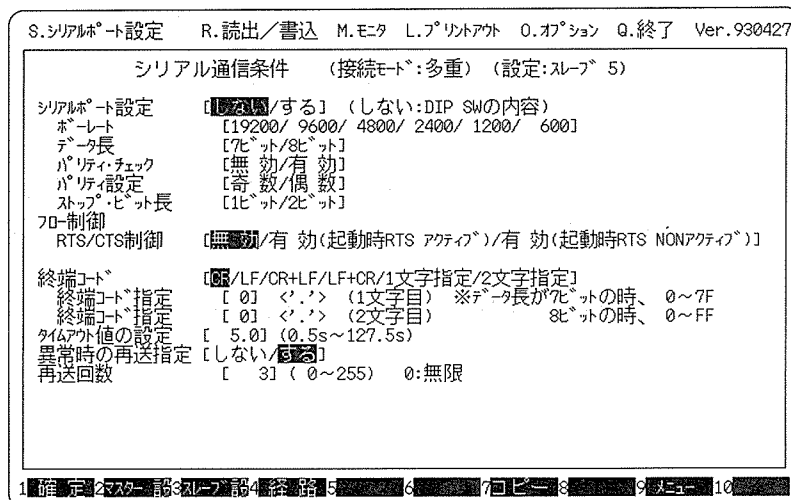
[スレーブ選択] ウィンドウが表示されます。



スレーブ局番には優先順位はありませんが、伝送経路指定画面での [NO] と対応していますので、選択したスレーブ局番の伝送経路を伝送経路指定画面で設定します。

② **↓** **↑** キーで設定するスレーブ局を選択し、**↵** キーを押します。

選択されたスレーブ局のシリアル通信設定画面が表示されます。



画面上段の「(設定:****)」の項目でどの局を設定をしているか確認することができます。

S.シリアルポート設定	R.読出/書込	M.モータ	L.プリントアウト	O.オプション	Q.終了	Ver.930427
シリアル通信条件 (接続モード:多重) (設定:スレーブ 1)						

(スレーブ5局を設定している場合)

設定の方法は、マスター局・スレーブ局ともに同じです。

初期設定がそれぞれの項目についてされていますので、変更が必要な項目のみ設定します。

設定した内容は、他局にコピーすることができます。詳細は86ページの「●シリアル通信条件設定内容のコピー」をご参照ください。

各項目の設定内容については、以下の各項目をご参照下さい。

[シリアルポート設定]

シリアルポートの設定をする/しないを選択します。

「しない」を選択した場合は、リンクユニットのディップスイッチで設定した内容で動作します。
[ホート] などのサブ項目にはカーソルは移動しません。

「する」を選択した場合は、[ホート] などのサブ項目の設定を行ってください。

キーでサブ項目へ移動します。

設定する項目は以下のとおりです。

サブ項目	設 定
ボーレート	19200 9600 4800 2400 1200 600
データ長	7ビット 8ビット
パリティチェック	無効 有効
パリティ設定	奇数 偶数
ストップ・ビット長	1ビット 2ビット

- ・パリティチェックを「無効」に設定した場合、パリティ設定の設定は無効になります。
- ・初期値は、19200/8ビット/有効/奇数/1ビットになっています。
- ・ ・ キーを使って、設定項目へ移動します。
- ・ ・ キーを使って、各項目の設定をします。

[フロー制御]

RTS/CTS制御を有効にするか無効にするかを選択します。

スレーブ局のRTS/CTS制御の設定では、起動時にRTSをアクティブにするか、ノンアクティブにするかが選択できます。

[ヘッダーコード指定]

マスター局の設定画面のみ表示されます。

制御コマンドのヘッダーコードを指定する/しないを選択します。

「しない」を設定した場合は、ヘッダーコードは「25H (%)」に設定されます。

「する」を設定した場合は、[ヘッダーコード] のサブ項目で、ヘッダーコードを16進数で入力します。

[終端コード]

終端コードを「CR・LF・CR + LF・LF + CR」から選択します。

「1文字指定」または「2文字指定」を選択すると任意に終端コードを指定することができます。

- 「1文字指定」または「2文字指定」を選択した場合は、[終端コード指定] をアスキーコードまたはJISコードを使って設定します。

「1文字指定」を選択した場合は、(1文字目) の項目のみに設定します。

「2文字指定」を選択した場合は、(1文字目) と (2文字目) の項目にそれぞれ設定します。

[タイムアウト値の設定]

タイムアウト値を数値で設定します。

設定可能範囲は0.5秒から127.5秒まで、0.5秒単位で設定できます。

[異常時の再送指定]

異常が発生したとき、データの再送をする/しないを選択します。

「する」を選択した場合は、[再送回数] の設定を行ってください。

[再送回数]

[異常時の再送指定] で「する」を選択した場合に、設定が有効になります。

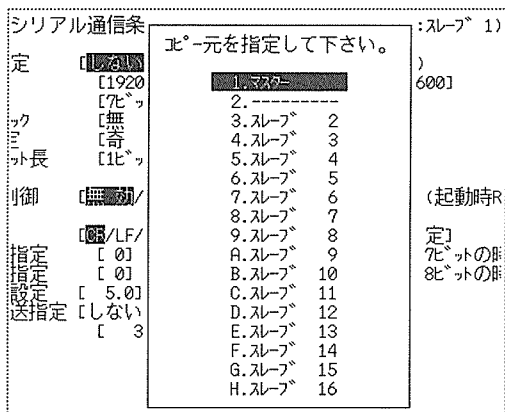
異常が発生したとき、データの再送を何回するかを数値で入力してください。

「0」を設定すると、異常時に無限に再送を繰り返します。

●シリアル通信条件設定内容のコピー

現在設定中の局のシリアル通信条件設定画面に、他局で設定されている設定内容をコピーします。

シリアル通信条件設定画面で **f・7** [コピー] を押すと下記のウィンドウが表示されます。



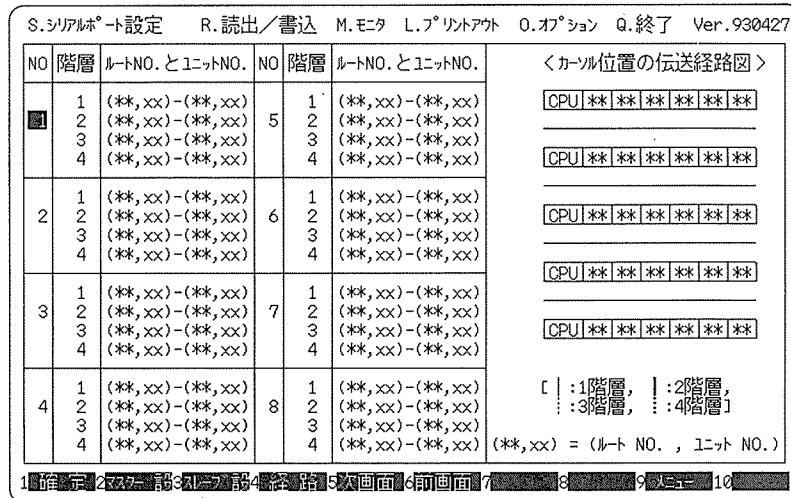
設定内容をどの局からコピーするかを **↓** **↑** キーで選択し、**↵** キーを押します。コピーした設定内容が表示されます。

注意 ・画面に表示されている現在設定中の局は「-----」と表示されます。

- ・スレーブ局の設定画面には、[ハッターコード指定] 項目はありませんので、この項目以外の設定内容がマスター局の設定画面からコピーします。
- ・スレーブ局の設定画面で、RTS/CTS制御が【有効 (起動時NONアクティブ)】に設定されていると、マスター局へその設定内容をコピーした場合は、【有効 (起動時アクティブ)】に変更されます。

4-4-3 経路設定

多重モードのシリアル通信条件設定画面で **f・4** [経路] を押すと、多重モードの伝送経路設定画面が表示されます。



多重モードの伝送経路設定画面は2画面から構成されています。

f・5 [次画面] と **f・6** [前画面] で画面を切り替えることができます。

- **f・5** [次画面] 伝送経路設定画面で有効になります。
スレーブ9局から16局までの伝送経路設定画面を表示します。
- **f・6** [前画面] 伝送経路設定画面で有効になります。
スレーブ1局から8局までの伝送経路設定画面を表示します。

●画面の構成

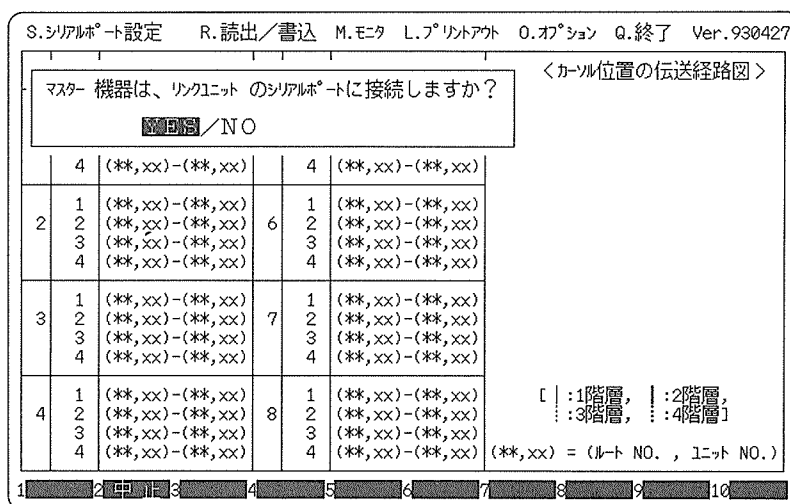
表示項目	内容
[NO]	スレーブ局を示します
[階層]	リンクの階層を示します
[ルートNO. とユニットNO.]	[**] : ルートNO. ・リンクボードの場合はルートNO.の指定の必要がありませんので「-」と示されます。 [xx] : ユニットNO.を示します
[<カーソル位置の伝送経路図>]	経路設定中は、選択された伝送経路が順次表示されます。 カーソルがスレーブ局の [NO] にある場合はカーソルがあるスレーブ局用に設定された経路が表示されます。

■ 伝送経路の設定

マスター局から各スレーブ局への経路を指定します。

f.4 [経路] を押した直後の伝送経路設定画面では、カーソルが **f.4** を押す前に設定していた局のNo.にカーソルがあります。ただし、マスター局の通信条件を設定していた場合は、No.1にカーソルがあります。1画面には、8局分の設定画面のみ表示されますので、必要であれば、**f.5** [次画面]・**f.6** [前画面] を押して、表示画面を切り替えてください。

↓ **↑** キーを使って伝送経路を設定するスレーブ局を選択し、**↵** キーを押してください。選択されたスレーブ局の伝送経路の設定ができる状態になります。



● 伝送経路設定中に表示されるファンクションキーの内容

f.2 [中止]

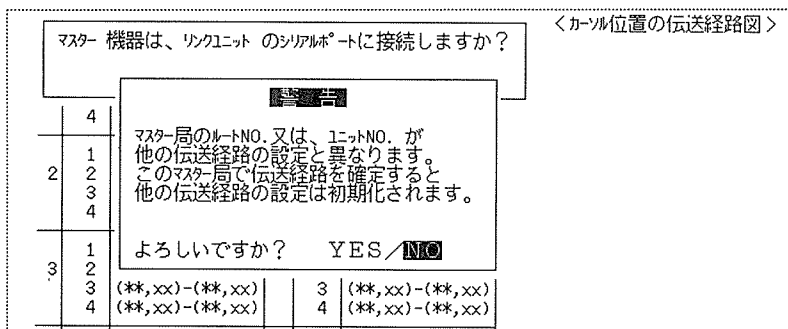
伝送経路の設定を中止し、**↵** キーを押す前の状態に戻ります。

各スレーブ局への経路設定方法は、単一接続モードと同じですので、88ページの単一モードでの経路設定方法をご参照ください。

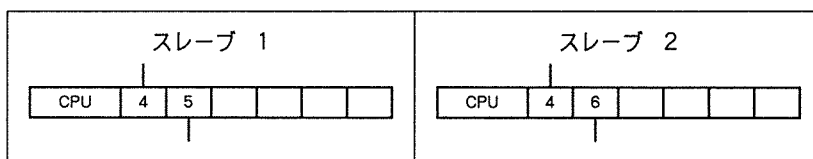
経路を設定中には画面右側の [カーソル位置の伝送経路図] に選択された伝送経路が順次表示されますので、経路を確認しながら設定できます。

●設定上の注意

- ・ **[ESC]** キーを押すと、ひとつ前の設定に戻ることができます。
- ・ ひとつのスレーブ局の設定が終了すれば、カーソルがスレーブ局NO.に戻ります。
左コラムには、設定されたルートNo.とユニットNO.が表示されます。
- ・ さらに別のスレーブ局の伝送経路を設定する場合は、設定するスレーブ局NO.にカーソルを合わせ、**[↵]** キーを押します。選択されたスレーブ局の伝送経路指定にはいります。
- ・ 各スレーブ局の伝送経路の設定のとき、マスター局の種類（リンクユニット・リンクボード・バス結合）、ルートNo.(リンクユニットの場合)、ユニットNO.の設定が異なると警告メッセージが表示されます。



- ・ **[YES]** を選択すると、すでに設定した伝送経路は初期化されます。
[NO] を選択すると、現在設定中の伝送経路に戻ります。
どちらかを選択し、**[↵]** キーを押してください。
- ・ 接続モードの設定内容を **f・1** [確定] を押して確定するときに、以下に示す伝送経路はチェックされませんがエラーにはなりません。リンクユニットへその設定内容を書き込むときにエラーとなります。



4-4-4 設定の確定

多重モードでシリアル伝送するスレーブ局の伝送経路の設定がすべて終了すれば、多重接続モードの設定の確定を行います。

- ① **f・1** [確定] を押します。

[シリアル伝送機能の確定 (多重)] ウィンドウが表示されます。

1	1	<p style="text-align: center;">シリアル伝送機能の確定 (多重)</p> <p>マスターと次のスレーブNO. の設定を確定します</p> <p>よろしいですか? YES/NO</p> <p>[1], [2], [3], [4], 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16]</p> <p>スレーブNO. を確定対象にするときは、<u>伝送経路を設定して下さい。</u> また、確定対象からはずすときは、<u>伝送経路を初期化して下さい。</u></p>	**
	2		*
	3		*
	4		*
2	1		
	2		
	3		
	4		
3	1		
	2		

伝送経路が設定されているスレーブ局NO.が反転表示されていますので、すべての設定が終了しているか確認します。

- ② **[YES]** または **[NO]** にカーソルを合わせ、**[↵]** キーを押します。

[NO] を押すと、シリアルポート設定画面に戻ります。

[YES] を押すと、システム設定ソフトは自動的にシリアルポート設定内容にエラーがないかチェックします。

エラーがなければ設定内容が確定され、終了のメッセージが画面下に表示されます。

4	(**,xx)-(**,xx)	4	(**,xx)-(**,xx) (**,xx) = (ルート NO. , 1ユニット NO.)
シリアル伝送機能のチェックが終了しました 何かキーを押して下さい。			

エラーがあれば、エラー内容が画面に表示されます。設定内容の確定は行われません。

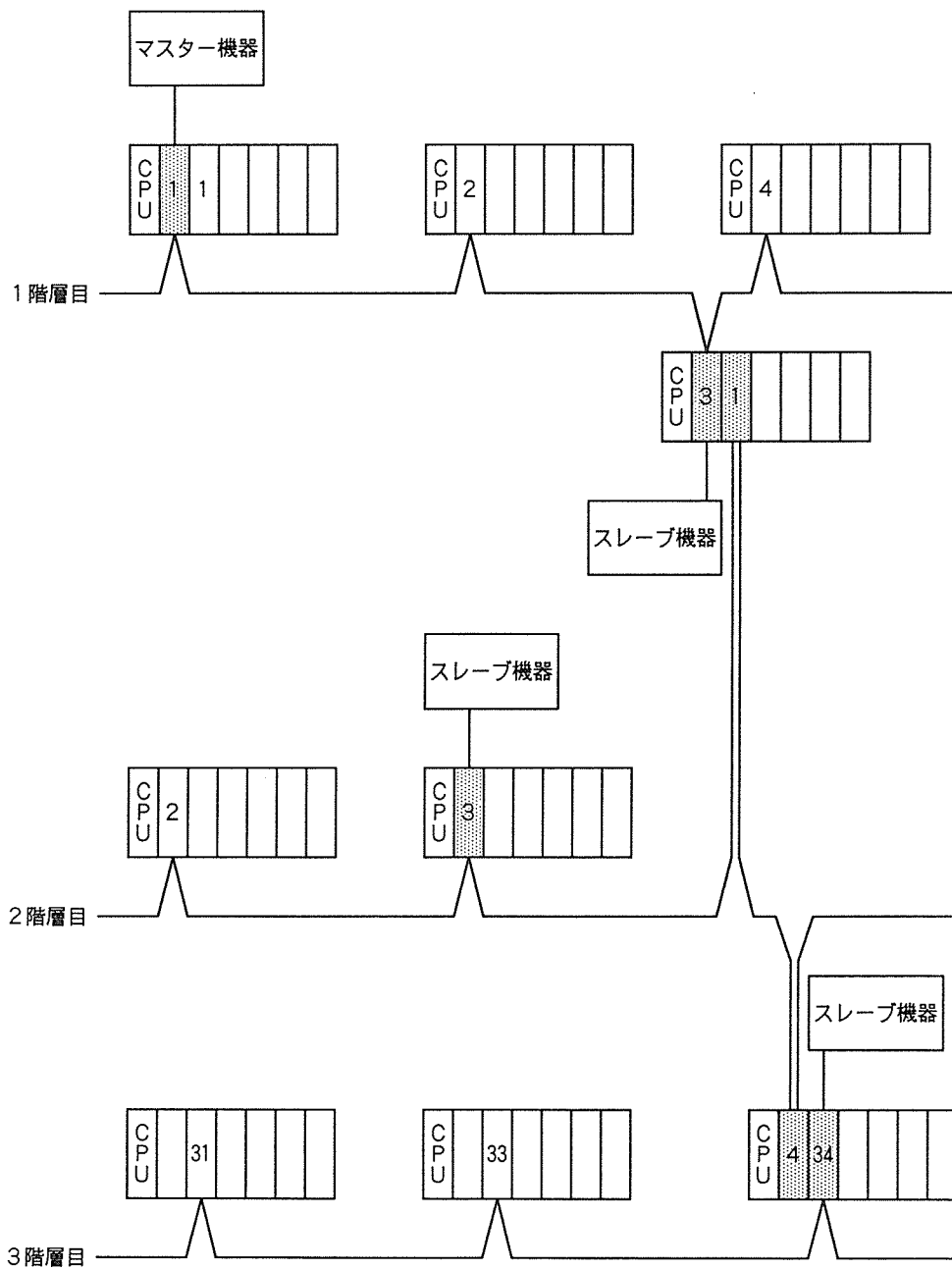
エラーを修正してください。修正方法は、単一接続モードと同じですので、96ページを参照してください。

4-4-5 伝送経路設定例

実際に伝送経路を指定する場合は、まずネットワークをどのように構築する（している）か、多階層リンク機能を使用する場合は、どのように多階層リンクを構築する（している）かを把握した上で、どのような経路を指定するかを決定してください。

■設定例

下図に示すように接続されているスレーブ機器への経路を指定します。



スレーブ1局No.2の設定をします。

S. シリアルポート設定		R. 読出/書込		M. モニタ	L. プリントアウト	O. オフション	Q. 終了	Ver. 930427
NO	階層	ポートNO.とユニットNO.	NO	階層	ポートNO.とユニットNO.	<カーソル位置の伝送経路図> CPU ** ** ** ** ** **		
1	1	(**,xx)-(**,xx)	5	1	(**,xx)-(**,xx)			
2	2	(**,xx)-(**,xx)	2	2	(**,xx)-(**,xx)			
3	3	(**,xx)-(**,xx)	3	3	(**,xx)-(**,xx)			
4	4	(**,xx)-(**,xx)	4	4	(**,xx)-(**,xx)	CPU ** ** ** ** ** **		
2	1	(**,xx)-(**,xx)	6	1	(**,xx)-(**,xx)	CPU ** ** ** ** ** **		
2	2	(**,xx)-(**,xx)	2	2	(**,xx)-(**,xx)			
3	3	(**,xx)-(**,xx)	3	3	(**,xx)-(**,xx)			
4	4	(**,xx)-(**,xx)	4	4	(**,xx)-(**,xx)	CPU ** ** ** ** ** **		
3	1	(**,xx)-(**,xx)	7	1	(**,xx)-(**,xx)	CPU ** ** ** ** ** **		
2	2	(**,xx)-(**,xx)	2	2	(**,xx)-(**,xx)			
3	3	(**,xx)-(**,xx)	3	3	(**,xx)-(**,xx)			
4	4	(**,xx)-(**,xx)	4	4	(**,xx)-(**,xx)	CPU ** ** ** ** ** **		
4	1	(**,xx)-(**,xx)	8	1	(**,xx)-(**,xx)	[: 1階層, : 2階層, : 3階層, : 4階層]		
2	2	(**,xx)-(**,xx)	2	2	(**,xx)-(**,xx)			
3	3	(**,xx)-(**,xx)	3	3	(**,xx)-(**,xx)			
4	4	(**,xx)-(**,xx)	4	4	(**,xx)-(**,xx)	(**,xx) = (ポート NO. , ユニット NO.)		

「1」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

マスター機器は、ワックユニットのシリアルポートに接続しますか? <カーソル位置の伝送経路図>
 YES / NO CPU|**|**|**|**|**|**

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

マスター機器を接続するユニットの指定

マスター機器を接続するポート NO. を入力して下さい。 <カーソル位置の伝送経路図>
 (1 ~ 6) CPU|**|**|**|**|**|**

「1」を入力します。

← キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。 <カーソル位置の伝送経路図>
 (1 ~ 64) CPU|**|**|**|**|**|**

「1」を入力します。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットが、マスター機器を接続するユニットと同一ネットワークにあります。

スレーブユニットは、同一ネットワークにありますか? <カーソル位置の伝送経路図>
 YES / NO CPU|1|**|**|**|**|**|**

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットの指定

スレーブ機器は、ワックユニットのシリアルポートに接続しますか? <カーソル位置の伝送経路図>
 YES / NO CPU|1|**|**|**|**|**|**

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

第4章 シリアルポートの設定

スレーブ機器を接続するユニットの指定

スレーブ機器を接続するルート NO. を入力して下さい。

〔 1 〕 (1 ~ 6)

4	(** , xx) - (** , xx)	4	(** , xx) - (** , xx)
---	-----------------------	---	-----------------------

〔 1 〕

〔 CPU 1 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **]

〔 CPU ** ** ** ** ** ** ** ** **]

<カーソル位置の伝送経路図>

「1」を入力します。

← キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。

〔 3 〕 (1 ~ 64)

4	(** , xx) - (** , xx)	4	(** , xx) - (** , xx)
---	-----------------------	---	-----------------------

〔 3 〕

〔 CPU 1 ** ** **~** **]

〔 CPU 3 ** ** **~** **]

<カーソル位置の伝送経路図>

「3」を入力します。

← キーを押します。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

NO	階層	ルートNO.とユニットNO.	NO	階層	ルートNO.とユニットNO.
1	1	(1 , 1) - (1 , 3)	5	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
2	1	(** , xx) - (** , xx)	6	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
3	1	(** , xx) - (** , xx)	7	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
4	1	(** , xx) - (** , xx)	8	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)

〔 : 1階層, ! : 2階層, : : 3階層, ! : 4階層 〕

(** , xx) = (ルート NO. , ユニット NO.)

〔 CPU 1 ** ** **~** **]

〔 CPU 3 ** ** **~** **]

<カーソル位置の伝送経路図>

スレーブ局No.1の設定が終了しました。

No.1の [ルートNoとユニットNo.] に設定内容が表示されます。
<カーソル位置の伝送経路図>には設定内容が経路図として表示されます。

ひきつづきスレーブ局No.2の設定をします。

スレーブ局No.2の設定をします。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

NO	階層	ルートNO.とユニットNO.	NO	階層	ルートNO.とユニットNO.
1	1	(1 , 1) - (1 , 3)	5	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
2	1	(** , xx) - (** , xx)	6	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
3	1	(** , xx) - (** , xx)	7	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)
4	1	(** , xx) - (** , xx)	8	1	(** , xx) - (** , xx)
	2	(** , xx) - (** , xx)		2	(** , xx) - (** , xx)
	3	(** , xx) - (** , xx)		3	(** , xx) - (** , xx)
	4	(** , xx) - (** , xx)		4	(** , xx) - (** , xx)

〔 : 1階層, ! : 2階層, : : 3階層, ! : 4階層 〕

(** , xx) = (ルート NO. , ユニット NO.)

〔 CPU ** ** **~** **]

〔 CPU ** ** **~** **]

〔 CPU ** ** **~** **]

〔 CPU ** ** **~** **]

<カーソル位置の伝送経路図>

「2」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

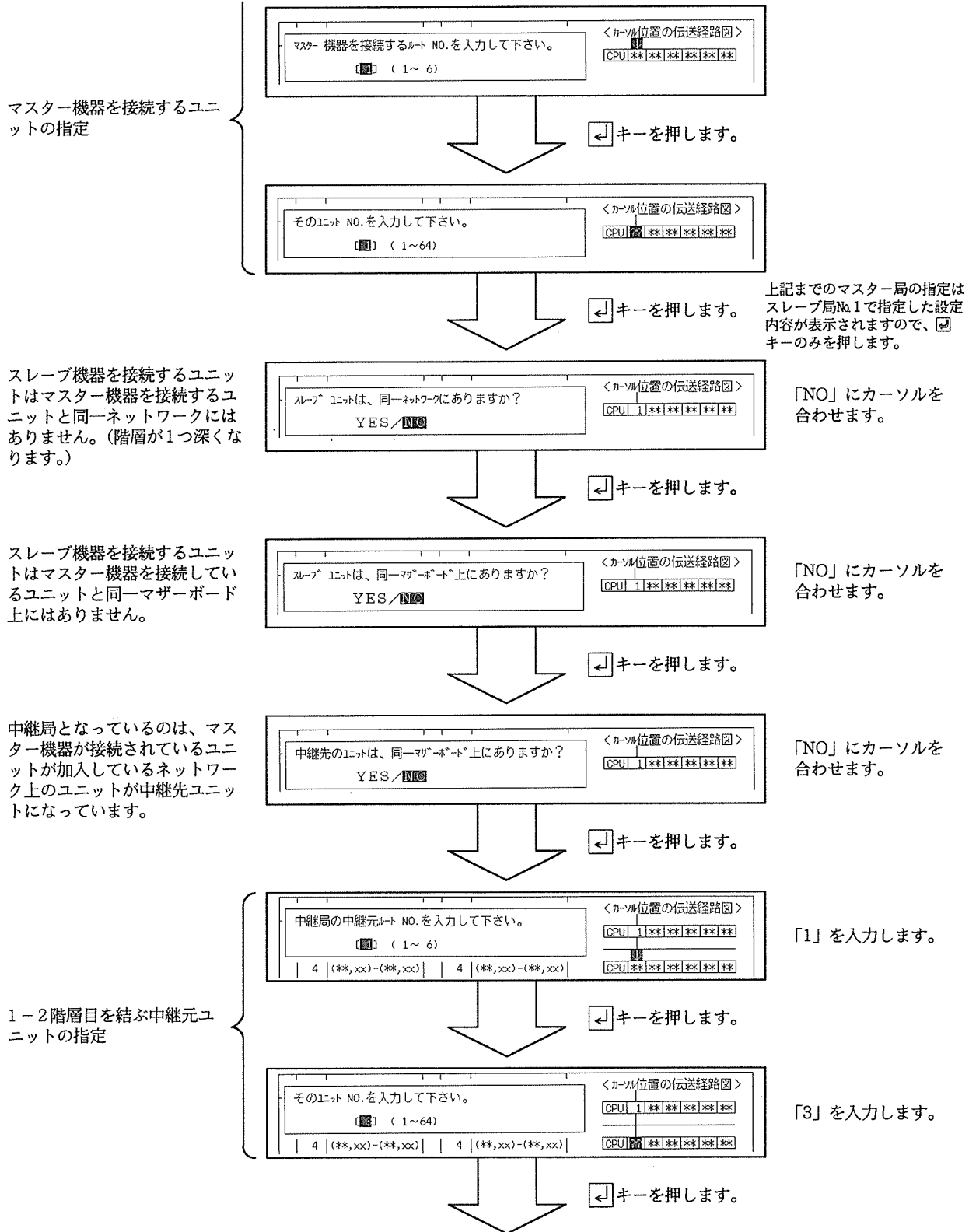
マスター機器を接続するユニットの指定

マスター機器は、ユニットのシリアルポートに接続しますか?

〔 YES / NO 〕

<カーソル位置の伝送経路図>

← キーを押します。



スレーブ機器を接続するユニットは、中継元ユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？				＜カール位置の伝送経路図＞			
YES/NO				CPU 1 ** ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			

「NO」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

1-2階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

中継局の中継先ルートを入力して下さい。				＜カール位置の伝送経路図＞			
[] (1~6)				CPU 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			

「2」を入力します。

← キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。				＜カール位置の伝送経路図＞			
[] (1~64)				CPU 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			

「1」を入力します。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続しているユニットが中継先リンクユニット同一ネットワーク上にあります。

スレーブユニットは、同一ネットワークにありますか？				＜カール位置の伝送経路図＞			
YES/NO				CPU 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 1 ** ** **			
1 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

スレーブ機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか？				＜カール位置の伝送経路図＞			
YES/NO				CPU 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニット (スレーブ局No.2) の指定

スレーブ機器を接続するルート NO. を入力して下さい。				＜カール位置の伝送経路図＞			
[] (1~6)				CPU 1 ** ** **			
4 (**,xx)-(**,xx)				CPU 3 1 ** ** **			
1 (**,xx)-(**,xx)				CPU 4 ** ** **			
2 (**,xx)-(**,xx)				CPU ** ** **			
6 (**,xx)-(**,xx)				CPU ** ** **			

「1」を入力します。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニット (スレーブ局No.2) の指定

そのユニット NO. を入力して下さい。
 (1~64)

4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)
1	(**,**)-(**,**)	1	(**,**)-(**,**)
<input checked="" type="checkbox"/> 2	(**,**)-(**,**)	6	2 (**,**)-(**,**)

<カーソル位置の伝送経路図>
 CPU 1 | ** | ** | ** | ** | ** | **
 CPU 3 | 1 | ** | ** | ** | ** | **
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **

「3」を入力します。

キーを押します。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

NO	階層	ルートNO.とユニットNO.	NO	階層	ルートNO.とユニットNO.
1	1	(1, 1)-(1, 3)	5	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
<input checked="" type="checkbox"/>	1	(1, 1)-(1, 3)	6	1	(**,**)-(**,**)
	2	(2, 1)-(1, 3)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
3	1	(**,**)-(**,**)	7	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
4	1	(**,**)-(**,**)	8	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)

<カーソル位置の伝送経路図>
 CPU 1 | ** | ** | ** | ** | ** | **
 CPU 3 | 1 | ** | ** | ** | ** | **
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **

[: 1階層, ! : 2階層, : : 3階層, ! : 4階層]
 (**,**) = (ルート NO. , ユニット NO.)

スレーブ局No.2の設定が終了しました。

No.2の [ルートNoとユニットNo.] に設定内容が表示されます。
 <カーソル位置の伝送経路図>には設定内容が経路図として表示されます。

ひきつづきスレーブ局No.3の設定をします。

スレーブ局No.3の指定をします。

S.シリアルポート設定 R.読出/書込 M.モニタ L.プリントアウト O.オプション Q.終了 Ver.930427

NO	階層	ルートNO.とユニットNO.	NO	階層	ルートNO.とユニットNO.
1	1	(1, 1)-(1, 3)	5	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
2	1	(1, 1)-(1, 3)	6	1	(**,**)-(**,**)
	2	(2, 1)-(1, 3)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
<input checked="" type="checkbox"/>	1	(**,**)-(**,**)	7	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)
4	1	(**,**)-(**,**)	8	1	(**,**)-(**,**)
	2	(**,**)-(**,**)		2	(**,**)-(**,**)
	3	(**,**)-(**,**)		3	(**,**)-(**,**)
	4	(**,**)-(**,**)		4	(**,**)-(**,**)

<カーソル位置の伝送経路図>
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **
 CPU | ** | ** | ** | ** | ** | **

[: 1階層, ! : 2階層, : : 3階層, ! : 4階層]
 (**,**) = (ルート NO. , ユニット NO.)

「3」にカーソルを合わせます。

キーを押します。

マスター機器を接続するユニットの指定

マスター機器は、リンクユニットのシリアルポートに接続しますか?
 YES / NO

<カーソル位置の伝送経路図>

キーを押します。

マスター機器を接続するユニットの指定

マスター機器を接続するルート NO.を入力して下さい。
 (1~6) <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

そのユニット NO.を入力して下さい。
 (1~64) <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

上記までのマスター局の指定はスレーブ局No.1で指定した設定内容が表示されますので、 キーのみを押します。

スレーブ機器を接続するユニットはマスター機器を接続するユニットと同一ネットワークにはありません。(階層が1つ深くなります。)

スレーブユニットは、同一ネットワークにありますか?
 YES / <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

「NO」にカーソルを合わせます。

スレーブ機器を接続するユニットはマスター機器を接続しているユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか?
 YES / <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

「NO」にカーソルを合わせます。

中継局となっているのは、マスター機器が接続されているユニットが加入しているネットワーク上のユニットが中継先ユニットになっています。

中継先のユニットは、同一マザーボード上にありますか?
 YES / <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

「NO」にカーソルを合わせます。

1-2階層目を結ぶ中継ユニットの指定

中継局の中継元ルート NO.を入力して下さい。
 (1~6) <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

「1」を入力します。

そのユニット NO.を入力して下さい。
 (1~64) <カーソル位置の伝送経路図>
 CPU

キーを押します。

「3」を入力します。

スレーブ機器を説属するユニットは、中継元ユニットと同一マザーボード上にはありません。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？		YES / NO		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	** ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		

「NO」にカーソルを合わせます。

⏏ キーを押します。

1-2階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

中継局の中継先ユニット NO. を入力して下さい。		【0】 (1~6)		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	** ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		

「2」を入力します。

⏏ キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。		【0】 (1~64)		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	1 ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		

「1」を入力します。

⏏ キーを押します。

スレーブ機器を接続しているユニットは、中継先リンクユニットと同一ネットワーク上にありません。(階層が1つ深くなります。)

スレーブユニットは、同一ネットワークにありますか？		YES / NO		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	1 ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		

「NO」にカーソルを合わせます。

⏏ キーを押します。

2-3階層目を結ぶ中継先ユニットの指定

中継局の中継先ユニット NO. を入力して下さい。		【0】 (1~6)		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	1 ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		
1	(1, 1)-(1, 3)	1	(**,**)-(**,**)		
2	(2, 1)-(1, 3)	6	(**,**)-(**,**)		

「1」を入力します。

⏏ キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。		【0】 (1~64)		<カーソル位置の伝送経路図>	
				CPU 1	** ** ** ** ** **
				CPU 3	1 ** ** ** ** **
4	(**,**)-(**,**)	4	(**,**)-(**,**)		
1	(1, 1)-(1, 3)	1	(**,**)-(**,**)		
2	(2, 1)-(1, 3)	6	(**,**)-(**,**)		

「4」を入力します。

⏏ キーを押します。

第4章 シリアルポートの設定

スレーブ機器を接続するユニットは、中継元ユニットと同一マザーボード上にあります。

スレーブユニットは、同一マザーボード上にありますか？

YES / NO

4	(**,xx)-(**,xx)	4	(**,xx)-(**,xx)
2	1 (1,1)-(1,3)	6	1 (**,xx)-(**,xx)
	2 (2,1)-(1,3)		2 (**,xx)-(**,xx)
	3 (**,xx)-(**,xx)		3 (**,xx)-(**,xx)

<カーソル位置の伝送経路図>

```

CPU1 | ** | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU3 | 1 | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU4 | 4 | ** | ** | ** | **
    
```

「YES」にカーソルを合わせます。

← キーを押します。

スレーブ機器を接続するユニットの指定

スレーブ機器を接続するルート NO. を入力して下さい。

(1~6)

4	(**,xx)-(**,xx)	4	(**,xx)-(**,xx)
2	1 (1,1)-(1,3)	6	1 (**,xx)-(**,xx)
	2 (2,1)-(1,3)		2 (**,xx)-(**,xx)
	3 (**,xx)-(**,xx)		3 (**,xx)-(**,xx)

<カーソル位置の伝送経路図>

```

CPU1 | ** | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU3 | 1 | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU4 | 4 | ** | ** | ** | **
    
```

「2」を入力します。

← キーを押します。

そのユニット NO. を入力して下さい。

(1~64)

4	(**,xx)-(**,xx)	4	(**,xx)-(**,xx)
2	1 (1,1)-(1,3)	6	1 (**,xx)-(**,xx)
	2 (2,1)-(1,3)		2 (**,xx)-(**,xx)
	3 (**,xx)-(**,xx)		3 (**,xx)-(**,xx)

<カーソル位置の伝送経路図>

```

CPU1 | ** | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU3 | 1 | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU4 | 4 | 34 | ** | ** | ** | **
    
```

「34」を入力します。

← キーを押します。

S. シリアルポート設定 R. 読出し/書込 M. モニタ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930427

NO	階層	ルートNO. とユニットNO.	NO	階層	ルートNO. とユニットNO.
1	1	(1,1)-(1,3)	5	1	(**,xx)-(**,xx)
	2	(**,xx)-(**,xx)		2	(**,xx)-(**,xx)
	3	(**,xx)-(**,xx)		3	(**,xx)-(**,xx)
	4	(**,xx)-(**,xx)		4	(**,xx)-(**,xx)
2	1	(1,1)-(1,3)	6	1	(**,xx)-(**,xx)
	2	(2,1)-(1,3)		2	(**,xx)-(**,xx)
	3	(**,xx)-(**,xx)		3	(**,xx)-(**,xx)
	4	(**,xx)-(**,xx)		4	(**,xx)-(**,xx)
<input checked="" type="checkbox"/>	1	(1,1)-(1,3)	7	1	(**,xx)-(**,xx)
	2	(2,1)-(1,4)		2	(**,xx)-(**,xx)
	3	(2,34)-(**,xx)		3	(**,xx)-(**,xx)
	4	(**,xx)-(**,xx)		4	(**,xx)-(**,xx)
4	1	(**,xx)-(**,xx)	8	1	(**,xx)-(**,xx)
	2	(**,xx)-(**,xx)		2	(**,xx)-(**,xx)
	3	(**,xx)-(**,xx)		3	(**,xx)-(**,xx)
	4	(**,xx)-(**,xx)		4	(**,xx)-(**,xx)

<カーソル位置の伝送経路図>

```

CPU1 | ** | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU3 | 1 | ** | ** | ** | **
      |   |   |   |   |   |
      |   |   |   |   |   |
CPU4 | 4 | 34 | ** | ** | ** | **
    
```

[:1階層, :2階層, :3階層, :4階層]
 (**,xx) = (ルート NO. , ユニット NO.)

1:確定 2:戻る 3:読出し/書込 4:ルート階層 5:階層画面 6:設定画面 7:メニュー 8:終了

スレーブ局No.3の設定が終了しました。

4 - 5

設定チェック

ユニットに書き込まれているシリアルポート設定内容をオンラインでチェックします。異常なデータが書き込まれていないかをチェックします。

操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行っておいてください。

- MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFF、SW4をONに設定し、MEWNET - Hシステムを起動させます。
- チェックするリンクユニットにパソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

- ① メニューバーから《S. シリアルポート設定》を選択します。
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 《3. 設定チェック》にカーソルを合わせ、 キーを押します。
[設定チェック] ウィンドウが表示されます。
ウィンドウ内には、現在指定されているネットワーク上に接続されているユニットNo.が表示されます。

注意 ネットワーク指定が行われていない場合は、[ネットワーク指定] ウィンドウがまず表示されますので、オンラインチェックをするネットワークを指定してください。
 現在指定しているネットワーク以外のネットワーク上にあるユニットのモデム設定内容をチェックする場合は、**f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークの指定を行ってください。
 ネットワーク指定についての詳細は「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ③ チェックするユニットのユニットNo.にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。
 指定されたユニットNo.は反転表示されます。
 ユニットの指定をキャンセルする場合は、そのユニットNo.にカーソルを合わせ、**[スペース]** キーを押します。

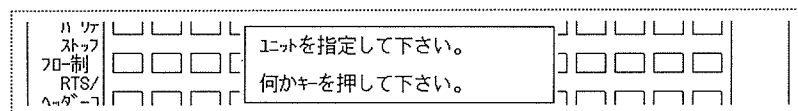
f・4 [全 指定] と **f・5** [全 解除] を使用し、全てのユニットを指定することができます。

f・4 [全 指定] 表示されているユニットを全て指定します。

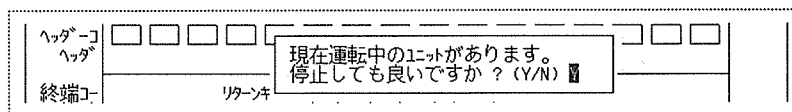
f・5 [全 解除] 現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

- ④ ユニットの指定がすべて終われば、**f・1** [実行] を押します。
 設定のチェックが始まります。

注意 ユニットの指定せずに **f・1** [実行] を押した場合は、ユニットを指定するようにエラーメッセージが表示されますので、ユニット指定をしてください。

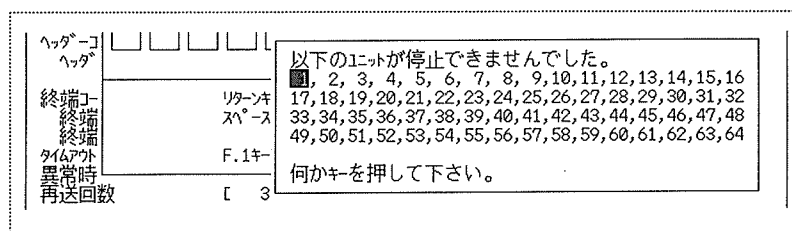


選択したユニットで、運転中のユニットがあれば以下のウィンドウが表示されます。



停止しても良い場合は、**Y** キーを押します。運転を停止し、オンラインチェックを行います。
 停止しない場合は、**N** キーを押します。オンラインチェックを中止し、《P. PCリソ割付》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

Y キーを押し、停止しようとしたにもかかわらず、運転を停止できなかった場合には、以下のウィンドウが表示されます。



停止できたリンクユニットについてオンラインチェックを行います。

通信上のエラーが発生した場合は、通信エラーメッセージが表示されます。

シリアルポート		設定チェック					
ボーレート	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2	通信エラーが発生しました レスポンス！エラー NO-50 リンク設定エラー		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
パリティ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストップ	<input type="checkbox"/>	何かキーを押して下さい。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロー制御	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
RTS/CTS	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ヘッダ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(リンク設定エラーの例)

何かキーを押します。画面は、《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度チェックの操作を行ってください。

- ⑦ オンラインチェックが終わると、終了メッセージウィンドウが表示されます。

シリアルポート		設定チェック					
ボーレート	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2	エラーは有りませんでした。 何かキーを押して下さい。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
パリティ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ストップ	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フロー制御	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
RTS/CTS	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

何かキーを押すと、《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 停止できなかったリンクユニットに対しては、オンラインチェックは行っていません。

エラーが見つければ、エラー内容が画面に表示されます。

S. シリアルポート設定		R. 読出/書込	M. モニタ	L. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了	Ver. 930427
シリ							
シリアルポート		ユニットエラー					
ボーレート	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2	ユニット番号	エラーメッセージ				
パリティ	<input type="checkbox"/>	1	チェックするデータが有りません。				
ストップ	<input type="checkbox"/>	1	ユニットNo. の設定が異常です。				
フロー制御	<input type="checkbox"/>						
RTS/CTS	<input type="checkbox"/>						
ヘッダ	<input type="checkbox"/>						
端末							
端末							
端末							
タイムアウト							

ESC キーを押すと、《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

第5章

5

コンピュータリンク機能 のモデム設定

この章の内容

5-1 コンピュータリンク設定概要	132
5-2 モデム設定	133
5-2-1 新規に設定するとき	133
5-2-2 読み出して変更するとき	134
5-2-3 モデムの設定	134
5-3 設定内容のチェック	135

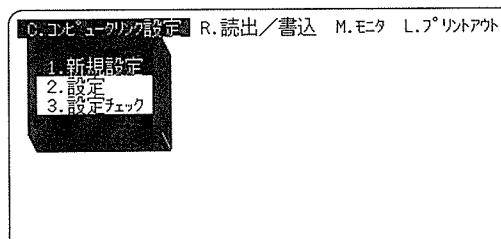
5 - 1

コンピュータリンク設定概要

コンピュータリンク機能を使用する場合に、システム設定ソフトを使って設定しなければならないのはモデム設定だけです。それ以外は、リンクユニットの動作モード設定スイッチで設定します。そのモデム設定を行ったり、その設定内容をチェックする場合は、メニューバーの《C. コンピュータリンク設定》を選択します。

■プルダウンメニューの内容

メニューバーから《C. コンピュータリンク設定》を選択すると、以下のようにプルダウンメニューが表示されます。



〈1. 新規設定〉

モデムの設定を新規に行う場合に選択します。
初期化されたモデム設定画面が表示されます。

〈2. 設定〉

ディスクやリンクユニットからモデムの設定内容を読み出した場合に選択します。設定内容が読み出されたモデム設定画面が表示されます。
設定中に別のプルダウンメニューやメニューバーへ移動した場合はこの項目を選択します。設定していたモデム設定画面が表示されます。

〈3. 設定チェック〉

リンクユニットに書き込まれているモデム設定内容をチェックします。

5 - 2

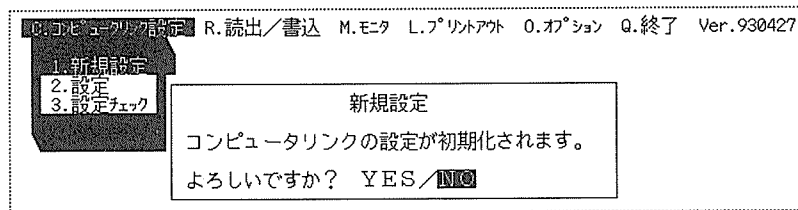
モデム設定

中断機能を使用し、システム設定ソフトを終了した場合を除き、システム設定ソフトを起動した直後は、PCリンク割付モードになっていますので、メニューバーの《0. オプション》のプルダウンメニューから《2. 機能選択》を選択し、モードをコンピュータリンク設定モードにします。
モード切り替えの詳細については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

コンピュータリンク機能のモデム設定を行う方法は、新規に設定をする方法と、リンクユニットやディスクから設定内容を読み出して設定する方法があります。

5-2-1 新規に設定するとき

- ① メニューバーから《C. コンピュータリンク設定》を選択します。
- ② 《1. 新規設定》にカーソルを合わせ、キーを押します。
初期化を確認するウィンドウが表示されます。



- ③ 初期化する場合は、【YES】にカーソルを合わせ、キーを押します。モデム設定画面が表示されます。
中止する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、キーを押します。プルダウンメニュー選択に戻ります。

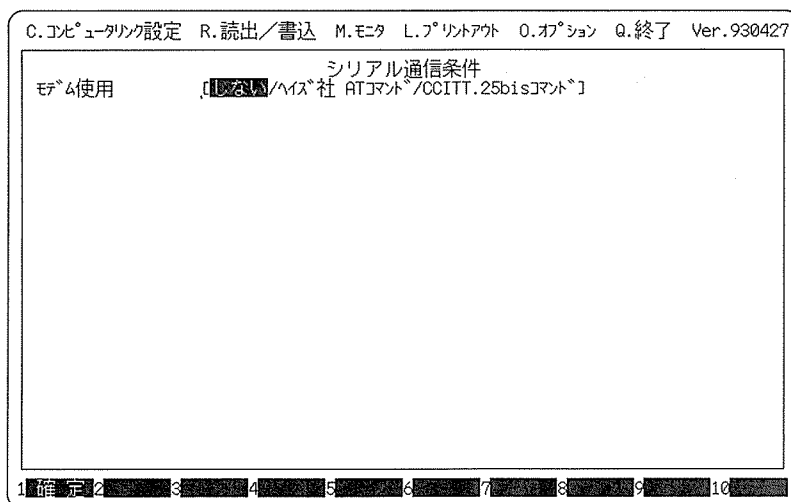
注意 ・モデム設定中に初期化を行う場合、設定中のデータは失われてしまいます。

- ・システム設定ソフトを強制終了し次回に起動する場合は、あらかじめ初期化が自動的に行われますので、新規設定画面が画面に表示されます。

5-2-2 読み出して変更するとき

- ① リンクユニットまたはディスクから設定内容を読み出します。読み出す方法については、「第6章 システム設定内容の読み出しと書き込み」をご参照ください。
- ② メニューバーから《C. コンピュータリンク設定》を選択します。
《C. コンピュータリンク設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ③ 《2. 設定》にカーソルを合わせ、 キーを押します。
設定内容が読み出されたモデム設定画面が表示されます。

5-2-3 モデムの設定



- ① カーソルを使って、モデムの設定を行います。
- ② 設定が終われば、 [確定] を押します。
設定が確定されれば、以下の終了メッセージが表示されます。

コンピュータリンクのチェックが終了しました 何かキーを押して下さい。

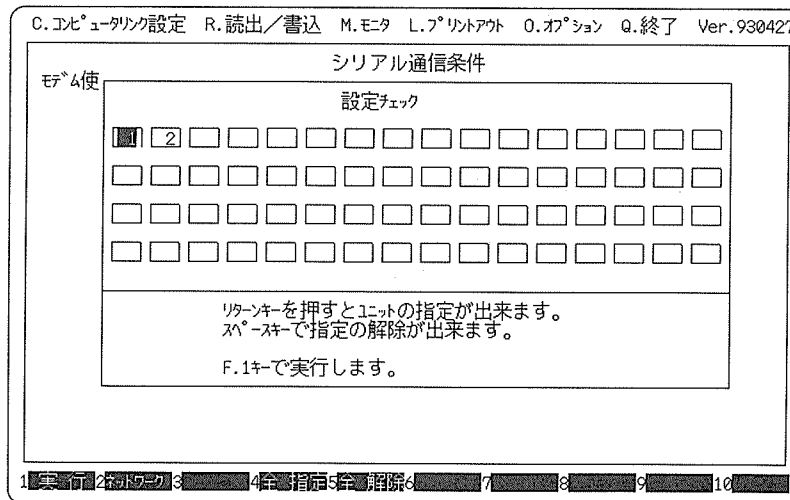
設定内容のチェック

リンクユニットに書き込まれているコンピュータリンク機能のモデム設定内容が、システム設定ソフトで設定できない内容に書き変わっていないかをチェックします。

読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNET - Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3、SW4をONにし、MEWNET - Hシステムを起動します。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにします。
- ・パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

- ① メニューバーから《C. コンピュータリンク設定》を選択します。
《C. コンピュータリンク設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 《3. 設定チェック》にカーソルを合わせ、キーを押します。
[設定チェック] ウィンドウが表示されます。ウィンドウ内には、現在指定されているネットワーク上に接続されているユニットNo.が表示されます。



● ネットワーク指定が行われていない場合は、[ネットワーク指定] ウィンドウがまず表示されますので、オンラインチェックをするネットワークを指定してください。

現在指定しているネットワーク以外のネットワーク上にあるユニットのモデム設定内容をチェックする場合は、**f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークの指定を行ってください。

ネットワーク指定についての詳細は「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

③ チェックするユニットのユニットNo.にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

指定されたユニットNo.は反転表示されます。

ユニットの指定をキャンセルする場合は、そのユニットNo.にカーソルを合わせ、**[スペース]** キーを押します。

f・4 [全 指定] と **f・5** [全 解除] を使用し、ユニットを指定することができます。

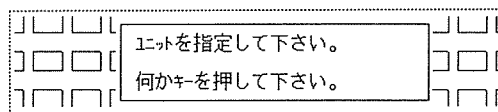
f・4 [全 指定] …表示されているユニットを全て指定します。

f・5 [全 解除] …現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

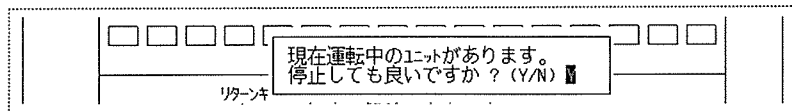
④ ユニットの指定がすべて終われば、**f・1** [実行] を押します。

設定のチェックが始まります。

注意 ユニットの指定せずに **f・1** [実行] を押した場合は、ユニットを指定するようにエラーメッセージが表示されますので、ユニット指定をしてください。

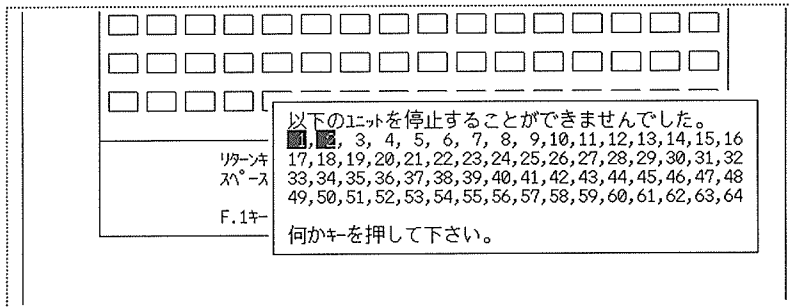


選択したユニットで、運転中のユニットがあれば以下のウィンドウが表示されます。



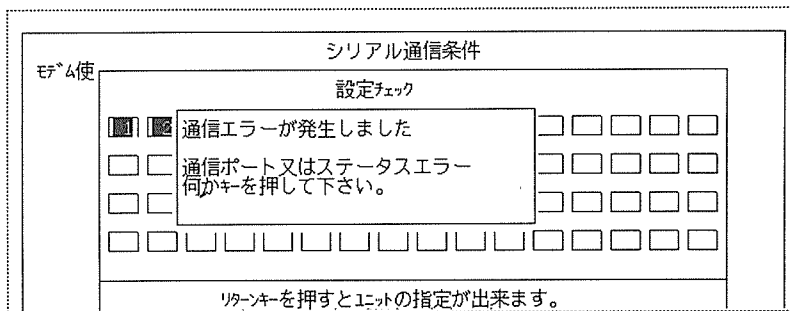
- ・停止しても良い場合は、**Y** キーを押します。運転を停止し、チェックを行います。
- ・停止しない場合は、**N** キーを押します。オンラインチェックを中止し、《C. ネットワーク設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

Y キーを押しても運転を停止できなかったユニットがある場合には、以下のウィンドウが表示されます。



何かキーを押します。停止できたリンクユニットについてチェックを行います。

通信上のエラーが発生した場合は、通信エラーメッセージが表示されます。

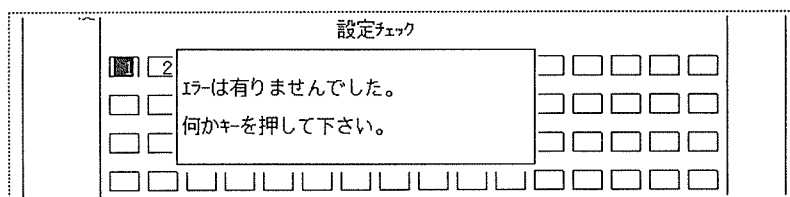


(モードエラーの例)

何かキーを押します。画面は、「C. コンピュータリンク設定」のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ一覧」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度チェックの操作を行ってください。

複数のユニットをチェックするとき、チェックできないリンクユニットがある場合は、チェック可能なユニットのみチェックします。

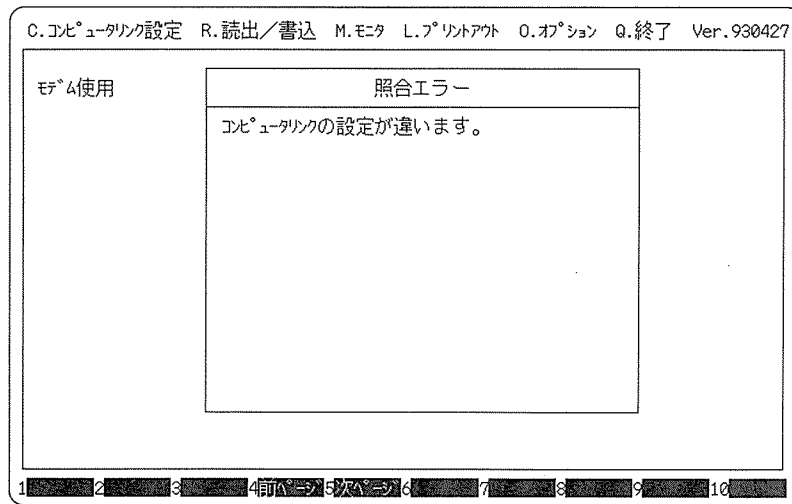
⑦ チェックが終わると、終了メッセージウィンドウが表示されます。



何かキーを押します。「C. コンピュータリンク設定」のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 停止または起動できなかったリンクユニットに対しては、オンラインチェックを行いません。

エラーが見つければ、エラー内容が画面に表示されます。



ESC キーを押すと、《C.コンピュータリンク設定》のプルダウンメニュー選択に戻ります。
エラーの内容については、「付録-1 エラーメッセージ」をご参照ください。

第 6 章

6

システム設定内容の 読み出しと書き込み

こ の 章 の 内 容

6-1 設定内容の読み出しと書き込み概要	140
6-2 ユニットからの設定内容の読み出し	142
6-2-1 PCリンク割付設定モードでのユニット読み出し	142
6-2-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット読み出し	146
6-2-3 コンピュータリンク設定モードでのユニット読み出し	158
6-3 ユニットへの設定内容の書き込み	162
6-3-1 PCリンク割付設定モードでのユニット書き込み	162
6-3-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット書き込み	169
6-3-3 コンピュータリンク設定モードでのユニット書き込み	180
6-4 ユニットとの照合	184
6-4-1 PCリンク割付設定モードでのユニット照合	184
6-4-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合	188
6-4-3 コンピュータリンク設定モードでのユニット照合	199
6-5 ユニットのクリア	202
6-6 ディスクからの設定内容の読み出し	206
6-7 ディスクへの設定内容の書き込み	218
6-8 ディスクとの照合	222

設定内容の読み出しと書き込み概要

現在表示中のモードで設定した内容をディスクやリンクユニットから読み出したり書き込んだりします。

- ・PCリンク割付設定モードの場合は、PCリンク領域の割り付け内容・ネットワーク名・ネットワークコメントが操作の対象となります。

リンクユニットへの操作に対しては、ネットワークコメントは除外されます。

- ・シリアル伝送機能設定モードの場合は、シリアル通信条件設定内容と伝送経路の設定内容を処理します。単一接続モードであるか多重接続モードであるかで、処理される内容が区別されます。

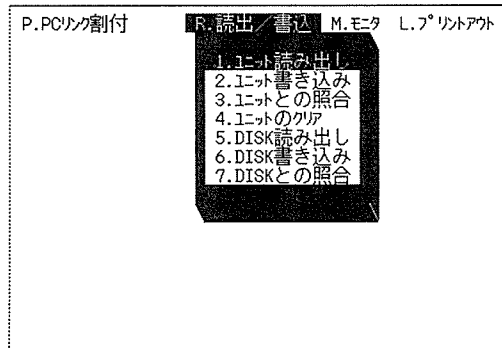
- ・コンピュータリンク設定モードの場合は、モデムの設定内容が対象となります。

注意 システム設定ソフトで設定・変更した内容を保存する場合は、リンクユニットまたはディスクへの書き込みを行ってください。

データのバックアップのため、設定したデータはディスクへ書き込むことをお勧めします。

■プルダウンメニューの内容

《R. 読出／書込》を選択すると《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。



〈1. ネット読み出し〉

リンクユニットに書き込まれているシステム設定内容を読み出します。

〈2. ネット書き込み〉

リンクユニットへシステム設定ソフトで設定した内容を書き込みます。

〈3. ネットとの照合〉

システム設定ソフトで設定中の内容をリンクユニットに書き込まれている内容と照合します。

〈4. ネットのクリア〉

ユニットに書き込まれているシステム設定内容をクリアします。

〈5. DISK読み出し〉

ディスクに書き込まれているシステム設定内容を読み出します。

〈6. DISK書き込み〉

ディスクへシステム設定ソフトで設定した内容を書き込みます。

〈7. DISKとの照合〉

システム設定ソフトで設定中の内容をディスクに書き込まれている内容と照合します。

6 - 2

ユニットからの設定内容の読み出し

6-2-1 PCリンク割付設定モードでのユニット読み出し

PCリンク領域の割り付け設定内容の読み出しを行うネットワークを指定し、そのネットワークより設定内容を読み出します。

個別設定されている場合は、その設定内容も読み出します。

設定画面で設定中の場合は、そのデータに上書きされますので、ご注意ください。

読み出し操作を行う前に、あらかじめ下記の準備を行ってください。


- ・MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNETH - Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW1、SW2、SW3をONにし、MEWNET - Hシステムを起動します。
- ・リンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにします。
- ・パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① PCリンク割付設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》から《2. 機能選択》を選択し、PCリンク割付設定モードに入ります。機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② メニューバーから《R. 読出／書込》を選択します。

《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。

③ 《1. エット読み出し》を選択し、 キーを押します。

【読出し】ウィンドウが表示されます。

P. PCリンク割付	R. 読出／書込	M. エタ	L. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了	Ver. 930427
------------	----------	-------	------------	----------	-------	-------------

読出し

PCリンク割付表を各ユニットより読出します。

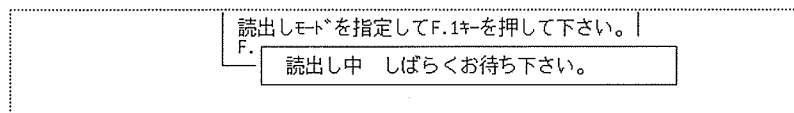
読出しモード 照合なし 照合あり

読出しモードを指定してF.1キーを押して下さい。
F.1キーで読出しを実行します。

- ・現在指定しているネットワーク以外のネットワークからPCリンク領域の割り付け内容を読み出す場合は、**f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定します。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

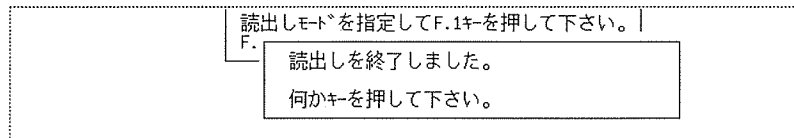
- ④ [読みしモード] を選択します。
読み出したデータがリンクユニット内のデータと同じものであるかを照合する／しないを設定します。照合する場合は【照合あり】にします。
初期設定は【照合なし】になっています。

- ⑤ **f・1** [実行] を押します。
画面中央に読み出し中のメッセージが表示されます。



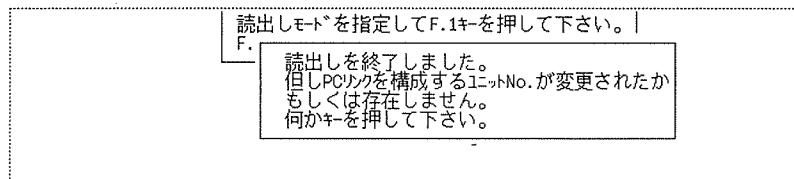
- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークからPCリンク領域の割り付け設定内容を読み出すか指定してください。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑥ 読み出しが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



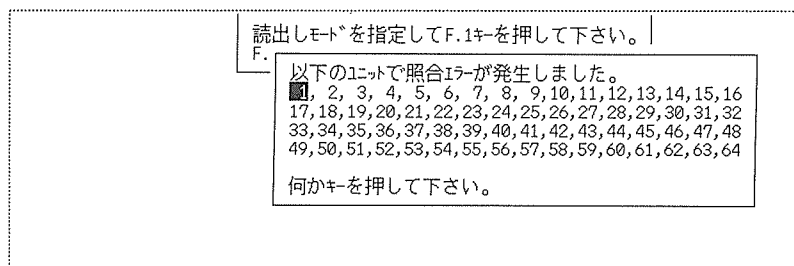
何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

設定内容を書き込んだ後に、ネットワークの構成を変更していると、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・[読みしモード] で【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



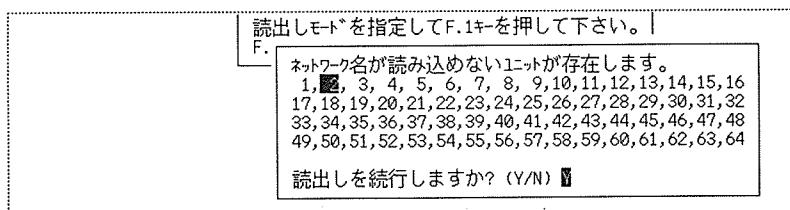
何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットから設定内容を正しく読み出せなかったということですので、再度操作を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-1 PCリンク割付設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 読み出し中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

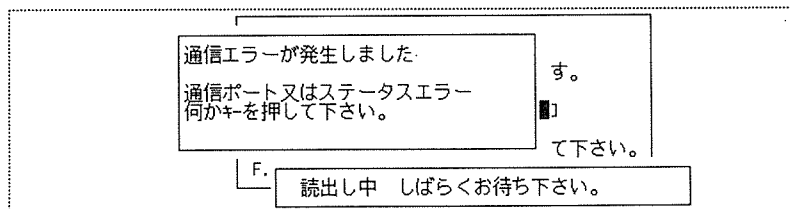
- ・確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。



(確認メッセージ例)

- ・「YES」の場合は、**Y** キーを押し、**↵** キーを押してください。
- ・「NO」の場合は、**N** キーを押し、**↵** キーを押してください。

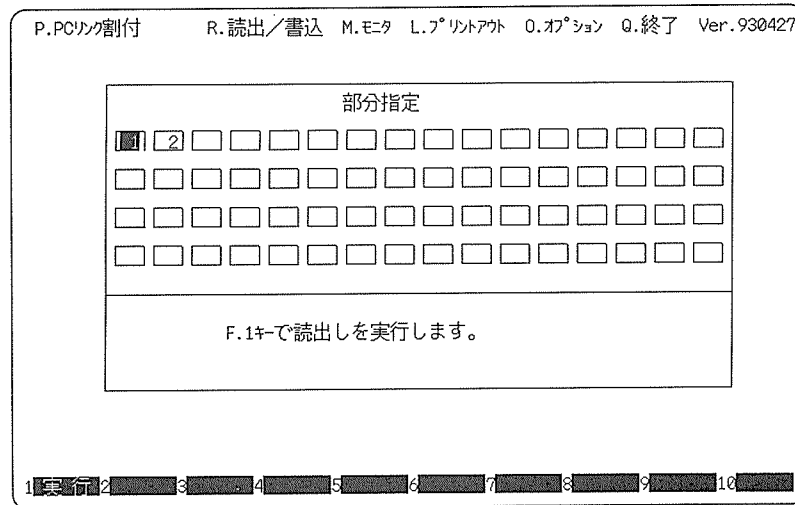
- ・エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度読み出しを行ってください。



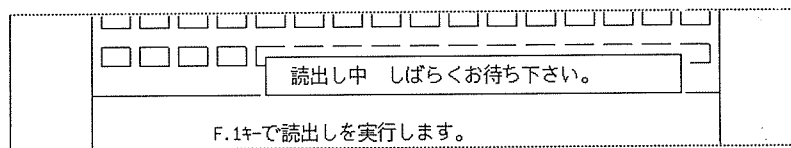
(エラーメッセージ例)

■特定のユニットから設定内容を読み出す場合

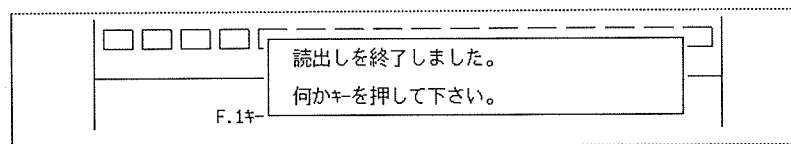
- ① [読出し]ウィンドウを表示させます。
[6-2-1 PCリンク割付設定モードでのユニット読み出し]の手順①～③をご参照ください。
- ② **f・3** [部分]を押し、[部分指定]ウィンドウを表示させます。



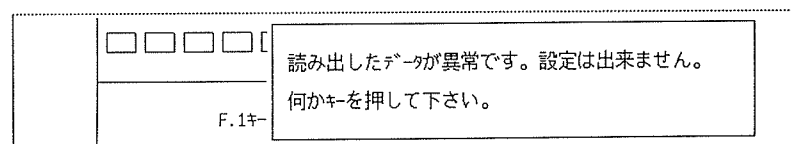
- ③ 読み出しを行うユニットのユニットNo. にカーソルを合わせ、**f・1** [実行]を押します。
以下のようにメッセージが表示され、読み出しを開始します。



- ④ 読み出しが終了すると、以下のようにメッセージが表示されます。



注意 個別設定されているネットワークから読み出しを行うと、以下のようにメッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたときは、「設定」「ネットワーク書込」はできません。

6-2-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット読み出し

リンクユニットを指定し、そのユニットから設定内容を読み出します。

指定されたリンクユニットがマスター局またはスレーブ局でない場合は、何も読み出しませんので、あらかじめパソコンはマスター局かスレーブ局（そのユニットが実装されているマザーボード上のCPUユニットでもかまいません）に接続しておきます。

マスター局かスレーブ局の加入しているネットワーク上のリンクユニット（またはそのCPUユニット）に接続することもできますが、この場合はどのリンクユニットが、マスター局・スレーブ局またはマスター局／スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定する必要があります。

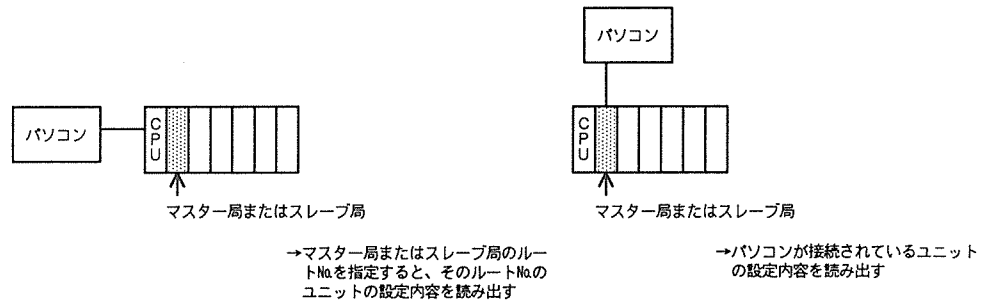
CPUユニットにパソコンを接続している場合は、設定内容を読み出すときに、ネットワーク指定画面が表示されますので、マザーボード上のどのユニットかを指定します。

指定するユニットにシリアル伝送機能設定内容が書き込まれているかを確認したい場合は、システム設定ソフトのモニタ機能を使用します。詳細は、「7-1-6 シリアル伝送機能状態モニタ」をご参照ください。

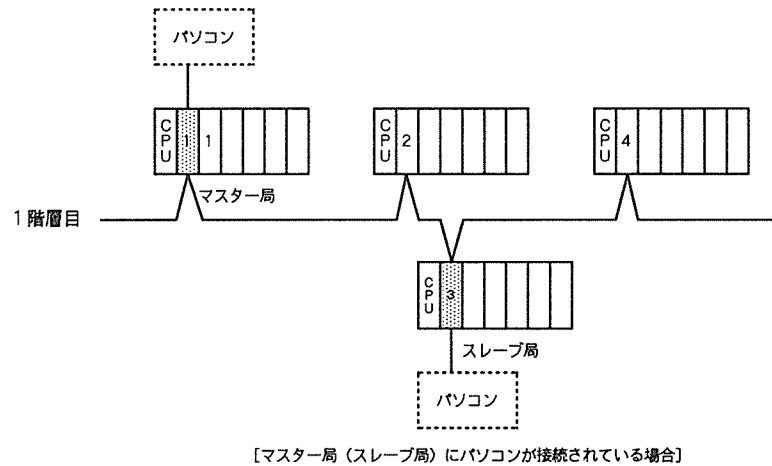
単一／多重のどちらの設定内容が指定したユニットに書かれているかは、システム設定ソフトが自動的に判断します。

■単一接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれているとき

単一接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれている場合は、マスター局・スレーブ局の両方に伝送経路の設定内容が書き込まれていますので、マスター・スレーブのどちらかを指定すると、その局に書き込まれている伝送経路を参照してもう一方の設定内容を読み出しにいくことができます。ただし、その伝送経路と同じようにマスター局とスレーブ局が接続されていないとはなりません。




指定した局に書き込まれている伝送経路と同じように接続されていると、指定した局から他局へ読み出しが可能



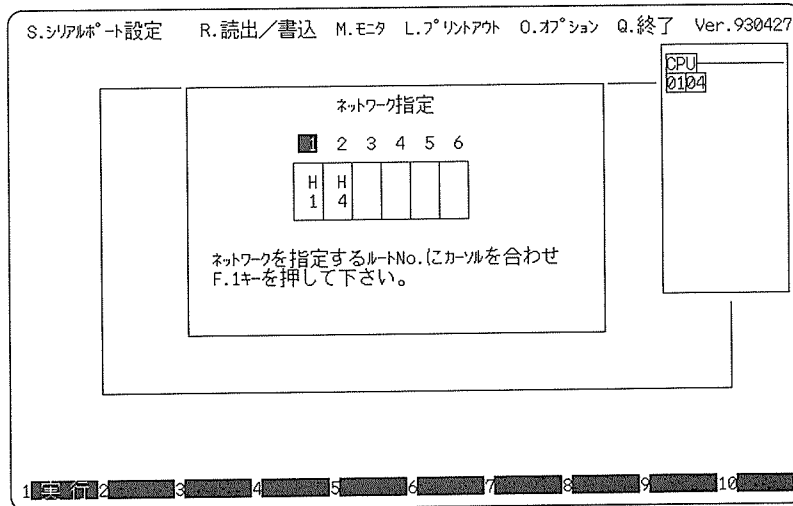
読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・前ページの説明を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFF、SW4をONに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニット（マスター局/スレーブ局）にパソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

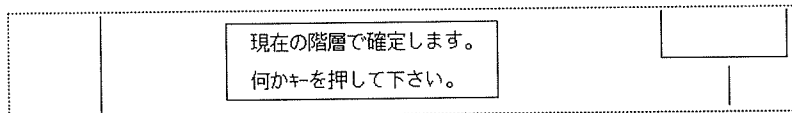
注意 設定画面で設定中のデータがある場合は、上書きされますので、ご注意ください。

- ① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。
 - ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。
- ② メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。
- ③ 〈1. エット読み出し〉にカーソルを合わせ、 キーを押します。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合はネットワーク指定画面が表示されますので、どのユニットがマスター局・スレーブ局 またはマスター局/スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定します。

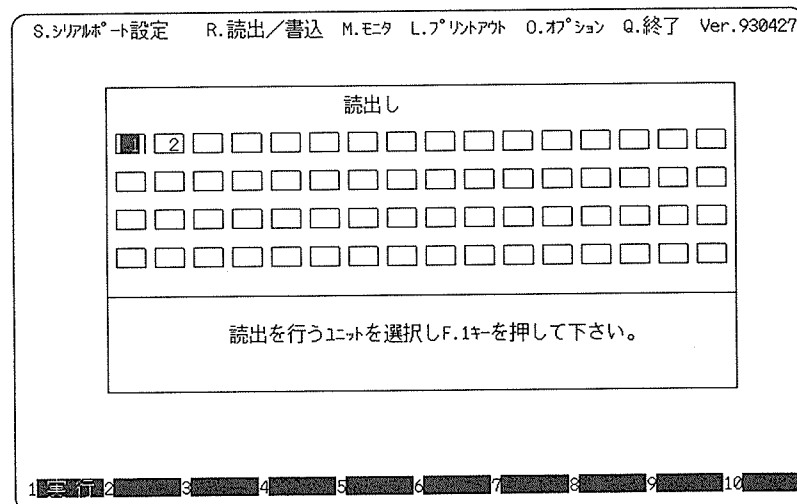


目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押してください。
以下の確認メッセージが表示されます。



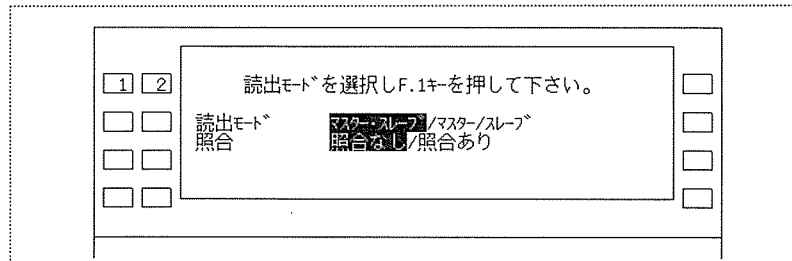
何かキーを押して下さい。以下の [読出し] ウィンドウが表示されます。
画面には、ネットワーク指定ウィンドウで指定したリンクユニットが加入しているネットワーク上に存在するユニット No. が表示されます。

- パソコンがリンクユニットに接続されている場合は、[読出し] 画面が表示されます。画面には現在接続されているリンクユニット No. が表示されます。



- ④ 設定内容を読み出すユニットを選択します。
設定内容を読み出すユニット No. にカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押します。

⑤ 読み出しモードを設定するウィンドウが表示されます。



[読み出しモード]

どの局の設定内容を読み出すかを選択します。

【マスター・スレーブ】 マスター局とスレーブ局の設定内容を読み出します。
 マスター局とスレーブ局の経路が、パソコンとつながっている局の中に書き込まれている経路設定内容と同じように接続されている必要があります。

【マスター】 マスター局のみの設定内容を読み出します。
 パソコンがスレーブユニットまたは、スレーブユニットのネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が経路設定内容と同じ経路で接続されている必要があります。

【スレーブ】 スレーブ局のみの設定内容を読み出します。
 パソコンがマスターユニットまたは、マスターユニットのネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が経路設定内容と同じ経路で接続されている必要があります。

[照合]

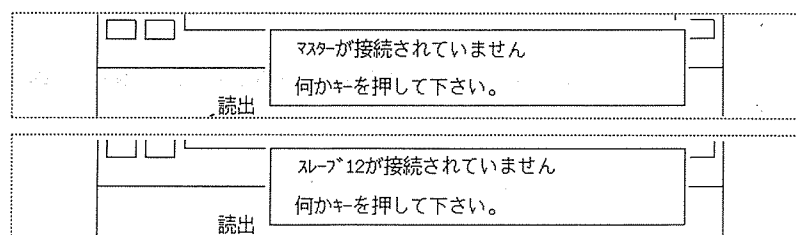
読み出した内容がリンクユニット内の読み出された内容と同じものであるかの照合をする／しないを選択します。

初期設定は、【照合なし】になっています。

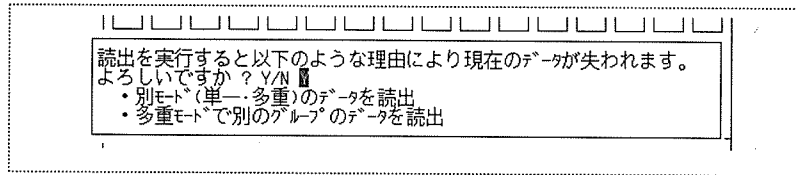
照合する場合は、カーソルを【照合あり】に合わせます。

⑥ すべての設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。

⚠注意 ・設定内容を読み出す対象に指定したユニットが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されますので、接続状態を確認してください。



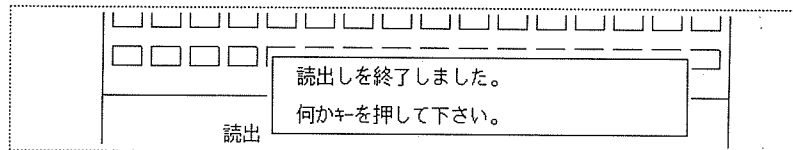
- ・設定画面で、設定中のデータがある場合は、以下の確認メッセージが表示されます。



設定画面のデータに上書きして良い場合は、**[Y]** キーを押してください。
読み出し作業が続行されます。

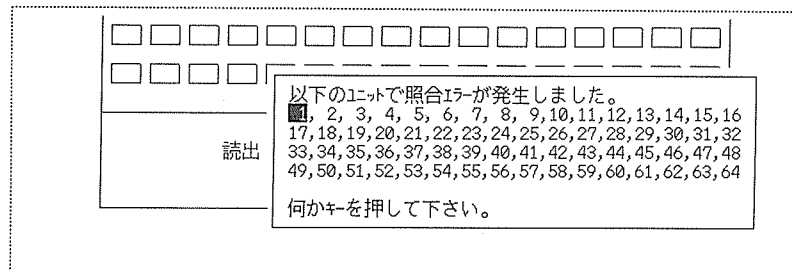
設定画面のデータを保存する必要がある場合は、**[N]** キーを押してください。
読み出し作業を中断し、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

読み出しが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・「読出しモード」で【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットから設定内容を正しく読み出せなかったということですので、再度操作を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 読み出し中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

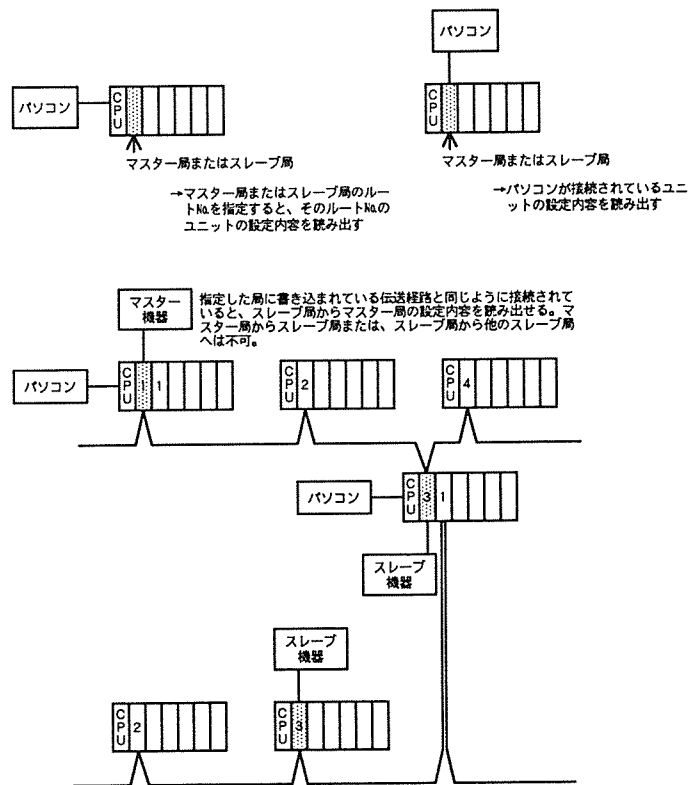
エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度読み出しを行ってください。

■多重接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれているとき

多重接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれている場合は、マスター局には伝送経路の設定内容が書き込まれていませんので、設定内容を読み出すユニットにマスター局を指定しても、そのマスター局からスレーブ局の設定内容は読み出せません。

設定内容を読み出すユニットにスレーブ局を指定した場合は、そのスレーブ局内に書き込まれている伝送経路を参照し、マスター局の設定内容を読み出しますので、指定されたスレーブ局とそのマスター局の設定内容を読み出せます。ただし、設定と同じ伝送経路でマスター局とスレーブ局が接続されていないわけではありません。


このように、指定するユニットがマスター局かスレーブ局かで、読み出せる内容に制限がありますので、あらかじめ指定するユニットに書き込まれている内容が、マスター局のものであるかスレーブ局のものであるかをシステム設定ソフトのモニタ機能を使用して、確認しておいてください。確認方法の詳細は、「7-1-6 シリアル伝送機能状態モニタ」をご参照ください。



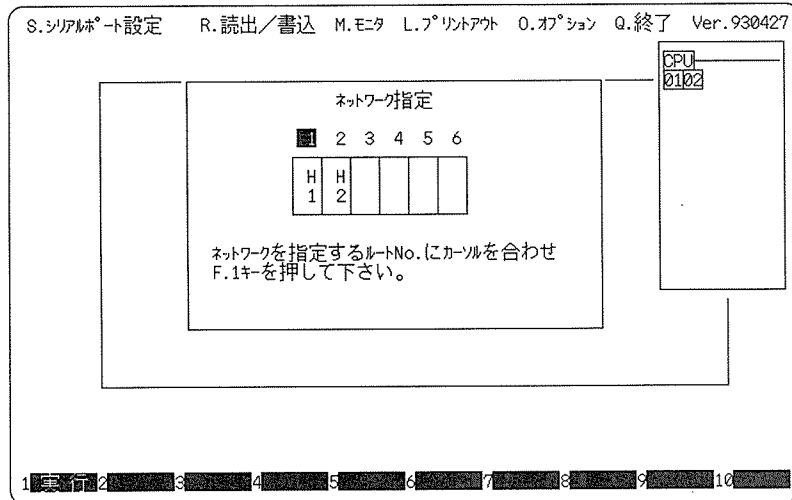
読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・前ページの説明を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFF、SW4をONに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニット（マスター局/スレーブ局）にパソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

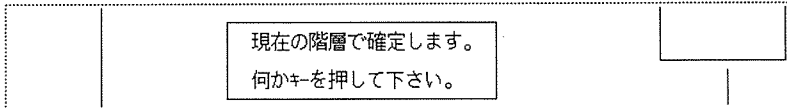
注意 設定画面で設定中のデータがある場合は、上書きされますので、ご注意ください。

- ① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。
 - ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。
- ② メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。
- ③ 〈1. エット読み出し〉にカーソルを合わせ、 キーを押します。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合はネットワーク指定画面が表示されますので、どのユニットがマスター局・スレーブ局 またはマスター局/スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定します。

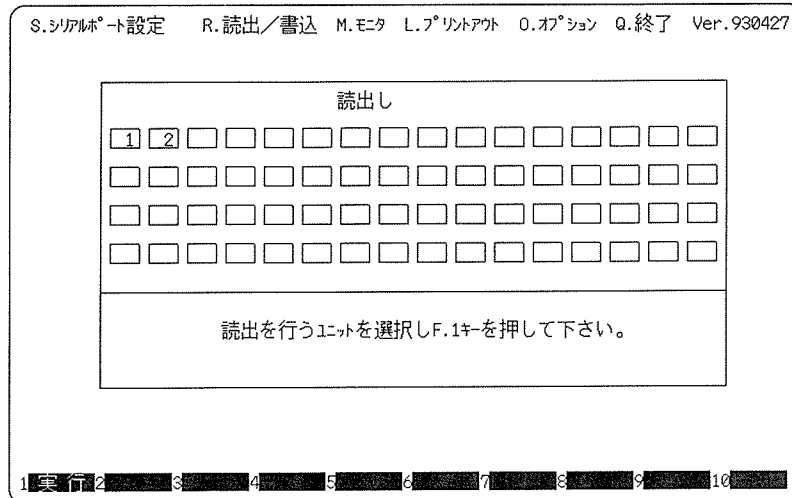


目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押してください。
以下の確認メッセージが表示されます。



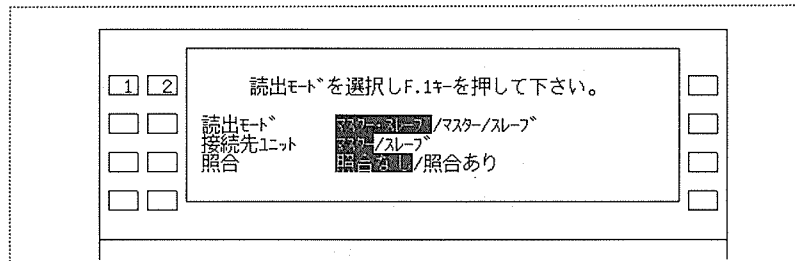
何かキーを押して下さい。以下の [読出し] ウィンドウが表示されます。
ウィンドウには、ネットワーク指定ウィンドウで指定したリンクユニットが加入しているネットワーク上に存在するユニットNo.が表示されます。

- パソコンがリンクユニットに接続されている場合は、[読出し] ウィンドウが表示されます。ウィンドウには現在接続されているリンクユニットNo.が表示されます。



- ④ 設定内容を読み出すユニットを選択します。
設定内容を読み出すユニットNo.にカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押します。

⑤ 読出しモードを設定するウィンドウが表示されます。



[読出しモード]

どの局の設定内容を読み出すかを選択します。

【マスター・スレーブ】 マスター局とスレーブ局の設定内容を読み出します。
 マスター局とスレーブ局の経路が指定した局の中に書き込まれている
 経路設定内容と同じように接続されている必要があります。

【マスター】 マスター局のみの設定内容を読み出します。
 指定したユニットがスレーブ局の場合は、マスター局とスレーブ局が
 そのスレーブ局に書き込まれている経路設定内容と同じ経路で接続さ
 れている必要があります。

【スレーブ】 スレーブ局のみの設定内容を読み出します。
 指定したユニットがマスター局の場合は、スレーブ局の設定を読み出
 すことはできません。

[接続先ユニット]

[読出し] ウィンドウで指定したユニットがマスター局かスレーブ局かを指定します。

[照合]

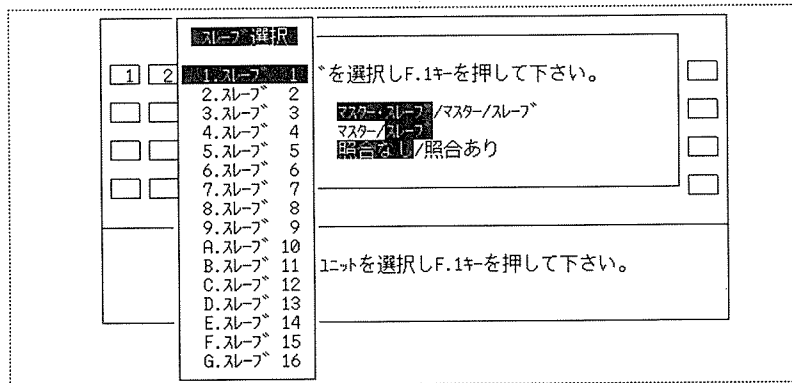
読み出した内容がリンクユニット内の読み出された内容と同じものであるかの照合をする／し
 ないを選択します。

初期設定は、【照合なし】になっています。

照合する場合は、カーソルを【照合あり】に合わせます。

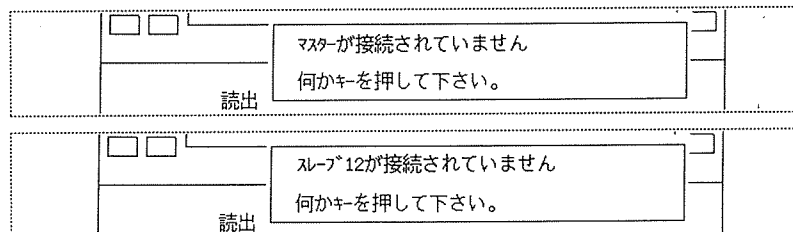
⑥ すべての設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。

● [読み出しモード] で、**【マスター・スレーブ】** または **【スレーブ】** を選択した場合は、以下の画面が表示されます。スレーブ局から読み出した内容を何番のスレーブ局設定画面に格納するかを指定します。

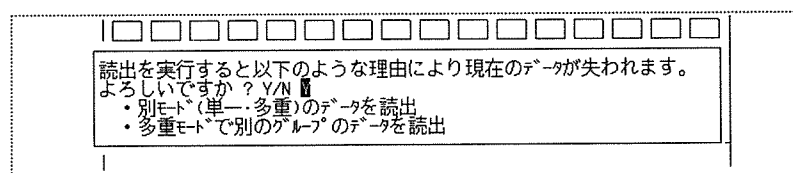


カーソルを目的のスレーブ局に合わせ、**f・1** [実行] を押します。

注意 ・設定内容を読み出す対象に指定したユニットが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されますので、接続状態を確認してください。



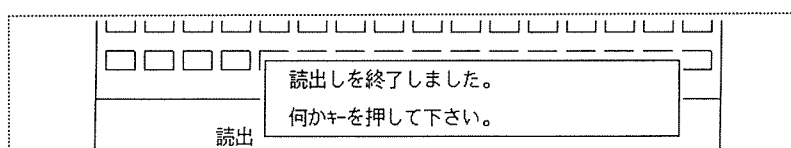
・設定画面で、設定中のデータがある場合は、以下の確認メッセージが表示されます。



設定画面のデータに上書きして良い場合は、**Y** キーを押してください。
読み出し作業が続行されます。

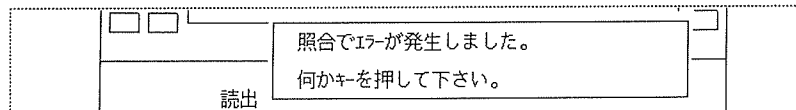
設定画面のデータを保存する必要がある場合は、**N** キーを押してください。
読み出し作業を中断し、《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

読み出しが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・[読み出しモード] で【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットから設定内容を正しく読み出せなかったということですので、再度操作を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. ユニットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 読み出し中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度読み出しを行ってください。

6-2-3

コンピュータリンク設定モードでのユニット読み出し

コンピュータリンク機能のモデム設定内容の読み出しを行うネットワークを指定し、そのネットワークより設定内容を読み出します。

読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・MEWNET-Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNET-Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をONにし、MEWNET-Hシステムを起動します。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにします。
- ・パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

注意 設定画面で設定中のデータがある場合は、上書きされますので、ご注意ください。

① コンピュータリンク設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》から〈2. 機能選択〉を選択し、コンピュータリンク設定モードに入ります。機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

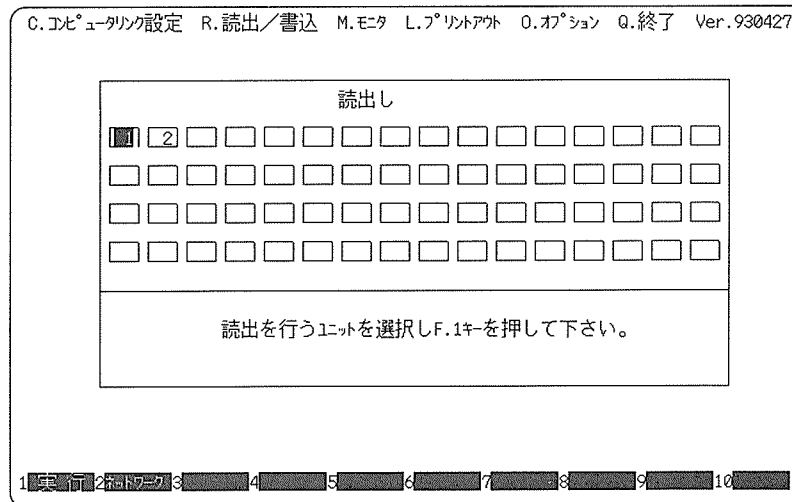
② メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。

《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- ③ <1. エント読み出し> を選択し、 キーを押します。

[読出し] ウィンドウが表示されます。

画面には現在指定されているネットワークに接続されているユニット No.が表示されます。



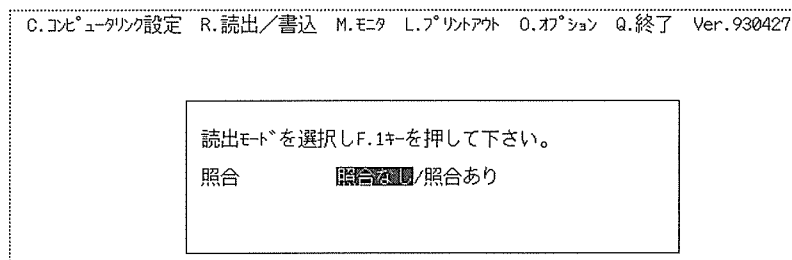
- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークからモデム設定内容を読み出すか指定してください。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ④ 設定内容を読み出すユニットを選択します。

設定内容を読み出すユニット No.にカーソルを合わせ、 [実行] を押します。

- ・ 現在指定しているネットワーク以外のネットワークからモデム設定内容を読み出す場合は、 [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定します。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑤ 読出しモードを設定するウィンドウが表示されます。



[照合]

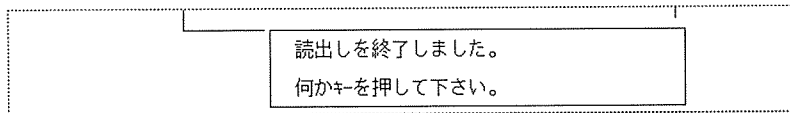
読み出した内容がリンクユニット内の読み出された内容と同じものであるかの照合をする/しないを選択します。

初期設定は、【照合なし】になっています。

照合する場合は、カーソルを【照合あり】に合わせます。

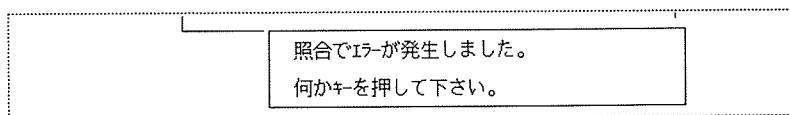
⑩ 設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。

⑪ 読み出しが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・読み出しモードの選択ウィンドウで【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットから設定内容を正しく読み出せなかったということですので、再度操作を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. ユニットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-3 コンピュータリンク設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 読み出し中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正してください。エラー修正後、再度読み出しを行ってください。

6 - 3

ユニットへの設定内容の書き込み

6-3-1

PCリンク割付設定モードでのユニット書き込み

画面に表示・設定されているPCリンク領域の割り付け設定内容を書き込みます。個別設定をしている場合は、その設定内容も書き込みます。

PCリンク領域の割り付け設定のオフラインチェックを終了していないとリンクユニットへの書き込みはできません。また、ネットワーク名を入力していない場合も書き込めません。

オフラインチェックについては「3-7-1 PCリンク領域の割り付け内容のチェック（オフライン）」をご参照ください。

ネットワーク名の入力については「3-8 ネットワーク名とネットワークコメント」をご参照ください。

リンクユニットへのPCリンク領域の割り付け設定内容の書き込みは、ネットワーク全体への書き込みと、ネットワーク上の特定のユニットへの書き込みができます。

書き込み操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- MEWNET - Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW1とSW2、SW3をONにし、MEWNET - Hシステムを起動します。
- リンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにした後、SW3をONにします。
- パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① PCリンク割付モードになっているか確認します。

他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、PCリンク割付設定モードに入ります。

機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

- ② リンクユニットへ書き込みを行うPCリンク領域の割り付け内容が設定画面に表示されているか確認します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択して確認します。

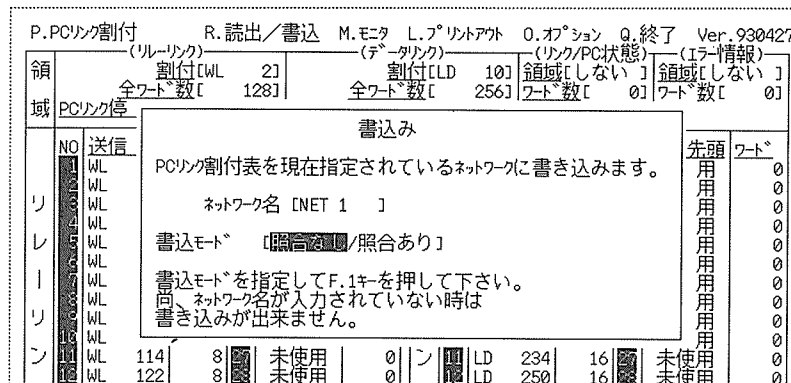
- ③ ネットワーク名が入力されているか確認します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー〈3. ネットワーク名/ネットワークコメント〉を選択し確認してください。

- ④ オフラインチェックが終了していない場合は、チェックします。

注意 リンクユニットから設定内容を読み出し、その内容を変更せずにリンクユニットに書き込む場合でもオフラインチェックをリンクユニットに書き込む前に行ってください。リンクユニットへ設定内容を書き込むときにオフラインチェックを行っていても設定画面に読み出した時点で無効となります。

- ⑤ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。
《読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- ⑥ 〈2. エット書き込み〉を選択し、**F2** キーを押します。
以下のウィンドウが表示されます。



- ネットワーク上の特定のユニットまたは単独のユニットへ書き込みをする場合は、166ページの「**F2** 特定ユニットへの書き込み」へお進みください。

■ ネットワーク全体への書き込み

現在指定しているネットワーク以外のネットワークへPCリンク領域の割り付け内容を書き込む場合は、**F2** [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定します。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑦ リンクユニットに書き込んだ内容がパソコン上で設定した内容と同じものであるかを照合する/しないを選択します。
初期設定は【照合なし】になっています。
照合する場合は、カーソルを【照合あり】に合わせます。

⑧ **f・1** [実行] を押します。

画面中央に書き込み中のメッセージが表示されます。

レ	WL	書込モード	[照合なし/照合あり]	用	0
リ	WL	書込モードを指	書込み中 しばらくお待ち下さい。	用	0
リ	WL	向、ネットワーク名		用	0
リ	WL	書き込みが出		用	0

- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークへPCリンク領域の割り付け設定内容を書き込むか指定してください。ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

注意 ・ ネットワーク名が入力されていない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

レ	WL	書込モード	[照合なし/照合あり]	用	0
リ	WL	書込モードを指	ネットワーク名が入力されていません。	用	0
リ	WL	向、ネットワーク名	ネットワーク名を入力して下さい。	用	0
リ	WL	書き込みが出	何かキーを押して下さい。	用	0
ン	WL	114	8 [未使用]	0	0
			0	0	0
			LD 234	16 [未使用]	0

何かキーを押します。

《P. PCリンク割付》から〈3. ネットワーク名/コメント入力〉を選択し、ネットワーク名を入力してください。ネットワーク名入力後、再度書き込み作業を行ってください。

- ・ オフラインチェックが終了していない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。

レ	WL	書込モード	[照合なし/照合あり]	用	0
リ	WL	書込モードを指	オフラインのPCリンク割付チェックが実行されていません。	用	0
リ	WL	向、ネットワーク名	オフラインのPCリンク割付チェックを実行後書き込みして下さい。	用	0
リ	WL	書き込みが出	何かキーを押して下さい。	用	0
ン	WL	114	8 [未使用]	0	0
			0	0	0
			LD 234	16 [未使用]	0

何かキーを押します。

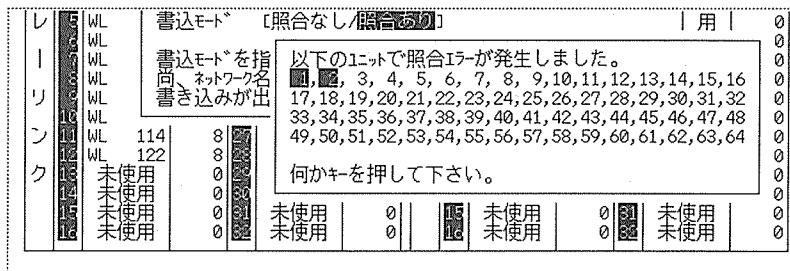
《P. PCリンク割付》から〈4. PCリンク割付チェック〉・〈オフライン〉を選択し、オフラインチェックを終了後、再度書き込み作業を行ってください。

⑨ 書き込みが終了すると、終了メッセージが表示されます。

レ	WL	書込モード	[照合なし/照合あり]	用	0
リ	WL	書込モードを指	以下のユニットに対し書き込みを行いました。	用	0
リ	WL	向、ネットワーク名	[]、[]、3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16	用	0
リ	WL	書き込みが出	17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32	用	0
ン	WL		33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48	用	0
ク	WL	114	8 [未使用]	0	0
	WL	122	8 [未使用]	0	0
			0	0	0
			未使用	0	0
			未使用	0	0
			未使用	0	0
			未使用	0	0

何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・[書き込みモード] で【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットに正しく書き込めなかったということですので、再度操作を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-1 PCリンク割付設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

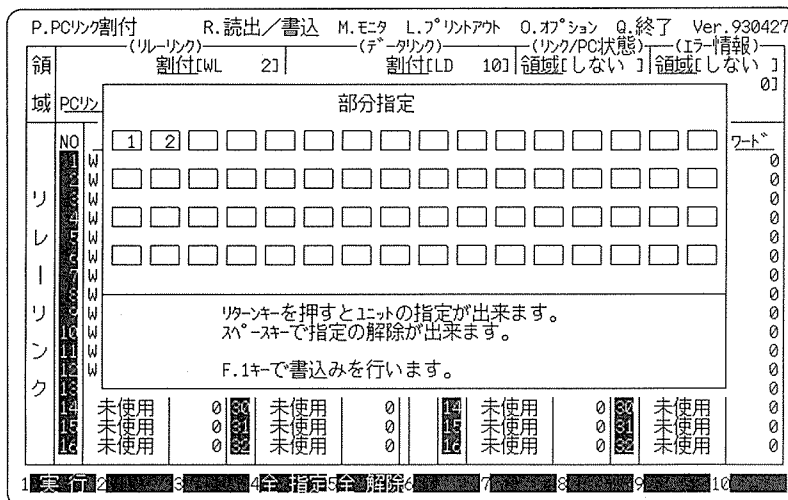
エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

■特定ユニットへの書き込み

現在指定されているネットワークに接続されている特定のユニットを指定します。

- ・他のネットワーク上のユニットを指定する場合は、あらかじめ **f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定してください。
 - ・ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークへPCリンク領域の割り付け設定内容を書き込むか指定してください。
- ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑦ **f・3** [部分] を押します。
 [部分指定] ウィンドウが表示されます。



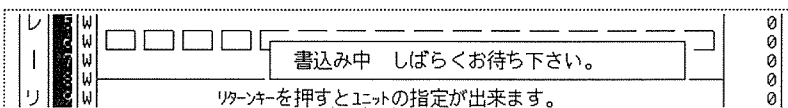
現在指定されているネットワークに接続されているユニットNo.が表示されています。

- ⑧ PCリンク領域の割り付け内容を書き込むユニットNo.にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。指定されたユニットNo.は反転表示されます。
- ユニットの指定をキャンセルする場合は、そのユニットNo.にカーソルを合わせ **(スペース)** キーを押します。

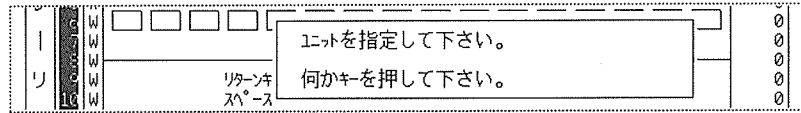
f・4 [全 指定] と **f・5** [全 解除] を使用し、全てのユニットを指定する事ができます。

- f・4** [全 指定] 表示されているユニットを全て指定します。
- f・5** [全 解除] 現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

- ⑨ **f・1** [実行] を押します。
 ユニットへの書き込みを開始します。
 画面中央に書き込み中のメッセージが表示されます。

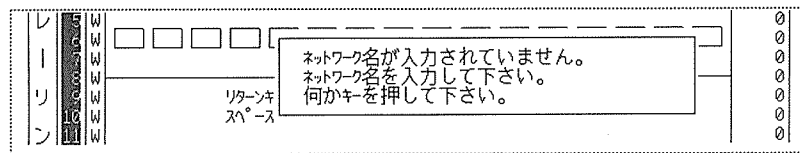


- **注意** ・ユニットを指定せずに **f・1** [実行] を押すと、以下のエラーメッセージが表示されます。



何かキーを押し、ユニットを指定して下さい。

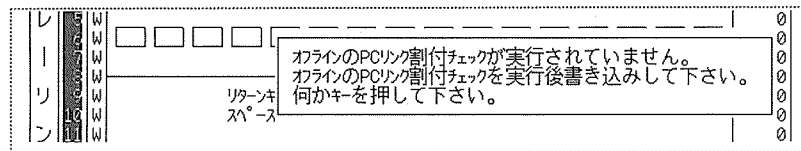
- ・ネットワーク名が入力されていない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。



何かキーを押します。

《P. PCリンク割付》から《3. ネットワーク名/コメント入力》を選択し、ネットワーク名を入力してください。ネットワーク名入力後、再度書き込み作業を行ってください。

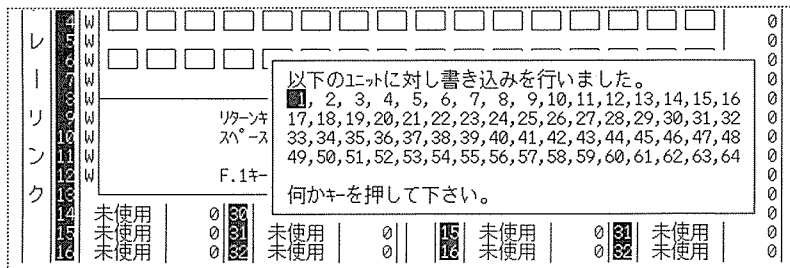
- ・オフラインチェックが終了していない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。



何かキーを押します。

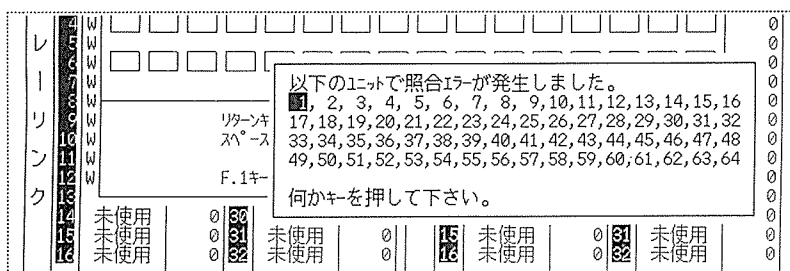
《P. PCリンク割付》から《4. PCリンク割付チェック》・(オフライン)を選択し、オフラインチェックを終了後、再度書き込み作業を行ってください。

⑩ 書き込みが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・[書き込みモード]で【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニット内に正しく書き込めなかったということですので、再度書き込み作業を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-1 PCリンク割付設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録 エラーメッセージ一覧」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

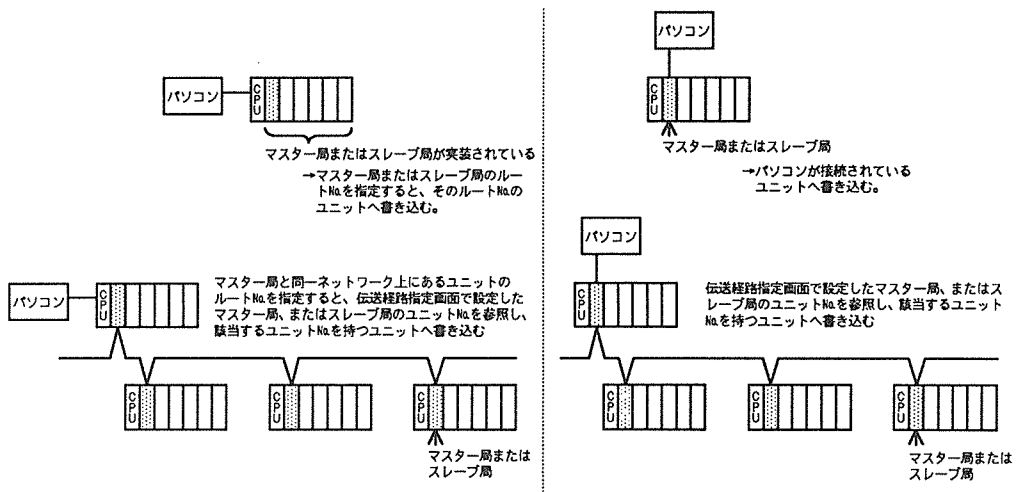
6-3-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット書き込み

■単一接続モードの設定内容を書き込むとき

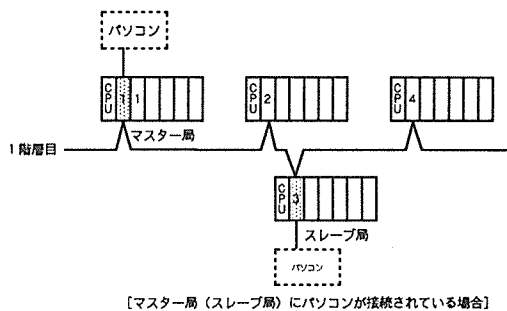
マスター局のシリアル通信条件と伝送経路設定内容はマスター局に書き込まれます。スレーブ局のシリアル通信条件と伝送経路設定内容はスレーブ局に書き込まれます。このため、パソコンを接続する接続先として、伝送経路指定画面で設定したマスター局またはスレーブ局（マスター局・スレーブ局がリンクユニットの場合、同一マザーボード上のCPUユニットでもかまいません）に接続します。マスター局・スレーブが加入しているネットワーク上のユニットに接続することもできますが、この場合は、伝送経路指定画面で指定しているマスター局またはスレーブ局のユニットNo.とあらかじめ指定する接続先ユニットを参照してマスター局またはスレーブ局を探しにいきますので、ネットワークが構築されている必要があります。

CPUユニットにパソコンを接続している場合は、設定内容を読み出すときに、ネットワーク指定画面が表示されますので、マザーボード上のどのユニットかを指定します。

パソコンがマスター局に接続されている場合は、マスター局の内容を、スレーブ局の場合は、スレーブ局の内容を書き込みますが、一括してマスター局・スレーブ局へ一度に書き込むこともできます。この場合、システム設定ソフトは、伝送経路指定画面で設定されている経路を参照してパソコンが接続されている局からもう一方の局へ書き込みを行いますので、設定した内容と同じように各局が接続されている必要があります。



マスター局とスレーブ局が、伝送経路指定画面で設定されたとおり接続されていると、パソコンが接続されている局から他局へも書き込みが可能



書き込み操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・前頁の図を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFFに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・設定内容を書き込むリンクユニット（マスター局/スレーブ局）に直接パソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、シリアル伝送機能設定モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② リンクユニットへ書き込みを行うシリアル伝送機能設定内容が設定画面に表示されているかを確認します。

《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択し確認します。

設定内容が確定されていない場合はユニットへの書き込みは実行されませんので、確定していない場合は、**f・1** [確定] を押して、設定内容を確定してください。

③ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。

《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

④ 〈2. ユニット書き込み〉を選択し、**↵** キーを押します。

書き込みモードを選択するウィンドウが表示されます。

シリアル通信条件 (接続モード: 単一) (設定: マスター)

シリアルポート設定 ボーレート データ長 パリティチェック パリティ設定 ストップ・ビット長 フロー制御 RTS/CTS制御 端末コード 端末コード指定	<p style="text-align: center;">書き込みモード*を選択しF.1キーを押して下さい。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">書き込みモード*</td> <td style="width: 70%;">マスター/スレーブ*/マスター/スレーブ*</td> </tr> <tr> <td>接続先ユニット</td> <td>マスター/スレーブ*</td> </tr> <tr> <td>照合</td> <td>照合なし/照合あり</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;"> [F.1]/LF/CR+LF/LF+CR/1文字指定/2文字指定 [0] <'.'> (1文字目) ※データ長が7ビットの時、0~7F </p>	書き込みモード*	マスター/スレーブ*/マスター/スレーブ*	接続先ユニット	マスター/スレーブ*	照合	照合なし/照合あり
書き込みモード*	マスター/スレーブ*/マスター/スレーブ*						
接続先ユニット	マスター/スレーブ*						
照合	照合なし/照合あり						

[書き込みモード]

どの局の設定内容を書き込むかを選択します。

【マスター・スレーブ】	マスター局とスレーブ局の設定内容を書き込みます。 マスター局とスレーブ局の経路が経路設定画面で設定した内容と同じように接続されている必要があります。
【マスター】	マスター局のみの設定内容を書き込みます。 パソコンがスレーブ局または、スレーブ局のネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が接続されている必要があります。
【スレーブ】	スレーブ局のみの設定内容を書き込みます。 パソコンがマスター局または、マスター局のネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が接続されている必要があります。

[接続先エント]

パソコンを接続しているユニットを選択します。

【マスター】	マスター局またはマスター局が加入しているネットワーク上のユニットに接続されている場合を選択します。
【スレーブ】	スレーブ局またはスレーブ局が加入しているネットワーク上のユニットに接続されている場合を選択します。

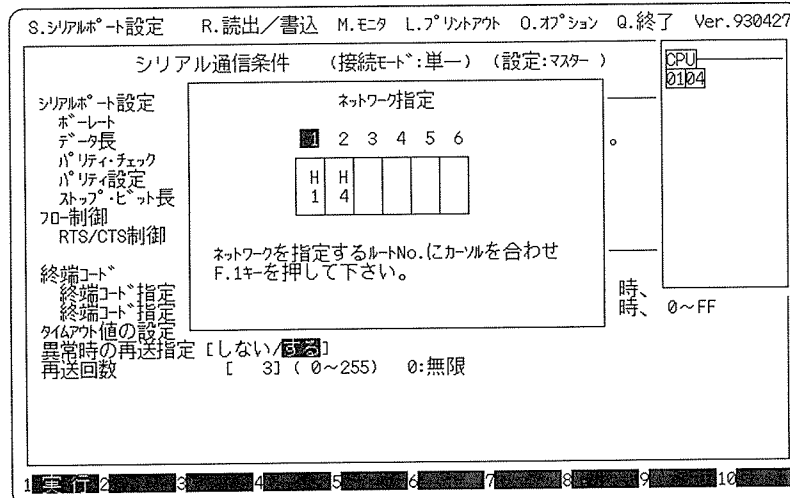
[照合]

リンクユニットに書き込んだ内容がパソコン上で設定した内容と同じものであるかを照合する／しないを選択します。

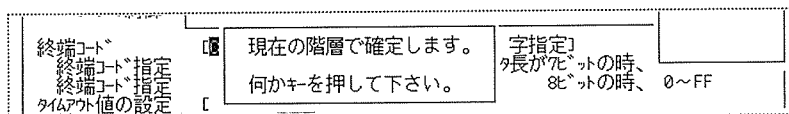
【照合なし】	照合しない場合を選択します。初期設定はこの状態になっています。
【照合あり】	照合する場合を選択します。

- ⑤ すべての設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。
リンクユニットへの書き込みが開始されます。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合は、ネットワーク指定画面が表示されますので、マスター局/スレーブ局/マスター局またはスレーブ局が存在しているネットワーク上のユニットのユニットNo.を指定します。

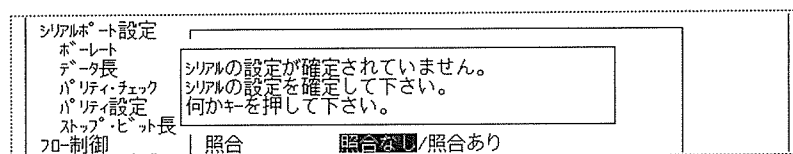


- 目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押してください。
以下の確認メッセージが表示されます。



- 何かキーを押して下さい。リンクユニットへの書き込みが開始されます。

- 注意** シリアル伝送機能設定画面で、**f・1** [確定] を押して、設定内容を確定していない場合は以下のメッセージが表示されます。

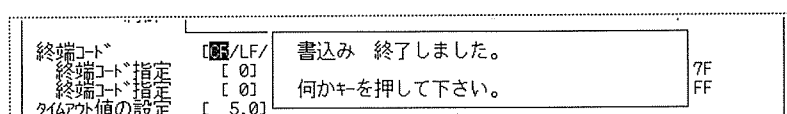


- 何かキーを押してください。

《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択します。

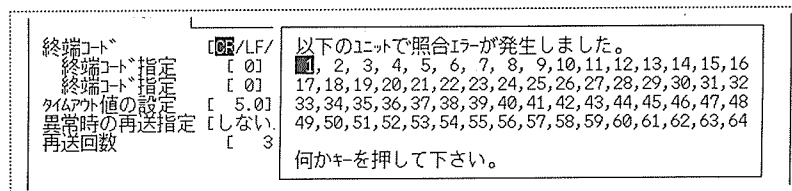
サブメニューでの接続モードの選択は、設定していた接続モードになっていますのでそのまま **f・1** キーを押します。**f・1** [確定] を押し、設定内容を確定してください。

- ⑥ 書き込みが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



- 何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・書き込みモードの選択ウィンドウで [照合] を【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットに設定内容を正しく書き込めなかったということです。再度書き込み作業を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

- **注意** 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

■ 多重接続モードの設定内容を書き込むとき

マスター局へは、マスター局のシリアル通信条件が書き込まれます。マスター局へは伝送経路の設定内容は書き込まれません。

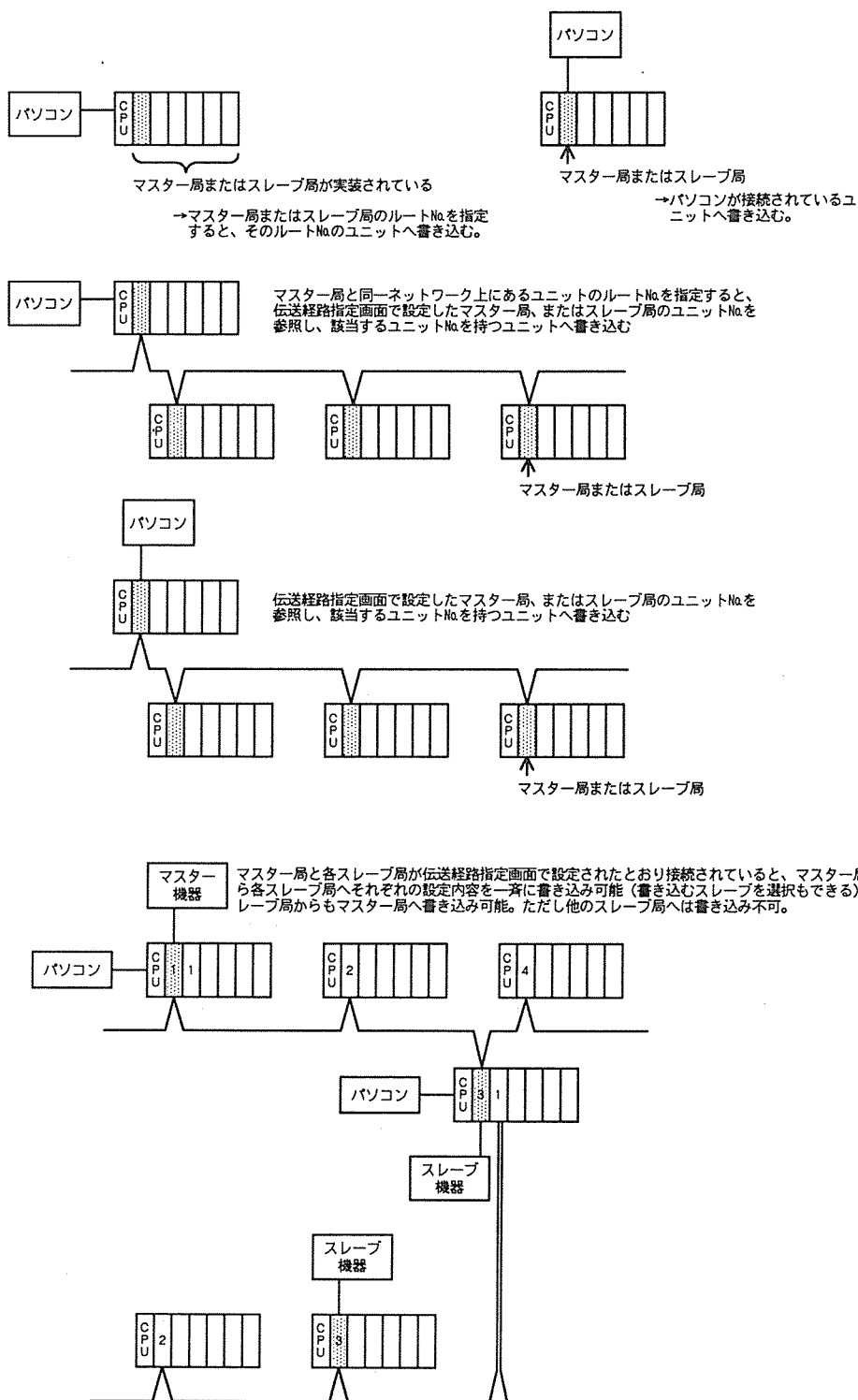
スレーブ局へは、スレーブのシリアル通信条件と対応する伝送経路設定内容が書き込まれます。1ユニットへは、1セットのみの設定内容が書き込まれますので、スレーブ局へ書き込みを行う場合は、設定画面で設定したどの局の内容を書き込むかを指定します。

パソコンを接続する接続先として、伝送経路指定画面で設定したマスター局またはスレーブ局（マスター局・スレーブ局がリンクユニットの場合、同一マザーボード上のCPUユニットでもかまいません）に接続します。マスター局・スレーブが加入しているネットワーク上のユニットに接続することもできますが、この場合は、伝送経路指定画面で指定しているマスター局またはスレーブ局のユニットNo. とあらかじめ指定する接続先ユニットを参照してマスター局またはスレーブ局を探しにいきますので、ネットワークが構築されている必要があります。

CPUユニットにパソコンを接続している場合は、設定内容を読み出すときに、ネットワーク指定画面が表示されますので、マザーボード上のどのユニットかを指定します。

マスター局へパソコンを接続した場合で、伝送経路設定画面で設定した各スレーブ局への伝送経路と同じように設定されている場合は、マスター局から各スレーブ局へ一斉にそれぞれの設定内容を書き込むことができます。システム設定ソフトは、伝送経路設定画面で設定されている伝送経路を参照し、それぞれのスレーブ局へ設定内容を書き込みます。

スレーブ局へパソコンを接続した場合は、そのスレーブ局とマスター局の2局のみ設定内容を書き込みます。システム設定ソフトは、伝送経路設定画面で設定されたそのスレーブ局の経路を参照してマスター局へマスター局のシリアル通信条件を書き込みに行きますので、指定画面で指定したとおりの経路が構築されている必要があります。



書き込み操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・上記を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFFに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・設定内容を書き込むリンクユニット（マスター局/スレーブ局）に直接パソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の《2. 機能選択》を選択し、シリアル伝送機能設定モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② リンクユニットへ書き込みを行うシリアル伝送機能設定内容が設定画面に表示されているかを確認します。

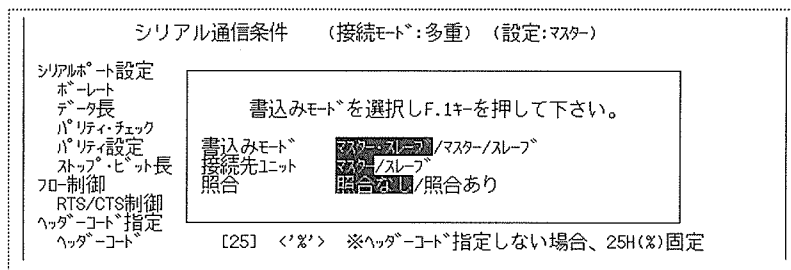
- 《S. シリアル設定》のプルダウンメニュー《2. 設定》を選択し確認します。
設定内容が確定されていない場合はユニットへの書き込みは実行されませんので、確定していない場合は、**f.1** [確定] を押して、設定内容を確定してください。

③ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。

- 《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

④ 《2. エット書き込み》を選択し、**↵** キーを押します。

書込みモードを選択するウィンドウが表示されます。



[書き込みモード]

どの局の設定内容を書き込むかを選択します。

【マスター・スレーブ】	マスター局とスレーブ局の設定内容を書き込みます。 接続先がマスター局の場合は、設定画面で設定した全ての局の設定内容を書き込むことができます。 接続先がスレーブ局の場合は、設定したスレーブ設定の内1スレーブの設定内容とマスターの設定内容を書き込みます。
【マスター】	マスター局のシリアル通信条件設定内容をマスター局へ書き込みます。 スレーブ局にパソコンを接続している場合は、スレーブ局とマスター局が接続されている必要があります。
【スレーブ】	スレーブ局のみの設定内容を書き込みます。 マスター局にパソコンを接続している場合は、設定内容を書き込むスレーブ局とマスター局が接続されている必要があります。 設定画面で設定した全ての局の設定内容書き込むことができます。

[接続先エント]

パソコンを接続しているユニットを選択します。

【マスター】	マスター局またはマスター局が加入しているネットワーク上のユニットに接続されている場合を選択します。
【スレーブ】	スレーブ局またはスレーブ局が加入しているネットワーク上のユニットに接続されている場合を選択します。

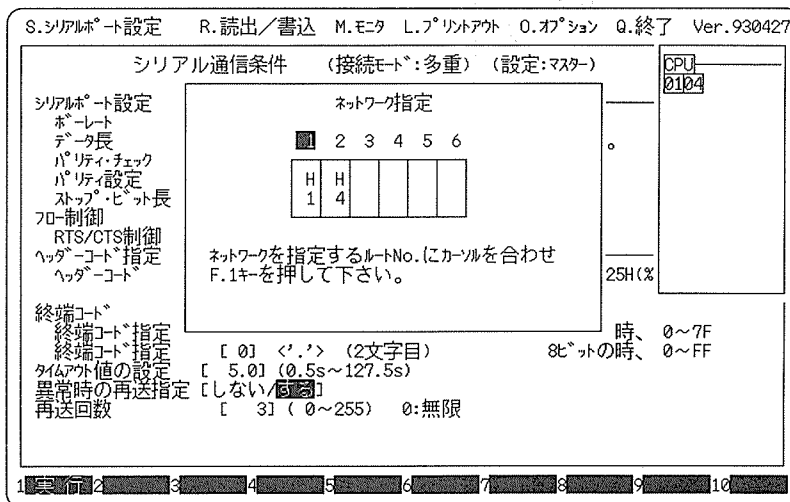
[照合]

リンクユニットに書き込んだ内容がパソコン上で設定した内容と同じものであるかを照合する／しないを選択します。

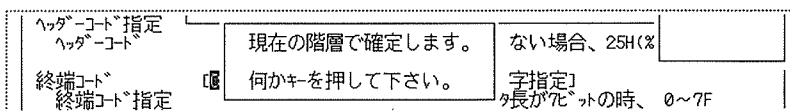
【照合なし】	照合しない場合を選択します。初期設定はこの状態になっています。
【照合あり】	照合する場合を選択します。

- ⑤ すべての設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。
リンクユニットへの書き込みが開始されます。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合は、ネットワーク指定画面が表示されますので、マスター局/スレーブ局/マスター局またはスレーブ局が存在しているネットワーク上のユニットのユニットNo.を指定します。

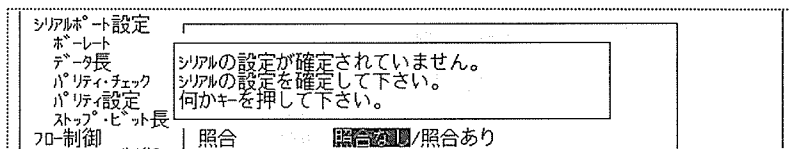


目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押ししてください。
以下の確認メッセージが表示されます。



何かキーを押して下さい。リンクユニットへの書き込みが開始されます。

- **注意** シリアル伝送機能設定画面で、**f・1** [確定] を押しして、設定内容を確定していない場合は以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。

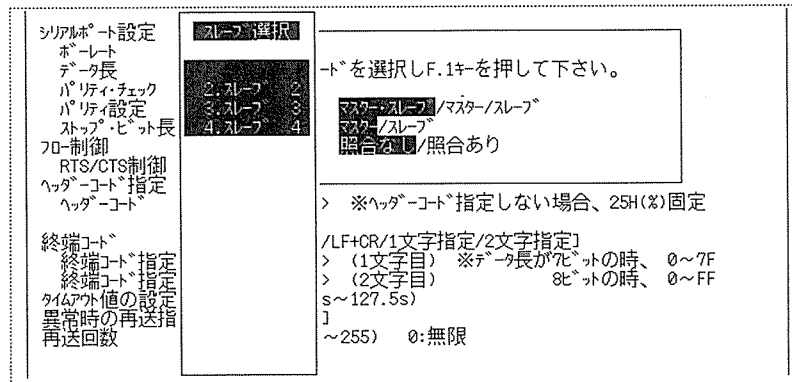
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択します。

サブメニューでの接続モードの選択は、設定していた接続モードになっていますのでそのまま**←**キーを押します。**f・1** [確定] を押し、設定内容を確定してください。

- [書込みモード] の設定で【マスター・スレーブ】または【スレーブ】を選択すると、[スレーブ選択] ウィンドウが画面に表示されます。

接続先がマスター局の場合

接続先がマスターの場合は設定した全てのスレーブ局の内容を一斉に書き込むことができますので、複数のスレーブ局を選択することができます。



設定したスレーブ局が表示されています。

どのスレーブ局番で設定した内容を書き込むかを選択します。

↑ ↓ キーで目的のスレーブ局にカーソルを合わせ、↵ キーを押します。

選択されたスレーブ局は反転しています。現在選択中のスレーブ局は、反転・点滅しています。

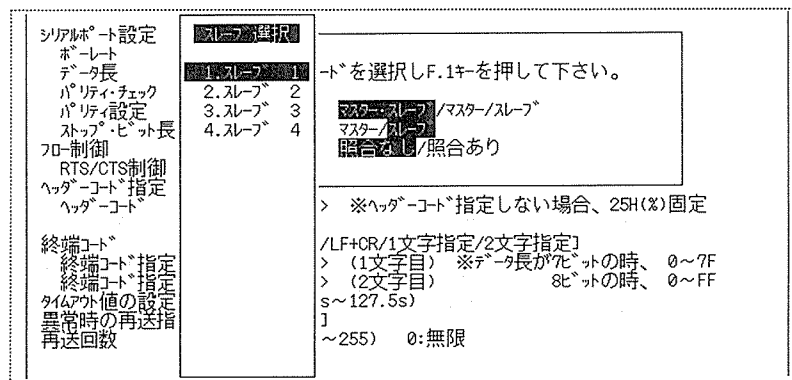
(スペース) キーを押すと、選択を解除します。

初期設定は、すべてのスレーブ局が選択されています。

すべての選択が終われば、f.1 [実行] を押します。

接続先がスレーブ局の場合

接続先がスレーブ局の場合は1スレーブ局の設定内容だけを書き込めますので、設定しているスレーブ局から1局を選択します。

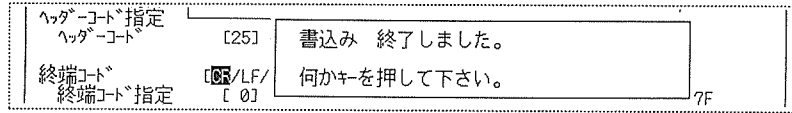


設定したスレーブ局が表示されています。

どのスレーブ局番で設定した内容を書き込むかを選択します。

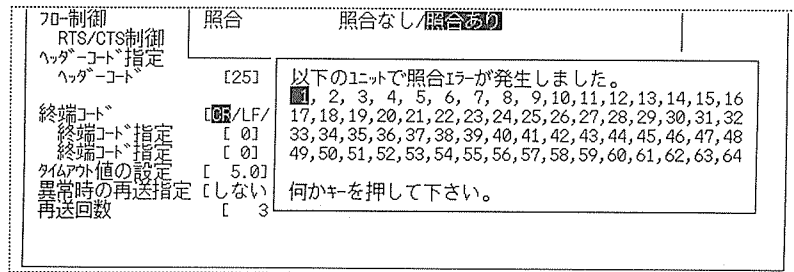
↑ ↓ キーで目的のスレーブ局にカーソルを合わせ、f.1 [実行] を押します。

⑥ 書き込みが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・書き込みモードの選択ウィンドウで [照合] を【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットに設定内容を正しく書き込めなかったということです。再度書き込み作業を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-2 シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

6-3-3

コンピュータリンク設定モードでのユニット書き込み

画面に表示・設定されているコンピュータリンク機能のモデム設定内容をリンクユニットに書き込みます。

リンクユニットへ書き込む場合は、設定した内容をあらかじめ確定しておく必要があります。

読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・MEWNET-Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNET-Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をONにし、MEWNET-Hシステムを起動します。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにします。
- ・パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

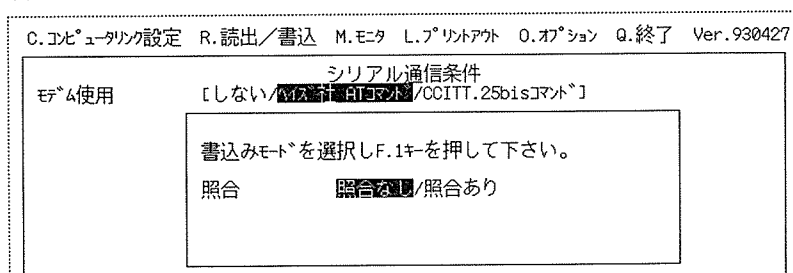
① コンピュータリンク設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の《2. 機能選択》を選択し、コンピュータリンクモードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② リンクユニットへ書き込みを行うモデム設定内容が画面に表示されているかを確認します。
《C. コンピュータリンク設定》のプルダウンメニュー《2. 設定》を選択し確認します。

③ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

④ 《2. エット書き込み》を選択し、**[E]** キーを押します。
書込みモードを選択するウィンドウが表示されます。



[照合]

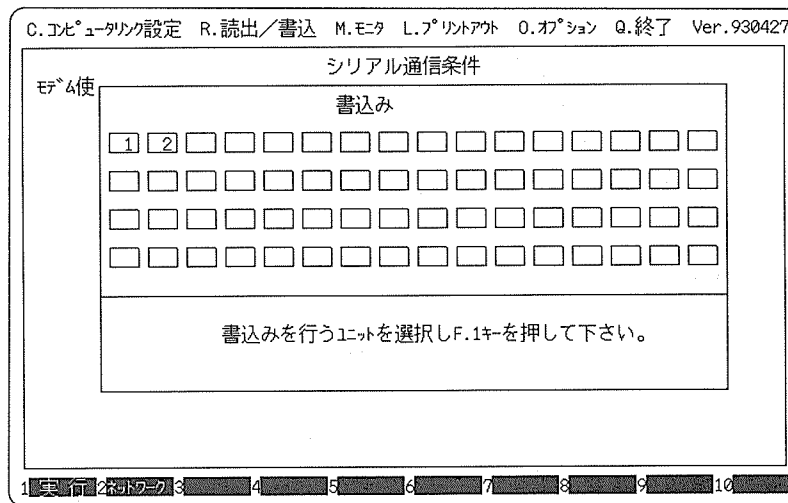
リンクユニットに書き込んだ内容がパソコン上で設定した内容と同じものであるかを照合する／しないを選択します。

初期設定は、【照合なし】になっています。

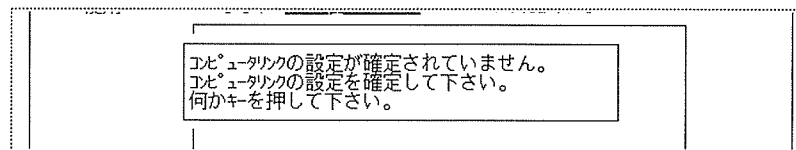
照合する場合は、カーソルを【照合あり】に合わせます。

- 設定内容の書き込みは、現在指定されているネットワークに対して行います。
現在指定しているネットワーク以外のネットワークへモデム機能設定内容を書き込む場合は、**f・2** [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定します。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑤ 書き込みモードの設定が終了すれば、**f・1** [実行] を押します。
[書き込み] ウィンドウが表示されます。



- **注意** モデム設定画面で、**f・1** [確定] を押して、設定内容を確定していない場合は以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。

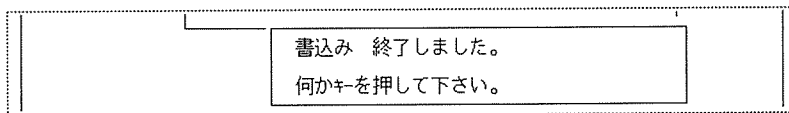
《C. コンピュータリンク設定》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択します。

f・1 [確定] を押し、設定内容を確定してください。

- ⑥ コンピュータリンク機能のモデム設定内容を書き込むリンクユニットを指定し、**f・1** [実行] を押します。

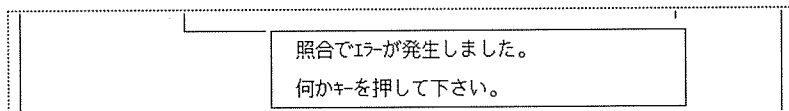
- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークのリンクユニットへモデム設定内容を書き込むか指定してください。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑦ 書き込みが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・書き込みモードの選択ウィンドウで [照合] を【照合あり】に設定した場合で、照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

照合エラーが発生した場合は、リンクユニットに設定内容を正しく書き込めなかったということです。再度書き込み作業を行ってください。

照合エラーの内容を確認したい場合は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニューから〈3. エットとの照合〉を選択し、照合作業を行ってください。詳細は、「6-4-3 コンピュータリンク設定モードでのユニット照合」をご参照ください。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

6 - 4

ユニットとの照合

6-4-1

PCリンク割付設定モードでのユニット照合

現在画面で設定されているPCリンク領域の割り付け設定内容と指定されたネットワークまたはネットワーク上の特定のユニットに書き込まれている設定内容とを照合します。

照合の操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行っておいてください。

- MEWNET - Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照下さい。
- MEWNET - Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW1をONにし、MEWNET - Hシステムを起動します。
- リンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにした後、SW3をONにします。
- パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① PCリンク割付モードになっているか確認します。

- 他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② 照合したいPCリンク領域の割り付け内容が設定画面に表示されているか確認します。
《P. PCリンク割付》のプルダウンメニュー 〈2. 設定〉を選択して確認します。

③ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- ④ <3. エットとの照合> を選択し、**[F4]** キーを押します。

以下のウィンドウが表示されます。

		(ルータリンク)		(データリンク)		(リンク/PC状態)		(エラー情報)	
領域	割付[WL]	23	全ワード数[割付[LD]	103	領域[しない]	領域[しない]	ワード数[ワード数[
	128]		256]						
	PCリンク停止時クリア[し]								
照 合									
PCリンク割付表の照合を行います。									
F.1キーで照合を実行します。									
NO	送信先頭	ワード	未使用	0	LD	186	16	未使用	0
1	WL	2	8	0	LD	202	16	未使用	0
2	WL	18	8						
3	WL	34	8						
4	WL	50	8						
5	WL	66	8						
6	WL	74	8						
7	WL	82	8						
8	WL	90	8						
9	WL	98	8						

- ネットワーク上の特定のユニットと照合する場合は、次ページの「**■部分照合**」にお進みください。

■ネットワーク全体との照合

現在指定しているネットワーク以外のネットワークと照合する場合は、**[F2]** [ネットワーク] を押して、ネットワークを指定します。

ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑤ **[F1]** [実行] を押します。

画面中央に照合中のメッセージが表示されます。

レ	5	WL	66	8	未使用	0			未使用	0
	6	WL	74	8					未使用	0
	7	WL	82	8					未使用	0
	8	WL	90	8					未使用	0
	9	WL	98	8					未使用	0
リ	10	WL	106	8					未使用	0
ン	11	WL	114	8					未使用	0
	12	WL	122	8					未使用	0

- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークと照合するか指定してください。

ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑥ 照合が終了すれば、終了メッセージが表示されます。

・照合エラーがなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

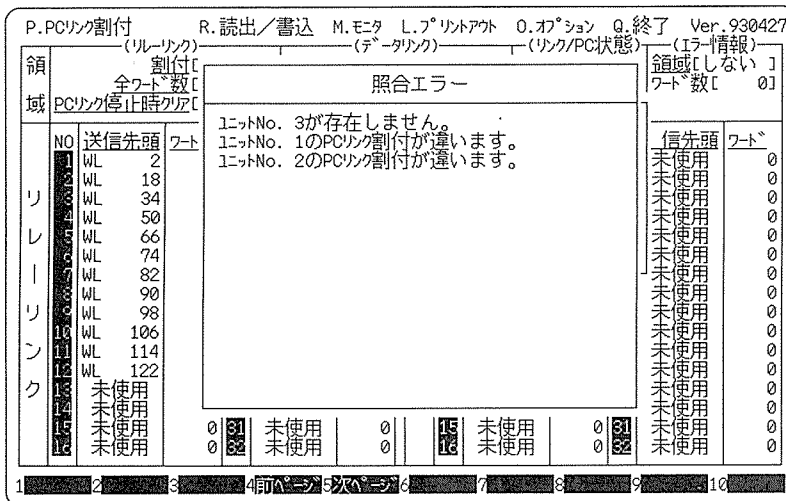
レ	5	WL	66	8	未使用	0			未使用	0
	6	WL	74	8					未使用	0
	7	WL	82	8					未使用	0
	8	WL	90	8					未使用	0
	9	WL	98	8					未使用	0
リ	10	WL	106	8					未使用	0
ン	11	WL	114	8					未使用	0
	12	WL	122	8					未使用	0

何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・照合エラーがあった場合には、以下のメッセージが表示されます。

レ	5	WL	66	8	未使用	0			未使用	0
	6	WL	74	8					未使用	0
	7	WL	82	8					未使用	0
	8	WL	90	8					未使用	0
	9	WL	98	8					未使用	0
リ	10	WL	106	8					未使用	0
ン	11	WL	114	8					未使用	0
	12	WL	122	8					未使用	0

何かキーを押すと、エラーの内容が表示されます。



エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次画面] を押してください。残りのメッセージが表示されます。

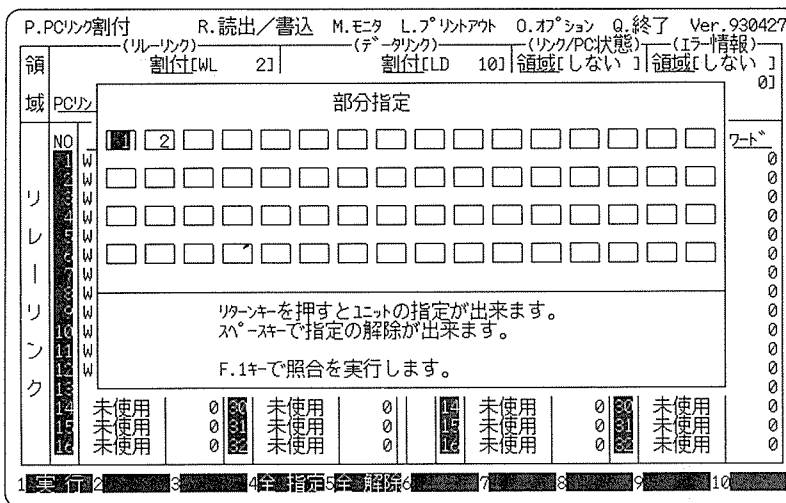
f・4 [前画面] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

■部分照合

⑤ **f・4** [部分] を押します。

[部分指定] ウィンドウが表示されます。



● ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウがまず表示されますので、どのネットワークと照合するか指定してください。ネットワーク指定後、[部分照合] ウィンドウが表示されます。

ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

⑥ 照合するユニット No.にカーソルを合わせ、**[↵]** キーを押します。

指定されたユニットは反転表示されます。

ユニットの指定をキャンセルする場合は、そのユニット No.にカーソルを合わせ、**[]** キーを押します。

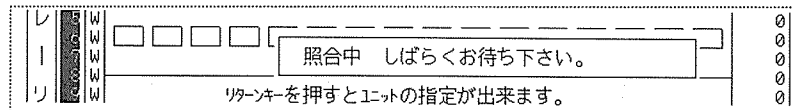
[f.4] [全 指定] と **[f.5]** [全 解除] を使用し、全てのユニットを指定することができます。

[f.4] [全 指定] 表示されているユニットを全て指定します。

[f.5] [全 解除] 現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

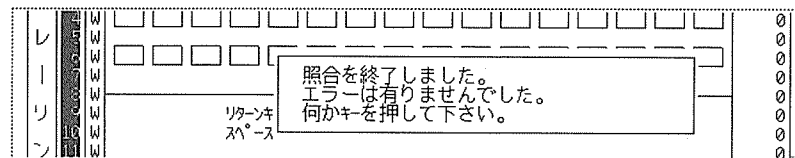
⑦ 設定が終了すれば、**[f.1]** [実行] を押します。

照合中のメッセージが表示されます。



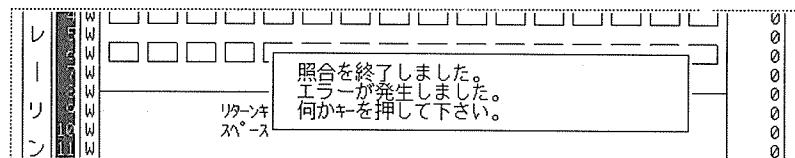
⑦ 照合が終了すれば、終了メッセージが表示されます。

・照合エラーがなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

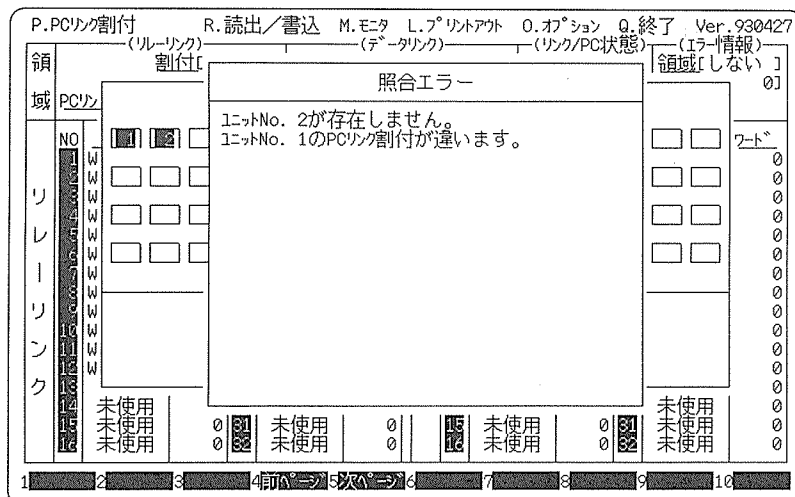


何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・照合エラーがあった場合には、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、エラーの内容が表示されます。



エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次画面] を押してください。残りのメッセージが表示されます。

f・4 [前画面] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

6-4-2

シリアル伝送機能設定モードでのユニット照合

リンクユニットを指定し、そのユニットに書き込まれている設定内容と現在画面に表示している設定内容とを照合します。

指定されたリンクユニットがマスター局またはスレーブ局でない場合は、照合できませんので、あらかじめパソコンはマスター局かスレーブ局（そのユニットが実装されているマザーボード上のCPUユニットでもかまいません）に接続しておきます。

マスター局かスレーブ局の加入しているネットワーク上のリンクユニット（またはそのCPUユニット）に接続することもできますが、この場合はどのリンクユニットが、マスター局・スレーブ局またはマスター局／スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定する必要があります。

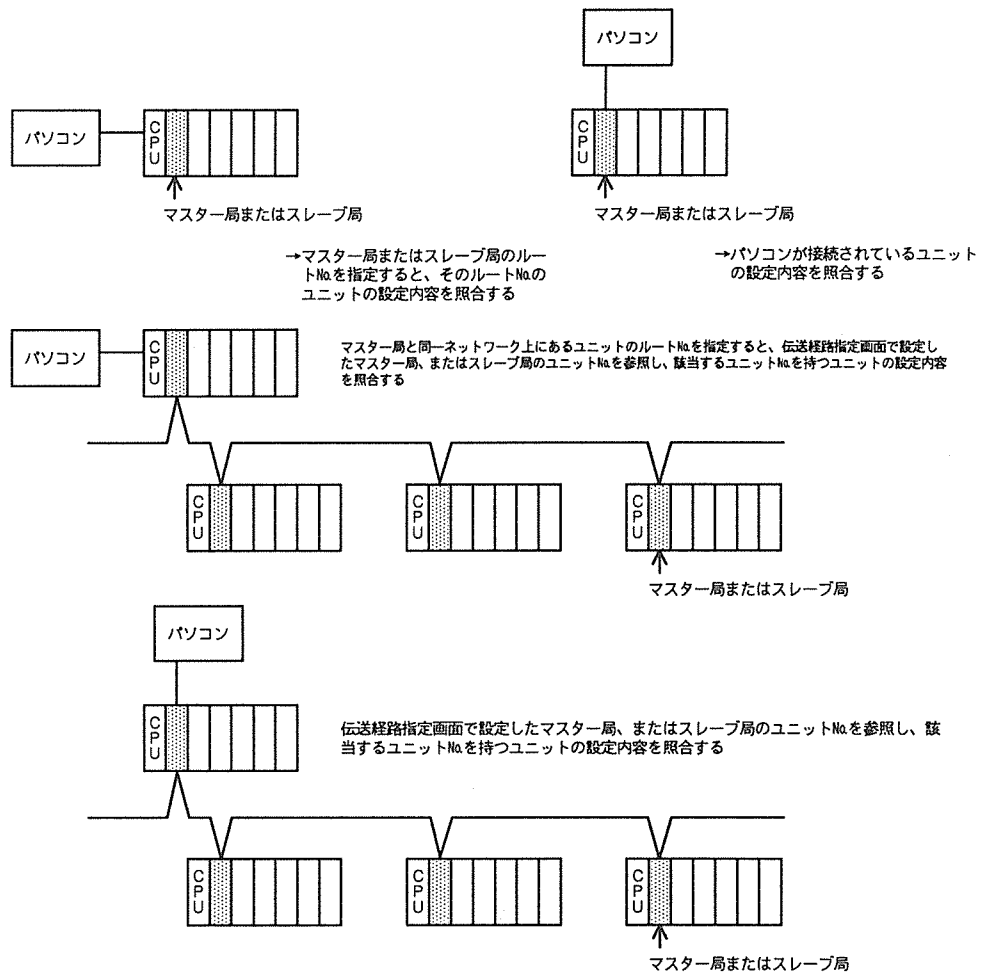
CPUユニットにパソコンを接続している場合は、照合するときにネットワーク指定画面が表示されますので、マザーボード上のどのユニットかを指定します。

指定するユニットにシリアル伝送機能設定内容が書き込まれているかを確認したい場合は、システム設定ソフトのモニタ機能を使用します。詳細は、「7-1-6 シリアル伝送機能状態モニタ」をご参照ください。

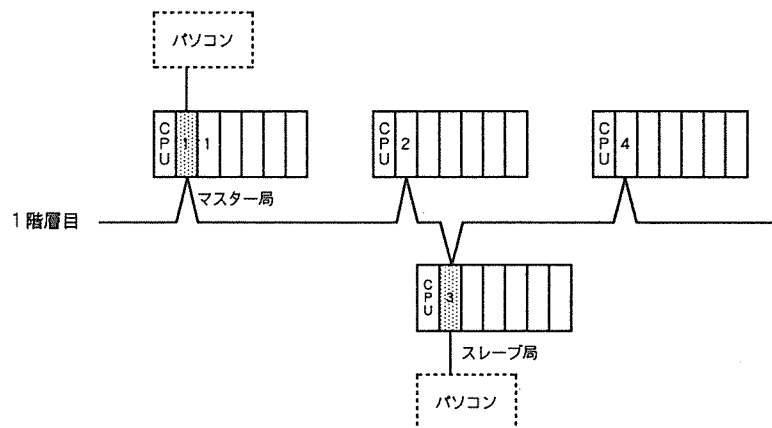
単一／多重のどちらの設定内容が指定したユニットに書かれているかは、システム設定ソフトが自動的に判断します。

■単一接続モードの設定内容がユニットに書き込まれているとき

単一接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれている場合は、マスター局・スレーブ局の両方に伝送経路の設定内容が書き込まれていますので、マスター・スレーブのどちらかを指定すると、その局に書き込まれている伝送経路を参照してもう一方の設定内容を照合することができます。ただし、その伝送経路と同じようにマスター局とスレーブ局が接続されていなくてはなりません。



指定した局に書き込まれている伝送経路と同じように接続されていると、指定した局から他局へ照合が可能



【マスター局（スレーブ局）にパソコンが接続されている場合】

照合の操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・上記を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFFに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニット（マスター局/スレーブ局）にパソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② 照合を行うシリアル伝送機能設定内容が、設定画面に表示されているかを確認します。

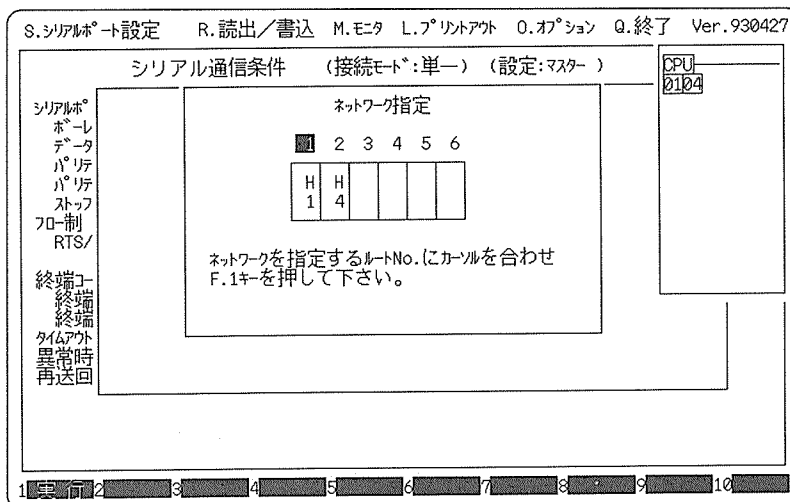
《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニュー〈2. 設定〉を選択し、確認します。

③ メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。

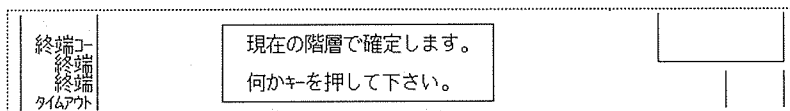
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

④ 〈3. エットとの照合〉を選択し、 キーを押します。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合はネットワーク指定画面が表示されますので、どのユニットがマスター局・スレーブ局 またはマスター局/スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定します。

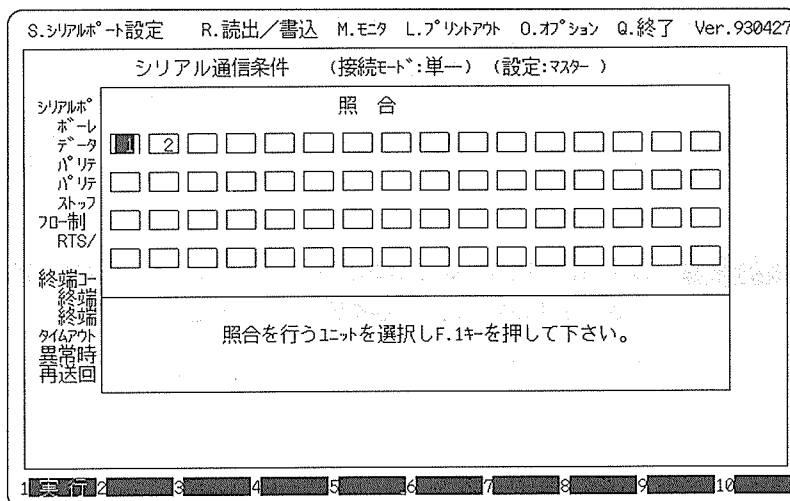


目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f.1** [実行] を押してください。
以下の確認メッセージが表示されます。



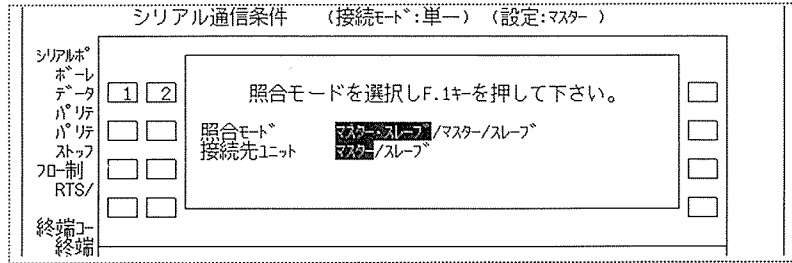
何かキーを押して下さい。以下の [照合] ウィンドウが表示されます。
ウィンドウには、ネットワーク指定ウィンドウで指定したリンクユニットが加入しているネットワーク上に存在するユニットNo.が表示されます。

- パソコンがリンクユニットに接続されている場合は、[照合] ウィンドウが表示されます。ウィンドウには現在接続されているリンクユニットNo.が表示されます。



- ④ 照合するユニットを選択します。
設定内容を照合するユニットNo.にカーソルを合わせ、**f.1** [実行] を押します。

⑤ 照合モードを設定するウィンドウが表示されます。



[照合モード]

どの局の設定内容を照合するかを選択します。

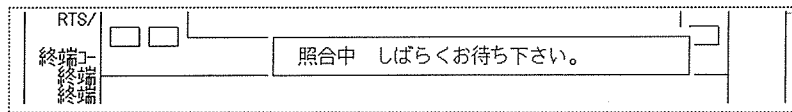
【マスター・スレーブ】 マスター局とスレーブ局の設定内容を照合します。
 マスター局とスレーブ局の経路がパソコンとつながっている局の中に書き込まれている経路設定内容と同じように接続されている必要があります。

【マスター】 マスター局のみの設定内容を照合します。
 パソコンがスレーブユニットまたは、スレーブユニットのネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が経路設定内容と同じ経路で接続されている必要があります。

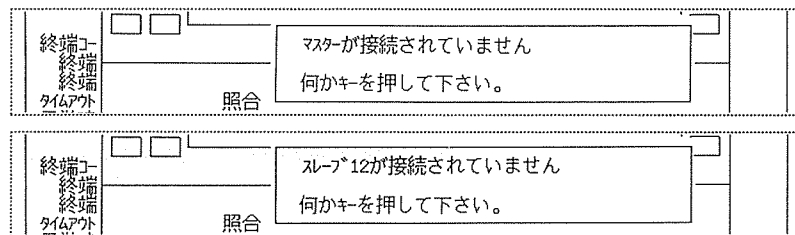
【スレーブ】 スレーブ局のみの設定内容を照合します。
 パソコンがマスターユニットまたは、マスターユニットのネットワーク上のユニットに接続されている場合は、マスター局とスレーブ局が経路設定内容と同じ経路で接続されている必要があります。

⑥ 設定が終了すれば、**f.1** [実行] を押します。

照合中のメッセージが表示されます。

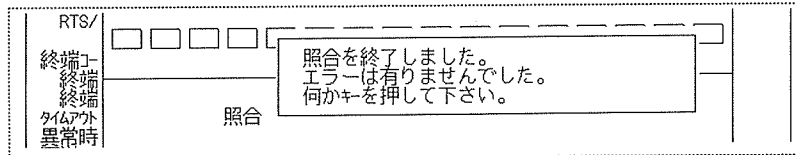


注意 ・設定内容を照合する対象に指定したユニットが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されますので、接続状態を確認してください。



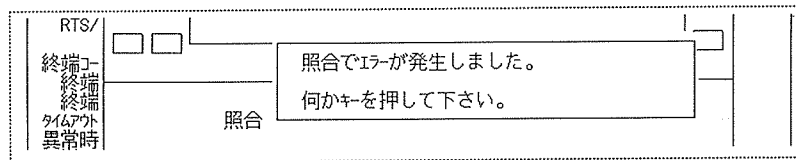
⑧ 照合が終了すれば、終了メッセージが表示されます。

・照合エラーがなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

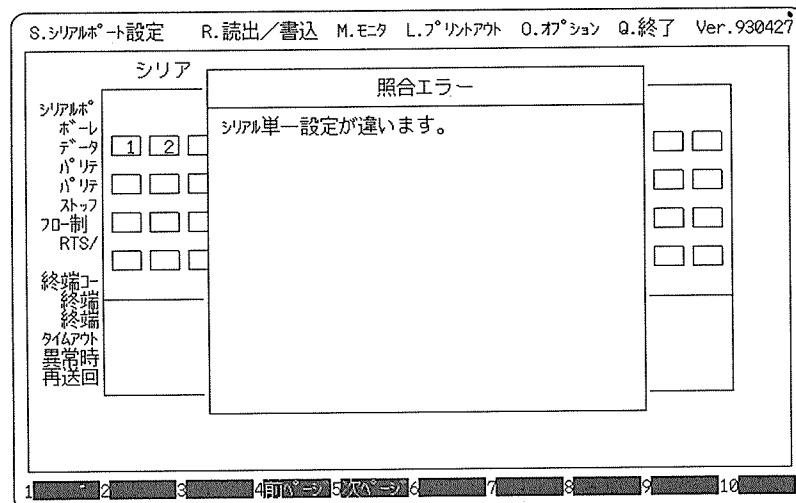


何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・照合エラーがあった場合には、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、エラーの内容が表示されます。



エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次画面] を押してください。残りのメッセージが表示されます。

f・4 [前画面] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

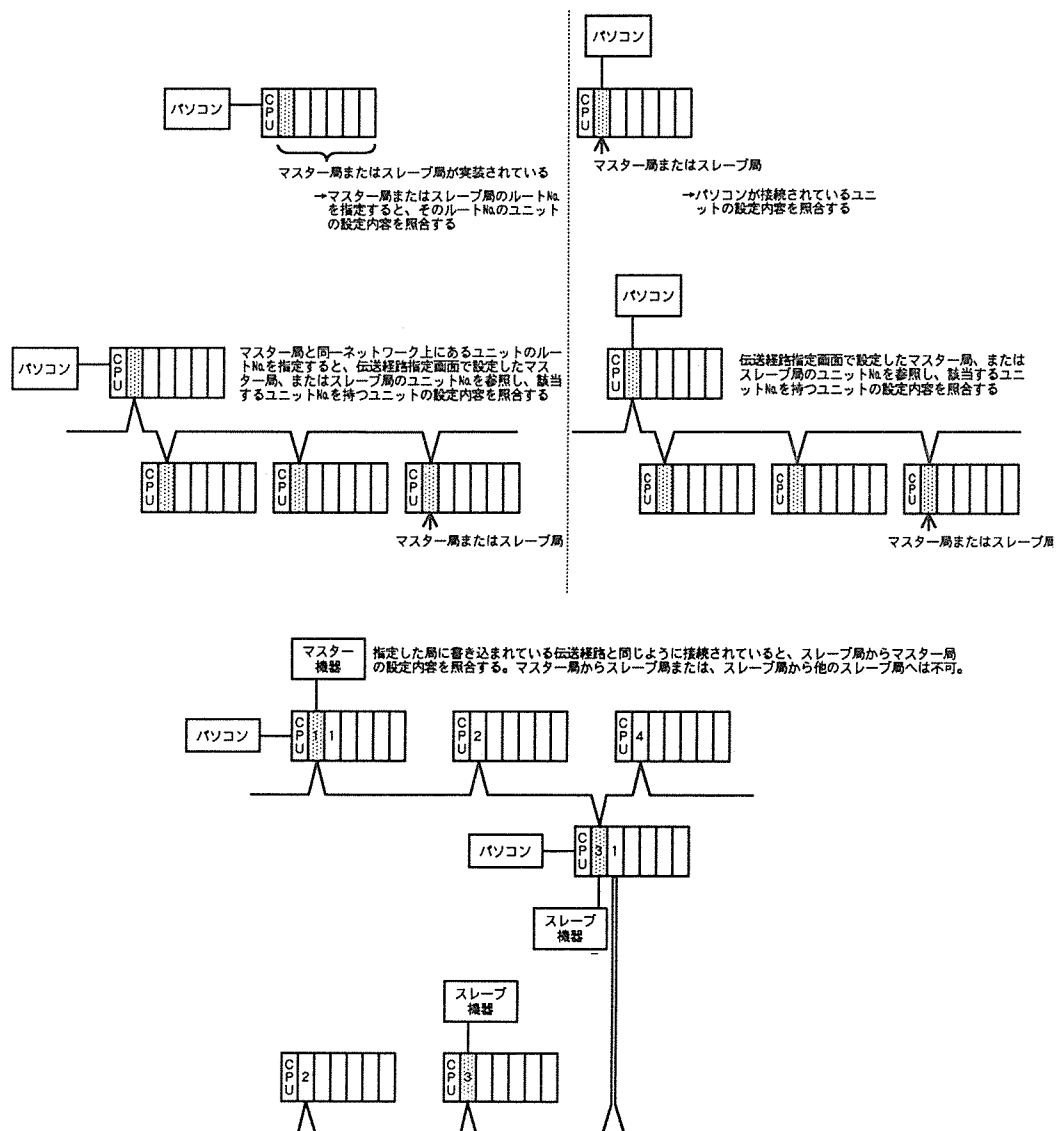
エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

■多重接続モードの設定内容がユニットに書き込まれているとき

多重接続モードの設定内容がリンクユニットに書き込まれている場合は、マスター局には伝送経路の設定内容が書き込まれていませんので、設定内容を照合するユニットにマスター局を指定しても、そのマスター局からスレーブ局の設定内容は照合できません。

設定内容を読み出すユニットにスレーブ局を指定した場合は、そのスレーブ局内に書き込まれている伝送経路を参照し、マスター局の設定内容を照合しますので、指定されたスレーブ局とそのマスター局の設定内容を照合します。ただし、設定と同じ伝送経路でマスター局とスレーブ局が接続されていなくてはなりません。

上記のように、指定するユニットがマスター局かスレーブ局かで、照合する内容に制限がありますので、あらかじめ指定するユニットに書き込まれている内容が、マスター局のものであるかスレーブ局のものであるかをシステム設定ソフトのモニタ機能を使用して、確認しておいてください。確認方法の詳細は、「7-1-6 シリアル伝送機能状態モニタ」をご参照ください。



読み出し操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・上記を参考にパソコンとリンクユニットまたはCPUユニットと接続してください。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をOFFに設定し、MEWNET-Hシステムを起動させます。
- ・読み出したい設定内容が書き込まれているリンクユニット（マスター局/スレーブ局）にパソコンを接続している場合は、リンクユニット・動作モード設定スイッチのSW4をOFFに設定した後、SW3をONに設定してください。
- ・CPUユニットにパソコンを接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① シリアル伝送機能設定モードになっているか確認します。

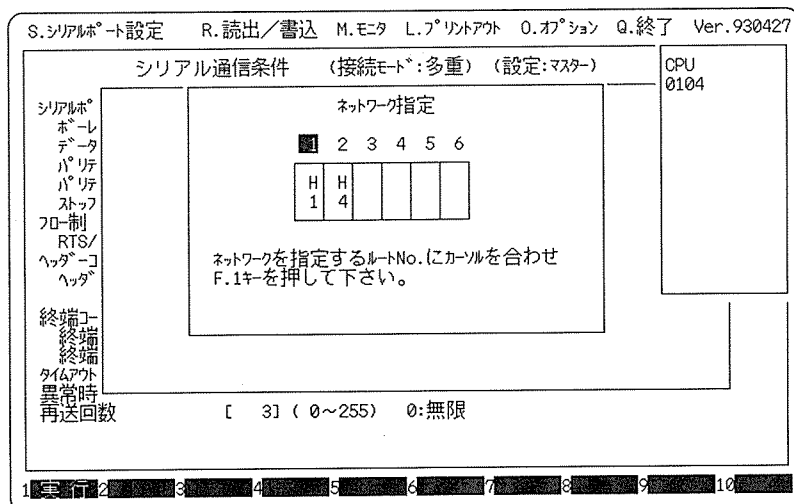
- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の《2. 機能選択》を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

② メニューバーから《R. 読出/書込》を選択します。

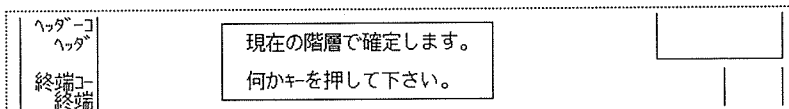
《R. 読出/書込》のプルダウンメニューが表示されます。

③ 《1. エットとの照合》にカーソルを合わせ、 キーを押します。

- パソコンがCPUユニットに接続されている場合はネットワーク指定画面が表示されますので、どのユニットがマスター局・スレーブ局 またはマスター局/スレーブ局と同じネットワークのリンクユニットかを指定します。

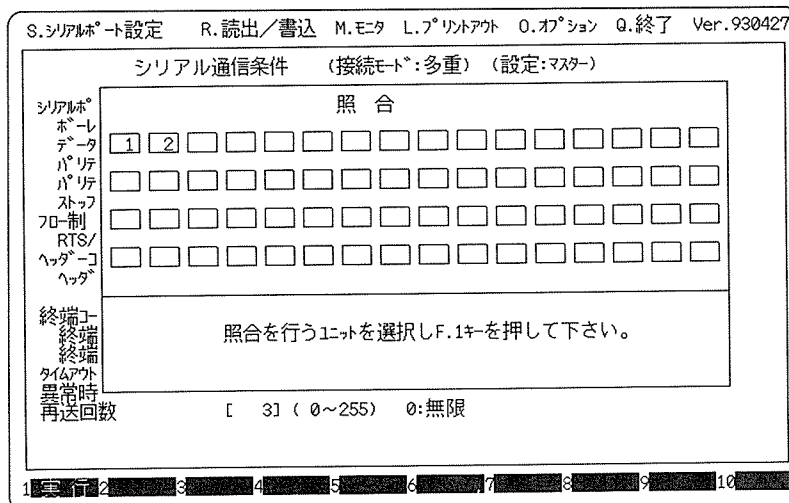


目的のリンクユニットにカーソルを合わせ、**f.1** [実行] を押してください。
以下の確認メッセージが表示されます。



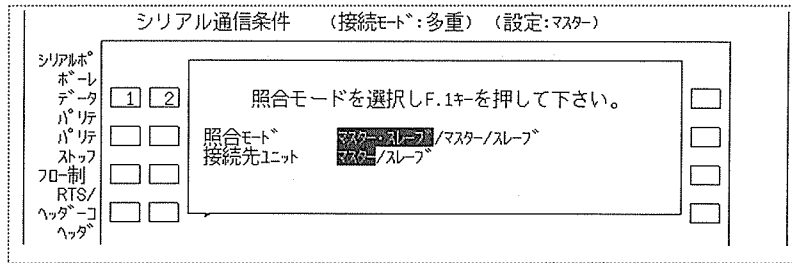
何かキーを押して下さい。以下の [照合] ウィンドウが表示されます。
ウィンドウには、ネットワーク指定ウィンドウで指定したリンクユニットが加入しているネットワーク上に存在するユニットNo.が表示されます。

- パソコンがリンクユニットに接続されている場合は、[照合] ウィンドウが表示されます。ウィンドウには現在接続されているリンクユニットNo.が表示されます。



- ④ 設定内容を照合するユニットを選択します。
設定内容を照合するユニットNo.にカーソルを合わせ、**f.1** [実行] を押します。

⑤ 照合モードを設定するウィンドウが表示されます。



[照合モード]

どの局の設定内容を読み出すかを選択します。

【マスター・スレーブ】 マスター局とスレーブ局の設定内容を照合します。
 マスター局とスレーブ局の経路が指定した局の中書き込まれている経路設定内容と同じように接続されている必要があります。

【マスター】 マスター局のみの設定内容を照合します。
 指定したユニットがスレーブ局の場合は、マスター局とスレーブ局がそのスレーブ局に書き込まれている経路設定内容と同じ経路で接続されている必要があります。

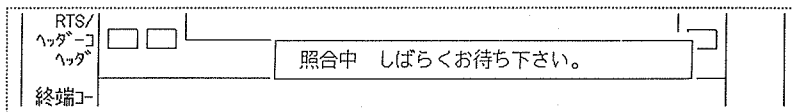
【スレーブ】 スレーブ局のみの設定内容を照合します。
 指定したユニットがマスター局の場合は、スレーブ局の設定を読み出すことはできません。

[接続先ユニット]

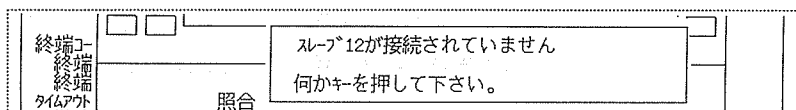
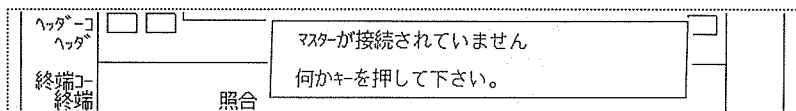
[照合] ウィンドウで指定したユニットがマスター局かスレーブ局かを指定します。

⑥ すべての設定が終了すれば、**f.1** [実行] を押します。

照合中のメッセージが表示されます。

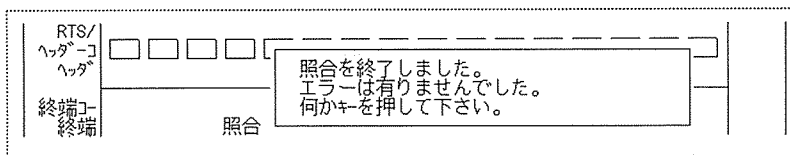


注意 ・設定内容を照合する対象に指定したユニットが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されますので、接続状態を確認してください。



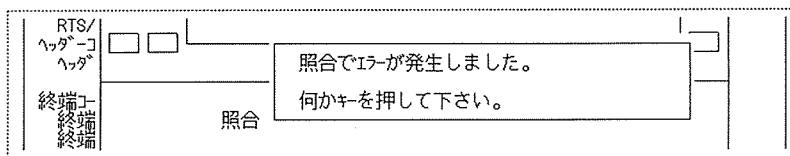
⑧ 照合が終了すれば、終了メッセージが表示されます。

・照合エラーがなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

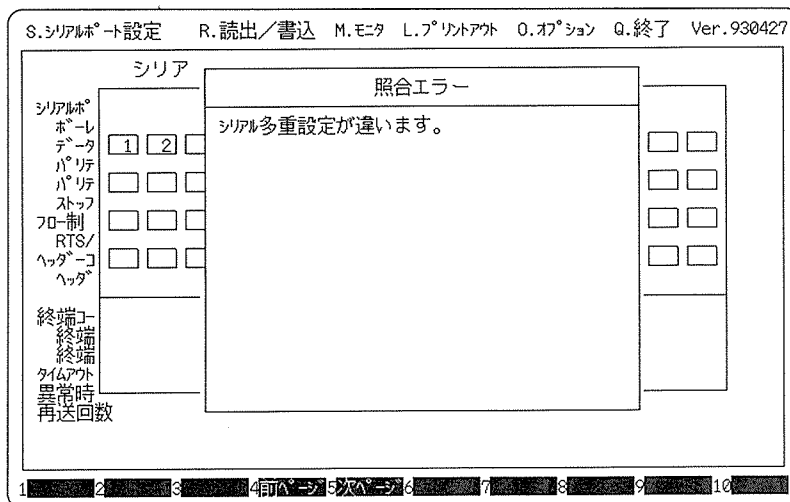


何かキーを押します。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

・照合エラーがあった場合には、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、エラーの内容が表示されます。



エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次画面] を押してください。残りのメッセージが表示されます。

f・4 [前画面] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

6-4-3

コンピュータリンク設定モードでのユニット照合

現在画面で設定されているコンピュータリンク機能のモデム設定内容と指定されたネットワーク上のリンクユニットに書き込まれている設定内容とを照合します。

照合の操作を行う前にあらかじめ下記の準備を行ってください。

- ・MEWNET-Hシステムとパソコンを接続します。
CPUユニットまたはリンクユニットにパソコンを接続します。接続方法についてはハード導入マニュアルの「8-2-2 準備」をご参照ください。
- ・MEWNET-Hリンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3をONにし、MEWNET-Hシステムを起動します。
- ・リンクユニットとパソコンを接続している場合は、リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW4をOFFにします。
- ・パソコンをCPUユニットに接続している場合は、ボーレートなどの通信条件がMEWNET-Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。
システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から《1. ツール環境》を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。
CPUユニット側の設定については、CPUユニットのマニュアルをご参照ください。

① コンピュータリンク設定モードになっているか確認します。

- ・他のモードにいる場合は、《0. オプション》の《2. 機能選択》を選択し、シリアル伝送機能モードに入ります。
機能選択については、「9-2 機能選択」をご参照ください。

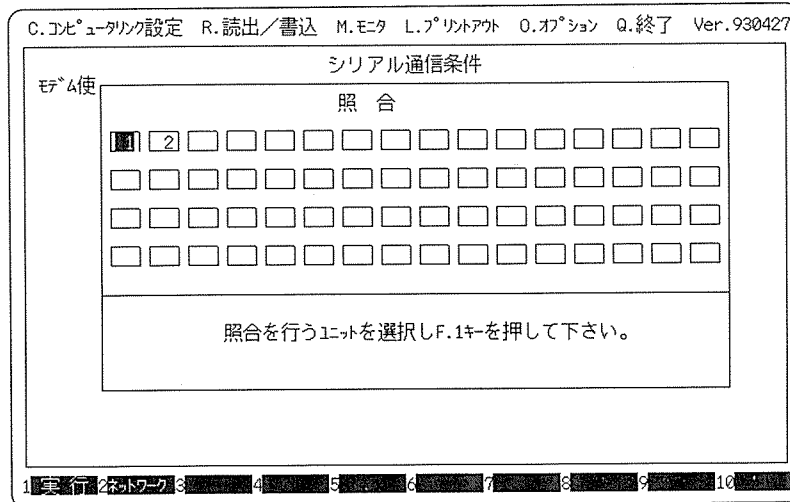
② 照合を行うモデム設定内容が、設定画面に表示されているかを確認します。

- 《C. コンピュータリンク設定》のプルダウンメニュー《2. 設定》を選択し確認します。

③ メニューバーから《R. 読出／書込》を選択します。

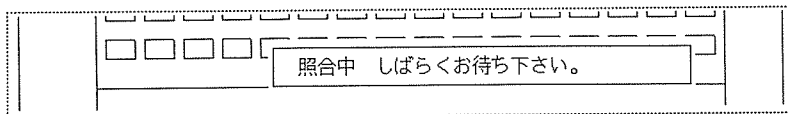
- 《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- ④ <3. エットとの照合> を選択し、 キーを押します。
以下のウィンドウが表示されます。



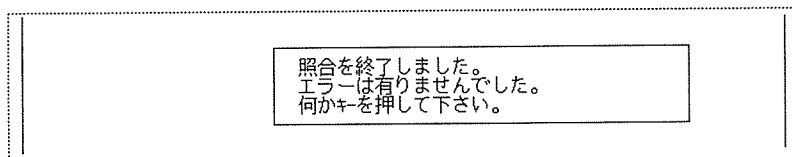
- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークと照合するか指定してください。
ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑤ 照合するユニットNo.にカーソルを合わせ、 [実行] を押します。
照合中のメッセージが表示されます。



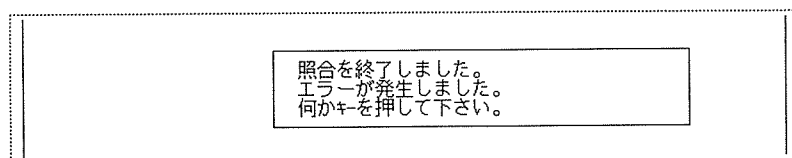
- ⑥ 照合が終了すれば、終了メッセージが表示されます。

- ・照合エラーがなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

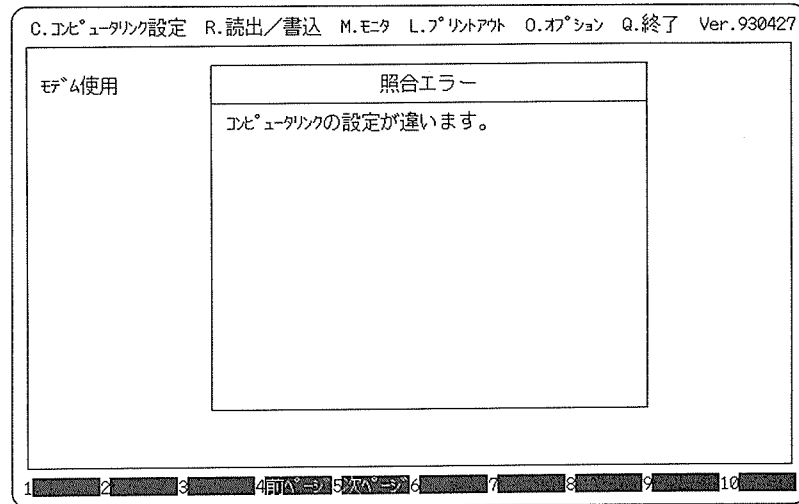


何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・照合エラーがあった場合には、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、エラーの内容が表示されます。



エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次画面] を押してください。残りのメッセージが表示されます。

f・4 [前画面] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 書き込み中に通信エラーなどの問題があった場合は、エラーメッセージや確認ウィンドウが表示されます。

確認メッセージが表示された場合は、確認メッセージに従って、「Y」か「N」を選択してください。

エラーメッセージが表示された場合は、何かキーを押します。画面は、《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択になります。「付録-1 エラーメッセージ」を参照し、エラーを修正して下さい。エラー修正後、再度書き込みを行ってください。

6 - 5

ユニットのクリア

リンクユニットに書き込まれているシステム設定内容をクリアします。
画面に表示されているモードの設定内容だけをクリアします。
読み出す方法は、どのモードであっても同じです。

リンクユニットのクリアを行う場合は、あらかじめPC側で必要な設定を行い、パソコンをPCと接続しておく必要があります。

操作を行う前に、下記の項目について確認してください。

- ・MEWNET - Hシステムとパソコンが、正しく接続されているか確認します。
- ・MEWNET - Hシステムが、起動しているか確認します。
- ・リンクユニットの動作モード設定スイッチのSW3がONに、SW4がOFFになっているかを確認します。
- ・ボーレートなどの通信条件が、MEWNET - Hシステム側とシステム設定ソフト側で一致しているか確認します。システム設定ソフトの通信条件の設定は、《0. オプション》から〈1. ツール環境〉を選択し、設定します。詳細は、「9-1 ツール環境の設定」をご参照ください。

① 画面のモードがクリアする設定内容と、同じモードになっているか確認します。

- ・モードの切り替えは、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉で行います。詳細は「9-2 機能選択」をご参照ください。
- ・シリアル伝送機能モードでクリアされるのは、リンクユニットに書き込まれている接続モードの設定内容です。

② メニューバーから《R. 読出／書込》を選択してください。
《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- ③ <4. エントのクリア> にカーソルを合わせて、**[F1]** キーを押してください。

画面には、現在指定されているネットワークに接続されている、リンクユニットのユニットNo.が表示されます。

(PCリンク割付モードでのユニットクリアの場合)

- ネットワークを指定していない場合は、ネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、どのネットワークのリンクユニットをクリアするか指定してください。

ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ④ クリアするユニットNo.にカーソルを合わせ、**[F1]** キーを押してください。

指定されたユニットは反転表示されます。

指定されたユニットをキャンセルする場合は、そのユニットNo.にカーソルを合わせ、**[スペース]** キーを押してください。

[f.4] [全 指定] と **[f.5]** [全 解除] を使用し、ユニットを指定する事ができます。

[f.4] [全 指定] 表示されているユニットを全て指定します。

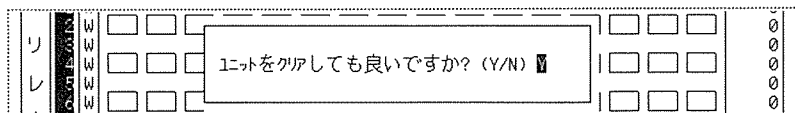
[f.5] [全 解除] 現在指定しているユニットの指定を全て解除し、指定する前の状態に戻ります。

- 現在指定しているネットワーク以外のネットワークのリンクユニットをクリアする場合は、**[f.2]**

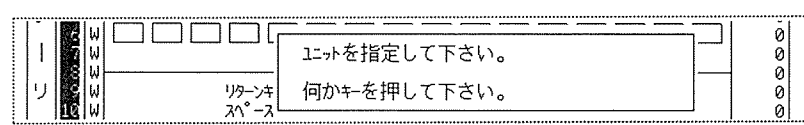
[ネットワーク] を押して、ネットワークを指定してください。

ネットワーク指定方法については、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。

- ⑤ 設定が終了すれば、**f.1** [実行] を押してください。
 設定内容をクリアして良いかの確認メッセージが表示されます。

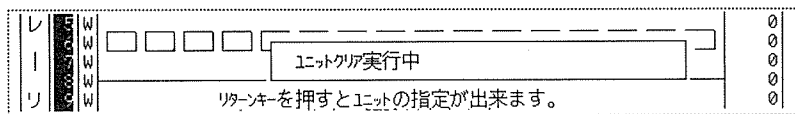


- 注意** ユニットの指定せずに **f.1** [実行] を押した場合は、ユニット指定をするように警告メッセージが表示されます。



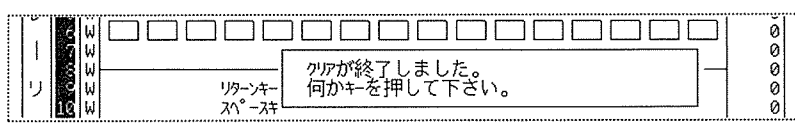
何かキーを押し、設定内容をクリアするユニットを指定してください。

- ⑥ 設定内容をクリアする場合は、**Y** キーを押してください。
 クリア中のメッセージが表示されます。



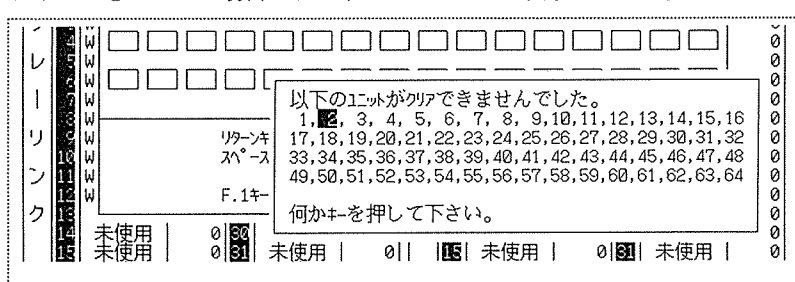
- 操作を中断する場合は、**N** キーを押してください。
 《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ⑦ クリアが終了すれば、終了メッセージが表示されます。



- 何かキーを押してください。
 《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

クリアできなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



- 何かキーを押してください。
 《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

ディスクからの設定内容の読み出し

現在画面で設定されているモードで保存されている設定内容をディスクから読み出します。
読み出す方法はどのモードであっても同じです。

- ・ PCリンク割付設定モードの場合は、PCリンク領域の割り付け設定内容・ネットワーク名・ネットワークコメントをディスクから読み出します。個別設定内容が保存されている場合は、その内容も読み出します。
- ・ シリアル伝送機能設定モード（単一接続モード）の場合は、単一接続モードのシリアル通信条件と伝送経路の設定内容を読み出します。
- ・ シリアル伝送機能設定モード（多重接続モード）の場合は、多重接続モードのシリアル通信条件と伝送経路の設定内容を読み出します。
- ・ コンピュータリンク設定モードの場合は、モデム設定内容を読み出します。

① 読み出す設定内容と同じモードになっているか確認します。

- ・ モードの切り替えは、《0. オプション》の〈2. 機能選択〉で行います。詳細は「9-2 機能選択」をご参照ください。
- ・ シリアル伝送機能モードでの、単一接続モード／多重接続モードの選択は《S. シリアルポート設定》の〈2. 設定〉のサブメニューで行います。

- ① メニューバーから《S. シリアルポート設定》を選択します。《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューが表示されます。
- ② 〈1. 新規設定〉または〈2. 設定〉を選択します。サブメニューが表示されます。
- ③ 〈単一モード〉または〈多重モード〉を選択します。マスター局のシリアル通信条件設定画面が表示されます。
- ④ **ESC** キーを押します。《S. シリアルポート設定》のプルダウンメニューに戻ります。

② メニューバーから《R. 読出／書込》を選択します。

《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。

- フロッピーディスクドライブがひとつしかなく、フロッピーディスクで設定ソフトのシステムを起動している場合で、別のフロッピーディスクに保存されている設定内容を読み出すときは、フロッピーディスクを入れ替えてください。

- ③ <5. DISK読み出し> を選択し、**[F5]** キーを押します。

[DISK読出] のウィンドウが表示されます。

画面構成の詳細については209ページの「●画面構成」をご参照ください。

P. PC/ワーク割付 R. 読出/書込 M. モニタ L. フォントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930427				
DISK読出				
ドライブ [A B C D E]				
ディレクトリ [WORK]				
SYSTEM1	第1ライン	'93-06-04	松下 太郎	PC
SYSTEM2	第2ライン	'93-06-05	松下 次郎	PC
SYSTEM3	第3ライン	'93-06-06	松下 三郎	PC
TEST-3	第3ライン テスト	'93-06-07	松下 三郎	PC

1 実行 2 ドライブ 3 ツリ表示 4 表示 5 検索 6 編集 7 終了 8 ヘルプ 9 メニュー 10

画面には現在選択されているディレクトリの内容が表示されます。

初期設定では、システム設定ソフトがインストールされているディレクトリの内容が表示されます。

- ・別のドライブから読み出しを行う場合は、**[F2]** [ドライブ] を押して、ドライブの指定を行います。詳細は、「■ドライブの変更」(210ページ)をご参照ください。
- ・**[F3]** [ツリ表示] を押すと、現在選択されているドライブのディレクトリ構造がツリーで表示され、ディレクトリを変更することができます。詳細は、「■ディレクトリの変更」(210ページ)をご参照ください。
- ・**[F9]** [メニュー] を押すと、ディレクトリを作成するなどの編集ができます。詳細は、「■ディレクトリの編集」(211ページ)をご参照ください。

- ④ 読み出したいファイル名にカーソルを合わせ、**[F5]** キーを押します。

読み出し中にドライブの準備が出来ていないなどのエラーが見つければ、その内容が画面に表示されます。「付録-1 エラーメッセージ」を参照してエラーを修正し、再度読み出しを行ってください。

- ⑤ 読み出しが終了すれば、終了のメッセージウィンドウが表示されます。

TEST-3	第3ライン テスト	'93-06-07	松下 三郎	PC
読出しを終了しました。 何かキーを押して下さい。				

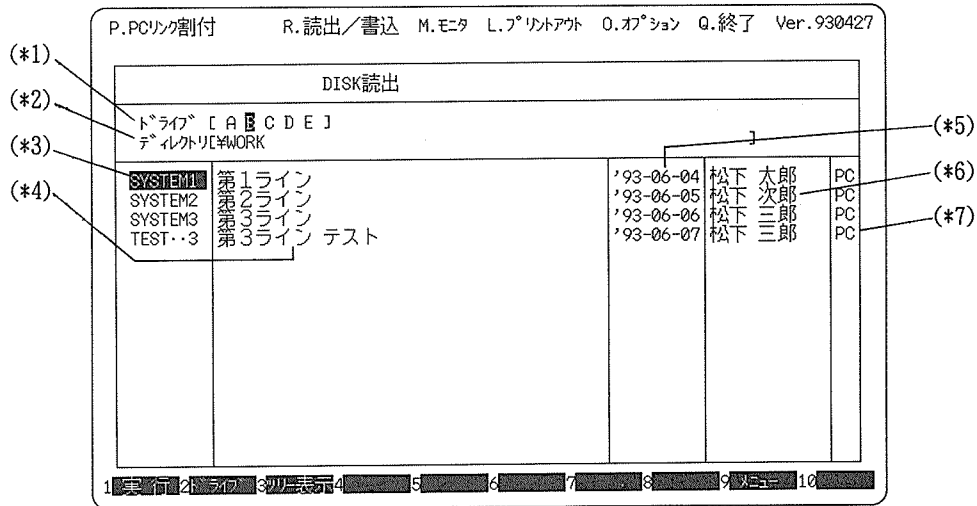
注意 設定ソフトのシステムディスクをデータディスクと入れ替えた場合は、再度システムディスクをドライブにセットして下さい。

システムディスクと入れ替えないで次の操作を行った場合は、プルダウンメニュー選択を行った時点で以下のエラーメッセージが表示されます。

システムディスクをセットして下さい。
何かキーを押して下さい。

データディスクを取り出し、システムディスクをセットしてから何かキーを押して下さい。

●画面構成



- (*1) 現在選択されているドライブ名が反転されています。
- (*2) 現在選択されているディレクトリが表示されます。
- (*3) ファイル名
現在指定されているディレクトリにあるファイル名が表示されます。
ファイル名は、設定ソフトで設定した内容をディスクへ書き込むときに入力します。
- (*4) ファイルコメント
ディスクへ設定内容を書き込んだときに、ファイルコメントを入力した場合は表示されます。
- (*5) ファイル作成日または更新日
ファイルを作成または更新した日が表示されます。
- (*6) ファイル作成者
ディスクへ設定内容を書き込んだときに、ファイル作成者を入力した場合は表示されます。
- (*7) ファイルがどのモードの設定ファイルかを表示します。

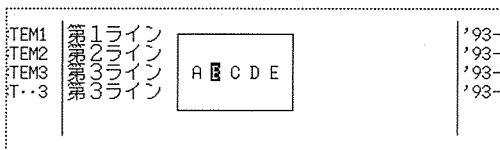
- [PC] PCリンク領域割り付け設定ファイル
- [単] シリアル伝送機能・単一接続モード設定ファイル
- [多] シリアル伝送機能・多重接続モード設定ファイル
- [CO] コンピュータリンク機能設定ファイル

■ドライブの変更

- ① **f・2** [ドライブ] を押します。

ドライブを選択するウィンドウが表示されます。

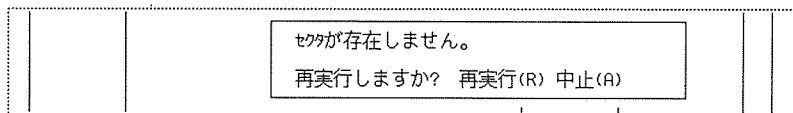
現在選択されているドライブは反転・点滅表示しています。



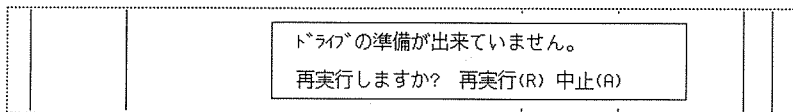
(MS - DOSが認識しているドライブのドライブ名が表示されます)

- ② **→**・**←** キーで、指定したいドライブ名にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

- 指定したドライブが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されます。
ドライブを確認して、再度操作してください。



- フロッピーディスクドライブを指定した場合で、指定したドライブにフロッピーディスクが正しく挿入されていない場合は、以下のメッセージが表示されます。



フロッピーディスクが正しく挿入されているか確認し、**↵** キーを押します。

作業を中止する場合は、**A** キーを押します。**f・2** [ドライブ] を押す前の状態に戻ります。

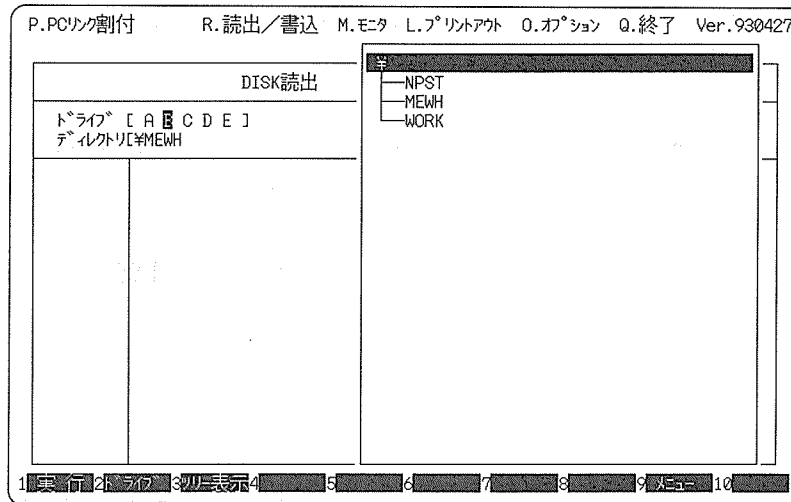
■ディレクトリの変更

現在選択されているドライブのディレクトリがツリー表示され、ディレクトリの変更ができます。

あらかじめ、**f・2** [ドライブ] で、ディレクトリを変更するドライブを選択しておいてください。ドライブ選択については、上記の「■ドライブの変更」をご参照ください。

- ① **f・3** [ツリ表示] を押します。

ディレクトリ数をカウントするウィンドウが表示され、カウントを終了すると画面右にディレクトリがツリー表示されます。

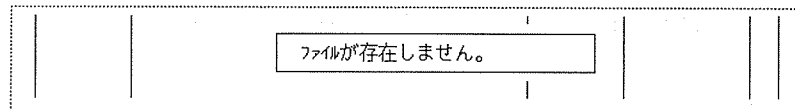


ディレクトリがウィンドウ内に表示しきれない場合は、**↓** を押してウィンドウをスクロールダウンさせて下さい。**↑** キーでスクロールアップします。

- ② 指定したいディレクトリにカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

指定したディレクトリ内に保存されているシステム設定ファイルが画面に表示されます。表示されるファイルは、現在のモードのファイルだけです。

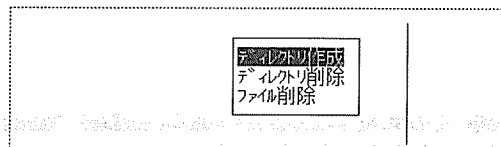
指定したディレクトリに設定ファイルがない場合は、以下のメッセージが表示されます。



■ディレクトリの編集

ディレクトリの作成・削除およびシステム設定ファイルが削除できます。

- f・9** [メニュー] を押すと以下のウィンドウが画面中央に表示されます。



【1. ディレクトリ作成】

現在選択されているドライブに新しいディレクトリを作成します。

【2. ディレクトリ削除】

現在選択されているドライブのディレクトリを削除します。
ディレクトリの中にファイルが作成されている場合は削除しません。
1回の操作で削除するのは、1つのディレクトリだけです。

【3. ファイル削除】

現在選択されているディレクトリ内の設定ファイルを削除します。
1回の操作で削除するのは、1ファイルだけです。

上記画面が表示されている時点で、操作を中断する場合は、**ESC** キーを押してください。
《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

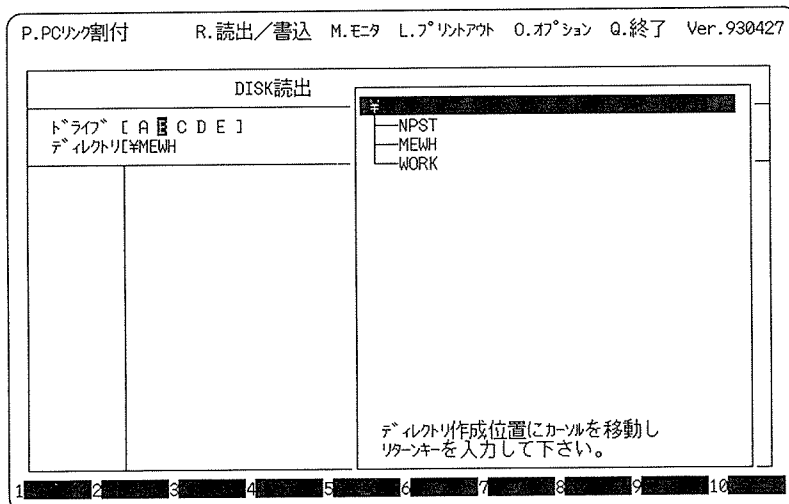
●ディレクトリの作成

あらかじめ、**f・2** [ドライブ] で、ディレクトリを作成するドライブを選択しておいてください。ドライブ選択については、210ページの「**■**ドライブの変更」をご参照ください。

操作を中断する場合は、**ESC** キーを押してください。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

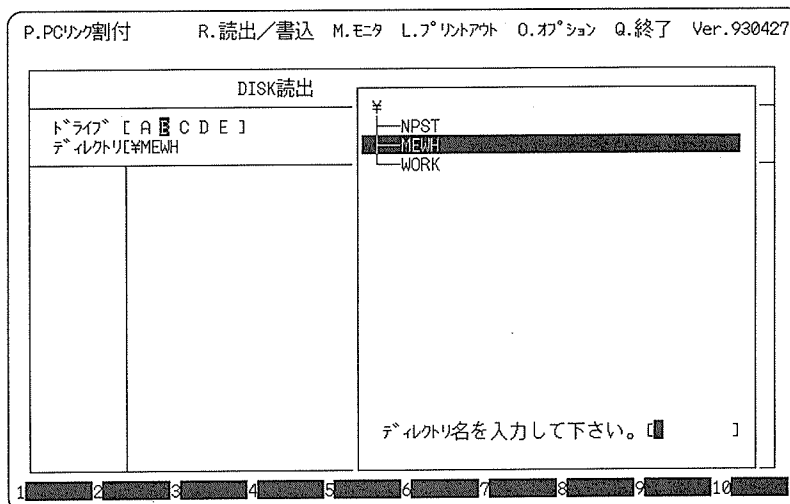
① **f・9** [メニュー] を押します。

② 【ディレクトリ作成】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。
現在構成されているディレクトリが画面右に表示されます。



ディレクトリがウィンドウ内に表示しきれない場合は、**↓** を押してウィンドウをスクロールダウンさせて下さい。**↑** キーでスクロールアップします。

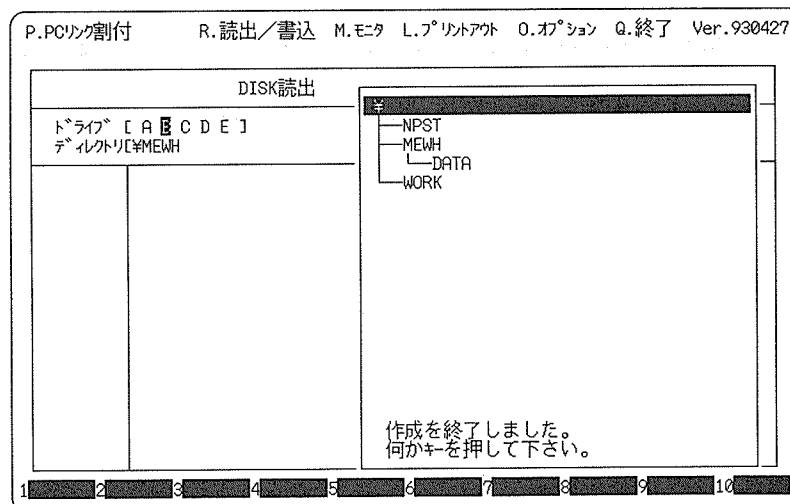
- ③ 新しいディレクトリをどのディレクトリの下に作成するかを決めます。
 ディレクトリにカーソルを合わせ、**[F4]** キーを押します。
 以下のメッセージが画面下に表示されます。



- ④ 新しいディレクトリの名前を入力し、**[F4]** キーを押します。
 半角英数文字で8文字まで入力できます。

ただし、**[\$]**, **[&]**, **[#]**, **[%]**, **[']**, **[']**, **[_]**, **[@]**, **[^]**, **[(]**, **[)]**, **[{]**, **[}]**, **[~]**, **[!]**, **[¥]**
 は入力できません。

- ⑤ 新しいディレクトリが作成されると、終了メッセージが表示されます。



MEWHのディレクトリの下にDATAのディレクトリを作成した場合

何かキーを押すと、**[F9]** [メニュー] を押す前の状態に戻ります。

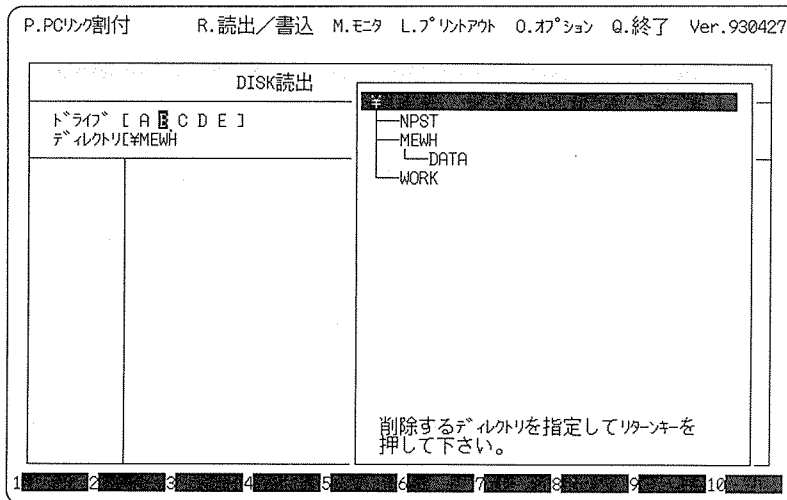
●ディレクトリ削除

あらかじめ、**f・2** [ドライブ] で、削除するディレクトリがあるドライブを選択しておいてください。ドライブ選択については、210ページの「**■ドライブの変更**」をご参照ください。

ディレクトリ内に作成ファイルが存在しない場合のみ、ディレクトリが削除できます。操作を中断する場合は、**ESC** キーを押してください。《R. 読出／書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

① **f・9** [メニュー] を押します。

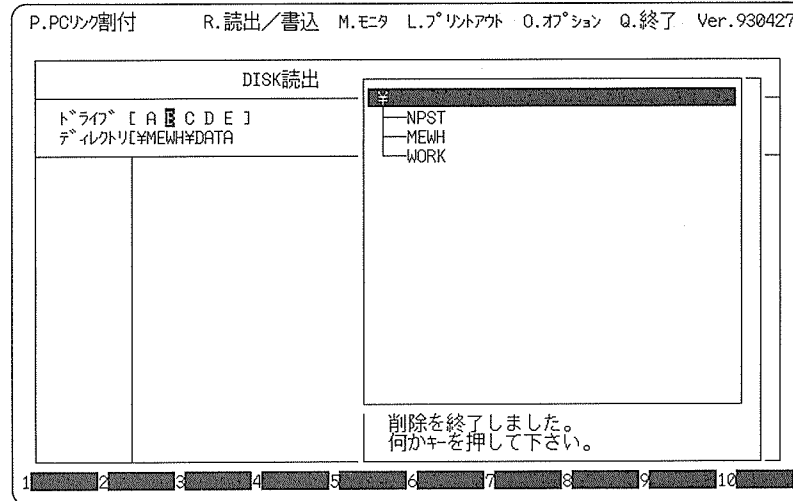
② **【ディレクトリ削除】** にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。
 現在構築されているディレクトリが画面右半分に表示されます。



ディレクトリがウィンドウ内に表示しきれない場合は、**↓** を押してウィンドウをスクロールダウンさせて下さい。**↑** キーでスクロールアップします。

③ 削除するディレクトリにカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

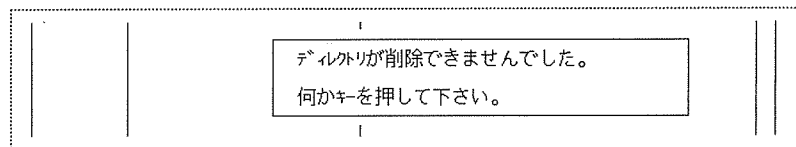
④ ディレクトリが削除されると、終了メッセージが表示されます。



MEWHのディレクトリの中のDATAのディレクトリを削除した場合

何かキーを押すと、**f・9** [メニュー] を押す前の状態に戻ります。

注意 指定したディレクトリにファイルがある場合は、以下のメッセージが表示され、削除は行われません。



何かキーを押すと、**f・9** [メニュー] を押す前の状態に戻ります。

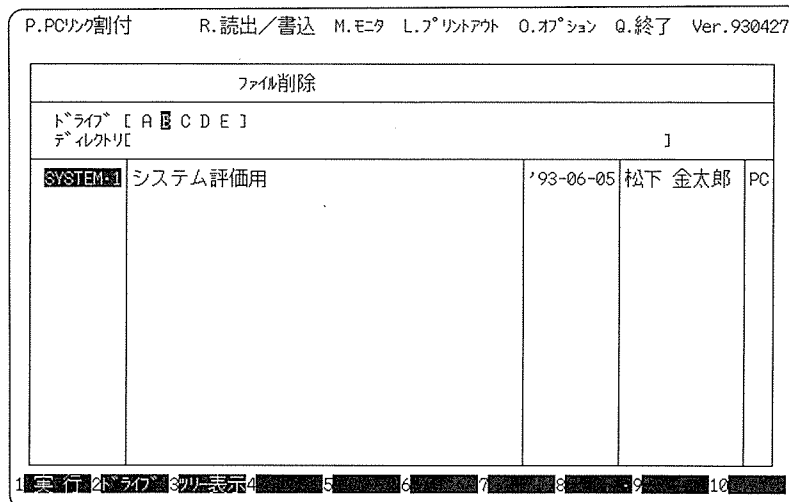
●ファイル削除

f・2 [ドライブ] および **f・3** [ツリ表示] で、あらかじめ削除する設定ファイルがあるドライブ/ディレクトリを選択しておいてください。ドライブ選択については、210ページの「**■ドライブの変更**」をご参照ください。ディレクトリ選択については、210ページの「**■ディレクトリの変更**」をご参照ください。

操作を中断する場合は、**ESC** キーを押してください。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

① **f・9** [メニュー] を押します。

- ② 【ファイル削除】にカーソルを合わせ、**[F4]** キーを押します。
 [ファイル削除] ウィンドウが表示されます。



- ③ 削除するファイルにカーソルを合わせ、**[f・1]** [実行] を押します。

注意 確認メッセージは表示されませんので、削除するファイル名を確認してから **[f・1]** [実行] を押してください。ファイル削除がいったん実行されてしまうと、復帰できません。

ファイルが削除されると、**[f・9]** [メニュー] が押される前の状態に戻ります。

ディスクへの設定内容の書き込み

現在画面で設定されているモードで設定・変更された内容をディスクに書き込みます。
ディスクへ書き込む方法は、どのモードであっても同じです。

- ・PCリンク割付設定モードの場合は、PCリンク領域の割り付け設定内容とネットワーク名・ネットワークコメントをディスクに書き込みます。
個別設定がされている場合は、その設定内容も書き込みます。
- ・シリアル伝送機能設定モード（単一接続モード）の場合は、単一接続モードのシリアル通信条件と伝送経路の設定内容を書き込みます。
- ・シリアル伝送機能設定モード（多重接続モード）の場合は、多重接続モードのシリアル通信条件と伝送経路の設定内容を書き込みます。
- ・コンピュータリンク設定モードの場合は、モデムの設定内容を書き込みます。

注意 編集禁止モードでも設定内容をディスクに書き込むことはできますが、読み出しを行うと編集禁止モードになり、設定内容を編集（変更）することはできません。

- ① ディスクへ書き込みを行う設定内容が設定画面に表示されているか確認します。
- ② メニューバーから《R. 読出／書込》を選択します。
《R. 読出／書込》のプルダウンメニューが表示されます。
- フロッピーディスクドライブがひとつしかなく、フロッピーディスクで設定ソフトのシステムを起動している場合で、別のフロッピーディスクに設定内容を書き込むときは、システムディスクを取り出し、設定内容を保存するフロッピーディスクをドライブにセットします。
- ③ 《5. DISK書き込み》を選択し、 キーを押します。
[DISK書き込み] ウィンドウが表示されます。

P. PCリンク割付 R. 読出／書込 M. エータ L. プリントアウト O. オプション Q. 終了 Ver. 930427

DISK書き込み				
ドライブ [A B C D E]				
ディレクトリ [*MEWH*DATA]				
SYSTEM-1	システム評価用	'93-06-05	松下 金太郎	PC
ファイル名 []]			
ディレクトリ []]			
作成者 []]			

1.実行 2.ドライブ 3.表示 4. 5. 6. 7. 8. 9.メニュー 10.

④ [DISK書き込み] ウィンドウの下部に表示されている [ファイル名] にファイル名を入力します。

半角英数文字で8文字まで入力できます。ファイル名に空白を含むことはできません。

ただし、\$, &, #, %, ' , ' , _ , @, ^ , (,) , { , } , ~ , ! , ¥ は入力できません。

- ・ [ファイルコメント] ・ [作成者] は、必要に応じて入力してください。
- ・ [ファイルコメント] には、半角で40文字まで入力できます。
- ・ [作成者] には、半角で12文字まで入力できます。

注意 ・ ディスクから設定内容を読み出して変更した後に変更内容の書き込みを行う場合は、読み出した時点でのファイル名などが表示されています。変更した内容を別のファイル名で保存する場合は、表示されている内容を変更してください。

- ・ ディスクから設定内容を読み出した後に、新規設定や、設定内容の初期化を行った場合でも読み出したファイル名が画面に表示されます。
- ・ 漢字かな混じり文を入力する場合は、日本語FEP (フロント・エンド・プロセッサ) が必要です。

④ 書き込み先のドライブ・ディレクトリを f.2 [ドライブ] と f.3 [ツリ表示] で選択します。

現在指定されているドライブ・ディレクトリはウィンドウの上部に表示されています。

- ・ f.2 [ドライブ] および f.3 [ツリ表示] についての詳細は、210ページをご参照下さい。

⑤ すべての指定が終了すれば、f.1 [実行] を押します。

- ・ 空白を含むファイル名を入力していた場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

SYSTEM-1	システム評	3-06-05	松下 金太郎	PC
ファイル名に空白が含まれています。 何かキーを押して下さい。				

何かキーを押し、ファイル名を訂正してください。

訂正後、f.1 [実行] を押してください。

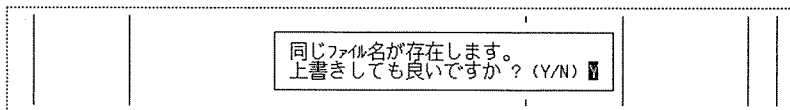
- ・ ファイル名を入力せずに f.1 [実行] を押すと、以下のエラーメッセージが表示されます。

ファイル名が入力されていません。 ファイル名を入力して下さい。 何かキーを押して下さい。				
--	--	--	--	--

何かキーを押し、ファイル名を入力してください。

入力後、f.1 [実行] を押してください。

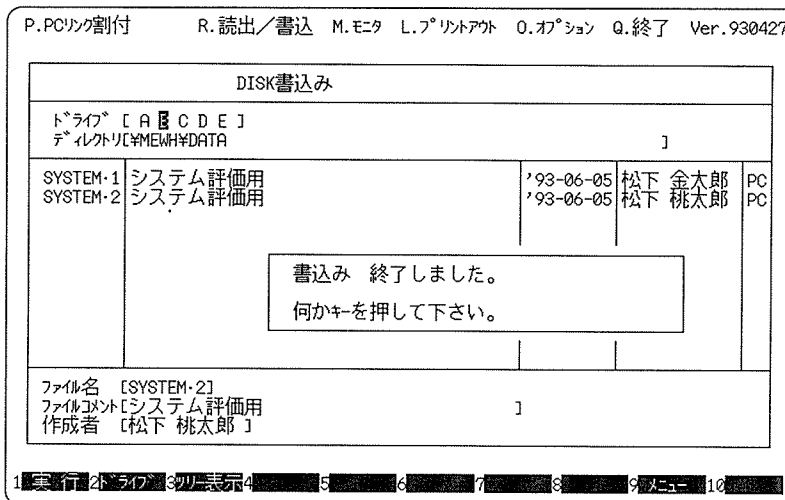
- ・すでに登録されているファイル名と同じファイル名を入力していた場合、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。



上書きする場合は、**[Y]** キーを押し、**[↵]** キーを押してください。

別のファイル名で保存する場合は、**[N]** キーを押し、**[↵]** キーを押してください。プルダウンメニューに戻りますので、エラー修正後、再度ディスクへの書き込み作業を行ってください。

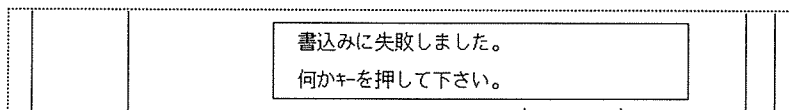
- ⑥ 書き込みが終了すれば、終了のメッセージを表示し、ファイル一覧には、書き込まれたファイルが追加されます。



何かキーを押すと、《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

ファイル一覧の参照の方法については、209ページの「●画面構成」をご参照ください。

- 注意** ・書き込みができなかった場合は、以下のメッセージが表示されます。

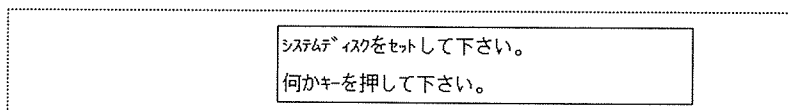


何かキーを押します。《R. 読出/書込》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

再度、ディスクへの書き込み作業を行ってください。同じメッセージが表示されるようであれば、MS-DOSエラーが考えられます。

- ・システムディスクを取り出し、データディスクと入れ替えた場合は、システムディスクを再度ディスクにセットして下さい。

システムディスクと入れ替えないで次の操作を行った場合は、プルダウンメニュー選択を行った時点で以下のエラーメッセージが表示されます。



データディスクを取り出し、システムディスクをセットしてから何かキーを押してください。

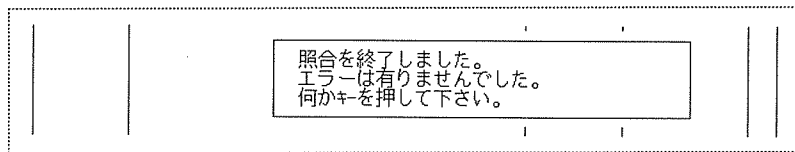
・別のドライブのディレクトリにあるファイルとの照合を行う場合は、**f・2** [ドライブ] を押して、ドライブの指定を行います。
 詳細は210ページの「**■ドライブの変更**」をご参照ください。

・**f・3** [ツ-表示] を押すと、現在選択されているドライブのツリーが表示され、ディレクトリの変更をすることができます。
 詳細は210ページの「**■ディレクトリの変更**」をご参照ください。

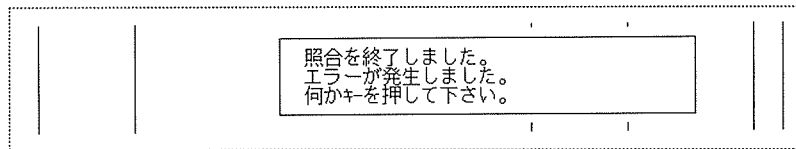
③ 現在パソコン上で設定中の設定内容と照合するファイル名にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

照合中にドライブの準備が出来ていないなどのエラーが見つければ、その内容が画面に表示されます。エラーを修正し、再度照合を行ってください。

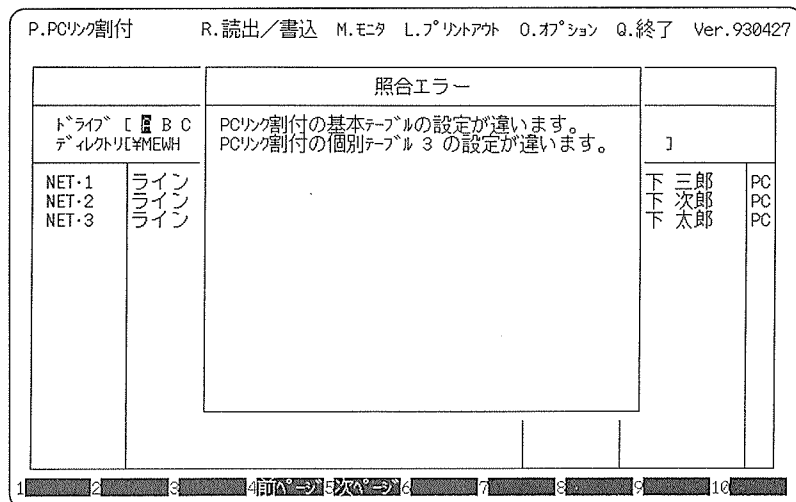
④ 照合が終了すれば、終了のメッセージウィンドウが表示されます。



・照合中に照合エラーが見つかった場合は、以下のメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、エラー内容が表示されます。



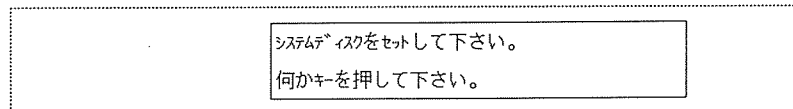
エラーメッセージが表示しきれない場合は、**f・5** [次頁] を押してください。

残りのメッセージが表示されます。**f・4** [前頁] を押すと、前ページの表示に戻ります。

ESC キーを押すと、「R. 読出/書込」のプルダウンメニュー選択に戻ります。

注意 システムディスクを取り出し、データディスクと入れ替えた場合は、システムディスクを再度ディスクにセットして下さい。

システムディスクと入れ替えないで次の操作を行った場合は、プルダウンメニュー選択を行った時点で以下のエラーメッセージが表示されます。



データディスクを取り出し、システムディスクをセットしてから何かキーを押して下さい。

第7章

モニタ機能

この章の内容

7-1	リンク運転状態のモニタ	226
7-1-1	リンク運転状態の確認	231
7-1-2	ネットワークの指定	232
7-1-3	PCリンク伝送処理時間のモニタ	238
7-1-4	リンクユニット状態の確認	240
7-1-5	伝送経路状態の確認	246
7-1-6	シリアル伝送機能状態モニタ	250
7-1-7	PCリンクエラー履歴のモニタ	252

7 - 1

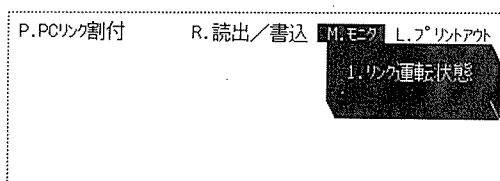
リンク運転状態のモニタ

システム設定ソフトからネットワークの下記の項目についてモニタすることができます。
PCリンク割付設定モード・シリアル伝送機能設定モード・コンピュータリンク設定モードのいずれのモードでもモニタする内容は同じです。

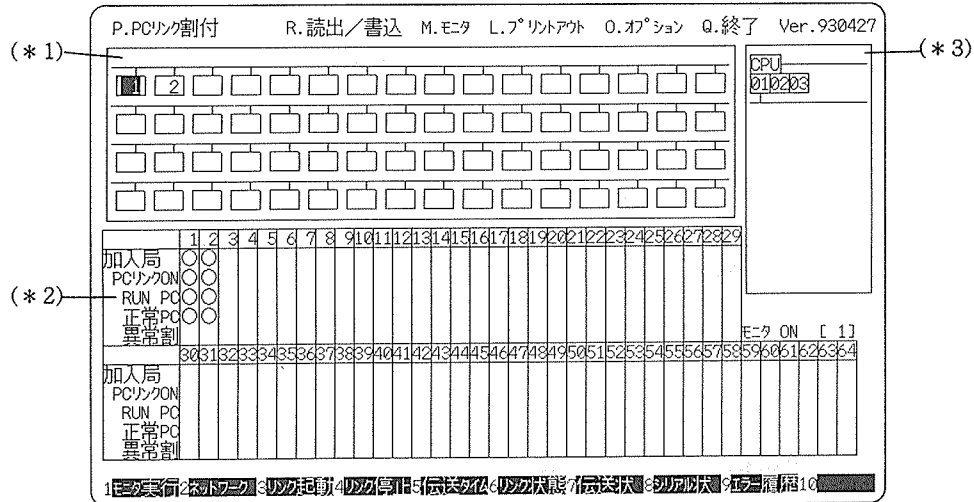
- ・ PCリンク運転状態 PCリンクを起動しているか、PCリンク領域の割り付けに異常がないかなどをモニタします。
- ・ PCリンク伝送処理時間 PCスキャンタイム・リンクユニットスキャンタイム・伝送サイクルタイムをモニタします。
- ・ リンクユニット状態 リンクユニットのCPUが正常に動作しているか、PCリンクに加入できる状態にあるかなどをモニタします。
- ・ 伝送経路状態 伝送経路上のエラー発生状況をモニタします。
- ・ シリアル伝送機能状態 伝送速度などの通信条件がどのように設定されているか、接続モードがどのように設定されているか、リンクユニットの動作モードがシリアル伝送モードに設定されているかなどをモニタします。
- ・ リンクエラー情報の履歴 現在リンクユニットでどのようなエラーが発生しているか、また発生したかその履歴をモニタします。

この機能を使用する場合は、あらかじめこのシステム設定ソフトを起動するパソコンとPC（CPUユニットまたはリンクユニット）を接続しておいてください。

- ① メニューバーから《M. モニタ》を選択します。
《M. モニタ》のプルダウンメニューが表示されます。



- ② <1. リンク運転状態> を選択しますので、**[←]** キーを押します。
PC リンクモニタ画面が表示されます。

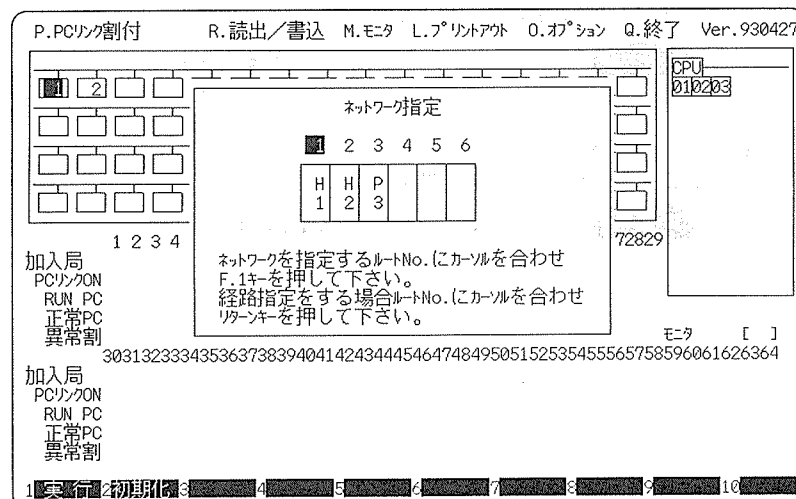


PC リンクモニタ画面は、3つのウィンドウから構成されています。

- (* 1) リンクユニット指定ウィンドウ
現在選択されているネットワーク上のユニット No.が表示されます。
表示されているユニット No.からモニタするユニットをカーソルを使って選択します。
- (* 2) PC リンク運転状態ウィンドウ
現在選択されているネットワーク上のユニットすべてのPC リンク運転状態が表示されます。
- (* 3) 伝送経路図ウィンドウ
現在指定されているネットワークへの経路図が表示されます。

この画面からファンクションキーを押すと、他の各種モニタができるようになっています。

- ネットワークが指定されていない場合は、[ネットワーク指定] ウィンドウが自動的に表示されますので、モニタするネットワークを指定してください。
ネットワーク指定方法は、「7-1-2 ネットワークの指定」をご参照ください。



● ファンクションキーの機能

f・1 [モニタ実行]

モニタがOFFしている場合はモニタをONします。
モニタがONしている場合はモニタをOFFします。

f・2 [ネットワーク]

モニタするネットワークを選択します。

参照 「7-1-2 ネットワークの指定」

f・3 [リンク起動]

リンクユニット指定ウィンドウで選択しているリンクユニットに対し、PCリンクを起動させます。

参照 229ページ「**PCリンクの起動**」

f・4 [リンク停止]

リンクユニット指定ウィンドウで選択しているリンクユニットに対し、PCリンクを停止させます。

参照 230ページ「**PCリンクの停止**」

f・5 [伝送タイム]

PCリンクの伝送処理時間をモニタします。

参照 「7-1-3 PCリンク伝送処理時間のモニタ」

f・6 [リンク状態]

リンクユニットの状態をモニタします。

参照 「7-1-4 リンクユニット状態の確認」

f・7 [伝送状]

伝送経路の状態をモニタします。

参照 「7-1-5 伝送経路状態の確認」

f・8 [シリアル状]

シリアル伝送の状態をモニタします。

参照 「7-1-6 シリアル伝送機能状態モニタ」

f・9 [エラー履歴]

PCリンクエラー情報の履歴をモニタします。

参照 「7-1-7 PCリンクエラー履歴のモニタ」

■ PC リンクの起動

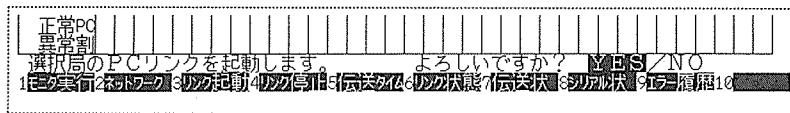
現在PCリンクモニタ画面のリンクユニット指定ウィンドウで選択されているリンクユニットのPCリンクを起動します。

- ① リンクユニット指定ウィンドウでPCリンクを起動するユニットをカーソルで指定します。



- ② **f・3** [リンク起動] を押します。

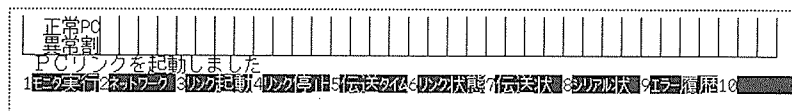
画面下に確認メッセージが表示されます。



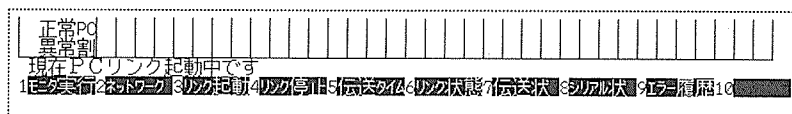
- ③ PCリンクを起動する場合は、【YES】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

操作を中断する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。**f・3** [リンク起動] を押す前の画面に戻ります。

- ・ PCリンクが起動した場合は、画面下に以下のメッセージが表示されます。



- ・ PCリンクがすでに起動している場合には、画面下に以下のメッセージが表示されます。



■ PC リンクの停止

現在PCリンクモニタ画面のリンクユニット指定ウィンドウで選択されているリンクユニットのPCリンク運転を停止します。

- ① リンクユニット指定ウィンドウで、PCリンクを停止するユニットをカーソルで指定します。



- ② **f・4** [リンク停止] を押します。

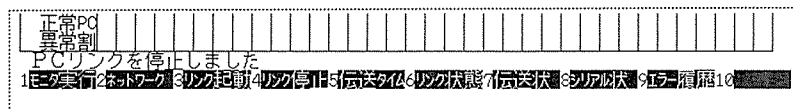
画面下に確認メッセージが表示されます。



- ③ PCリンクを停止する場合は、【YES】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。

操作を中断する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、**↵** キーを押します。**f・4** [リンク停止] を押す前の画面に戻ります。

- ・ PCリンクが停止した場合は、画面下に以下のメッセージが表示されます。



- ・ PCリンクがすでに停止している場合には、画面下に以下のメッセージが表示されます。



7-1-1 リンク運転状態の確認

●表示状態の内容

加入局	現在指定されているネットワークに接続されているかどうかを表示します。	○	ネットワークに加入しています。
		無表示	ネットワークには加入していません。
PCリンクON	PCリンクを実施しているかどうかを表示します。	○	PCリンクを実施中です。
		無表示	PCリンクを停止中またはデータの送信を停止しています。
RUN PC	PC (CPUユニット) がRUNモードかどうかを表示します。	○	PC本体がRUN状態です。
		無表示	PC本体がPROG状態です。
正常PC	PC本体エラーが発生していないかどうかを表示します。	○	PC本体は正常に動作しています。
		無表示	PC本体にエラーが発生しています。
異常割	PCリンク領域の割り付けに異常がないかを表示します。	○	PCリンク割り付けに異常があります。
		◎	現在モニタしている局と他局間でPCリンク領域の割り付けに異常（不整合）があります。
		●	◎の異常と○の異常の両方が発生しています。
		無表示	PCリンク割り付けが正常です。

- 注意**
- ・加入局が無表示のとき、[PCリンクON] から [異常割] までの表示は意味を持ちません（クリアされます）。
 - ・PCリンクを行っていない局の [RUN PC] から [異常割] までの表示は意味を持ちません（クリアされます）。

7-1-2 ネットワークの指定

以下にあげた操作を行うときは、ネットワーク指定をする必要があります。

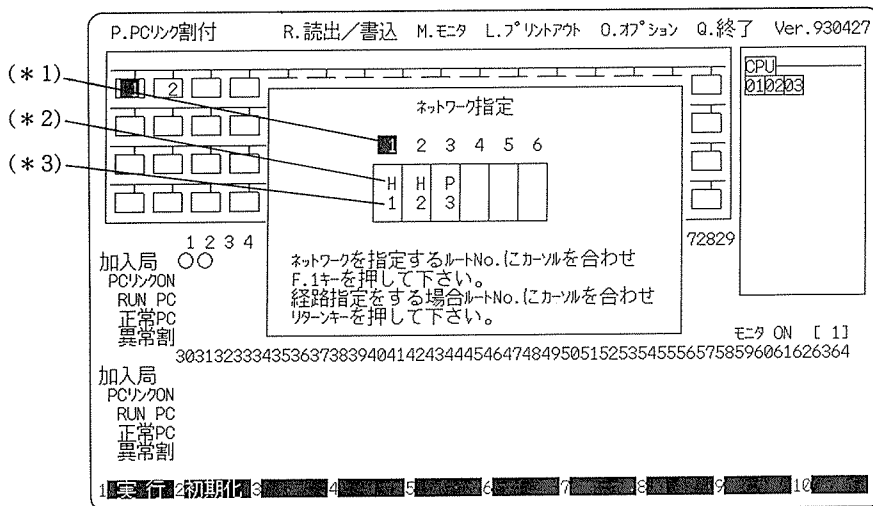
- ・オンラインでのPCリンク領域の割り付け設定内容チェック
- ・シリアル伝送機能設定チェック
- ・コンピュータリンク設定チェック
- ・リンクユニットへの設定内容書き込み・読み出し・照合・クリア
- ・モニタ機能

- それぞれの設定画面で、ファンクションメニューから **f・2** [ネットワーク] を選択すると現在指定されているネットワークから別のネットワークへ変更ができます。
- システム設定ソフトを起動してから初めて上記の機能を使用する場合は、自動的にネットワーク指定ウィンドウが表示されますので、ネットワークを指定します。

●設定方法

どの機能設定画面から設定しても、設定方法は同じです。

f・2 [ネットワーク] を押すと [ネットワーク指定] ウィンドウが画面中央表示され、画面上部右端には、経路図が表示されます。自動的に表示される場合も、まず以下の画面が表示されます。



モニタ機能を使用しているときに、**f・2** [ネットワーク] を押した場合

- ・[ネットワーク指定] ウィンドウが自動的に表示された場合は、現在このソフトが起動しているパソコンと接続しているPC上に実装されているリンクユニットが表示されます。
- ・**f・2** [ネットワーク] を押して別のネットワーク変更する場合は、現在指定されているネットワークが表示されます。

(* 1) ルート No.を示します。

現在選択されているネットワークに加入しているリンクユニット上に、カーソルがあります。ネットワークがひとつの場合はカーソルは動きません。

(* 2) リンクユニットの種類が表示されます。

H: MEWNET - H リンクユニット

P: MEWNET - P/W リンクユニット

上記以外のユニットは、ブランク表示されます。

(* 3) ユニット No.を示します。

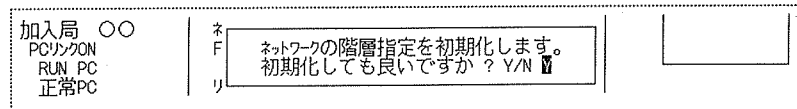
●ネットワーク指定操作中のファンクションキーの内容

f.1 [実行]

[ネットワーク指定]ウィンドウが表示されている画面で有効です。指定されたネットワークを確定します。

f.2 [初期化]

[ネットワーク指定]ウィンドウが表示されている画面で有効です。現在指定されているネットワークの階層指定をキャンセルします。**f.2** [初期化] を押すと以下の確認メッセージが表示されます。



初期化する場合は、**Y** キーを押します。

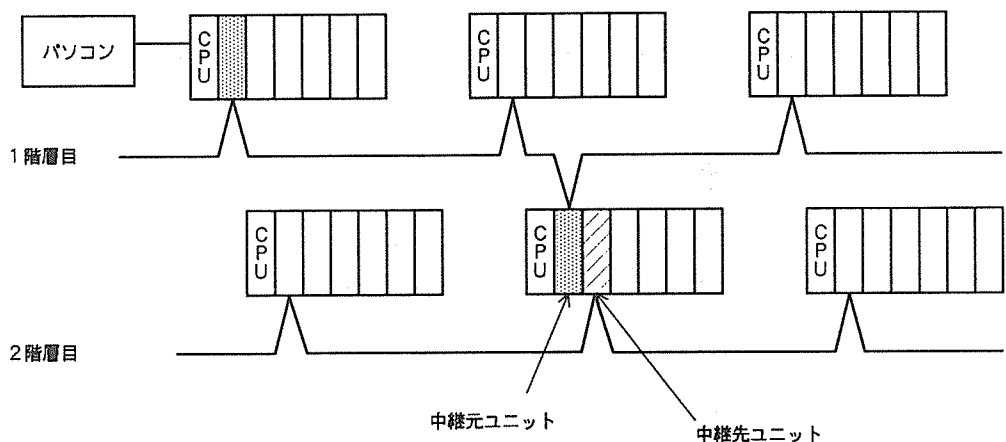
操作を中止する場合は、**N** キーを押します。**f.2** を押す前の状態に戻ります。

■ネットワークの指定方法

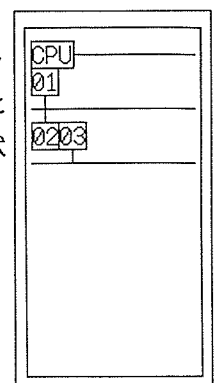
ネットワークの指定は、目的のネットワークに加入しているリンクユニットを [ネットワーク指定] ウィンドウで指定することで行います。

パソコンを接続しているPCと同一マザーボード上のリンクユニットが属しているネットワークを1階層目として、4階層目までのネットワークを指定することができます。

目的のネットワークに属すリンクユニットが別の階層にある場合は、1階層目のネットワークから目的のネットワークへの経路を階層を追って指定していきます。経路を指定するには、中継局（中継元ユニット・中継先ユニット）を指定することで行います。

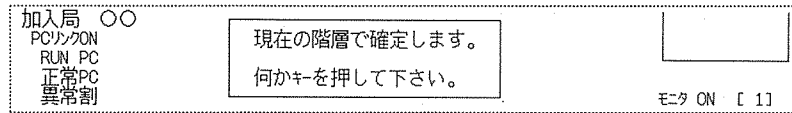


画面上部右端に表示される経路図にはパソコンが接続されているPC上のリンクユニット (MEWMET-H、-P、-W) のユニットNo.が表示され、その下に中継局のユニットNo.が順次表示されていきます。縦ラインでその経路の接続状態が確認できるようになっています。



- 現在表示されている [ネットワーク指定] ウィンドウに、目的のネットワークに属しているリンクユニットが表示されている場合は、そのユニットにカーソルを合わせ、**f・1** [実行] を押します。

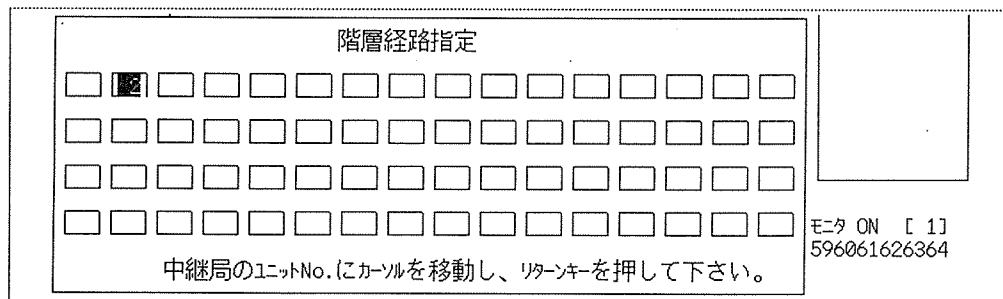
確認メッセージが表示されます。



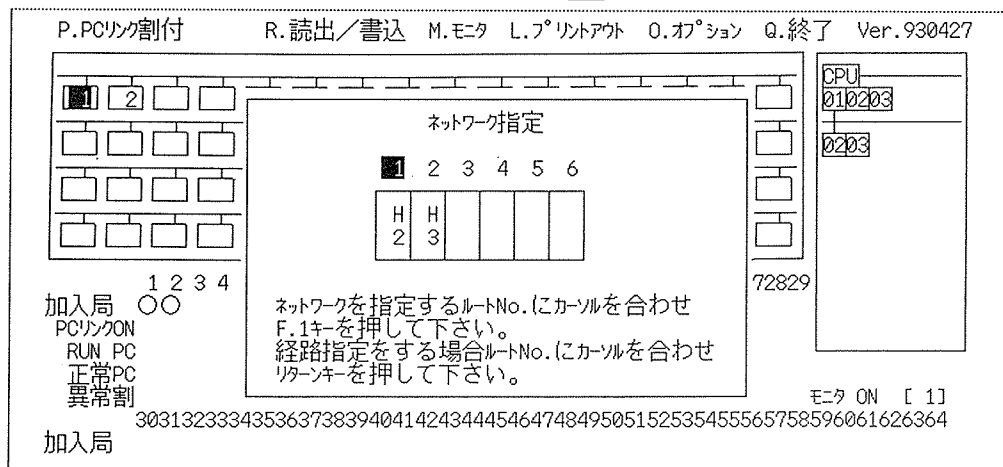
何かキーを押すと、ネットワーク指定が終了し、元の画面に戻ります。

- 目的のネットワークが別の階層にある場合は、経路を指定します。
 - ・上の階層に戻る必要がある場合は、**ESC** キーを押します。
 - ・**f・2** [初期化] を使用すると、1階層目まで戻ることができます。

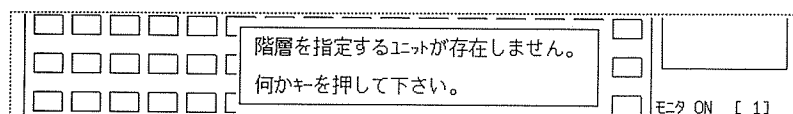
- ① 現在表示されている [ネットワーク指定] ウィンドウで、次の階層に移るためのユニット (中継元ユニット) と同じネットワークに加入しているユニットにカーソルを合わせ、**↓** キーを押します。選択したリンクユニットが属すネットワークに加入しているリンクユニットのユニットNo.が、階層経路指定ウィンドウに表示されます。ただし選択したリンクユニットNo.は表示されません。



- ② カーソルを中継元ユニットのユニットNo.に合わせ、**↓** キーを押します。

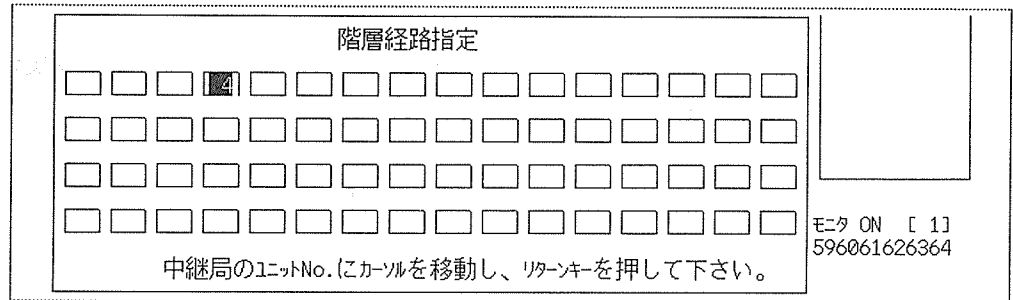


- 注意** [階層経路指定] ウィンドウで指定したユニットの実装されているマザーボード上に次の階層を指定するための他のユニットが存在しない場合は、以下のメッセージが表示されます。



- ・何かキーを押します。

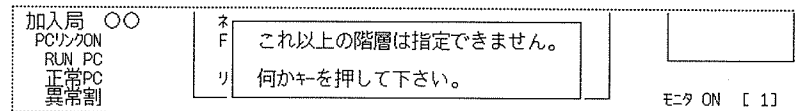
- ③ 選択されたユニットが実装されているボード上にあるリンクユニットのユニットNo.が、表示されます。



- ④ 中継先ユニットが目的のネットワークに属している場合は、カーソルをそのルートNo.に合わせて **f・1** [実行] を押します。
 確認メッセージが表示されますので、何かキーを押して下さい。ネットワーク指定が完了します。

さらに次の階層へ進む場合は、操作①に戻ってください。4階層目まで指定できます。

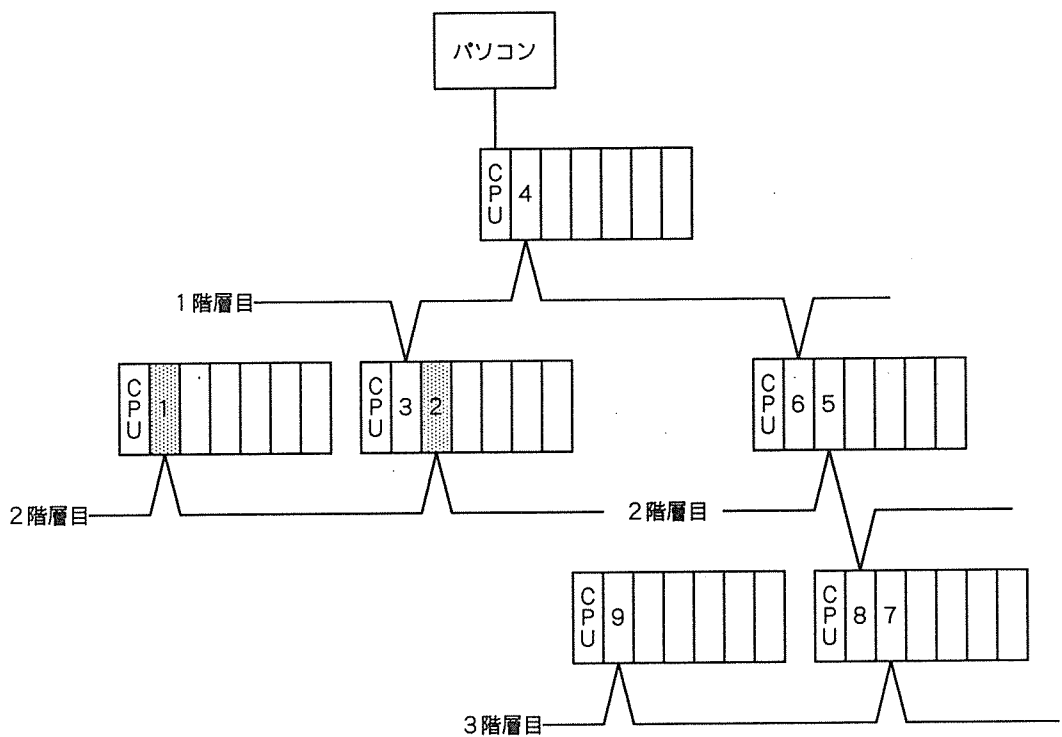
すでに4階層目まで指定されている場合は、以下のエラーメッセージが表示されますので、経路を確認してください。



■設定例

下記に示したネットワークを構築していると仮定します。

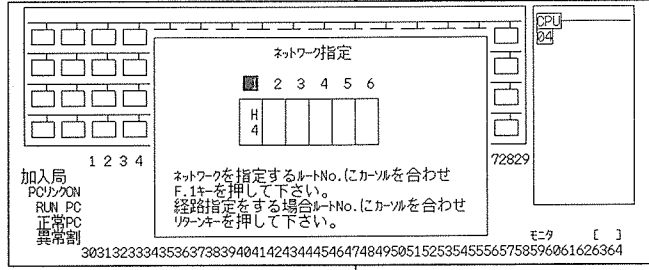
- ・システム設定ソフトを起動しているパソコンは、リンクユニット4を実装しているCPUと接続されています。



- 2階層目のリンクユニット2が接続されているネットワークを指定します。
PCリンクモニタ画面で自動的に [ネットワーク指定] ウィンドウが表示されたと仮定します。

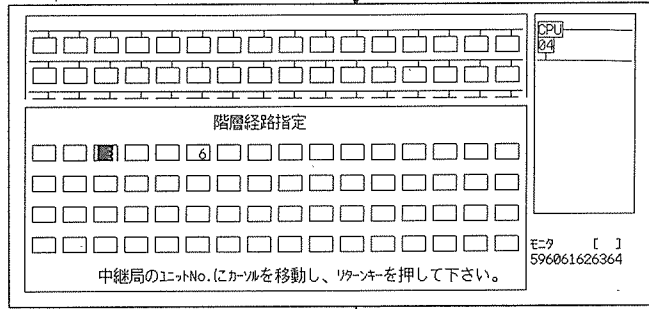
例

[f.2] [ネットワーク] を押します



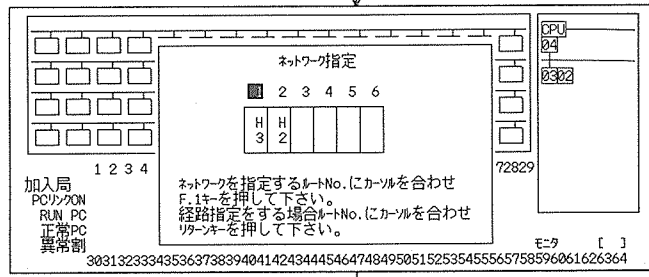
システム設定ソフトを起動しているパソコンが接続されているネットワークが表示されます。

キーを押します。



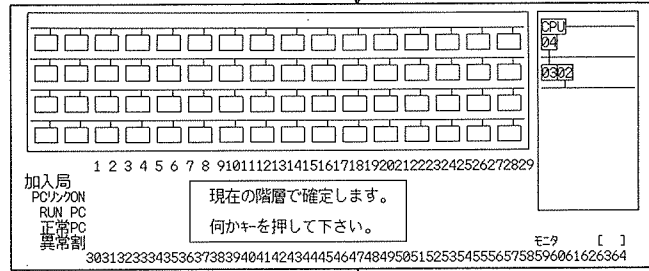
リンクユニットNo.4と同じネットワーク上にあるリンクユニットがすべて表示されます。

リンクユニットNo.2はリンクユニットNo.3と同じボード上にあるので「3」にカーソルを合わせリターンキーを押します。



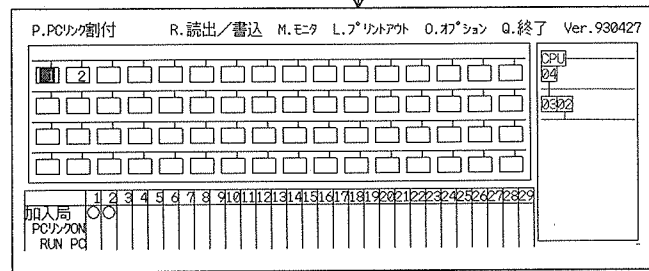
リンクユニットNo.3が実装されているボード上のリンクユニットがすべて表示されます。

リンクユニットNo.2にカーソルを合わせて [f.1] [実行] を押します



現在の階層で確定してよいか確認のメッセージが表示されますので、何かキーを押します。

何かキーを押します。



7-1-3 PCリンク伝送処理時間のモニタ

指定したユニット間のPCリンク伝送処理時間を表示します。

PCリンクモニタ画面で **f・5** [伝送タイム] を押すと、[<PCリンク伝送処理時間>] ウィンドウがユニット指定ウィンドウに上書きされます。

P.PCリンク割付		R.読出/書込		M.モニタ	L.プリントアウト	O.オプション	Q.終了	Ver.930427
<PCリンク伝送処理時間> (ユニット NO. [1] → ユニット NO. [2])								CPU
現在値 最小値 最大値								010203
PCスキャンタイム	(送信側)	(ms)	(ms)	(ms)				
リンクユニットスキャンタイム	(送信側)	(ms)	(ms)	(ms)				
伝送サイクルタイム		(ms)	(ms)	(ms)				
リンクユニットスキャンタイム	(受信側)	(ms)	(ms)	(ms)				
PCスキャンタイム	(受信側)	(ms)	(ms)	(ms)				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 1 2 1 3 1 4 1 5 1 6 1 7 1 8 1 9 2 0 2 1 2 2 3 2 4 2 5 2 6 2 7 2 8 2 9								

・カーソルは、送信側ユニット No.の指定位置にあります。

注意 各項目の内容およびPC間での伝送応答時間の算出方法については、導入マニュアルの「第10章 伝送時間の算出方法」をご参照ください。

●ファンクションキーの内容

f・1 [モニタ実行]
モニタをON/OFFさせます。

f・2 [ユニット変]
送信側ユニットと受信側ユニット No.を指定または変更します。

注意 ユニット No.は、2桁で入力してください。上書きはできません。

■ モニタ方法

① 送信側のユニット No.を入力します。

② 受信側のユニット No.を入力します。

- ・送信側・受信側へのカーソル移動は、**→**・**←** キーで行います。
- ・指定したユニットが存在しない場合や、同じユニット No.を入力した場合などは、エラーメッセージが表示されますので、訂正してください。

③ **↵** キーを押すと、PC リンク伝送処理時間の計測が始まります。

カーソルが送信元ユニット No.にある状態では、**↵** キーを押しても計測は始まりませんので、受信先ユニット No.にカーソルがある状態で、**↵** キーを押してください。

処理時間は、ミリセカンド単位で表示されます。

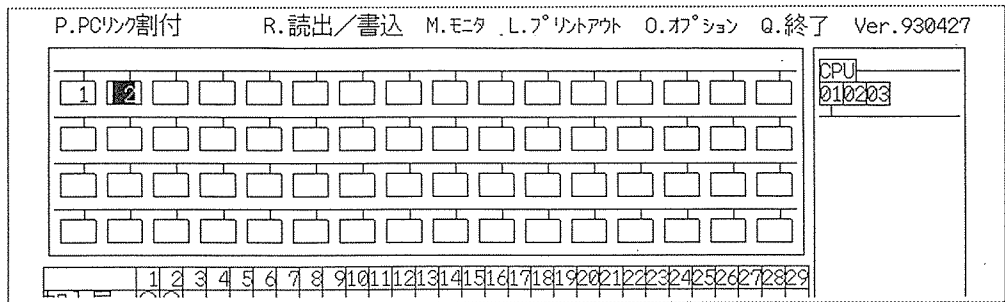
P. PCリンク割付				R. 読出/書込				M. モニタ				L. プリントアウト				O. オプション				Q. 終了				Ver. 930427			
< PCリンク伝送処理時間 > (ユニット NO. [1] → ユニット NO. [2])																CPU											
現在値 最小値 最大値																010203											
PCスキャンタイム (送信側)				(12.5ms)				(12.5ms)				(15.0ms)															
リンクユニットスキャンタイム (送信側)				(8.0ms)				(6.0ms)				(12.0ms)															
伝送サイクルタイム				(8.0ms)				(8.0ms)				(8.0ms)															
リンクユニットスキャンタイム (受信側)				(12.0ms)				(10.0ms)				(14.0ms)															
PCスキャンタイム (受信側)				(10.0ms)				(5.0ms)				(10.0ms)															
[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9]																											

- ・ [モニタ OFF] になっている場合は、**f.1** [モニタ実行] を押して [モニタ ON] の状態にしてから **↵** キーを押してください。
- ・他のユニット間のPCリンク伝送処理時間をモニタする場合は、**f.2** を押してモニタする送信側・受信側ユニットを指定し、**↵** キーを押してください。
- ・ **ESC** キーを押すと、[<PCリンク伝送処理時間>] ウィンドウを終了し、**f.5** [伝送タイム] を押す前の状態に戻ります。

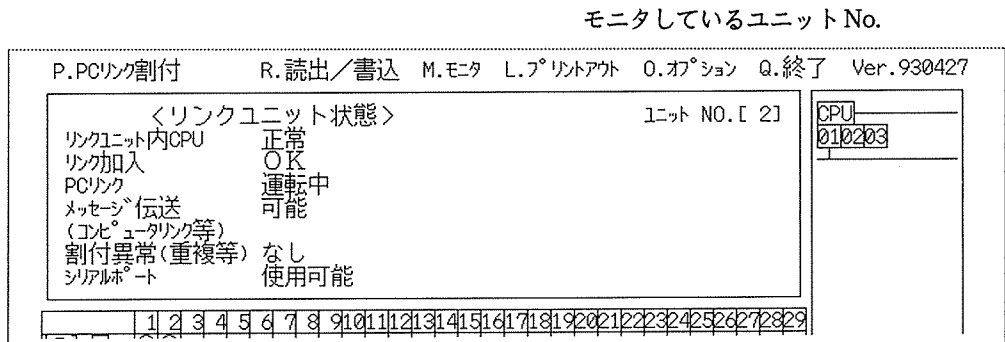
7-1-4 リンクユニット状態の確認

リンクユニット指定ウィンドウで指定したリンクユニットの状態を表示します。

- ① リンクユニット指定ウィンドウで、モニタしたいユニットNo.にカーソルを合わせます。



- ② **f・6** [リンク状態] を押します。[<リンクユニット状態>] ウィンドウがリンクユニット指定ウィンドウに上書きされます。



モニタしているユニットNo.

- ・ [ユニット No. []] には、現在モニタしているユニットNo.が表示されます。
- ・ 画面に表示されるリンクユニット状態・エラー内容の種類については、次ページの表を参照してください。
- ・ エラー内容の詳細・対策については、「●各項目の表示メッセージと内容」(241 ページ)、「●エラー内容と対処方法」(242 ページ) を参照してください。

[モニタ OFF] になっている場合は、**f・1** [モニタ実行] を押すとモニタを始めます。

ESC キーを押すと、[<リンクユニット状態>] ウィンドウを終了し、**f・6** [リンク状態] を押す前の状態に戻ります。

注意 各項目について複数のエラーが発生していても、画面にはひとつしか表示されません。

●各項目の表示メッセージと内容

項目	状態	エラー内容
リンクユニット内CPU	正常 停止(**)	異常 自己診断(**) 内部I/Fマップ設定異常 起動待ちタイムアウト
リンク加入	OK 不可(**)	DIP SWによる 通信制御系異常による ユニットNo.設定異常(0または65~)による ユニットNo.の重複による 伝送経路異常による
PCリンク	運転中 停止中(**)	ソフトコマンドによる メモリ SWによる DIP SWによる パラメータ内容異常による パラメータ未チェックによる EEPROM書き込み異常 その他による パラメータ未設定による
メッセージ伝送	不可(**) 受信過負荷	初期設定手順ミスによる
割付異常(重複等)	あり なし	
シリアルポート	使用可能 使用不可(**)	ソフトコマンドによる パラメータ内容異常による パラメータ未チェックによる EEPROM読み出し異常による EEPROM書き込み異常による パラメータ未設定による

(**)内にはエラー番号が表示されます。

●エラー内容と対処方法

〈リンクユニット内CPU〉

状態	エラー内容	原因	対策	
停止 (**)	異常	ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください	
停止 (**)	自己診断 (**)	ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください	
停止 (**)	内部1/F マップ設定異常	CPUとの機種ミスマッチ	PC本体がMEWNET-Hに対応しているか確認してください	
		ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください	
停止 (**)	起動待ちタイムアウト	リンクユニットの場合	CPUとの機種ミスマッチ	PC本体がMEWNET-Hに対応しているか確認してください
			ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください
	リンクボードの場合	アプリケーションソフトが起動されていません	アプリケーションソフトを起動させてください	
		アプリケーションソフト起動手順エラー	アプリケーションソフトを正しい手順で起動させてください	
		ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください	

〈リンク加入〉

状態	エラー内容	原因	対策
不可 (**)	DIP SW による	DIP SW 2がOFFになっています	DIP SW 2をONにしてください
不可 (**)	通信制御系異常による	通信制御系に異常があります	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください
不可 (**)	ユニットNo設定異常 (0または、65～)による	ユニットNoが、1～64の範囲外の設定がされています	ユニットNoを1～64に設定してください
不可 (**)	ユニットNoの重複による	自局と同一のユニットNoがネットワーク上に存在します	どちらか一方のユニットNoを変更してください
不可 (**)	伝送経路異常による	自局しか存在しません	
		終端コードの設定に誤りがあります	終端コードの設定を確認してください
		ケーブルの接続に誤りがあります	ケーブルの接続状態を確認してください

〈PCリンク〉

状態	エラー内容	原因	対策	
停止中 (**)	ソフトコマンドによる	PCリンクの停止指示が でています (設定ソフトで停止指示 がでている [モニタで PCリンクを停止])	PCリンクを起動させてください	
停止中 (**)	メモリ SW による	リンクユニ ットの場合	DIP SW1がPCリンク モードになっていません	DIP SW1をPCリンクモードに変更して再 起動させてください
		リンクボー ドの場合	PCリンクのCLOSE指示 がでています (リンク ボード)	PCリンクをOPENさせてください (リンク ボード)
停止中 (**)	DIP SWによる	DIP SW1がPCリンク モードになっていません (DIP SW1 ON PCリン クモード)	DIP SW1をPCリンクモードに変更して再 起動させてください	
停止中 (**)	パラメータ内容異常に よる	パラメータの設定内容に 誤りがあります	正しいパラメータを設定してください	
停止中 (**)	パラメータ未チェック による	パラメータの起動要求が でていません ・MEWNET-Hシステ ム設定ソフトを使っ ている限り起こりませ ん (ハンディプログラマ等 でパラメータを設定し た場合に起こります)	PCリンクを起動させてください	
停止中 (**)	EE-PROM書き込み異 常 其他による	EEPROMに正しく書き 込めなかった	PCの電源をOFFにし再度ONにしてくだ さい 再度エラーが発生した場合は、リンクユニ ットを交換してください	
停止中 (**)	パラメータ未設定による	パラメータが設定されて いません	パラメータの設定を行ってください	

〈メッセージ伝送〉

状態	エラー内容	原因	対策
不可 (**)	初期設定手順ミスによる	ハード異常	PCの電源をOFFにし再度ONにしてくだ さい 再度エラーが発生した場合は、リンクユニ ットを交換してくださいDIP SW 2をON にしてください
受信過不足		通信制約範囲を越えてい ます	制約範囲内でご使用ください

〈割付異常〉

状態	エラー内容	原因	対策
あり		自局とパラメータの異なるユニットが存在します (PCリンク割付を部分書き込みする等して設定が異常になっていることが考えられる)	正しいパラメータを設定してください

〈シリアルポート〉

状態	エラー内容	原因	対策
使用不可 (**)	ソフトコマンドによる	設定したパラメータに異常があり、シリアルポートの通信が停止しています	正しいパラメータを設定してください
使用不可 (**)	パラメータ内容異常による	設定したパラメータに誤りがあります	正しいパラメータを設定してください
使用不可 (**)	パラメータ未チェックによる	パラメータの起動要求がでていません	パラメータの起動を行ってください (シリアルポートの起動をする)
使用不可 (**)	EEPROM読み出し異常による	設定したパラメータがEEPROMから正しく読めませんでした	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください
使用不可 (**)	EEPROM書き込み異常による	EEPROMにパラメータを正常に書けませんでした	PCの電源をOFFにし再度ONにしてください 再度エラーが発生した場合は、リンクユニットを交換してください
使用不可 (**)	パラメータ未設定による	パラメータが設定されていません	パラメータの設定を行ってください

7-1-5 伝送経路状態の確認

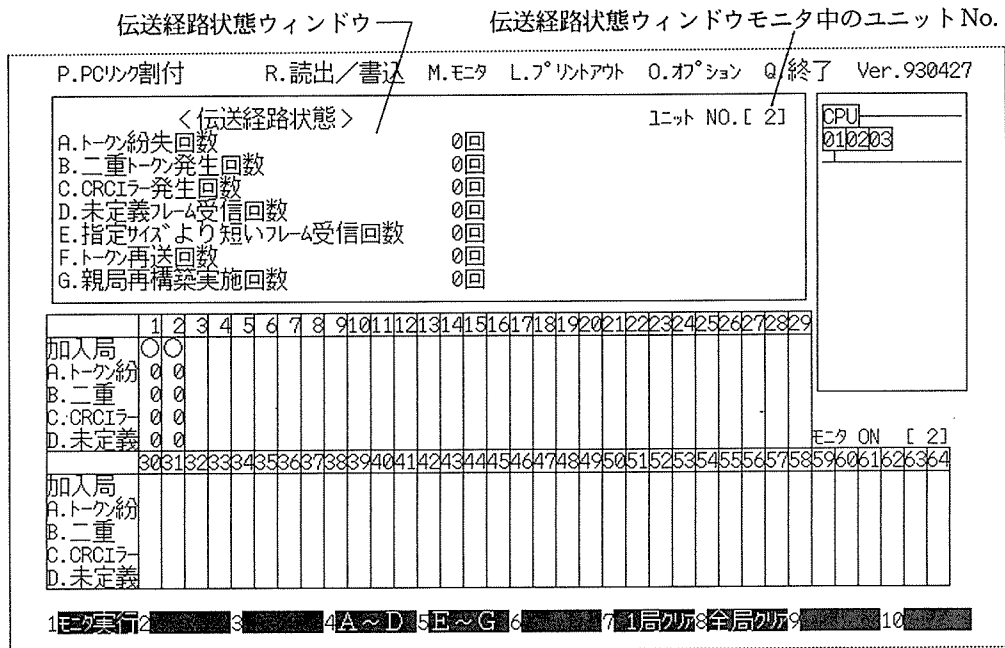
リンクユニット指定ウィンドウで指定したユニットの伝送経路の状態を表示します。

- ① リンクユニット指定ウィンドウで、モニタしたいユニットNo.にカーソルを合わせます。



- ② **f・7** [伝送状] を押します。

①で指定したユニットの [伝送経路状態] ウィンドウが、リンクユニット指定ウィンドウに上書きされます。
各局の伝送経路状態ウィンドウがPCリンク運転状態ウィンドウに上書きされます。



各局の伝送経路状態ウィンドウ：

現在選択されているネットワークに加入しているユニットの伝送経路状態をモニタします。
表示項目を1ウィンドウで表示できないため、**f・4** [A~D] と **f・5** [E~G] で項目を切り替えるようになっています。
詳細は、次ページをご参照ください。

伝送経路運転状態ウィンドウでは、回数は10進数表記で、累積値が表示されます。

各局の伝送経路状態ウィンドウは、16進数表記で、累積値が表示されます。

表示回数は、ゼロクリアすることができます。詳細は、次ページの「●モニタ状況のクリア」をご参照ください。

[モニタ OFF] になっている場合は、**f.1** [モニタ実行] を押すと、モニタを始めます。

ESC キーを押すと、伝送経路状態ウィンドウ・各局の状態ウィンドウを終了し、**f.7** [伝送状] を押す前の状態に戻ります。

●伝送経路状態ウィンドウ表示内容の切り替え

各局の伝送経路状態ウィンドウは **f.3** [A~D] と **f.4** [E~F] で切り替えることができます。

f.3 [A~D] が押されたとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
加入局	○	○																			
A.トーク紛	0	0																			
B.二重	0	0																			
C. CRCエラー	0	0																			
D.未定義	0	0																			
	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
加入局																					
A.トーク紛																					
B.二重																					

f.4 [E~G] が押されたとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
加入局	○	○																			
E.短ルレ	0	0																			
F.再送	0	0																			
G.再構築	0	0																			
	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
加入局																					
E.短ルレ																					
F.再送																					

● モニタ状況のクリア

f.7 [1局クリア]・**f.8** [全局クリア] を使ってモニタ状況をクリアする（発生回数を0クリアする）ことができます。

f.7 [1局クリア]

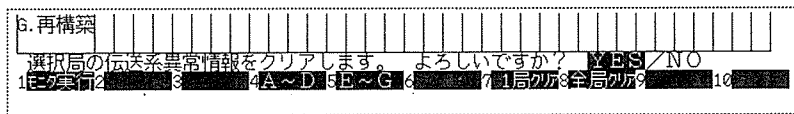
現在選択されているユニットのモニタ状況をクリアします。

f.8 [全局クリア]

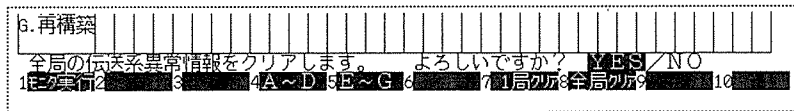
現在指定されているネットワークに接続されているすべてのユニットのモニタ状況をクリアします。

① **f.7** [1局クリア] または **f.8** [全局クリア] を押すと、画面下に確認メッセージが表示されます。

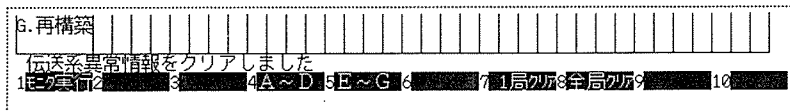
・ **f.7** [1局クリア] を選択した場合



・ **f.8** [全局クリア] を選択した場合



② クリアして良い場合は、【YES】にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。クリアが完了すると、画面下に終了のメッセージが表示されます。



【NO】を選択すると、**f.7** または **f.8** を押す前の状態に戻ります。

7-1-6

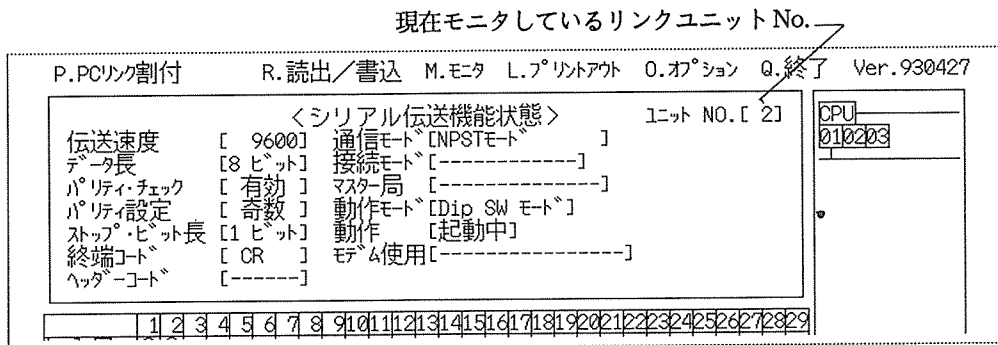
シリアル伝送機能状態モニタ

リンクユニット指定ウィンドウで指定したユニットのシリアルポートの設定および動作状態を表示します。

- ① リンクユニットNo.ウィンドウで、モニタしたいユニットNo.にカーソルを合わせます。



- ② **f・8** [シリアル状] を押します。[<シリアル伝送機能状態>] ウィンドウが表示されます。



表示される内容については、次ページの「●各項目の表示メッセージ」をご参照ください。

- ・ [ハッターコード] の内容は [通信モード] が【シリアルモード】で、[接続モード] が【多重 マスター局】になっている場合に表示されます。
- ・ [接続モード] の内容は、[通信モード] が【シリアルモード】になっている場合に表示されます。
- ・ [マスター局] の内容は [接続モード] が【多重 マスター局】になっている場合に表示されます。
- ・ [メモム使用] の内容は、[通信モード] が【コンピュータリンクモード】になっている場合に表示されます。

[モニタ OFF] になっている場合は、**f・1** [モニタ実行] を押すと、モニタを始めます。

ESC キーを押すと、[<シリアル伝送機能状態>] ウィンドウを終了し、**f・8** [シリアル状] を押す前の状態に戻ります。

●各項目の表示メッセージ

項目		表示内容
伝送速度	伝送速度を表示します (単位: bps)。	19200 9600 4800 2400 1200 600
データ長	データ長を表示します。	7 ビット 8 ビット
パリティ・チェック	パリティ・チェックが有効か無効かを表示します。	無効 有効
パリティ設定	パリティ・チェックが有効な場合の設定を表示します。	奇数 偶数
ストップ・ビット長	ストップ・ビット長を表示します。	1 ビット 2 ビット
終端コード	終端コード (ターミネータ) を16進数・2桁で表示します。	CR LF CR + LF LF + CR '**' (1文字指定の場合) '**,**' [(1文字目),(2文字目)] (2文字指定の場合)
ヘッダーコード	ヘッダーコードを16進数・2桁で表示します。	'**'
通信モード	「NPST」「シリアル伝送」「コンピュータリンク」の内、どの機能で通信しているかを表示します。	NPST モード シリアルモード コンピュータリンクモード
接続モード	シリアル伝送のモード (単一/多重) を表示します (多重接続モードの場合は、さらにマスター局・スレーブ局の違いも表示します)。	単一 多重マスター局 多重スレーブ局
マスター局	マスター局のモード (シリアルモード/コンピュータリンクモード) を表示します。	シリアルモード コンピュータリンクモード
動作モード	通信条件がDiP SWの設定によるものかソフトSWの設定によるものかを表示します (起動中)。	Dip SW モード ソフト SW モード
動作	シリアル伝送機能起動中か停止中かを表示します。	停止中 起動中
モデム使用	モデムの使用の有無 (使用する場合はコマンド方式) が表示されます。	使用しない ヘイズ社ATコマンド CCITT.25bis コマンド

7-1-7 PCリンクエラー履歴のモニタ

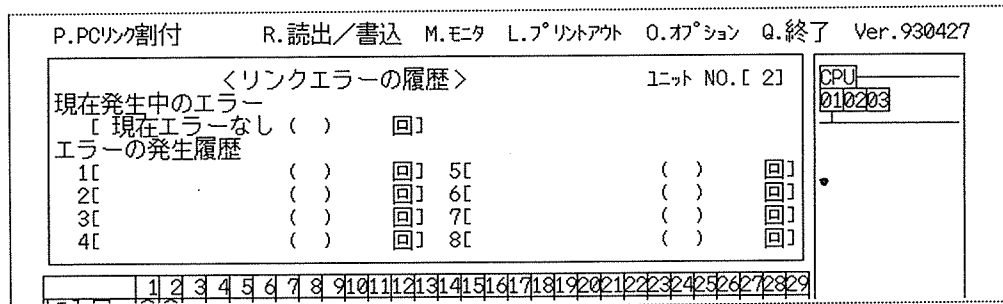
リンクユニット指定ウィンドウで指定したユニットのPCリンクエラーの発生履歴を表示します。
リンクユニットの「COM. LED」が点滅している場合、「COM. LED」の状態をリセットすることができます。

- ① リンクユニット指定ウィンドウで、モニタしたいユニットNo.にカーソルを合わせます。



- ② **f・9** [エラー履歴] を押します。[<リンクエラーの履歴>] ウィンドウが表示されます。

現在モニタしているリンクユニットNo.



- ・ [モニタ OFF] になっている場合は、**f・1** [モニタ実行] を押すと、モニタを始めます。
ESC キーを押すと、PCリンクエラー履歴を終了し、**f・9** [エラー履歴] を押す前の状態に戻ります。
- ・ [現在発生中のエラー] には、現在発生しているエラーが表示されます。
- ・ 連続して発生している場合には、発生回数がカウントされていきます。回数は、10進数で表示され、最大255回までカウントされます。
- ・ () にはエラー番号が表示されています。
- ・ 別の種類のエラーが発生した場合は [現在発生中のエラー] 内容が新しいエラー内容表示に変わり、それまで [現在発生中のエラー] に表示されていたエラー内容が履歴として [エラーの発生履歴] の番号1に表示されます。
[エラー発生履歴] は最大8エラーまで表示します。最新のエラー履歴が常に番号1に表示され、それまで番号1に表示されていたエラー履歴は番号2に移ります。
番号8までエラー履歴が表示されており、新しいエラー履歴が番号1に表示された場合は、それまで番号8に表示されていたエラー履歴は消去されます。

- ・ **f・7** [履歴クリア] を使用すると、リンクエラー内容をクリアすることができます。
詳細は、254 ページの「●エラー履歴内容のクリア」をご参照ください。
- ・ **ESC** キーを押すと、[<リンクエラーの履歴>] ウィンドウを終了し、**f・9** [エラー履歴] を押す前の状態に戻ります。

モニタされるエラーは以下のエラーについてです。

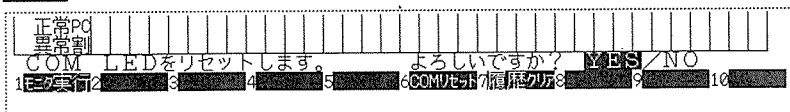
- ・メモリ診断エラー
- ・I/Fメモリ診断エラー
- ・ハードタイプエラー
- ・通信部診断エラー
- ・内部バス異常
- ・伝送部ハード異常
- ・通信部初期化エラー
- ・ユニット初期化エラー
- ・通信部暴走
- ・PC本体暴走
- ・ユニットNo.設定異常
- ・ユニットNo.重複
- ・割付チェック基本エラー
- ・割付チェックPCエラー
- ・EE - PROM書込異常
- ・PCリンク重複割付エラー
- ・受信パケットオーバーフロー
- ・PC領域エラー
- ・割付チェックタイムアウト
- ・EE - PROM読出異常

エラー内容・対処方法については、導入マニュアル第11章の「■リンクエラー情報のエラーコード一覧」をご参照ください。

●リンクユニット「COM.LED」のリセット

f・6 [COMリセット] を選択すると、リンクユニットの「COM.LED」の点滅状態をリセットすることができます。

f・6 [COMリセット] を押すと画面下に確認メッセージが表示されます。



【YES】にカーソルを合わせ、 キーを押します。

「COM.LED」のリセットが終了すると、画面下に終了のメッセージが表示されます。



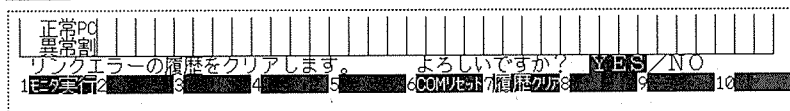
操作を中止する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、 キーを押します。

f・6 [COMリセット] を押す前の状態に戻ります。

●エラー履歴内容のクリア

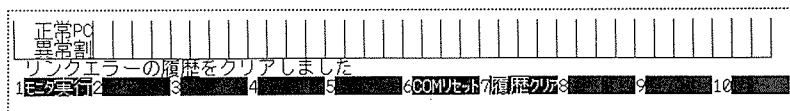
f・7 [履歴クリア] を選択すると、現在表示されているエラー履歴の内容をクリアすることができます。

f・7 [履歴クリア] を押すと画面下に確認メッセージが表示されます。



【YES】にカーソルを合わせ、 キーを押します。

リンクエラー履歴のクリアが終了すると、画面下に終了のメッセージが表示されます。



操作を中止する場合は、【NO】にカーソルを合わせ、 キーを押します。

f・7 [履歴クリア] を押す前の状態に戻ります。

第 8 章

8

プリントアウト

この章の内容

8-1 プリントアウトの概要	256
8-2 プリントアウト	258
8-3 スタイルの指定	262
8-3-1 PCリンク割付設定モードのとき	262
8-3-2 シリアル伝送機能設定モードのとき	263
8-4 プリンタ機種指定	264

プリントアウトの概要

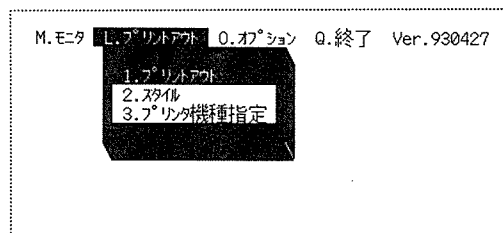
PCリンク割付設定モードおよびシリアル伝送機能設定モードで設定した内容がプリントアウトできません。

- ・PCリンク割付設定モードでは、PCリンク領域の割り付け設定内容（基本設定・個別設定）、ネットワーク名、ネットワークコメントをプリントアウトします。
- ・シリアル伝送機能設定モードでは、シリアル通信条件の設定内容、伝送経路をプリントアウトします。

注意 ・コンピュータリンク設定モードでは、設定内容がモデム設定だけのため、プリントアウト機能は備えておりません。

- ・この機能を使用する場合には、あらかじめパソコンにプリンタを接続しておいてください。
使用できるプリンタの機種については、「8-4 プリンタ機種の設定」を参照してください。
- ・パソコンには、「PRINT. SYS」が組み込まれていなければなりません。詳しくは、お使いのパソコン付属のマニュアルを参照してください。

メニューバーから《L. プリントアウト》を選択すると、プルダウンメニューが表示されます。



■プルダウンメニューの内容

〈プリントアウト〉

プリントアウトを開始するページと印字の品位を設定し、プリントアウトを実行します。

〈スタイル〉

プリントアウトする項目を選択します。PCリンク割付設定モードか、シリアル伝送機能設定モードかにより、表示されるウィンドウが異なります。

〈プリンタ機種設定〉

パソコンに接続されているプリンタの機種を設定します。

- **注意** ・コンピュータリンク設定モードでは、プリントアウト機能を備えておりません。従って、このモードで、《P. プリントアウト》から、〈プリントアウト〉・〈スタイル〉を選択すると、以下のエラーメッセージが画面下に表示されます。

- ・コンピュータリンク設定モードで〈プリントアウト〉を選択した場合

コンピュータリンクにプリントアウトは、ありません。何かキーを押して下さい。

何かキーを押すと、《P. プリントアウト》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- ・コンピュータリンク設定モードで〈スタイル〉を選択した場合


コンピュータリンクにスタイルの設定は、ありません。何かキーを押して下さい。

何かキーを押すと、《P. プリントアウト》のプルダウンメニュー選択に戻ります。



〈リンク機種設定〉は、このモードからでも設定できます。

8 - 2


プリントアウト

- ① メニューバーの《L. プリントアウト》のプルダウンメニューから《1. プリントアウト》にカーソルを合わせ、キーを押します。以下の画面が表示されます。


プリントアウト	
ページ初期値	<input type="text" value="1"/>
出力モード	<input type="text" value="高速/詳細"/>
F1キーで印刷を開始します。	

- ② [ページ初期値] の項目では、プリントアウトを開始するページを入力します。
初期設定は「1」になっています。
- ③ カーソルを [出力モード] に合わせます。
出力モードを  キーと  キーを使って選択します。
初期設定は【高速】になっています。

【高速】を選択した場合は、高速でプリントアウトできますが、表組などの縦罫線はつながりません。

- ④  [印刷] を押すとプリントアウトを開始します。
印刷処理中は画面に以下のメッセージが表示されます。

印字中... しばらくお待ち下さい。 ESCキーで中止します。

-  **注意** 《0. オプション》の《2. 機能選択》でモードを切り替えてもページ初期値・出力モードの設定は保持されます。

■プリントアウトサンプル

PCリンク割付設定モードでのプリントアウトサンプル

< P C リンク 割付 > (基本)										(ページ 1)
領 域										
リレーリンク	割付	[WL	2]	全ワード	数	[128]	PCリンク	停止	時クリア	[しない]
データリンク	割付	[LD	10]	全ワード	数	[256]	PCリンク	停止	時クリア	[しない]
リンク/PC 状態	領域	[DT	0]	ワード	数	[12]				
エラー 情報	領域	[WR	0]	ワード	数	[10]				

リ レ ー リ ン ク						デ ー タ リ ン ク					
NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード	NO	送信先頭	ワード
1	WL	2	16	33	未使用	0	LD	10	32	33	未使用
2	WL	18	16	34	未使用	0	LD	42	32	34	未使用
3	WL	34	16	35	未使用	0	LD	74	32	35	未使用
4	WL	50	16	36	未使用	0	LD	106	32	36	未使用
5	WL	66	8	37	未使用	0	LD	138	16	37	未使用
6	WL	74	8	38	未使用	0	LD	154	16	38	未使用
7	WL	82	8	39	未使用	0	LD	170	16	39	未使用
8	WL	90	8	40	未使用	0	LD	186	16	40	未使用
9	WL	98	8	41	未使用	0	LD	202	16	41	未使用
10	WL	106	8	42	未使用	0	LD	218	16	42	未使用
11	WL	114	8	43	未使用	0	LD	234	16	43	未使用
12	WL	122	8	44	未使用	0	LD	250	16	44	未使用
13	未使用	0	45	未使用	0	13	未使用	0	45	未使用	0
14	未使用	0	46	未使用	0	14	未使用	0	46	未使用	0
15	未使用	0	47	未使用	0	15	未使用	0	47	未使用	0
16	未使用	0	48	未使用	0	16	未使用	0	48	未使用	0
17	未使用	0	49	未使用	0	17	未使用	0	49	未使用	0
18	未使用	0	50	未使用	0	18	未使用	0	50	未使用	0
19	未使用	0	51	未使用	0	19	未使用	0	51	未使用	0
20	未使用	0	52	未使用	0	20	未使用	0	52	未使用	0
21	未使用	0	53	未使用	0	21	未使用	0	53	未使用	0
22	未使用	0	54	未使用	0	22	未使用	0	54	未使用	0
23	未使用	0	55	未使用	0	23	未使用	0	55	未使用	0
24	未使用	0	56	未使用	0	24	未使用	0	56	未使用	0
25	未使用	0	57	未使用	0	25	未使用	0	57	未使用	0
26	未使用	0	58	未使用	0	26	未使用	0	58	未使用	0
27	未使用	0	59	未使用	0	27	未使用	0	59	未使用	0
28	未使用	0	60	未使用	0	28	未使用	0	60	未使用	0
29	未使用	0	61	未使用	0	29	未使用	0	61	未使用	0
30	未使用	0	62	未使用	0	30	未使用	0	62	未使用	0
31	未使用	0	63	未使用	0	31	未使用	0	63	未使用	0
32	未使用	0	64	未使用	0	32	未使用	0	64	未使用	0

シリアル伝送機能設定モードでのプリントアウトサンプル

(ページ 1)

<シリアル伝送機能> (多重モード)

(マスター)

シリアル通信条件

シリアルポート設定 [する]
 ボーレート [19200]
 データ長 [8ビット]
 パリティ・チェック [有効]
 パリティ設定 [奇数]
 ストップ・ビット長 [1ビット]

フロー制御
 RTS/CTS制御 [無効]
 ハンダーコート [25] '%'
 終端コード [CR+LF]
 終端コード指定 [0] '.' (1文字目)
 終端コード指定 [0] '.' (2文字目)
 タイムアウト値 [5.0] (単位: 1s)
 異常時の再送 [する]
 再送回数 [3] 0:無限

(スレーブ 1)

シリアル通信条件

シリアルポート設定 [する]
 ボーレート [19200]
 データ長 [8ビット]
 パリティ・チェック [有効]
 パリティ設定 [奇数]
 ストップ・ビット長 [1ビット]

フロー制御
 RTS/CTS制御 [無効]
 終端コード [CR+LF]
 終端コード指定 [0] '.' (1文字目)
 終端コード指定 [0] '.' (2文字目)
 タイムアウト値 [5.0] (単位: 1s)
 異常時の再送 [する]
 再送回数 [3] 0:無限

伝送経路図

(スレーブ 2)

シリアル通信条件

シリアルポート設定 [する]
 ボーレート [19200]
 データ長 [8ビット]
 パリティ・チェック [有効]
 パリティ設定 [奇数]
 ストップ・ビット長 [1ビット]

フロー制御
 RTS/CTS制御 [無効]
 終端コード [CR]
 終端コード指定 [0] '.' (1文字目)
 終端コード指定 [0] '.' (2文字目)
 タイムアウト値 [5.0] (単位: 1s)
 異常時の再送 [する]
 再送回数 [3] 0:無限

伝送経路図

<シリアル伝送機能> (多重モード)

(スレーブ 3)

シリアル通信条件

シリアルポート設定 [する]

ボーレート [19200]

データ長 [8ビット]

パリティ・チェック [有効]

パリティ設定 [奇数]

ストップ・ビット長 [1ビット]

フロー制御 [無効]

RTS/CTS制御 [無効]

終端コード [CR]

終端コード指定 [0] '.' (1文字目)

終端コード指定 [0] '.' (2文字目)

タイムアウト値 [5.0] (単位: 1s)

異常時の再送 [する]

再送回数 [3] 0:無限

伝送経路図

(スレーブ 4)

シリアル通信条件

シリアルポート設定 [する]

ボーレート [19200]

データ長 [8ビット]

パリティ・チェック [有効]

パリティ設定 [奇数]

ストップ・ビット長 [1ビット]

フロー制御 [無効]

RTS/CTS制御 [無効]

終端コード [CR]

終端コード指定 [0] '.' (1文字目)

終端コード指定 [0] '.' (2文字目)

タイムアウト値 [5.0] (単位: 1s)

異常時の再送 [する]

再送回数 [3] 0:無限

伝送経路図

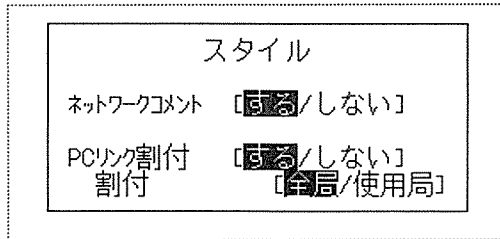
8 - 3

スタイルの指定

8-3-1

PCリンク割付設定モードのとき

- ① メニューバーの《L. プリントアウト》のプルダウンメニューから《2. スタイル》にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押してください。次の画面が表示されます。



- ② [ネットワークコメント] の項目では、ネットワーク名・ネットワークコメントのプリントアウトをカーソルで選択します。
初期設定は、**[する]** になっています。

- ③ カーソルで [PCリンク割付] の項目に合わせます。
PCリンク領域の割り付け内容（基本設定・個別設定）のプリントアウトをカーソルで選択します。
初期設定は **[する]** になっています。

- ・ **[しない]** を選択した場合は、[割付] の項目のカーソルは表示されません。
- ・ **[する]** を選択した場合は、さらにカーソルで下の項目へ移動します。
全局の割り付け状況をプリントアウトする場合は **[全局]** を選択してください。割り付けを行った局のみの割り付け状況をプリントアウトする場合は **[使用局]** を選択してください。
なお、初期設定は **[全局]** になっています。

- ④ すべての設定が終了すれば、**[F1]** [設定] を押して確定します。
画面下に終了メッセージが表示されます。

スタイルの設定が完了しました。何かキーを押して下さい。

何かキーを押すと、《L. プリントアウト》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- 注意** [ネットワークコメント]・[PCリンク割付] 両方の項目を **[しない]** に設定して、**[F1]** [設定] を押すと以下のエラーメッセージが表示されます。

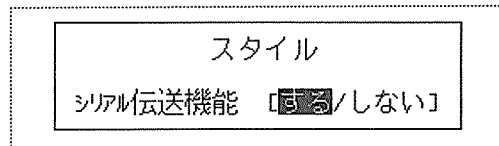
スタイルが設定されていません。何かキーを押して下さい。

何かキーを押し、再度設定してください。

8-3-2 シリアル伝送機能設定モードのとき

現在のバージョンでは、初期設定の状態でないときエラーメッセージが表示されますので、操作は必要ありません。

- メモ** ① メニューバーの《P. プリントアウト》のプルダウンメニューから《2. スタイル》にカーソルを合わせ、**[F4]** キーを押します。次の画面が表示されます。



- ② シリアル伝送機能設定内容（シリアル通信条件設定内容と伝送経路）をプリントアウトしますので、**[F3]** にカーソルを合わせ、**[F1]** **[実行]** を押します。以下の終了メッセージが画面下に表示されます。

スタイルの設定が完了しました。何かキーを押して下さい。

何かキーを押すと、《L. プリントアウト》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

- 注意** 現在のバージョンでは、スタイル設定の選択が1項目だけのため、**[No]** を選択すると、プリントアウトする内容がなくなってしまいます。このため、**[No]** を選択して **[F1]** **[実行]** を押すと、画面下にエラーメッセージが表示されます。


スタイルが設定されていません。何かキーを押して下さい。

何かキーを押します。


[F3] にカーソルを合わせ、再度 **[F1]** **[実行]** を押してください。

8 - 4


プリンタ機種指定


- ① メニューバーの《L. プリント》のプルダウンメニューから《3. プリント機種設定》にカーソルを合わせ、 キーを押します。次の画面が表示されます。

プリンタ機種指定	
NEC	PC-PR201
EPSON	HG-800
CANON	LBP-B406


- ② パソコンに接続されているプリンタの機種にカーソルを合わせ、 キーを押します。
初期設定は【NEC PR-201】になっています。

上記画面に表示されている以外の機種をお使いの場合は、表示されているプリンタのエミュレーションモードに合わせてお使いください。

 **注意** 点滅している項目が現在選択されている機種です。

- ③ 選択が終了すれば、 キーを押して確定します。
画面下に終了メッセージが表示されます。

プリンタ機種の設定が完了しました。何かキーを押して下さい。

 **注意** 《0. オプション》の《2. 機能選択》でモードを切り替えてもプリンタの機種の設定は保持されません。

第 9 章

9

オプション機能

この章の内容

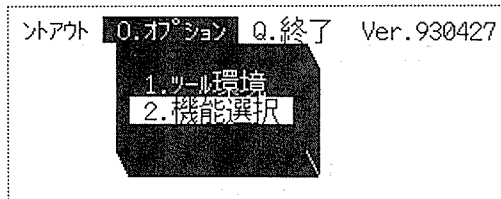
9-1 ツール環境の設定	266
9-2 機能選択	267

9 - 1

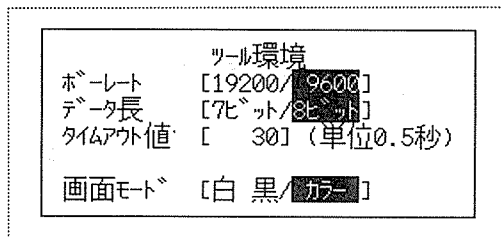
ツール環境の設定

CPUユニットとパソコンを接続し、オンラインで動作する機能を使用する場合は、あらかじめ、ツール環境を設定しておく必要があります。

- ① メニューバーから《0. オプション》を選択します。
《0. オプション》のプルダウンメニューが表示されます。



- ② 《1. ツール環境》を選択します。
次の画面が表示されます。



- ③ 矢印キーを使ってそれぞれの項目を設定します。
初期設定は、9600/8 ビット/10/カラーになっています。

注意 ・以下のエラーメッセージが表示された場合は、システム設定ソフトを起動しているパソコンが19200ボーには対応していません。
[ボーレート] の設定を「9600」に設定しなおしてください。

この機種では、ボーレートを19200に設定できません。何かキーを押して下さい。

- ・タイムアウト値は、「1」を設定した場合、実際に設定されるのは(1×0.5秒=)0.5秒です。
初期設定「10」の場合は(10×0.5秒=)5.0秒が設定されています。
入力できる範囲は、1~255(0.5秒~127.5秒)です。
- ・画面モードの項目では、このシステム設定ソフトを白黒画面かカラー画面のいずれで使用するかを選択します。
お使いのパソコン画面がカラー対応でない場合は、「カラー」を選択しても無効になります。

- ④ 設定が終了したら **f・1** [設定] を押し、ツール環境の設定内容を確定します。
確定されると、終了メッセージが画面下に表示されます。

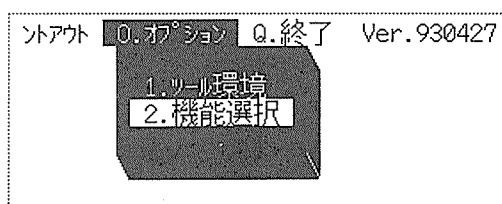
ツール環境の設定が完了しました。何かキーを押して下さい。

何かキーを押します。《0. オプション》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

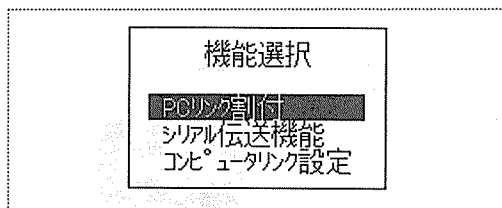
機能選択

PCリンク割付設定モード・シリアル伝送機能設定モード・コンピュータリンク設定モードを切り替えます。

- ① メニューバーから《0. オプション》を選択します。
《0. オプション》のプルダウンメニューが表示されます。



- ② 《2. 機能選択》を選択します。
次の画面が表示されます。



- ③ 設定するモードにカーソルを合わせ、**f・1** [設定] キーを押します。

注意 点滅している項目が現在選択されているモードです。

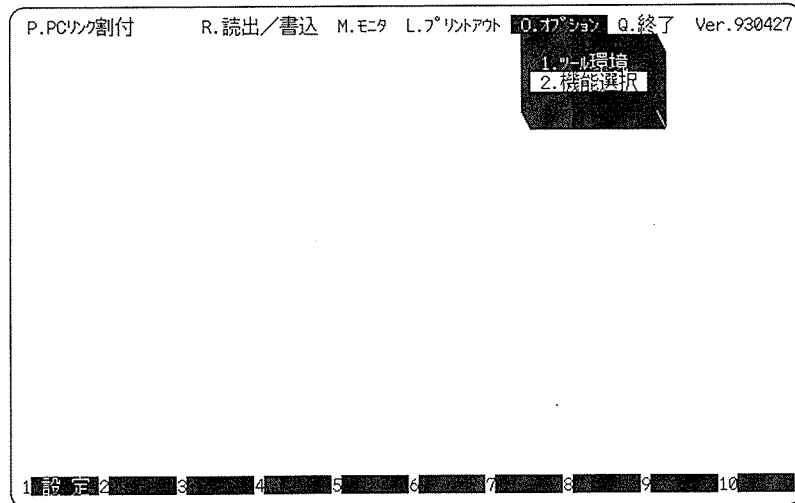
- ③ **f・1** [設定] を押し、設定内容を確定します。
画面下に終了メッセージが表示されます。

機能の設定が完了しました。何かキーを押して下さい。

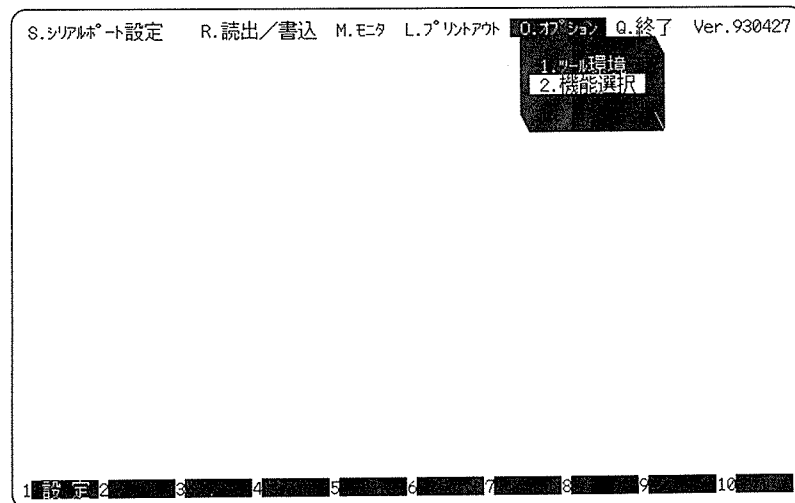
何かキーを押します。《0. オプション》のプルダウンメニュー選択に戻ります。

左端のメニューバーが、選択したモード表示になっていることを確認してください。

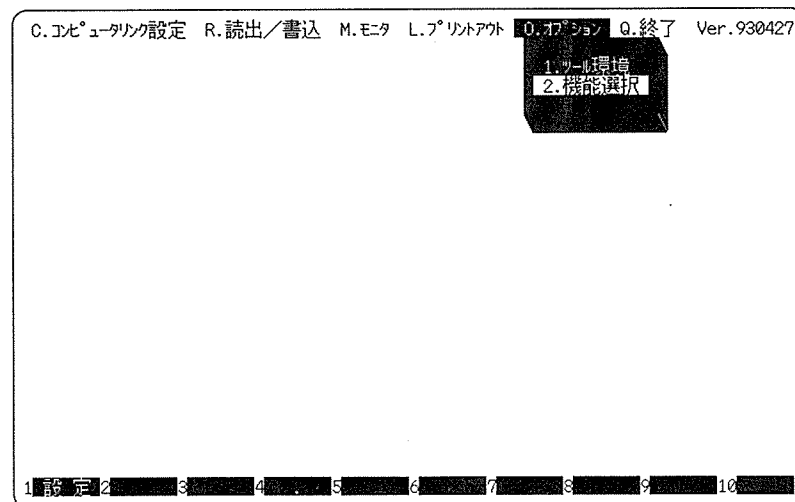
- [PCリンク割付] (PCリンク割付設定モード) を選択したとき



- [シリアル伝送機能] (シリアル伝送機能設定モード) を選択したとき



- [コンピュータリンク設定] (コンピュータリンク設定モード) を選択したとき



付 録

こ の 章 の 内 容

付録-1 エラーメッセージ	270
付録-2 メニュー一覧	284

付録-1

エラーメッセージ

40行目に文字が登録されているため行挿入が出来ません。	ネットワークコメントがすでに40行目まで入力されているので、行挿入できませんでした。
CLOSEエラー	リンクボードのPCリンクのOPEN・CLOSE機能で、CLOSEの状態になっています。MEWNET - HリンクソフトのOPENコマンドを使用し、OPEN状態にしてください。
EE-PROMに書き込みで異常が発生しました。	オンラインチェック：EE - PROMヘデータが書き込めませんでした。再度書き込み操作を行ってみてください。再度エラーが発生した場合は、EE - PROMの異常と考えられます。
EE-PROMに正しく書き込めませんでした。	オンラインチェック：EE - PROMヘデータが書き込まれましたが、照合エラーが発生しました。再度書き込み操作を行ってみてください。再度エラーが発生した場合は、EE - PROMの異常と考えられます。
EE-PROMの読出でBCCエラーがあります。	オンラインチェック：リンクユニットの電源ON時にリンクユニット内のEE - PROMからリンクユニット内部メモリヘデータを読み出している時に、BCCエラーが発生しました。そのまま再度電源を入れなおすか、再度データをリンクユニットに書き込み、電源を入れなおしてください。それでもエラーが発生する場合は、ハードウェア異常です。
EE-PROMの読出でデータがありません。 EE-PROMの読出スイッチが異常です。	オンラインチェック：データが設定されていません。 オンラインチェック：EE - PROM内のデータが異常です。ユニットへの書き込みを行ってください
MEWNET-Pとアドレスが重複しています。	PCリンク領域で割り付けたメモリがMEWNET - P (W) で割り付けられているメモリと重複しています。
PC本体が暴走しています。	オンラインチェック：再度電源を入れなおしてください。それでもエラーが発生する時は、ハードウェアエラーです。
PC本体のチェックを実施していません。	オンラインチェックまたは設定チェックを実行できませんでした。PC本体がMEWNET - Hリンクユニットをサポートしていないバージョンかハードウェアの異常です。
PCリンク割付の基本・個別対応ユニットが違います。	基本設定画面でPCリンク領域を割り付けた局が一致していないか、個別設定の対応ユニットNo.指定画面で指定したユニットNo.が一致していません。
PCリンク割付の基本テーブルの設定が違います。	基本設定画面でのPCリンク領域の割り付けが一致していません。
PCリンク割付の個別テーブル1の設定が違います。	個別No.1の個別設定画面でのPC領域の割り付けが一致していません。
PCリンク割付の個別テーブル2の設定が違います。	個別No.2の個別設定画面でのPC領域の割り付けが一致していません。
PCリンク割付の個別テーブル3の設定が違います。	個別No.3の個別設定画面でのPC領域の割り付けが一致していません。
PCリンク割付の個別テーブル4の設定が違います。	個別No.4の個別設定画面でのPC領域の割り付けが一致していません。
PCリンクを構成する基本設定のユニットNo.が見つかりません。	

PCリンクを構成する個別設定1のユニットNo.が見つかりません。	PCリンク読出：読み出しを行った時に、個別設定1に設定されているリンクユニットがありませんでした。
PCリンクを構成する個別設定2のユニットNo.が見つかりません。	PCリンク読出：読み出しを行った時に、個別設定2に設定されているリンクユニットがありませんでした。
PCリンクを構成する個別設定3のユニットNo.が見つかりません。	PCリンク読出：読み出しを行った時に、個別設定3に設定されているリンクユニットがありませんでした。
PCリンクを構成する個別設定4のユニットNo.が見つかりません。	PCリンク読出：読み出しを行った時に、個別設定4に設定されているリンクユニットがありませんでした。
PCリンクを構成するユニットNo.が見つかりません。ネットワーク上のどれかの局を**にして再度読出を実行して下さい。	PCリンク読出：読み出しを行った時に、設定されているリンクユニットが見つかりませんでした。どれかのユニットのNo.を**にして再度実行してください。
RTS/CTSの指定が異常です。	設定チェック [RTS/CTS制御] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
** ディレクトリが削除できませんでした。	ディレクトリ内にファイルが存在するので、ディレクトリの削除ができませんでした。ディレクトリが削除できるのは、ディレクトリ内にファイルが存在しない場合だけです。
* 局の基本の割付が未使用になっています。	通常のコピーでは起こらないエラーです。基本設定画面での設定が [未使用] になっています。
* 局のデータリンク送信エリアが重複しています。	* 局で設定したデータリンクの送信エリアが他局のデータリンク送信エリアと重複しています。
* 局のデータリンクの送信先頭がデータリンク領域を超えています。	* 局で設定したデータリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] が [領域] で割り付けたデータリンク領域を超えています。
* 局のデータリンク ワード数が基本の割付とマッチしません。	通常のコピーでは起こらないエラーです。
* 局のデータリンクワード数の設定に誤りがあります。	* 局のデータリンク領域の割り付けで、送信先頭アドレスからワード数分設定すると [領域] で設定したデータリンク領域を超えてしまいます。
* 局のリレーリンク送信エリアが重複しています。	* 局で設定したリレーリンクの送信エリアが他局のリレーリンク送信エリアと重複しています。
* 局のリレーリンクの送信先頭がリレーリンク領域を超えています。	* 局で設定したリレーリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] が [領域] で割り付けたリレーリンク領域を超えています。
* 局のリレーリンク ワード数が基本の割付とマッチしません。	通常のコピーでは起こらないエラーです。
* 局のリレーリンクワード数の設定に誤りがあります。	* 局のリレーリンク領域の割り付けで、送信先頭アドレスからワード数分設定すると [領域] で設定したリレーリンク領域を超えてしまいます。
アドレスの範囲を超えています。	PCリンク領域に設定されているアドレスの範囲がPC本体のアドレスの範囲を超えています。
以下のユニットがクリアできませんでした。	ユニットのクリア操作で、設定内容をクリアできませんでした。リンクユニットの動作モードを設定しなおして、再度クリア操作を行ってください。

以下のユニットが停止できませんでした。	ユニットの運転を停止できなかったため、操作中の作業は、中止されます。モニタ機能を使用し、ユニットの運転状態を確認してください。
以下のユニットに対して書き込みができませんでした。	リンクユニットの状態を確認してください。
以下のユニットを起動することができませんでした。	PCが持つメモリ領域の上限を超えた指定している可能性があります。システム設定ソフトは、多機種のPCに対応するように設計されているため、機種間で異なる領域の大きさの違いや、メモリの種類をオフラインでのチェックでは行いません。
一般的なディスク不良です。	ディスクへのアクセス中にエラーが発生しました。再度、操作を行い、再度エラーが発生するようであれば、ディスクを交換してください。
エラー情報のサイズが異常です。	オンラインチェック（エラー情報）の [ワード数] で設定されたワード数のデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるワード数以外のデータが格納されています。
エラー情報の接点データに誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
エラー情報の全ワード数が大きすぎます。	通常の操作では起こらないエラーです。（エラー情報）の [全ワード数] の項目にシステム設定ソフトで設定できない数値に設定されています。
エラー情報のデータが異常です。	オンラインチェック（エラー情報）の [領域] で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリアドレス以外のデータが格納されています。
エラー情報の領域が他の領域と重複しています。	（エラー情報）に割り付けるメモリは、それぞれ重複しないように設定してください。
エラー情報のワード数に誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
エラーメッセージは、400個までしか表示できません。	通常の操作では起こらないエラーです。エラーメッセージは、400個までしか表示できませんので、これ以上のエラー内容を表示することができません。設定内容を確認してください。
オフラインのPCリンク割付チェックが実行されていません。オフラインのPCリンク割付チェックを実行後書き込みしてください。	オフラインでのPCリンク領域の割り付け内容のチェックが実行されていないので、リンクユニットへ設定内容を書き込むことができません。《P. PCリンク割付》より〈4.PCリンク割付チェック〉の（1.オフライン）を選択し、オフラインチェックを行ってから、書き込み作業を行ってください。
階層を指定するユニットが存在しません。	ネットワーク指定現在カーソルで選択中のユニットが実装されているマザーボード上には、次の階層へ進むためのユニットが存在しないので、次の階層を指定することができません。
書き込みに失敗しました。	MS-DOS上でエラーが発生し、ディスクへ設定内容を書き込むことができませんでした。再度書き込み操作を行ってください。
書き込み不良が発生しました。	ディスクが破損している可能性があります。別のドライブに書き込むか、ディスクを交換してください。
各局データリンクの総ワード数がデータリンク領域を超えています。	各局に割り付けたデータリンクのワード数 [ワード] の合計が [領域] で割り付けたデータリンクの [全ワード数] を超えています。

各局のデータリンク 総ワード数が、データリンク領域の全ワード数を超えています。	各局に割り付けたデータリンクのワード数 [ワード] の合計が [領域] で割り付けたデータリンクの [全ワード数] を超えているため、送信先頭の自動設定が実行できませんでした。
各局のリレーリンク 総ワード数が、リレーリンク領域の全ワード数を超えています。	各局に割り付けたリレーリンクのワード数 [ワード] の合計が [領域] で割り付けたリレーリンクの [全ワード数] を超えているため、送信先頭の自動設定が実行できませんでした。
各局リレーリンクの総ワード数がリレーリンク領域を超えています。	各局に割り付けたリレーリンクのワード数 [ワード] の合計が [領域] で割り付けたリレーリンクの [全ワード数] を超えています。
起動した時とシステムのバージョンが違います。	挿入されたシステム設定ソフトのバージョンが起動した時のバージョンと違うため動作できません。起動するときに使用したシステムディスクをいれてください。
起動できませんでした。	リンクユニットにデータを書き込んだ後でリンクユニットを起動できませんでした。オンラインチェックまたはモニタでリンクユニットの現在の状態をチェックしてください。
基本のPCリンク割付を確定して下さい。	基本設定を行っていないと、個別設定はできません。まず、基本設定を行ってください。
均等配分する値が大きすぎます。	入力された値で均等配分を実行すると [領域] で設定したリレーリンク / データリンクの [全ワード数] を超えてしまいます。設定可能範囲で示されている範囲内の値を入力してください。
警告！ 個別のPCリンク割付の設定がされていません。	対応ユニットNo.指定画面で個別設定を行うユニットNo.を指定しているが、その個別No.に対応する個別設定画面で個別設定を行っていません。
警告！ 対応ユニットが設定されていません。	個別設定画面で個別No.*の設定を行っているが、その個別No.の対応ユニットが対応ユニットNo.指定画面で設定されていません。
現在PCリンク起動中です。	ユニットNo.指定ウィンドウで指定しているユニットはすでにPCリンク起動中です。
現在PCリンク停止中です。	ユニットNo.指定ウィンドウで指定しているユニットはすでにPCリンク停止中です。
現在の環境ではこのソフトは動作しません。MS - MOSのPRINTコマンドの常駐部を解放してください。尚、プリントアウト中の場合は、全てのプリントアウト終了後解放操作を行って下さい。解放操作はMS - DOSのバージョンによって異なります。MS - DOSのマニュアルを参照して下さい。	MS - DOSの「PRINT.EXE」がパソコンに常駐されていると、システム設定ソフトは起動しませんので、PRINT.EXEの常駐を解放してからシステム設定ソフトを起動してください。
この機種では、ボーレートを19200に設定できません。	システム設定ソフトを起動しているパソコンは、ボーレートを19200に設定することはできません。
このタイプのリンクユニットはサポートしていません。	オンラインチェック設定されているデータがMEWNET - H以外のデータになっているか、データがこわれています。
このリンクボードは階層指定をサポートしていません。	ネットワーク指定リンクボードで、階層を指定することはできません。階層指定できるのは、マザーボード上でリンクユニット (MEWNET - H, P, W) が2ユニット実装されている場合です。

個別の割付では、ワード数の自動設定はできません。	個別設定では、ワード数の変更はできませんので、個別設定の確定時に【2. ワード数の自動設定】は実行できません。
これ以上の階層は指定はできません。	ネットワーク指定がすでに4階層目まで指定されているので、これ以上の階層指定はできません。
コンピュータリンクにスタイルの設定は、ありません。	コンピュータリンクモードには、プリントアウト機能がありませんので、スタイルの設定はありません。
コンピュータリンクにプリントアウトは、ありません。	コンピュータリンクモードには、プリントアウト機能がありませんので、プリントアウトはできません。
コンピュータリンクの設定が確定されていません。コンピュータリンクの設定を確定して下さい。	モデム設定画面で、設定内容を確定していません。[F・1] [確定] を使って、設定内容を確定してから、リンクユニットへの書き込み作業を行ってください。
コンピュータリンクの設定が違います。	モデムの設定が一致していません。
作成者が違います。	ディスク照合：作成者が一致していません。
削除できませんでした。	ディスク削除：ファイルの削除時にMS-DOS上でエラーが発生しました。
シークエラー	ディスクが異常です。ディスクを交換してください。
システムエラー	中断からの再起動時、状態保存ファイルからデータを読み出し中にMS-DOS上でエラーが発生しました。
システムディスクをセットして下さい。	システム設定ソフトを起動したドライブにシステム設定ソフトのシステムディスク以外のディスクが挿入されているか、システムディスクが挿入されていないため動作できません。システムディスクをいれてください。
指定したファイル又はディレクトリが存在しません。	ファイル一覧が表示されている状態で、フロッピーディスクを入れ替えると、???
端末コード（1文字目）が、0～7Fの範囲外です。	ビット長が7ビットに設定されていますので、7ビットで表現できない値（80～FF）は無効です。0～7Fの範囲内で入力してください。
端末コード（1文字目）がヘッダーコードと同じです。	ヘッダーコードと端末コードの設定が同じになっています。同じ値では、区別がつかないので、どちらかのコードを別の値に設定しなおして下さい。
端末コード（2文字目）が、0～7Fの範囲外です。	ビット長が7ビットに設定されていますので、7ビットで表現できない値（80～FF）は無効です。0～7Fの範囲内で入力してください。
端末コード（2文字目）がヘッダーコードと同じです。	ヘッダーコードと端末コードの設定が同じになっています。同じ値では、区別がつかないので、どちらかのコードを別の値に設定しなおして下さい。
照合でエラーが発生しました。	照合チェックでエラーが見つかりました。リンクユニットへの設定内容の書き込み・読み出し操作中にこのメッセージが表示された場合は、ユニット照合を実行するとエラー内容が確認できます。

シリアル多重設定が違います。	ディスク照合エラー多重接続モードでマスター局/スレーブ局シリアル条件設定画面・伝送経路の指定で、設定の一致しない項目が1つでも発見されると、このエラーメッセージが表示されます。
シリアル単一設定が違います。	ディスク照合エラー単一接続モードでマスター局/スレーブ局シリアル条件設定画面・伝送経路の指定で、設定の一致しない項目が1つでも発見されると、このエラーメッセージが表示されます。
シリアルの設定が確定されていません。シリアルの設定を確定して下さい。	シリアル伝送機能設定画面で、設定内容を確定していません。[f・1] [確定] を使って、設定内容を確定してから、リンクユニットへの書き込み作業を行ってください。
シリアルの設定モード（単一/多重）が違います。	ディスク照合エラー接続モードの設定が違います。
シリアルポートの通信条件の指定が異常です。	設定チェックシリアル通信条件設定画面で設定した内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。ただし、[シリアルポート設定] 項目で【する】を選択したときに指定する[ボーレート]などのサブ項目でのエラーについては、各サブ項目専用のエラーメッセージが表示されます。
受信側ユニットが存在しません。	受信側ユニットに指定したユニットは、PCリンクに加入していません。
状態保存ファイルが作成できませんでした。中断できません。	中断時、状態保存ファイルを作成中に、MS-DOS上でエラーが発生しました。ディスクに設定内容を保存して、強制終了してください。
スタイルが設定されていません。	スタイル設定で、すべての項目をプリントアウトしないに設定されています。最低1項目は、【する】に設定してください。
ストップビット長の指定が異常です。	設定チェック [シリアルポート設定] 項目で【する】を選択している場合にチェックされます。[ストップ・ビット長] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
全てのユニットを個別に設定できません	基本設定で設定した全てのユニットを個別設定するユニットに設定しようとしました。全てのユニットを個別設定の対象にはできません。
スレーブ**が接続されていません。	シリアルユニット書込：書き込みを行ったスレーブユニットが接続されていません。ユニットの接続を確認して、再度書き込みを行ってください。
スレーブが接続されていません。	シリアルユニット書込：書き込みを行ったスレーブユニットが接続されていません。ユニットの接続を確認して、再度書き込みを行ってください。
スレーブ 局の伝送経路の設定を行って下さい。	マスター局からと各スレーブ局への伝送経路が設定されていません。シリアル伝送機能のシステム設定を行う場合は、伝送経路を必ず設定してください。
スレーブ局がバス結合の為書き込みができません。	伝送経路指定で、スレーブ局をリンクボードのバス結合に設定しているので、スレーブ局への書き込みは行えません。
スレーブの伝送経路が変更されます。	シリアル読出：読み出しを行うと、現在設定されている伝送経路が変更されます。

セクタが存在しません。	ディスクが初期化されているか確認してください。初期化されていれば、ディスクが破損している可能性があります。
設定ソフトとユニットのバージョンが違います。	オンラインチェックシステム設定ソフトがリンクユニットのバージョンに対応していません。バージョンが違くと、システム設定ソフトが正常に動作しないことがあります。
送信側と受信側のユニット NO.が同じです。	送信側のユニット No.と受信側のユニット No.が同じになっているため PC リンク伝送処理時間を求めることができません。送信側/受信側ユニット No.を確認して、設定しなおしてください。
送信側ユニットが存在しません。	送信側ユニットに指定したユニットは、PC リンクに加入していません。
送信先 PC の中継位置 1 の指定が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 1 のルート No.のデータを格納するメモリに、1~6 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムで設定できるルート No.は、1~6 までです。
送信先 PC の中継位置 2 の指定が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 2 のルート No.のデータを格納するメモリに、1~6 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムで設定できるルート No.は、1~6 までです。
送信先 PC の中継位置 3 の指定が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 3 のルート No.のデータを格納するメモリに、1~6 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムで設定できるルート No.は、1~6 までです。
送信先までの中継局 1 の指定が異常です。	設定チェック ? 中継元・中継先ユニットのいずれかが異常 ?? 伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 1 のユニット No.のデータを格納するメモリに、1~64 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムに接続できるリンクユニットは、64 台までですので、設定できるユニット No.は、1~64 までです。
送信先までの中継局 2 の指定が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 2 のユニット No.のデータを格納するメモリに、1~64 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムに接続できるリンクユニットは、64 台までですので、設定できるユニット No.は、1~64 までです。
送信先までの中継局 3 の指定が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局 3 のユニット No.のデータを格納するメモリに、1~64 以外の数値データが格納されています。MEWNET-H システムに接続できるリンクユニットは、64 台までですので、設定できるユニット No.は、1~64 までです。
送信先までの中継局数が異常です。	設定チェック伝送経路設定画面で設定した伝送経路の中継局数のデータを格納するメモリに、設定できる内容以外の数値データが格納されています。
存在しないディスクを指定しました。	指定したドライブが存在しないので、ドライブの変更ができません。指定したドライブが接続されているか、電源が投入されているか確認してください。

存在しないメディアタイプのディスクです。	フロッピーディスクの種類が、ドライブに対応していないので、処理を実行することができません。
チェックするデータが有りません。	チェックするデータがリンクユニット内にありません。リンクユニットへ設定内容を書き込んでいないか、ユニット内のデータがクリアされた（例えば、《R.読出／書込》で《4.ユニットのクリア》を実行した・リンクユニットを初期化した）可能性があります。リンクユニットへ、設定内容を書き込んでください。電源 ON 時に EE - PROM からデータの読み出しができなかった可能性もあります。
データ長の指定が異常です。	設定チェック [シリアルポート設定] 項目で【する】を選択している場合にチェックされます。[データ長] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
データリンク重複チェックの指定が異常です。	オンラインチェック：リンクユニットに設定されているデータが異常です。再度書き込みをしてください。
データリンク送信サイズが異常です。	*局のデータリンク送信領域を設定する項目の [ワード] で設定されたワード数のデータを格納するメモリに (データリンク) の [全ワード数] のデータまたはリンクユニットで設定できる範囲より大きな数値データが格納されています。*局のデータリンク送信領域を設定する項目の [ワード] で設定されたワード数のデータを格納するメモリに、他局で設定されている送信領域のデータと矛盾する数値データが格納されています。?
データリンク送信の割付先が異常です。	*局のデータリンク送信領域を設定する項目の [送信先頭] で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリのアドレス以外のデータが格納されています。
データリンク送信割付が重複しています。	*局のデータリンク送信領域を設定する項目の [送信先頭]・[ワード] で設定された送信領域のデータを格納するメモリに、他局で設定されている送信領域のデータと重複する数値データが格納されています。
データリンク送信割付の総サイズが異常です。	*局のデータリンク送信領域を設定する項目の [ワード] で設定されたワード数を合計したデータを格納するメモリに (データリンク) の [全ワード数] のデータより大きな数値データが格納されています。
データリンクの PC リンク停止時クリアのデータに誤りがあります。	通常操作では起こらないエラーです。(データリンク) の [PC リンク停止時クリア] の項目に【する】・【しない】以外のデータが入っています。
データリンクの接点データに誤りがあります。	通常操作では起こらないエラーです。
データリンクの全ワード数が大きすぎます。	通常操作では起こらないエラーです。(データリンク) の [全ワード数] の項目にシステム設定ソフトで設定できない数値に定されています。
データリンクの送信先頭が昇順に並んでいないのでチェック出来ません。	ワード数の自動設定が実行できませんでした。
データリンクの送信先頭にデータリンク領域を超えている局があります。	各局に割り付けたデータリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] の中に、(データリンク) の [領域] で設定したデータリンク領域を超えている局があるので、ワード数の自動設定が実行できませんでした。
データリンクの送信先頭を昇順に入力してください。	各局に割り付けたデータリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] が昇順に並んでいないので、ワード数の自動設定が実行できませんでした。

データリンクの領域の全ワード数が基本の全ワード数より大きい。	通常の操作では起こらないエラーです。個別設定画面で設定されている（データリンク）の [全ワード数] が基本設定画面で設定されている（データリンク）の [全ワード数] より大きくなっています。
データリンク割付のデータが異常です。	（データリンク）の [割付] で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリの種類以外のデータが格納されています。
データリンクのワード数に誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
データリンク保証リレー断時クリアが異常です。	（データリンク）の [PCリンク停止時クリア] で指定されたデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
データリンク領域が他の領域と重複しています。	（データリンク）に割り付けるメモリは、それぞれ重複しないように設定してください。
データリンク割付のワード数が異常です。	（データリンク）の [全ワード数] で設定されたワード数のデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるワード数以外のデータが格納されています。
ディスクエラー (1)	MS - DOS 上でエラーが発生しました。
ディスクエラー (2)	MS - DOS 上でエラーが発生しました。
ディスクエラー (3)	MS - DOS 上でエラーが発生しました。
ディスクエラー (4)	MS - DOS 上でエラーが発生しました。
ディスクが一杯です。	ディスクに空き容量がないので、設定内容を書き込むことができませんでした。ディスクを交換するか、別のドライブに保存してください。
ディレクトリ名に空白が含まれています。	ディレクトリ名に空白が含まれているため、ディレクトリを作成することができません。ディレクトリ名を空白がないように変更してください。
デバイスエラー	MS - DOS 上でエラーが発見されました。パソコンの動作環境を確認してください。
伝送経路の設定に誤りがあります。	リンクユニットから読み出した伝送経路のデータ設定に異常があるので、確認できません。伝送経路を再度設定してください。
伝送経路の設定を行ってください。	マスター局とスレーブ局を結ぶ伝送経路が設定されていません。シリアル伝送機能のシステム設定を行う場合は、伝送経路を必ず設定してください。
伝送速度の指定が異常です。	設定チェック [シリアルポート設定] 項目で【する】を選択している場合にチェックされます。[ボーレート] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
ドライブの準備が出来ていません。	—

ネットワークコメントが違います。	PCリンク割付設定モード ディスク照合エラー
ネットワーク名が違います。	ディスク照合エラー
ネットワーク名が入力されていません。ネットワーク名を入力して下さい。	ネットワーク名が入力されていないので、リンクユニットへPCリンク領域の割り付け内容を書き込むことができません。《P.PCリンク割付》より〈3.ネットワーク名/コメント入力〉を選択し、ネットワーク名を入力してから、書き込み作業を行ってください。
ネットワーク名が読み込めないユニットが存在します。	再度、操作してください。
パリティ・チェックの指定が異常です。	設定チェック [シリアルポート設定] 項目で【する】を選択している場合にチェックされます。[パリティ・チェック] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
パリティの指定が異常です。	設定チェック [シリアルポート設定] 項目で【する】を選択している場合にチェックされます。[パリティ設定] の設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
ファイルがOPEN出来ませんでした。	ファイル一覧が表示されている状態で、フロッピーディスクを入れ替えて設定内容の読み出しを行う操作をしました。再度、ドライブ指定を行ってください。
ファイルが存在しません。	ファイル読出・書き込み・照合・削除：MS-DOS上でエラーが発生しました。再度実行してください。
ファイルコメントが違います。	ディスク照合エラー
ファイル名が入力されていません。ファイル名を入力してください。	ファイル名が入力されていないので、ディスクへの書き込みができません。ファイル名を入力してから [f・1] [実行] を押してください。
ファイル名に空白が含まれています。	ファイル名に空白が含まれているので、ディスクへの書き込みができません。ファイル名を変更してください。
プリンターの準備が出来ていません。	プリンタの電源、設定モード、接続ケーブル等を確認してください。
プリンタの用紙がありません。	—
ヘッダーコードが、0~7Fの範囲外です。	ビット長が7ビットに設定されていますので、7ビットで表現できない値(80~FF)は無効です。0~7Fの範囲内で入力してください。
編集禁止モードでは、できません。	リンクユニットから読み出したデータにシステム設定ソフトでは設定できない内容のデータがあったため、編集不可能になっています。異常のあるデータは変更できません。
他のMEWNET-Hとアドレスが重複しています。	同一マザーボード上の他のリンクユニットのPCリンク割付先が重複しています。

本体CPUではサポートされていません。	オンラインチェック
ボーレート又はビット長の設定をCPUに合わせてください。	PCのCPUユニットに接続されているパソコン(で起動している、設定ソフト)のボーレート、ビット長の設定がCPUユニットの設定と異なります。
マスターが接続されていません。	シリアルユニット書込：シリアル設定のユニット書き込みで、マスターユニットが接続されていません。
マスター局がバス結合の為書き込みができません。	伝送経路指定で、マスター局をリンクボードのバス結合に設定しているので、マスター局への書き込みは行えません。
マスターの伝送経路が変更されます。	シリアル読出：読み出した伝送経路と現在設定されている伝送経路が異なりますので、マスターの伝送経路を変更します。
メモリー不足の為、全てのディレクトリを表示できません。	メモリの空き容量が不足しているため、全てのディレクトリを表示することはできません。メモリが確保された分のディレクトリを表示します。現行ディレクトリに作業中のファイルを保存し、再起動してください。
メモリー不足の為、ディレクトリを表示できません。	ディレクトリ情報を確保できるメモリ容量がないためディレクトリを表示することはできません。現行ディレクトリに作業中のファイルを保存し、再起動してください。
モデムの使い方が異常です。	設定チェックモデム設定内容を格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
ユニットNo.**が存在しません。	ユニットNo.**の設定が基本設定画面で行われていますが、実際のネットワーク上には存在していません。
ユニットNo.**のPCリンク割付が違います。	ユニット照合エラーユニットNo.**の送信領域の割り付けが違います。
ユニットNo.の設定が異常です。	1~64以外のユニットNo.に変更されています。
ユニットが存在しません。	ネットワーク上に設定内容を書き込むユニットが存在しません。存在していたユニットNo.が操作中に見つからなくなりました。電源・接続ケーブルを確認してください。
ユニットを指定してください。	PCリンク領域の割り付け内容を書き込むユニットが指定されていないので、書き込み作業を実行できません。設定内容を書き込むユニットを指定してから、[f・1] [実行] を押してください。
読み込み不良が発生しました。	ディスクが破損している可能性があります。
読み出したデータが異常です。設定はできません。	リンクユニットから読み出したデータにシステム設定ソフトで設定できる値や選択できる項目以外のデータが含まれているため、読み出したデータを編集することはできません。
ライトプロテクトが掛かっています。	フロッピーディスクにライトプロテクトが掛かっているため、書き込み処理ができません。プロテクトを外してから書き込み作業を行うか、別のディスクへ書き込んでください。ディスクの抜き差しは、プルダウンメニューが表示されている状態で行ってください。

リレーリンク重複チェックの指定が異常です。	オンラインチェック：リンクユニットと設定されているデータが異常です。書き込みを行ってください。
リレーリンク送信サイズが異常です。	*局のリレーリンク送信領域を設定する項目の [ワード] で設定されたワード数のデータを格納するメモリに (リレーリンク) の [全ワード数] のデータまたはリンクユニットで設定できる範囲より大きな数値データが格納されています。
リレーリンク送信の割付先が異常です。	*局のリレーリンク送信領域を設定する項目の [送信先頭] で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリアドレス以外のデータが格納されています。
リレーリンク送信割付が重複しています。	*局のリレーリンク送信領域を設定する項目の [送信先頭]・[ワード] で設定された送信領域のデータを格納するメモリに、他局で設定されている送信領域のデータと重複する数値データが格納されています。
リレーリンク送信割付の総サイズが異常です。	*局のリレーリンク送信領域を設定する項目の [ワード] で設定されたワード数を合計したデータを格納するメモリに (リレーリンク) の [全ワード数] のデータより大きな数値データが格納されています。
リレーリンクの PC リンク停止時クリアのデータに誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。(リレーリンク) の [PC リンク停止時クリア] の項目に【する】・【しない】以外のデータが入っています。
リレーリンクの送信先頭を昇順に入力してください。	各局に割り付けたリレーリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] が昇順に並んでいないので、ワード数の自動設定が実行できませんでした。
リレーリンクの接点データに誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
リレーリンクの全ワード数が大きすぎます。	通常の操作では起こらないエラーです。(リレーリンク) の [全ワード数] の項目にシステム設定ソフトで設定できない数値に設定されています。
リレーリンクの送信先頭が昇順に並んでいないのでチェック出来ません。	ワード数の自動設定が、実行できませんでした。
リレーリンクの送信先頭にリレーリンク領域を超えている局があります。	各局に割り付けたリレーリンクの送信先頭アドレス [送信先頭] の中に、(リレーリンク) の [領域] で設定したリレーリンク領域を超えている局があるので、ワード数の自動設定が実行できませんでした。
リレーリンクの領域が他の領域と重複しています。	(リレーリンク) に割り付けるメモリは、それぞれ重複しないように設定してください。
リレーリンクの領域の全ワード数が基本の全ワード数より大きい。	通常の操作では起こらないエラーです。個別設定画面で設定されている (リレーリンク) の [全ワード数] が基本設定画面で設定されている (リレーリンク) の [全ワード数] より大きくなっています。
リレーリンクのワード数に誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
リレーリンク保証リレー断時クリアが異常です。	(リレーリンク) の [PC リンク停止時クリア] で指定されたデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できる内容以外のデータが格納されています。
リレーリンク割付のデータが異常です。	(リレーリンク) の [割付] で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリアドレス以外のデータが格納されています。

リレーリンク割付のワード数が異常です。	(リレーリンク)の[全ワード数]で設定されたワード数のデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるワード数以外のデータが格納されています。
リンク/PC状態の接点データに誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
リンク/PC状態の全ワード数が大きすぎます。	通常の操作では起こらないエラーです。(リンク/PC状態)の[全ワード数]の項目にシステム設定ソフトで設定できない数値に設定されています。
リンク/PC状態の領域が他の領域と重複しています。	(リンク/PC状態)に割り付けるメモリは、それぞれ重複しないように設定してください。
リンク/PC状態のワード数に誤りがあります。	通常の操作では起こらないエラーです。
リンク状態/PC状態のサイズが異常です。	(リンク/PC状態)の[ワード数]で設定されたワード数のデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるワード数以外のデータが格納されています。
リンク状態/PC状態のデータが異常です。	(リンク/PC状態)の[領域]で設定されたメモリアドレスのデータを格納するメモリに、そのリンクユニットで設定できるメモリアドレス以外のデータが格納されています。
リンクユニットが存在しません。	ユニットNo.指定ウィンドウに表示されていないNo.にカーソルがあります。ユニットNo.が表示されているユニットを指定してください。
リンクユニットの Dip Sw 3 をOFFにしてください。	PCのポートに接続してシリアル伝送機能設定内容をリンクユニットに書き込むリンクユニットの動作モードがコンピュータリンクモードになっています。ディップスイッチSW3をOFFにして電源を入れなおしてください。

付録-2

メニュー一覧

■ PCリンク割付設定モード・メニューバー

P. PCリンク割付	R. 読出／書込	M. モニタ	I. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了
1. 新規設定 2. 設定 3. ネットワーク名/コマンド入力 4. PCリンク割付チェック 5. オプション	1. ユニット読み出し 2. ユニット書き込み 3. ユニットとの照合 4. ユニットのクリア 5. DISK読み出し 6. DISK書き込み 7. DISKとの照合	1. リンク運転状態	1. プリントアウト設定 2. スタイル 3. プリンタ機種設定	1. ツール選択 2. 機能選択	1. 強制終了 2. 中断

■ シリアル伝送機能設定モード・メニューバー

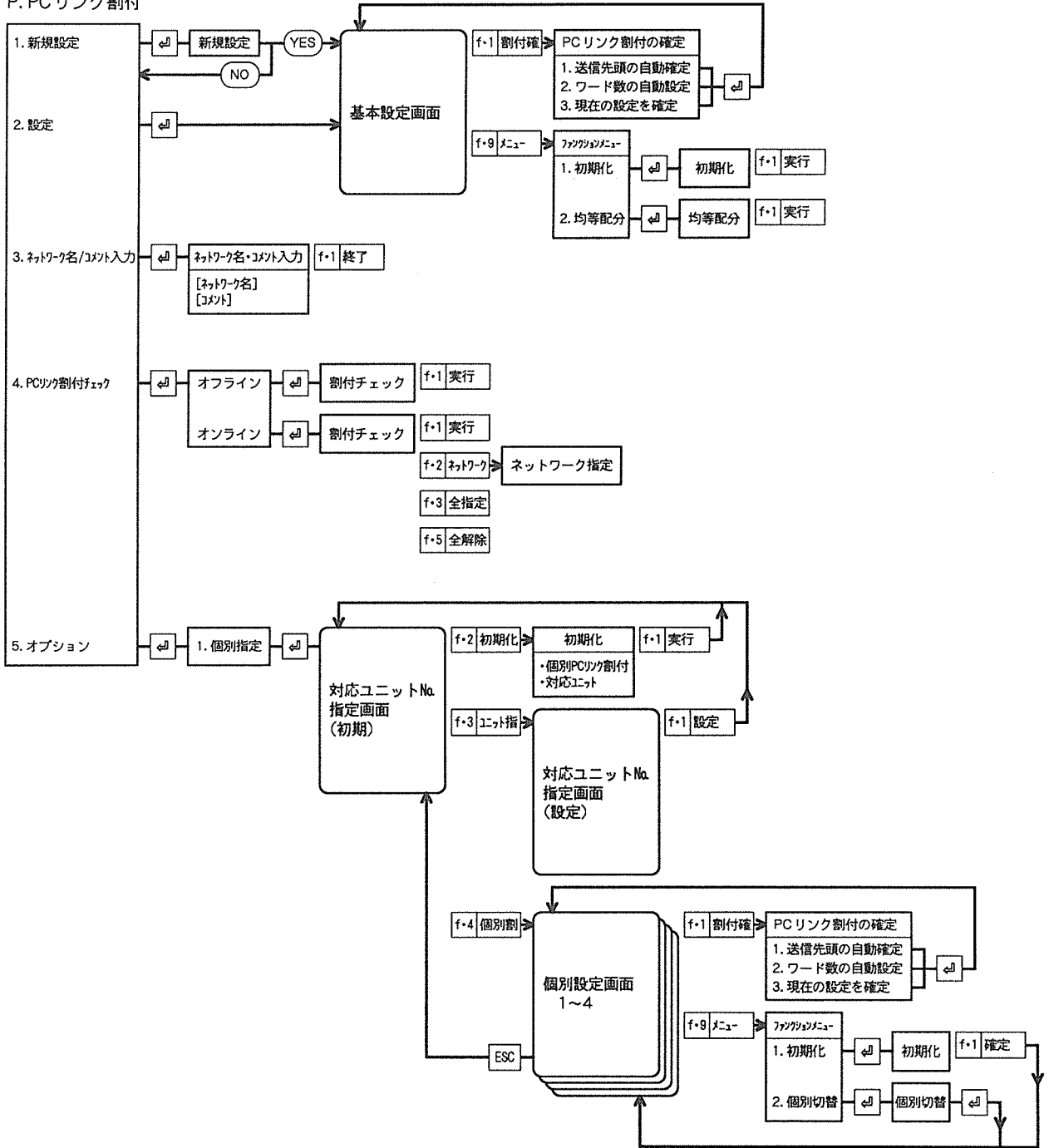
S. シリアルポート設定	R. 読出／書込	M. モニタ	I. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了
1. 新規設定 2. 設定 3. 設定チェック	1. ユニット読み出し 2. ユニット書き込み 3. ユニットとの照合 4. ユニットのクリア 5. DISK読み出し 6. DISK書き込み 7. DISKとの照合	1. リンク運転状態	1. プリントアウト設定 2. スタイル 3. プリンタ機種設定	1. ツール選択 2. 機能選択	1. 強制終了 2. 中断

■ コンピュータリンク設定モード・メニューバー

C. コンピュータリンク設定	R. 読出／書込	M. モニタ	I. プリントアウト	O. オプション	Q. 終了
1. 新規設定 2. 設定 3. 設定チェック	1. ユニット読み出し 2. ユニット書き込み 3. ユニットとの照合 4. ユニットのクリア 5. DISK読み出し 6. DISK書き込み 7. DISKとの照合	1. リンク運転状態	1. プリントアウト設定 2. スタイル 3. プリンタ機種設定	1. ツール選択 2. 機能選択	1. 強制終了 2. 中断

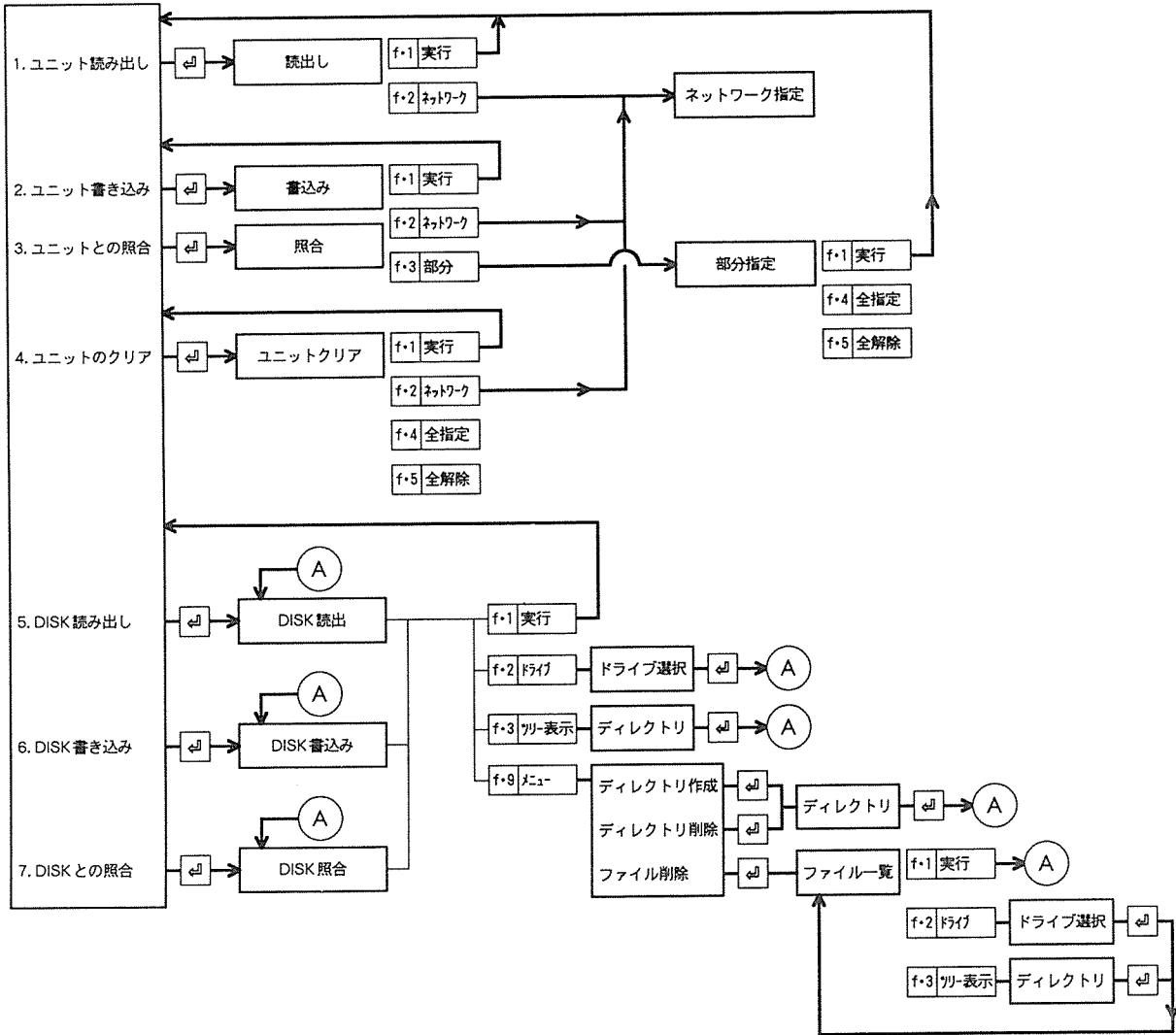
■ PCリンク割付設定モードの《P. PCリンク割付》メニュー構成

P. PCリンク割付



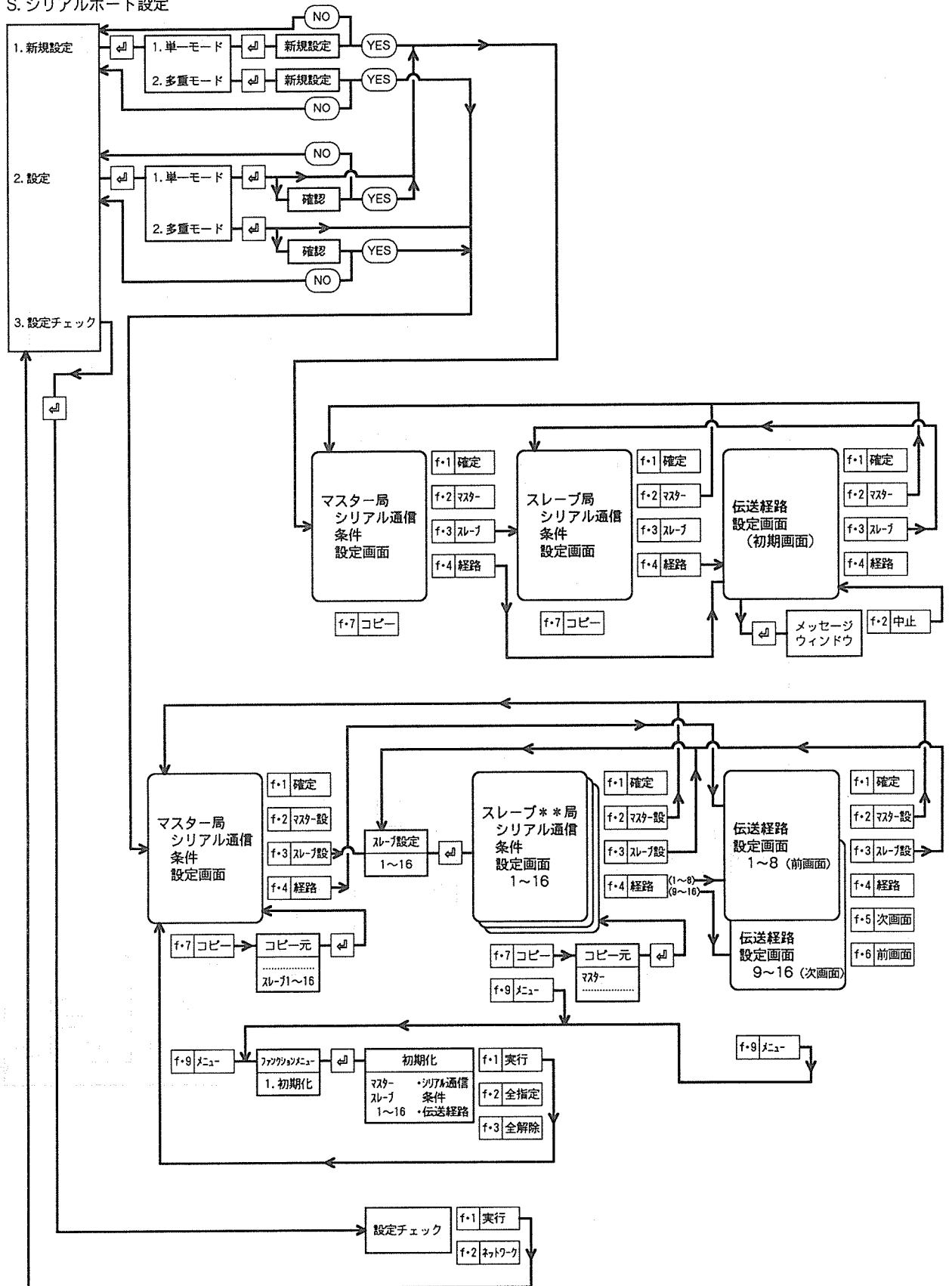
■ PCリンク割付設定モードの《R. 読出／書込》メニュー構成

R. 読出／書込



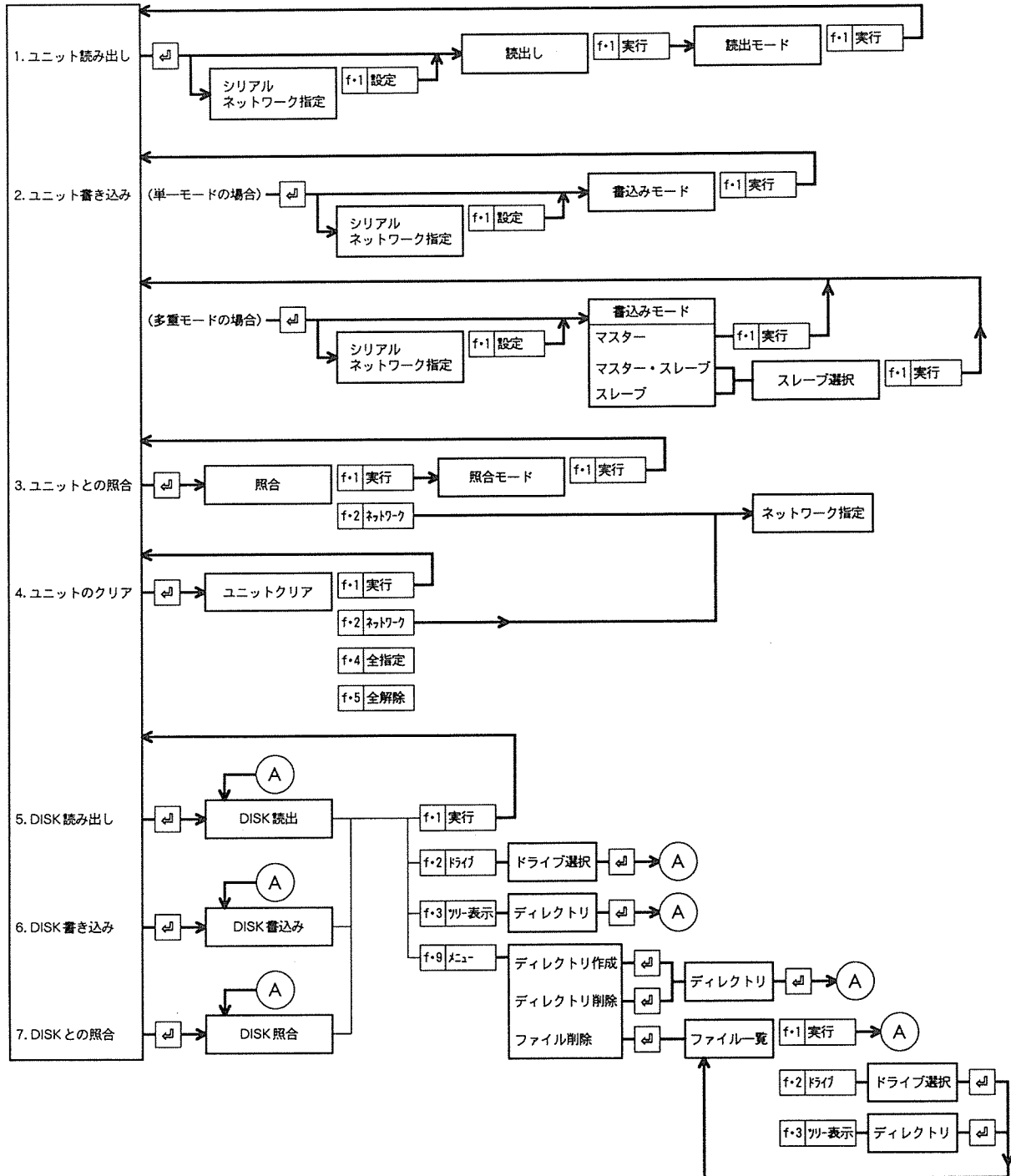
■ シリアル伝送機能設定モードの《S. シリアルポート設定》メニュー構成

S. シリアルポート設定



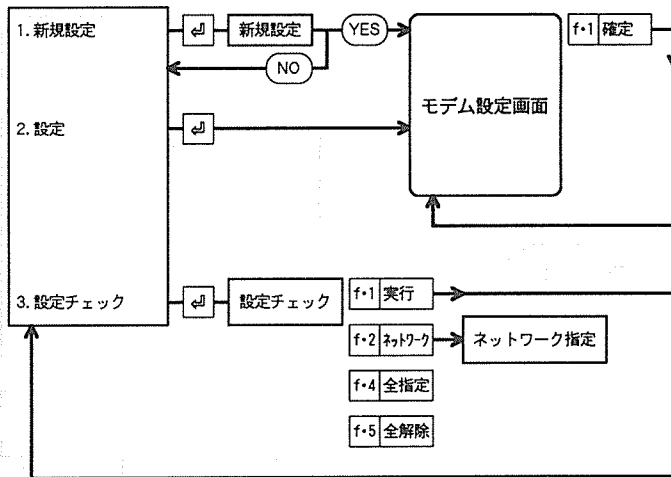
■ シリアル伝送機能設定モードの《R. 読出／書込》メニュー構成

R. 読出／書込



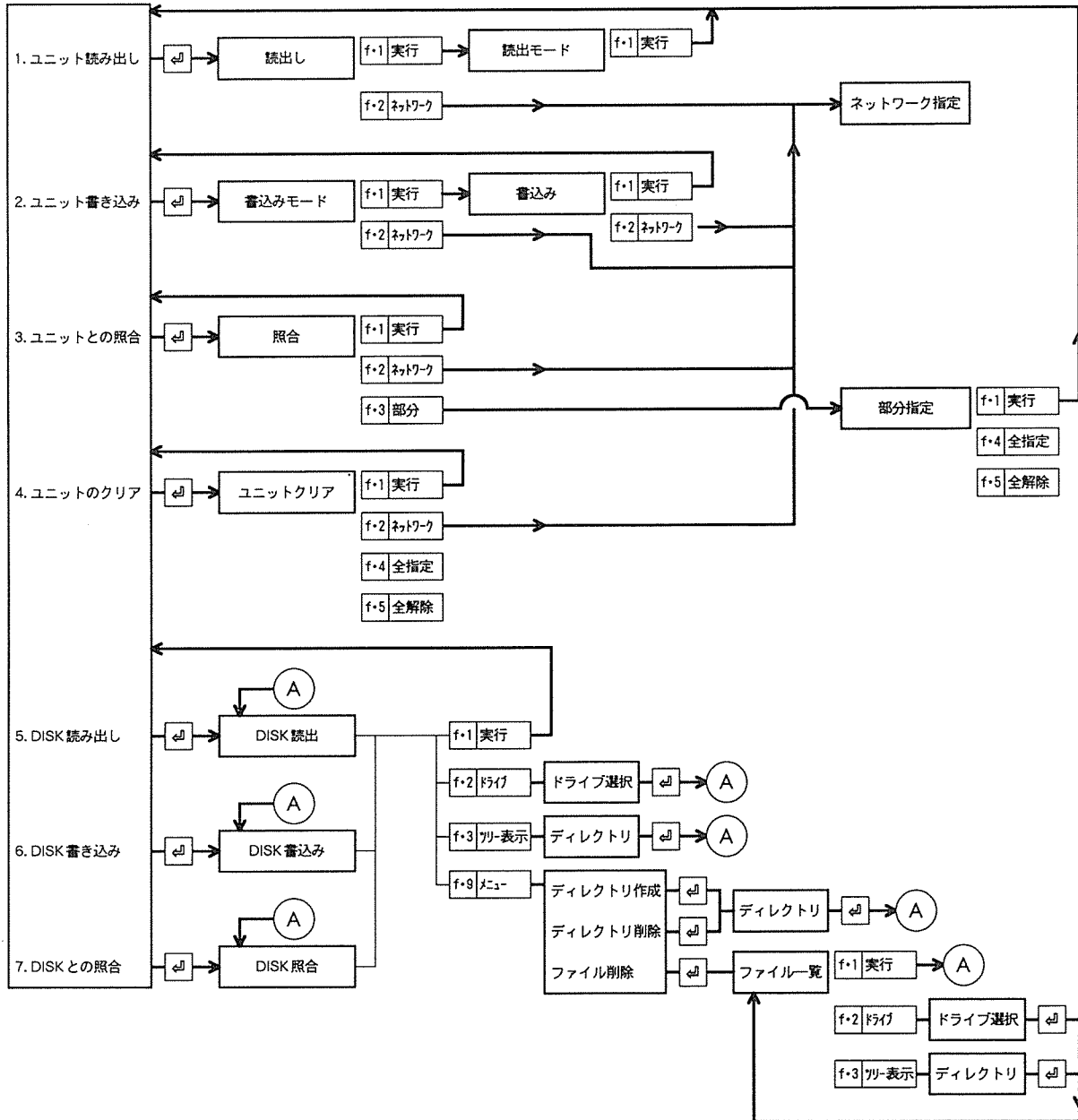
■ コンピュータリンク設定モードの《C. コンピュータリンク設定》メニュー構成

C. コンピュータリンク設定

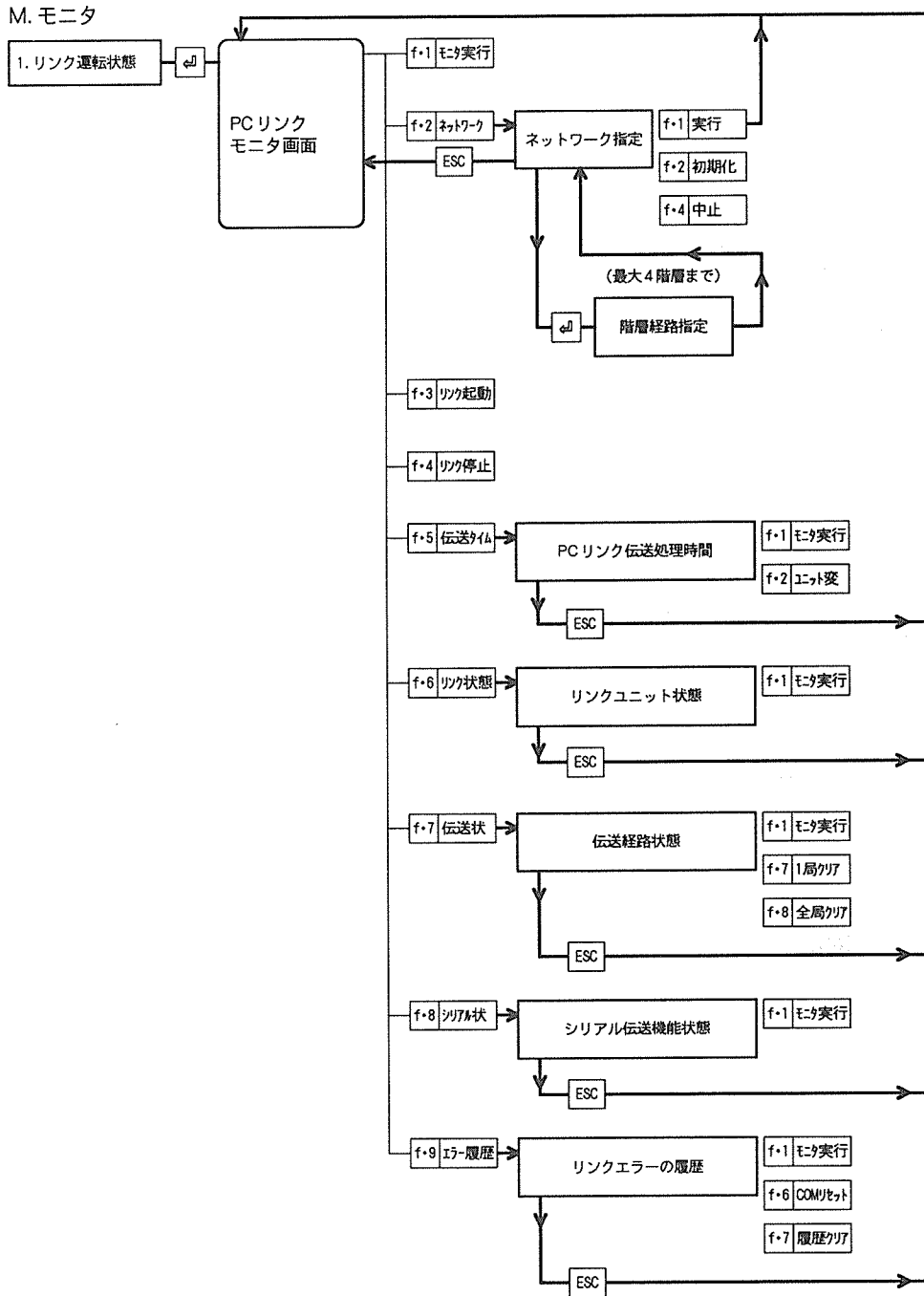


■ コンピュータリンク設定モードの《R. 読出／書込》メニュー構成

R. 読出／書込

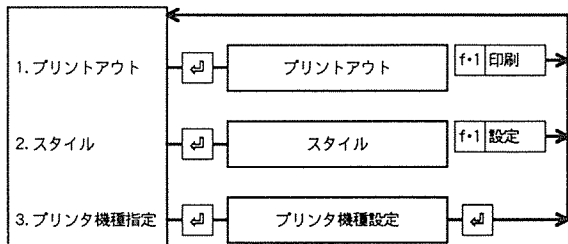


■ 《M. モニタ》メニュー構成



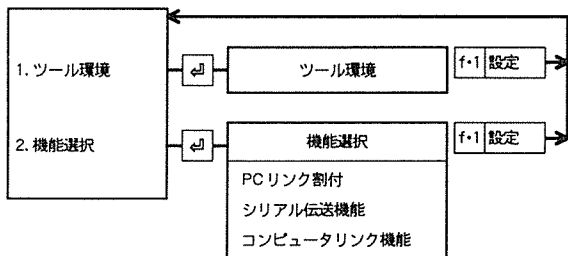
■ 《I. プリントアウト》メニュー構成

I. プリントアウト



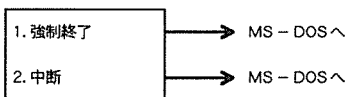
■ 《0. オプション》メニュー構成

0. オプション



■ 《Q. 終了》メニュー構成

Q. 終了



マニュアル改訂履歴

マニュアル番号は、表紙下に記載されています。

発行日付	マニュアル番号	改訂内容
1993年 7月	FAF - 135	初版

●このマニュアルに使われている用紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しております。
●この印刷物は環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



大豆油を主成分としたインキで印刷しています

●在庫・納期・価格など販売に関するお問い合わせは

●技術に関するお問い合わせは

制御機器コールセンター

☎ 0120-101-550

※お問い合わせ商品 / リレー・機器用センサ・スイッチ・コネクタ・
プログラマブルコントローラ・プログラマブル表示器・
画像処理装置・タイマ・カウンタ・温度調節器

※サービス時間 / 9:00-17:00 (11:30-13:00、当社休業日除く)

●FAX 06-6904-1573 (24時間受付)

松下電工株式会社 制御機器本部
制御デバイス事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

TEL.(06)6908-1131〈大代表〉

©Matsushita Electric Works, Ltd. 2006

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は平成5年7月現在のものです。